

平成27年度
能美市民満足度調査
報告書

平成27年11月

能 美 市

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の概要	1
(3) 配布回収結果	1
(4) 集計上の留意事項	1
(5) 依頼文・調査票	2
2. 調査結果	11
(1) 回答者自身について	11
【問1】性別	11
【問2】年齢（年代）	11
【問3】居住地（小学校区）	12
【問4】職業	13
【問5】家族人数（同居）	14
【問6】家族構成	15
【問7】能美市での居住年数（旧3町時代含む）	15
【問8】通勤・通学先	19
【問9】市政への関心	22
【問10】市政情報の入手方法	25
(2) 能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について	35
【問11】能美市における各種施策の満足度と重要度	35
(3) 能美市に住むことについて	46
【問13】能美市の住みやすさに対する意識	46
【問14】住みやすさ・住みにくさの理由	49
【問15】将来的な定住意向	59
【問16】能美市に定住した主なきっかけ	63
(4) 人口減少の克服に向けた取り組みについて	75
【問17】若い世代が能美市に住み続ける条件	75
(5) 買い物について	79
【問18】生鮮三品（鮮魚・青果・精肉）や日用品の購入場所	79
【問19】自家用車で買い物に行けない不便、行けなくなる不安	84

(6) 公共交通網の充実について----- 89

【問 20】「あったらいいな」と思う交通手段 ----- 89

【問 21】過去 1 年間の「のみバス」利用経験・利用目的 ----- 92

(7) 地域活動、市民活動および市民と行政の協働について----- 95

【問 22】地域活動、ボランティア活動、市民活動の参加状況 ----- 95

【問 23】地域が主体となって取り組むべき課題 ----- 108

【問 24】市民同士あるいは市民と行政の協働 ----- 114

【問 25】まちづくり活動の妨げになっていること ----- 120

【問 26】地域やNPO等が主体となった支えあいのしくみづくり ----- 126

【問 27】高齢社会を支えるために地域で協力できそうな活動 ----- 129

3. まとめ----- 135

1. 調査概要

(1) 調査の目的

- ◇平成 18 年度に策定した「第一次能美市総合計画」に基づく各種施策について、現在の満足度や今後の重要度を把握すると共に、平成 17 年度、平成 19 年度、平成 21 年度、平成 23 年度および平成 25 年度に実施した調査結果との比較分析を行うことにより、各種施策に対する評価の経年変化を把握し、施策の進行管理や今後の新たな施策の立案に反映することを目的とします。
- ◇平成 27 年度中に策定する「能美創生人口ビジョン」ならびに「能美創生総合戦略」の策定にあたり、人口減少の克服に向けた取り組み等に対する意識を把握することで、ビジョンならびに戦略策定の基礎資料とします。

(2) 調査の概要

- ◇調査対象：20 歳以上の市民 3,000 名
- ◇抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出（層化多段抽出法）
- ◇調査方法：郵送（無記名回収）方式
- ◇調査期間：平成 27 年 8 月 31 日（月）～同年 9 月 14 日（月）
※期日後 10 月 2 日（金）までに返送されたものまでを集計に含む。

(3) 配布回収結果

	H27	H25	H23	H21	H19	H17
配布数	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
回収数	1,528	1,287	1,473	1,174	966	1,421
回収率	50.9%	42.9%	49.1%	39.1%	32.2%	47.4%

(4) 集計上の留意事項

- ◇各設問の集計は、無回答を除いた合計を母数（100%）として各選択項目の回答数の割合を示しています。
- ◇パーセンテージについては、小数点第 1 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%に一致しません。
- ◇複数回答の設問は、回答者数を母数（100%）としているため、選択項目の回答数の割合は、合計すると 100%を超えます。
- ◇「N」は該当者数で、グラフ中では四捨五入して整数 3%未満の数値の表記を省略しています。

(5) 依頼文・調査票

能美市政に関する『市民満足度調査』 ご協力をお願い

あなたは、今の能美市に満足ですか？

市民の皆様のご意見をお聞かせください。

日頃より、市政に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

能美市では、平成18年度に「第1次能美市総合計画[※]」を策定し、以来、この計画にしたがって多くの施策や事業を展開してまいりました。

そして、この総合計画で定めた施策や事業について市民の皆様にご評価をいただくとともに、皆様の思いを市政に反映させるため、市では2年に1度、市民満足度調査を実施しています。今年度は前回調査した平成25年度から2年間が経過し、その調査年度にあたります。そこで、市内にお住まいの20歳以上の方々から3,000名を無作為に抽出し、現在の市政に対する「満足度」やこれからの市政における「重要度」などに関するアンケートを別紙のとおりお送りいたしました。

何かとお忙しいとは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見や考えをお聞かせくださいますようお願い致します。

平成27年8月 能美市長 酒井 悌次郎

【アンケートのご記入方法について】

1. このアンケートには、あて名に書かれたご本人がお答えください。
2. 回答方法は、該当する番号を○で囲んでください。質問によっては「1つだけ○」「当てはまるもの全てに○」など、○をつける個数を指定しているものもありますのでご注意ください。また、順位づけをして項目番号を欄に記入するものもあります。
3. この調査は無記名式です。回答者の皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。また、ご回答いただきました内容を他の目的で使用することはありません。
4. ご回答後は、平成27年9月14日(月)までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

【お問い合わせ】

能美市市民生活部企画振興課

〒923-1297

能美市来丸町1110番地 本庁舎2階

電話 0761-58-2210 / ファクス 0761-58-2291

ホームページ <http://www.city.nomi.ishikawa.jp>

電子メール kikaku@city.nomi.lg.jp

このアンケートの集計結果は、市の広報紙やホームページでお知らせいたします♪



※ 能美市第1次総合計画とは、都市基盤、生活環境、福祉・健康、教育・文化、産業など様々な分野にわたる行政運営の総合的な指針となるもので、平成19年度から28年度までの10年間にわたり各種施策を実施しています。この計画では、本市の将来像を「海山川の恵みと人が輝く安らぎのまちづくり」とし、基本計画では8つの分野、55の施策区分で体系化しています。また、これらの具体的な数値目標として「100の指標」を掲載しています。

・以下の取り組みについて、「満足度」と「重要度」をお答えください。（該当する番号、記号それぞれ1つずつ○）		満足度					重要度				
		満足である	やや満足である	やや不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	でもない	あまり重要でない	重要でない
1 魅力											
〔能美市の魅力を創造し、登着もてるまちづくりに取り組んでいます。皆さんの満足度と重要度は？〕											
●地区ごとの拠点づくり											
1	JR 能美根上駅・能美古墳群・辰口。寺井中心街などの整備や、地域の特色を活かした拠点づくりに努めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●魅力ある能美市ならではのイベントの開催											
2	新たなイベントの開催や九谷茶碗まつりなど既存イベントの充実に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●定住化の促進											
3	能美市に住みたい、住んでいてよかったと思えるようなまちづくりに取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●“能美ブランド”づくり											
4	地域にこだわった商品づくりや、能美ブランドの創出に向けて取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●能美市の情報発信・PR の取り組み											
5	ケーブルテレビ地域チャンネル・市のホームページの充実や、市の名称PRを進めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●国際交流の推進											
6	姉妹都市との交流や、市民の国際交流活動への支援に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●大学との連携											
7	北陸先端大や金沢大などと連携し、学生等とともに地域活性化に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
2 歴史・自然											
〔歴史や文化、自然を再認識し、後世へ継承できるよう努めています。皆さんの満足度と重要度は？〕											
●歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み											
1	歴史・文化資源（能美古墳群など）の保護・活用やふるさと教育に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み											
2	環境教育や地域美化活動、不法投棄の防止を推進している。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●里山をまもり、活かす取り組み											
3	里山の整備や里山関連NPOの活動、里地・里山の体験交流を進めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●水環境をまもり、活かす取り組み											
4	親水空間の形成や水環境保全活動、水害対策、地下水の有効活用に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●環境に配慮した取り組み											
5	グリーンカーテンやエアコンの温度調節など、温暖化防止に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●ごみ処理対策											
6	リサイクルセンターの利用などによる資源リサイクル、ごみの減量化に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	
●きれいなまちなみ・景観づくり											
7	環境美化や緑化に関連する市民活動への参加の促進や、景観の重要性のPRに取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D	

・以下の取り組みについて、「満足度」と「重要度」をお答えください。（該当する番号、記号それぞれ1つずつ○）		満足度					重要度			
		満足である	やや満足である	やや不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
3 居住環境										
（住みよい環境づくりを進めています。皆さんの満足度と重要度は？）										
1	●生活に身近な公園や緑地の整備 公園緑地の整備や維持管理を行っている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
2	●市営住宅の整備 市営住宅の適切かつ計画的な整備に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
3	●適正な土地利用の推進 土地利用の適正な誘導や宅地整備に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
4	●広域幹線道路網の整備 能美東西連絡道路や近隣市町との連絡道路の整備・充実に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
5	●人や自転車にやさしい道路の整備 歩道・自転車道や通学路の整備を進めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
6	●公共交通網の整備 コミュニティバスや路線バスの充実に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
7	●上下水道の整備 安全な水の安定供給や下水道の充実に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
8	●防犯・交通安全対策の推進 防犯活動の充実や交通安全指導、交通安全・防犯環境の整備を進めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
9	●防災対策の推進 市民や町会による自主的な防災体制づくりの重要性を説明し、地域防災力の向上に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
4 健康・福祉										
（保健・医療・福祉政策に取り組んでいます。皆さんの満足度と重要度は？）										
1	●医療体制や健康づくりの取り組み 地域医療の充実や生活習慣病予防に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
2	●高齢者福祉の取り組み 高齢者が安心して生活できる環境づくりや、高齢者の社会参加への支援を行っている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
3	●障がい者福祉の取り組み 障がい者の雇用拡大や支援体制の充実に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
4	●児童福祉・子育て支援の取り組み 少子化対策、保育体制の充実や児童の健全育成に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
5	●社会保障の取り組み 社会保障制度（医療保険・介護保険・国民年金）の周知、充実に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
6	●バリアフリーの取り組み 障がい者や高齢者と交流する場の提供や、施設のバリアフリー化に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
7	●地域福祉の取り組み 地域の見守り活動やボランティアセンターの充実を進めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D

・以下の取り組みについて、「満足度」と「重要度」をお答えください。（該当する番号、記号それぞれ1つずつ○）		満足度					重要度			
		満足である	やや満足である	やや不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
5 産業・観光										
（産業や観光の振興を図っていますが、皆さんの満足度と重要度は？）										
1	●農林業の振興 担い手育成や林道整備、農村保全に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
2	●商業の振興、商店街の活性化 中心市街地の活性化や空き店舗対策を推進している。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
3	●工業の振興 工業団地の整備や企業誘致、新産業創出を進めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
4	●観光の振興 辰口温泉街や観光拠点の整備、観光情報の発信に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
5	●北陸先端大と企業・地域・市との連携 先端大との産学官連携による研究・開発を行っている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
6	●起業支援・産業連携 起業家への支援や企業間の技術連携に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
7	●九谷焼などの伝統産業の振興 九谷陶芸村の整備・充実や後継者の育成、九谷焼の活用・PRに取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
8	●労働環境の向上・支援 雇用機会の充実や各種セミナーの開催に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
9	●消費生活の向上への取り組み 消費者団体の育成や相談窓口の設置を進めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
6 教育・文化・スポーツ										
（学び、考え、育む心豊かなまちづくりに取り組んでいます。皆さんの満足度と重要度は？）										
1	●学校教育の充実に向けた取り組み 授業力・学力の向上や教育環境の整備を進めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
2	●青少年の健全育成の取り組み あいさつ運動や非行防止活動を推進している。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
3	●生涯学習の取り組み 生涯学習の普及・啓発に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
4	●芸術・文化の振興 地域文化活動や芸術イベントの開催を推進している。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
5	●スポーツ・レクリエーションの推進 生涯・競技スポーツ活動の推進や体育施設の整備に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
7 行財政										
（行財政改革を推進していますが、皆さんの満足度と重要度は？）										
1	●効率的な行政運営の取り組み 市の組織体制や公共施設管理の効率化を図っている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
2	●財政の健全化に向けた取り組み バランスシートの公表、行政評価の導入、指定管理者制度の活用などが進められている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D

・以下の取り組みについて、「満足度」と「重要度」をお答えください。（該当する番号、記号それぞれ1つずつ○）		満足度					重要度			
		満足である	やや満足である	やや不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	でもない重要	重要でない
3	●行政サービスの向上への取り組み 市民が利用しやすい窓口サービスの提供に努めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
4	●市政に関する情報公開・情報提供の取り組み 広報の充実や市政情報の開示に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
8 参画・協働 （市民が主役の自立したまちづくりの実現を目指していますが、皆さんの満足度と重要度は？）										
1	●市民と行政が力を合わせたまちづくり 協働のまちづくり体制の構築に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
2	●自治会などの地域活動 地域活動支援、公民館の整備・充実に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
3	●ボランティアやNPOなどへの支援 市民活動の支援や活動の拠点づくりを進めている。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
4	●男女共同参画社会づくりの取り組み 男女共同参画に関する意識啓発活動を推進している。	5	4	3	2	1	A	B	C	D
9 総合評価 （能美市の取り組み全体について、皆さんの満足度は？）										
1	●能美市における施策全体の総合評価	5	4	3	2	1				

問12. 以上の各種施策に関するご意見やアイデアを、ご自由にお書きください。

3. 能美市に住むことについて

問13. あなたは、能美市を住みやすいところだと思いますか？（1つだけ○）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問14. 問13で「1. 住みやすい」「2. どちらかといえば住みやすい」と回答した方は、住みやすいと感じる理由は何ですか？一方、「3. どちらかといえば住みにくい」「4. 住みにくい」と回答した方は、住みやすくするために今後どこに力を入れたいと思いますか？（優先度3位まで選び項目番号を記入）

優先度1位	優先度2位	優先度3位
1. 子育てにかかる費用の支援	2. 子育て支援施設、保育施設の充実	
3. 道路網の充実	4. 雇用の充実	
5. 市役所窓口サービスの充実	6. 高齢者福祉の充実	
7. 学校、図書館など教育環境の充実	8. 公共交通の充実	
9. 買い物の利便性	10. 市民の地域活動や行事への支援の充実	
11. 自然災害対策の充実	12. 自然に配慮した生活環境の充実	
13. その他（		

問 15. あなたは、これからも能美市に住み続けたいと思いますか？

下記 1～4 に 1 つだけ○をつけ、その理由を【 】内にお書きください。

1. このまま住み続けたい 2. 一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい
3. 他の市町村に移り住みたい 4. その他 ()
理由【 】

問 16. 能美市に定住した主なきっかけは何ですか？（当てはまるもの全てに○）

1. 先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから
2. 結婚相手が能美市在住だったから 3. 親と同居するため
4. 通勤・通学に便利だから 5. 福祉が充実しているから 6. 子育て環境が充実しているから
7. 土地価格が手頃だったから 8. その他 ()
9. 現在アパート・寮などに住んでいて、能美市での定住を決めたわけではない

4. 人口減少に向けた取り組みについて

問 17. 若い世代が能美市に住み続ける条件として何が必要だと思いますか。（優先度 3 位まで選び項目番号を記入）

優先度 1 位	優先度 2 位	優先度 3 位
1. 働き口の確保	2. 給与額の増高	
3. 日常生活（買物等）の利便性	4. 公共交通の利便性	
5. 医療・福祉施設の充実	6. 娯楽施設	
7. 住居環境	8. 教育環境	
9. 子育て環境	10. 生活コストの低減	
11. 移住に対する市からの支援	12. 移住先の人間関係	
13. 移住に関する情報入手先・方法	14. その他	
	()	

5. 買い物について

問 18. 生鮮三品（鮮魚、青果、精肉）や日用品を、普段、どこで購入していますか。（頻度 2 位まで選び項目番号を記入）

頻度 1 位	頻度 2 位
1. 個人等が営む市内（地域）の小規模な店舗	2. 市内のスーパーマーケット
3. 市外のスーパーマーケット	4. 市外の郊外型大規模商業施設
5. 宅配サービス	6. 住まいの近くに出向く移動販売
7. その他 ()	

問 19. 自家用車で買い物に行けない方は、どんなことに不便を感じていますか。もしくは、この先、自家用車で買い物に行けなくなるとしたら、どんなことに不安を感じますか。（優先度 2 位まで選び項目番号を記入）

優先度 1 位	優先度 2 位
1. 徒歩や自転車で買い物に行ける距離にお店がない	
2. 行きたい時間に買い物へ行けない	3. 近辺で欲しいものが買えない
4. 重い荷物の運搬	5. 特になし
6. その他 ()	

6. 公共交通網の充実について

問 2 0. 今後、あなたが「あったらいいな」と思う交通手段はなんですか？（1つだけ○）

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. 民間路線バスの充実（行き先：_____） | |
| 2. デマンドタクシー※1 | 3. カーシェアリング※2 |
| 4. 待ち時間が少ないのみバス | 5. その他（_____） |

※1 デマンドタクシーとは、「予約制の乗合タクシー」のことで、予約をした人たちの家まで迎えに行き、目的地まで運行する仕組みです。

※2 カーシェアリングとは、登録を行った会員間で自動車を持ち、共同使用する仕組みです。

問 2 1. あなたは過去 1 年間（平成 26 年 8 月～平成 27 年 7 月）で、のみバスを利用したことがありますか？（1つだけ○）また主な利用目的は何ですか？

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 毎日利用している | 2. 週 3 回以上、利用している |
| 3. 週 1～2 回、利用している | 4. 休日のみ利用している |
| 5. 時々利用で、年間 50 回以上 | 6. 時々利用で、年間 30～50 回未満 |
| 7. 時々利用で、年間 10～30 回未満 | 8. 時々利用で、年間 5～10 回未満 |
| 9. 時々利用で、年間 1～6 回未満 | 10. 利用していない |

【主な利用目的】

7. 地域活動、市民活動および市民と行政の協働について

問 2 2. あなたは現在、仕事や学業とは別に、地域活動、ボランティア活動、市民活動として参加しているものはありますか？（当てはまるもの全てに○）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 自治会での活動 | 2. 学校・PTA・子ども会での活動 |
| 3. 青少年の課外（学校以外の）活動 | 4. 老人クラブでの活動 |
| 5. 壮年団での活動 | 6. 婦人会・女性団体での活動 |
| 7. 地元の企業や大学による社会貢献活動 | 8. NPOなどの団体※による地域活動 |
| 9. ボランティア（個人）※による地域活動 | 10. その他（_____） |
| 11. 特になし（参加していない） | |

※NPOなどの団体とは、組織的、継続的に活動している非営利の団体、ボランティアとは自発的に活動している人を示します。

問 2 3. お住まいの地域（自治会等）で、地域が主体となって取り組むべき課題は、どんなことでしょうか？（優先度 3 位まで選び項目番号を記入）

優先度 1 位	優先度 2 位	優先度 3 位
1. 地域の防犯、治安の向上	2. 防災・防火、災害時の対応	
3. 交通安全	4. 高齢者・障がい者への支援	
5. 健康づくり	6. 環境の保全・美化	
7. 地域コミュニティの活性化	8. 子育ての支援	
9. 青少年の健全育成	10. 地域の伝統芸能・祭りの継承や保存	
11. 市民同士の親睦・交流	12. ごみの減量、資源化	
13. スポーツ・文化活動の活性化	14. 学習の機会づくり	
15. 外国人との交流、相互理解	16. その他（_____）	
17. 特になし		

問24. 地域社会の問題解決に向けて、市民同士、あるいは市民と行政の協力（協働）関係をより深めるために、どんなことが重要だと思いますか？（優先度2位まで選び項目番号を記入）

優先度 1 位	優先度 2 位
1. 地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる 2. 自治会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行う 3. ボランティアやNPO法人の活動を盛んにする 4. 地域の企業や団体へ地域社会の活動参加を呼びかける 5. 市民協働コーディネーターの活動を充実する 6. 地域活動の相談窓口をつくるなど、行政の支援体制を充実する 7. 地域活動を担う人材（リーダー）を育成する 8. その他（ 9. わからない	

※協働とは、共通の目的や課題解決のために、市民や行政など地域に関わる多様な主体が連携、協力し合う（できることを、できる人が、できる範囲内で行う）ことです。

問25. 地域の問題解決に向けて、あなたの地域でまちづくり活動をするときに、活動の妨げになっていることは何ですか？（2つまで○）

1. 時間不足	2. 活動資金不足	3. 仲間（運営メンバー）不足
4. 参加者不足	5. 地域への理解・盛り上がり	6. 行政の支援
7. 市民への理解	8. 運営ノウハウ	9. 活動を引っ張っていくリーダー
10. 外部への情報発信	11. その他（ ）	
12. わからない		

問26. 今後、能美市は65歳以上の高齢者が増えていき、25年後には現在の1.5倍になる推計結果が出ています。高齢者が安心して暮らしていくには、地域での支援も重要になっていきますが、地域やNPO等が主体となった支えあいのしくみづくりが必要だと思いませんか。(1つだけ○)

1. 必要だと思う	2. 特に必要だとは思わない
-----------	----------------

問27. あなたが高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動はありますか。(当てはまるもの全てに○)

1. 町（内）会での集いの場（のみ活倶楽部、いきいきサロン等）のお手伝い
2. 町（内）会での支えあい（話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど）のお手伝い
3. NPO 等の団体に所属しての支えあい（買い物、掃除、買い物等の運転手など）のお手伝い
4. 介護予防教室（体操・脳トレーニング）の指導員
5. その他（ ）
6. 特になし

以上で終了です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

回答していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、平成27年9月14日(月)までに最寄りの郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

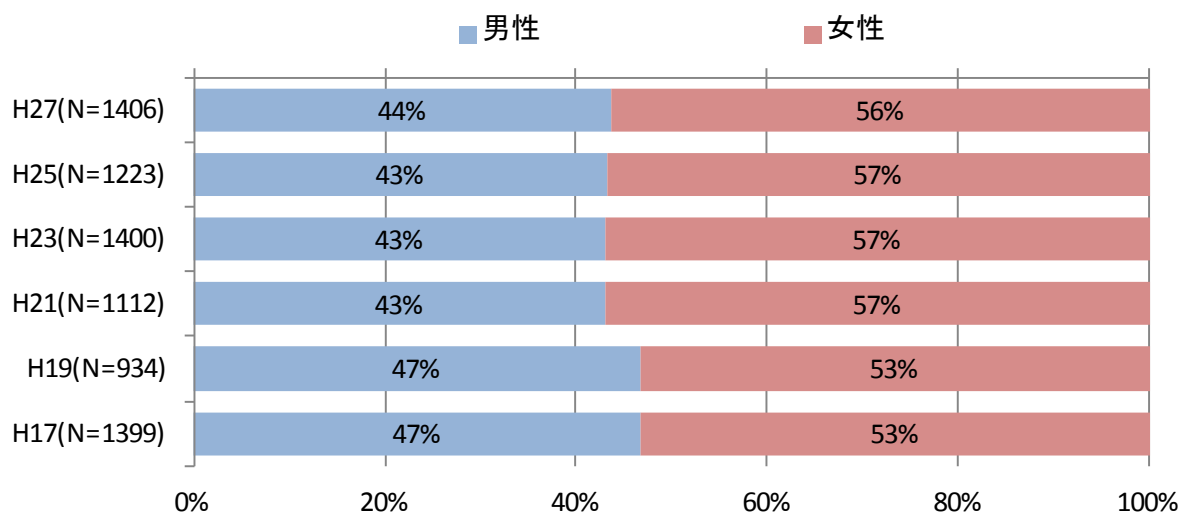
2. 調査結果

(1) 回答者自身について

問 1 性別

◆女性の割合がやや高くなっています。

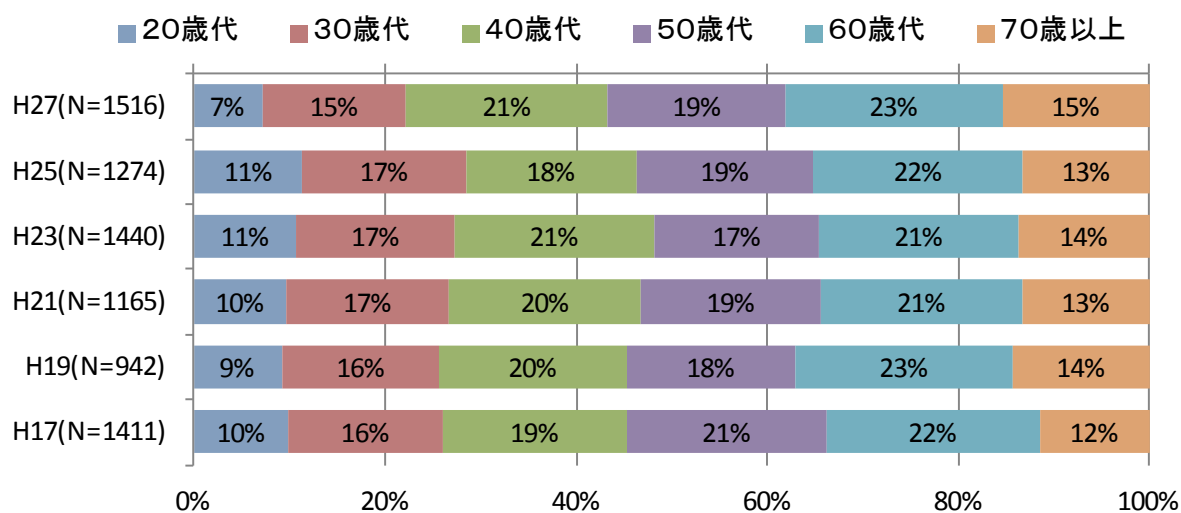
◆経年的な変化はみられません。



問 2 年齢（年代）

◆40～60 歳代の回答者の割合が各々約 20%となっており、全体の約 6 割を占めています。

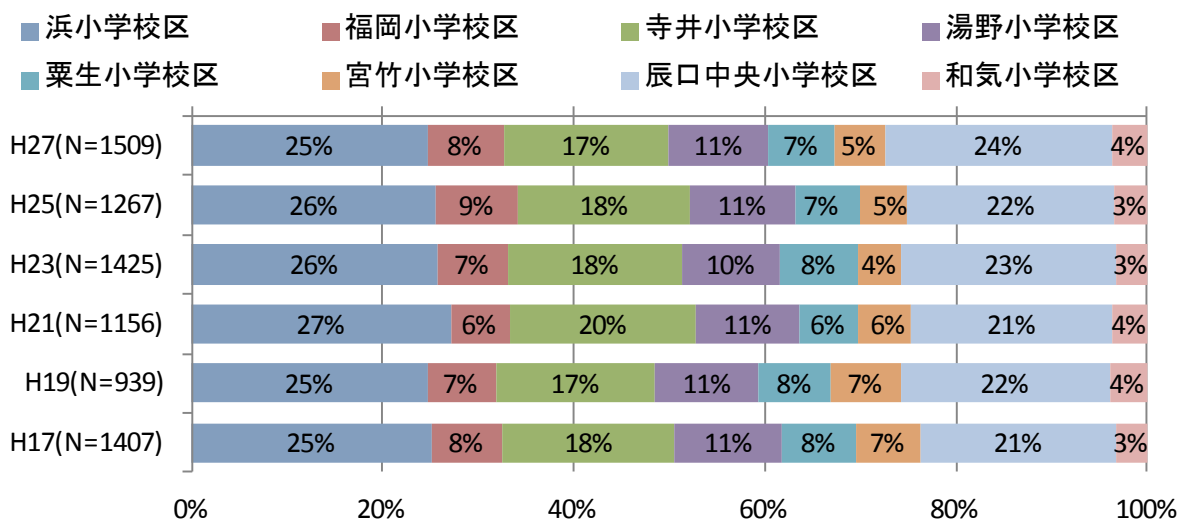
◆「20 歳代」が H25 に比べて 4 ポイント低くなっています。



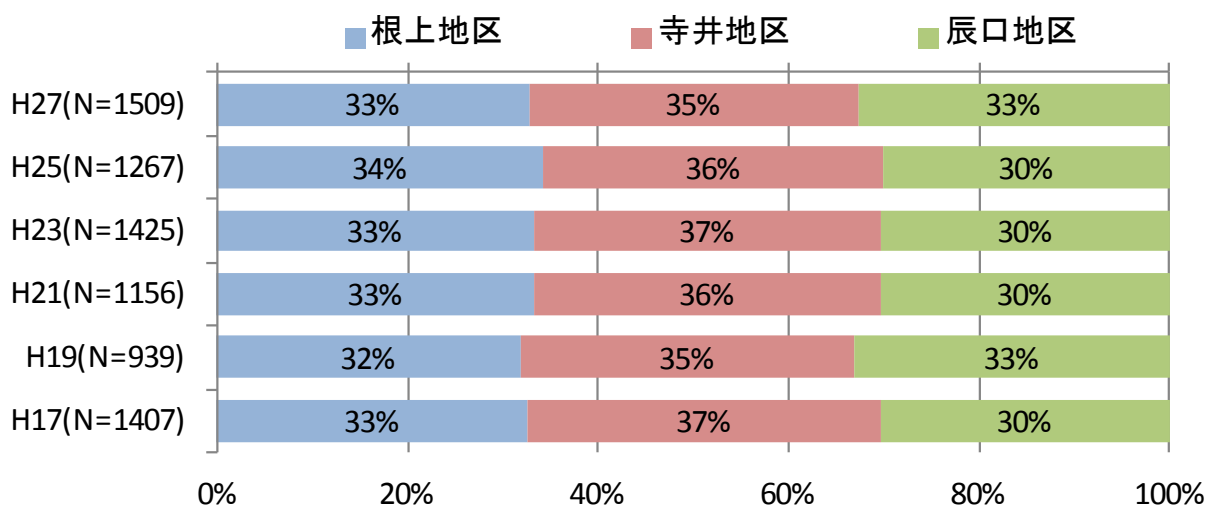
問 3 居住地（小学校区）

- ◆小学校区別でみると「浜小学校区」が 25%と最も多く、次いで「辰口中央小学校区」24%、「寺井小学校区」17%となっています。
- ◆地区別でみると、「寺井地区」が 35%と最も多く、次いで「根上地区」33%、「辰口地区」33%となっています。
- ◆経年的な変化はみられません。

【小学校区別】



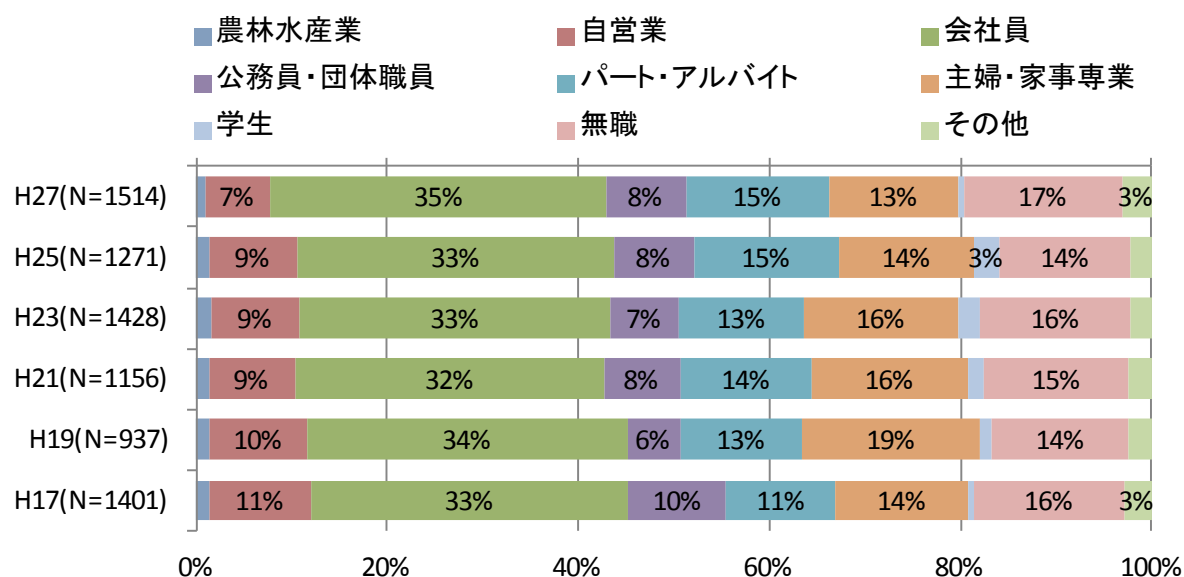
【地区別】



問 4 職業

◆「会社員」が 35%と最も多く、次いで「無職」が 17%、「パート・アルバイト」が 15%となっています。

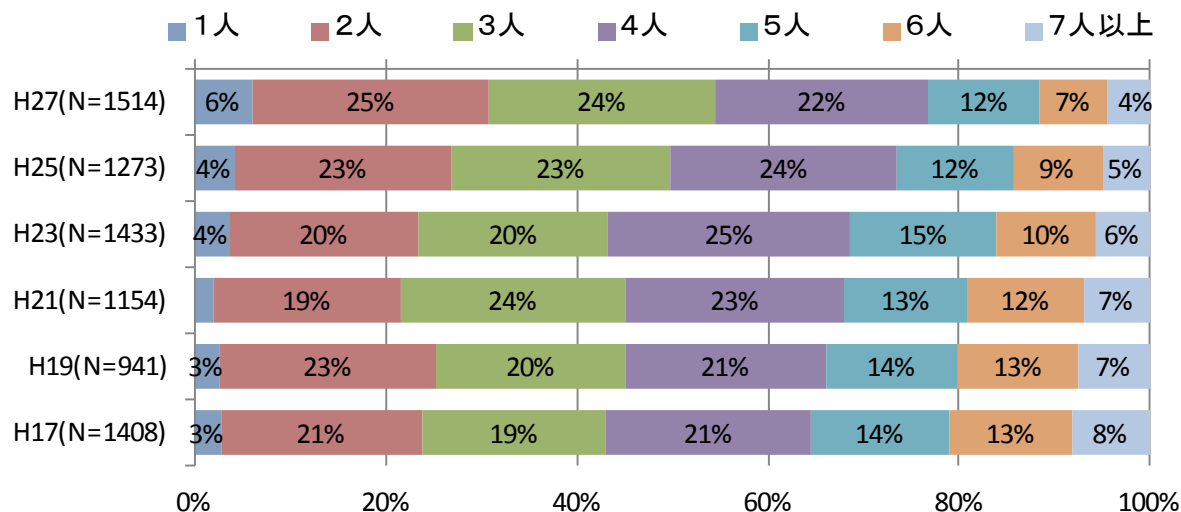
◆経年的な変化はみられません。



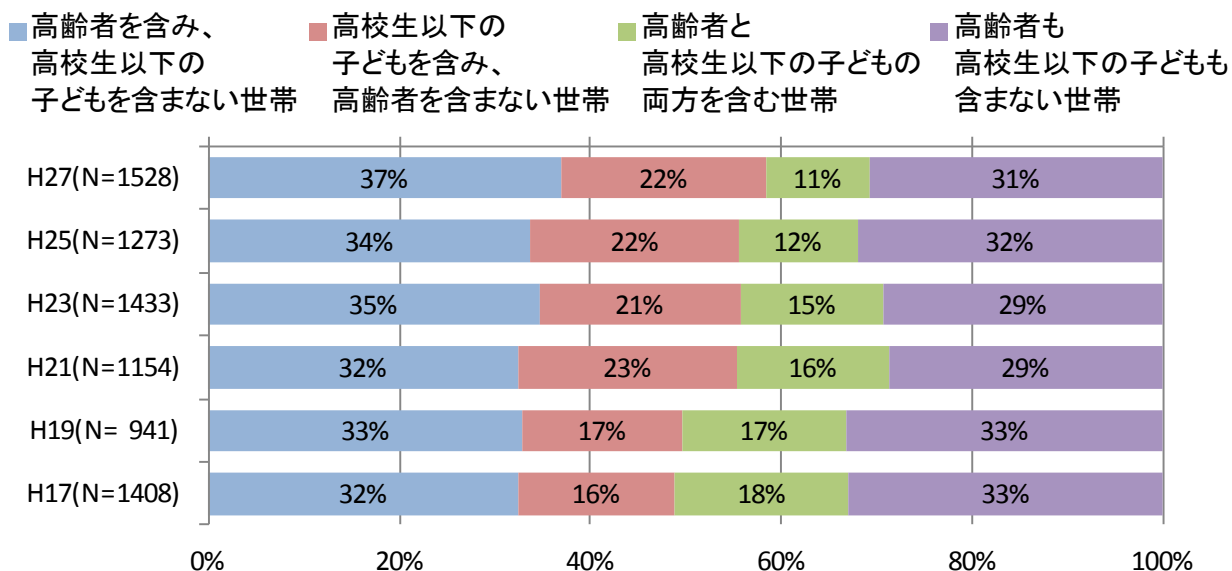
問 5 家族人数（同居）

- ◆「2 人」が 25%と最も多く、次いで「3 人」が 24%、「4 人」が 22%となっています。
- ◆「6 人」以上は H17 以降減少しています。
- ◆世帯タイプでは経年的な変化はみられません。

【家族人数】



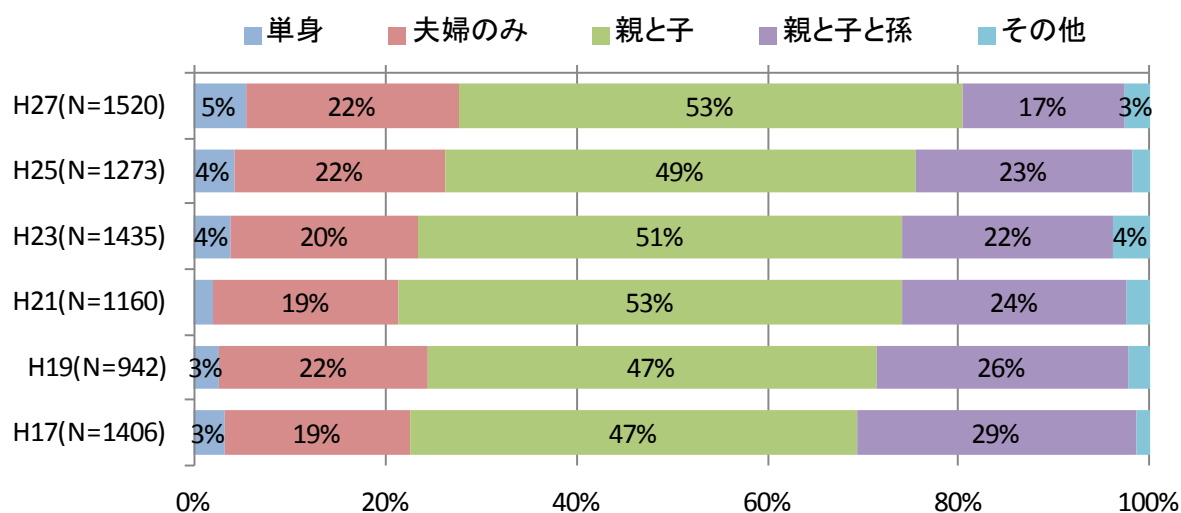
【世帯タイプ】



問 6 家族構成

◆「親と子」が 53%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が 22%、「親と子と孫」が 17%となっています。

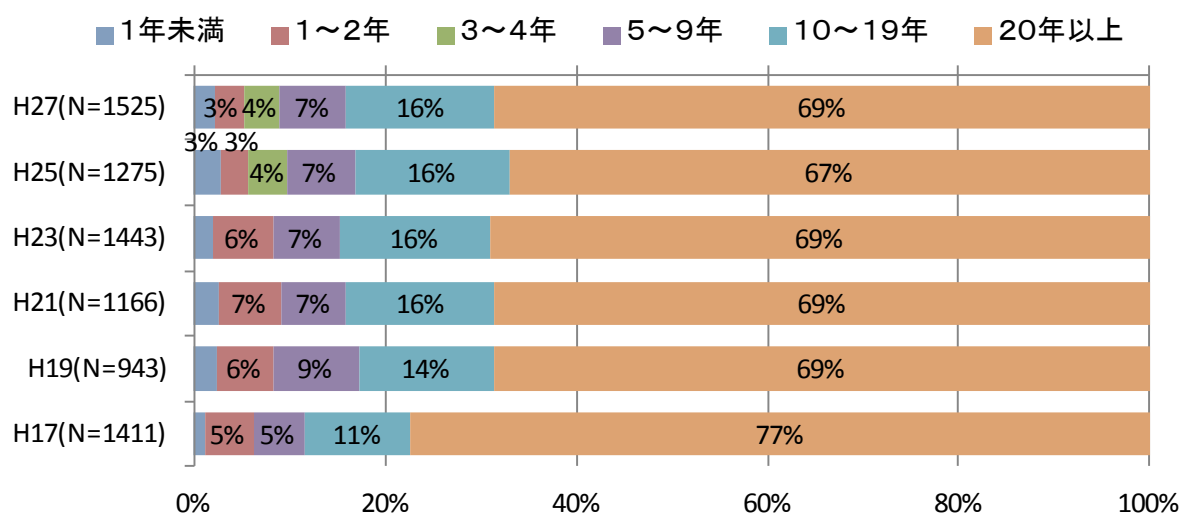
◆「親と子と孫」は H25 と比べて 6 ポイント低くなっています。



問 7 能美市での居住年数（旧 3 町時代含む）

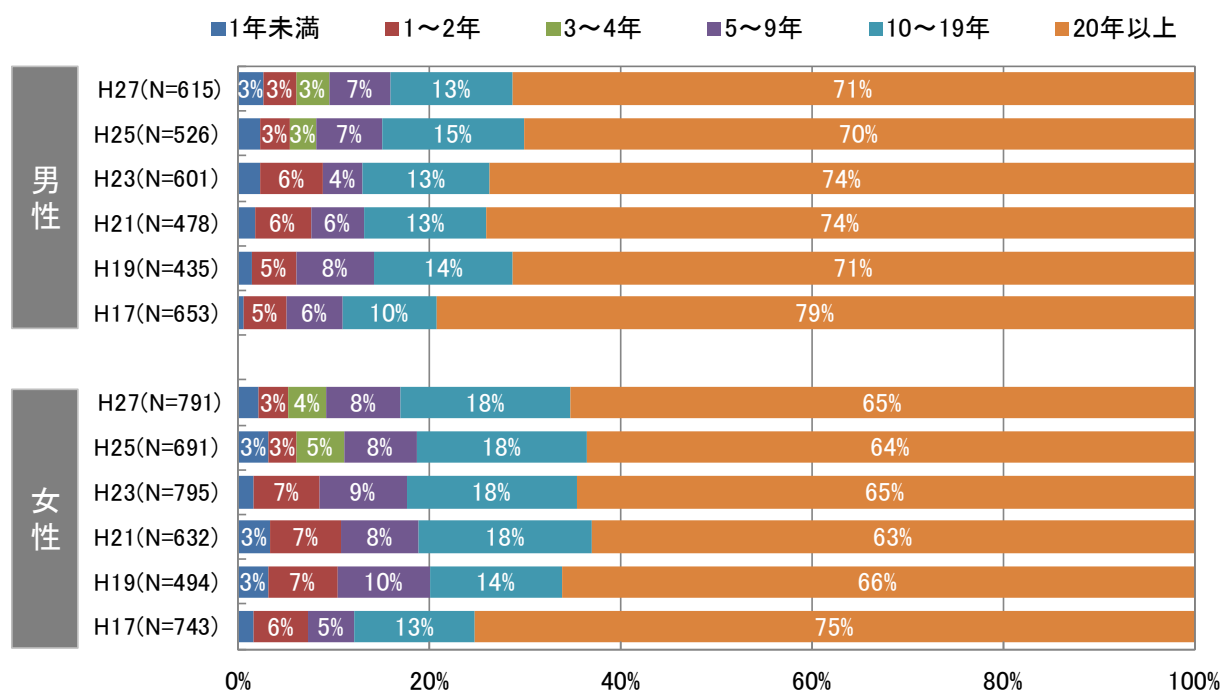
◆「20 年以上」が 69%と最も多く、次いで「10～19 年」16%となっており、10 年以上居住している方が約 9 割を占めています。

◆「20 年以上」が H17 から H19 にかけて 8 ポイント減少していますが、それ以降大きな変化はみられません。



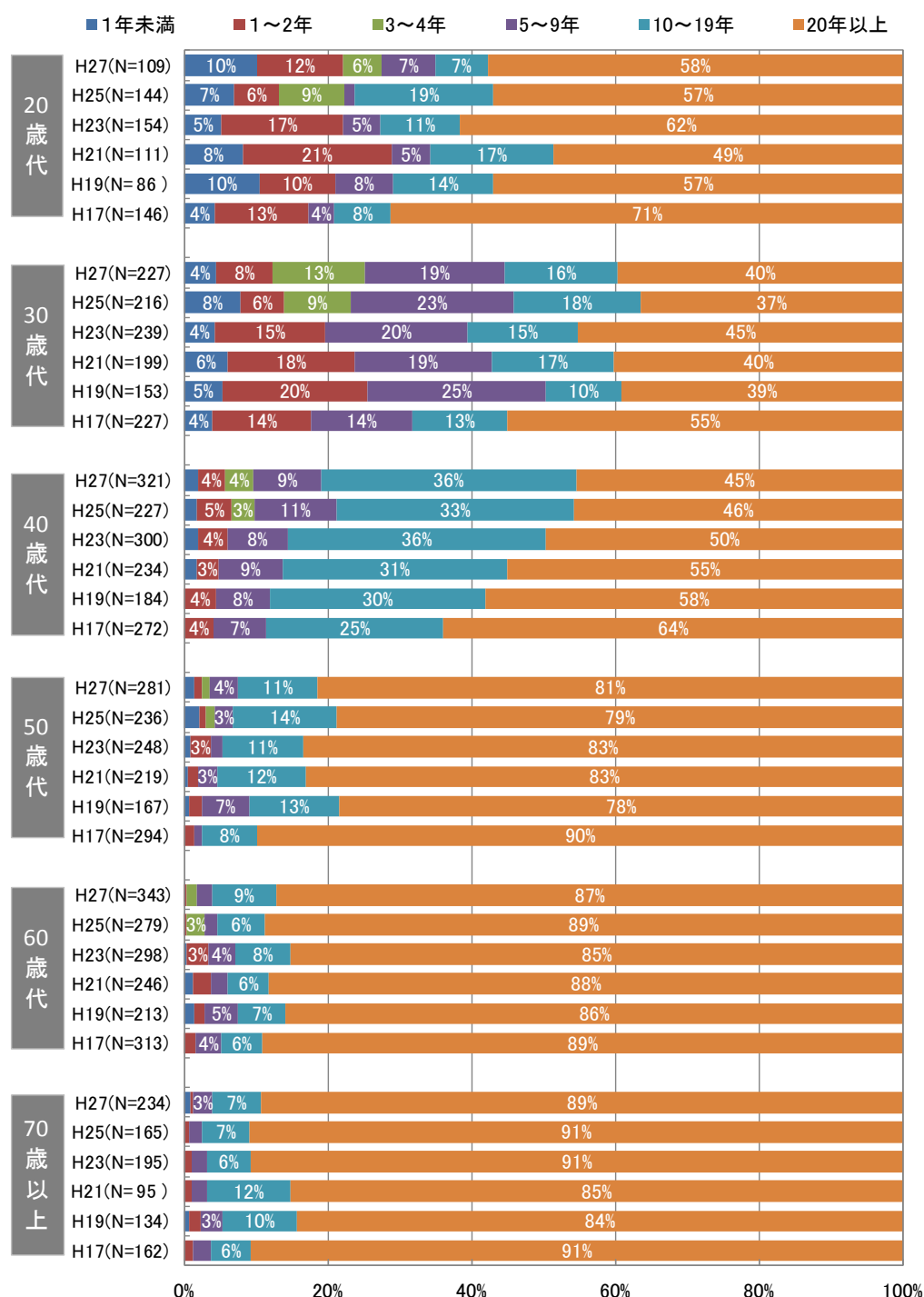
■能美市での居住年数（性別）

- ・男性は「20 年以上」が 71%と女性より 6 ポイント高くなっています。
- ・女性は「10～19 年」が男性より 3 ポイント高くなっています。
- ・男女共に H17 から H19 にかけて「20 年以上」が 8 ポイント以上減少しましたが、それ以降大きな変化はみられません。



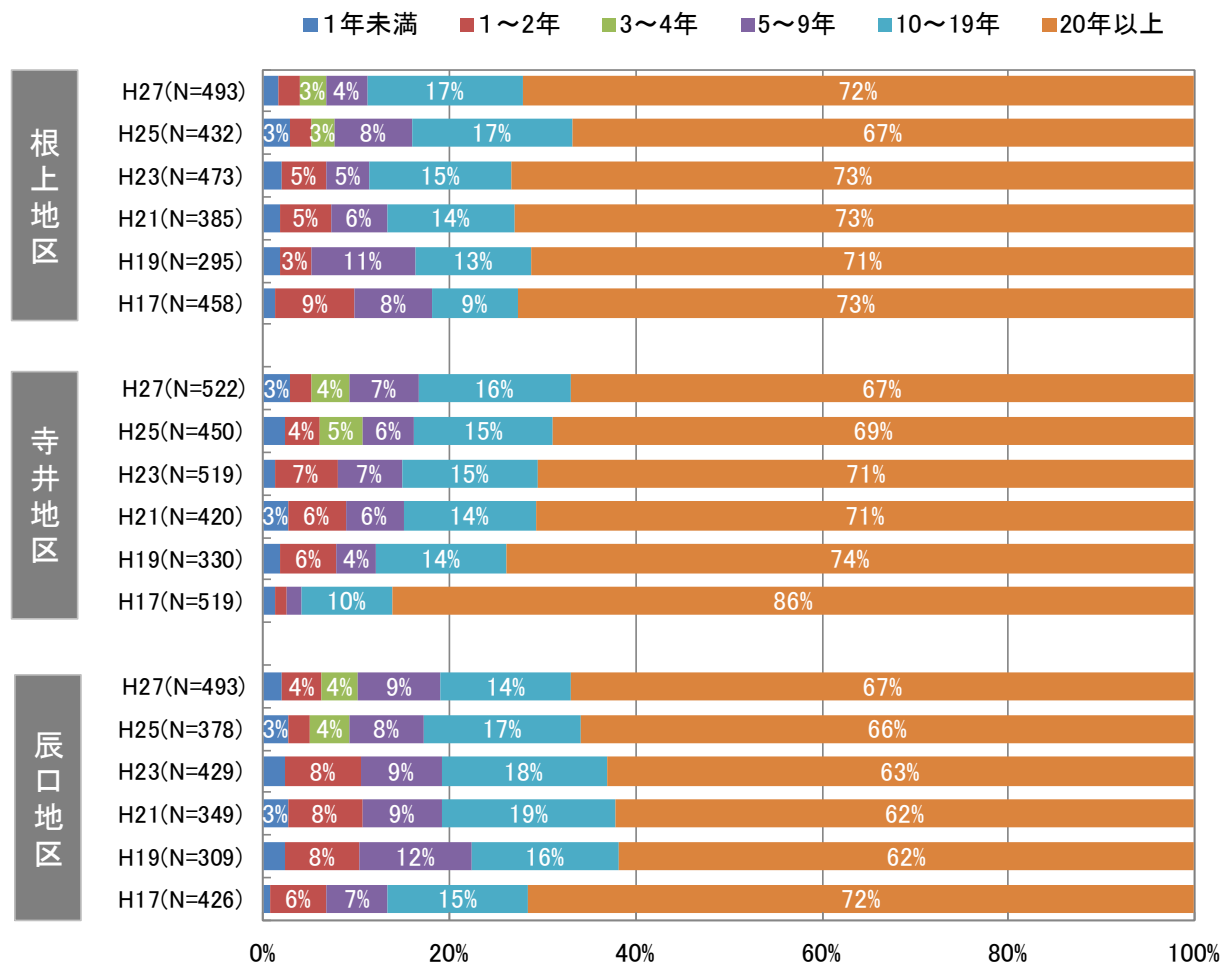
■能美市での居住年数（年代別）

- ・年齢が低いほど「1年未満」や「1～2年」「3～4年」が多くなっており、20～30歳代では約3割を占めています。
- ・30歳代は「5～9年」が19%と、他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。
- ・40歳代は「10～19年」が36%と、他の年代と比べて20ポイント以上高くなっています。
- ・50歳代以上は「20年以上」が約8割を占めており、60歳以上は約9割を占めています。



■能美市での居住年数（地区別）

- ・ 3 地区共に「20 年以上」がそれぞれ約 7 割となっています。
- ・ 寺井と辰口は、H17 から H19 にかけて「20 年以上」が 10 ポイント以上低くなっていますが、3 地区共に、H19 以降はあまり変化がみられません。

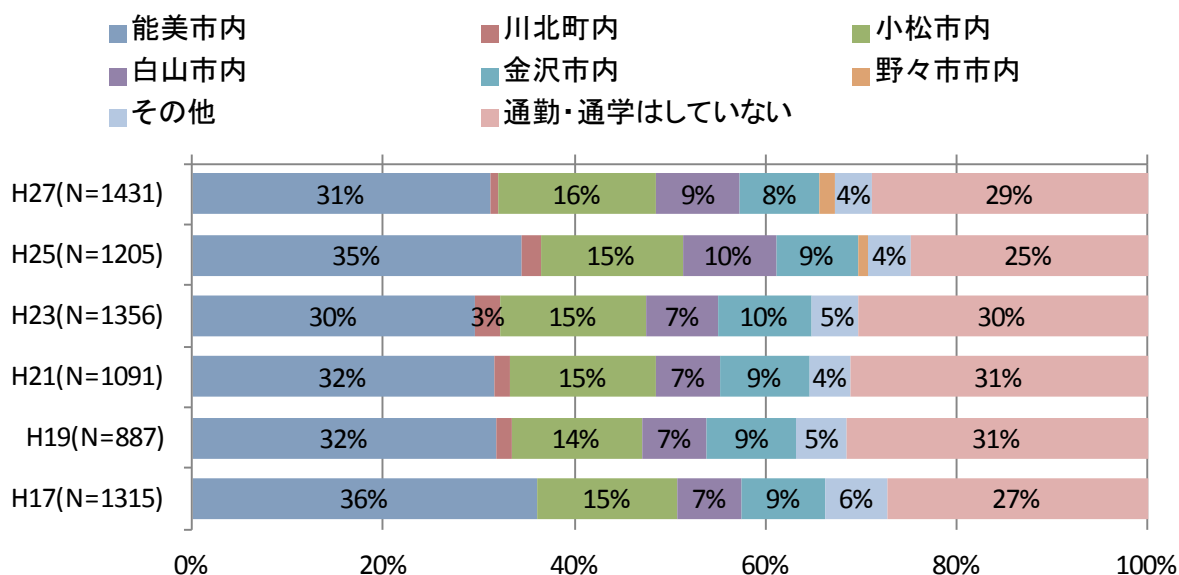


※「3～4 年」は H25 より追加

問 8 通勤・通学先

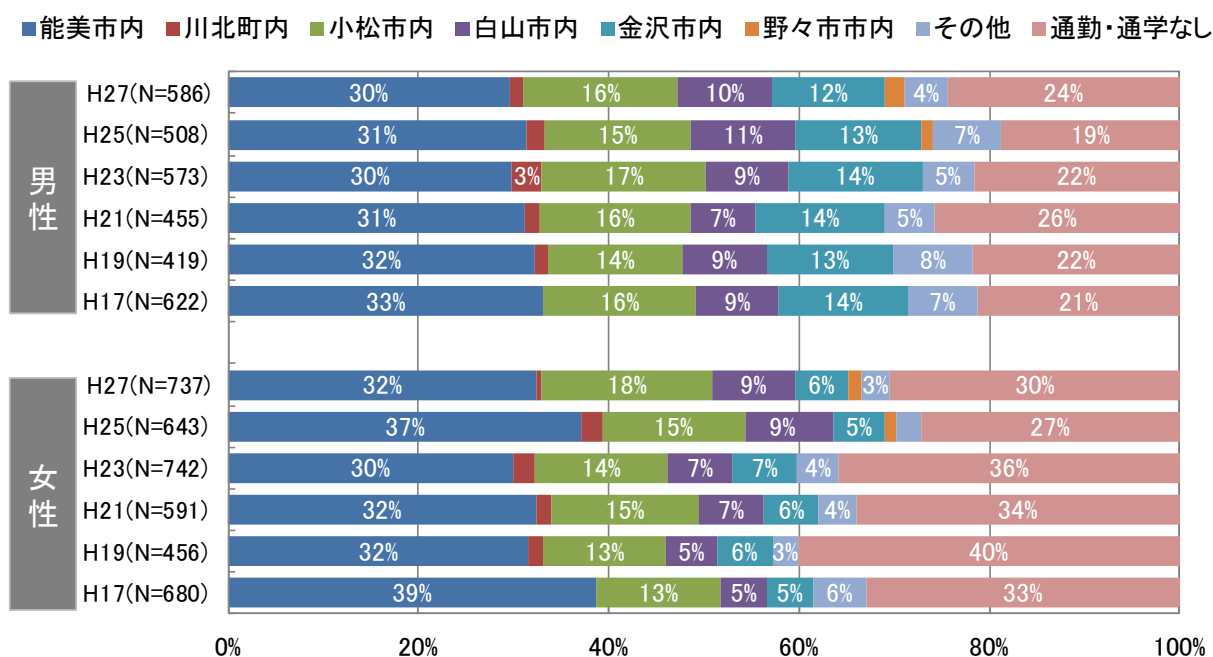
◆「能美市内」が 31%と最も多く、次いで「通勤・通学はしていない」が 29%、「小松市内」が 16%となっています。

◆「能美市内」が H25 に比べて 4 ポイント低くなっています。



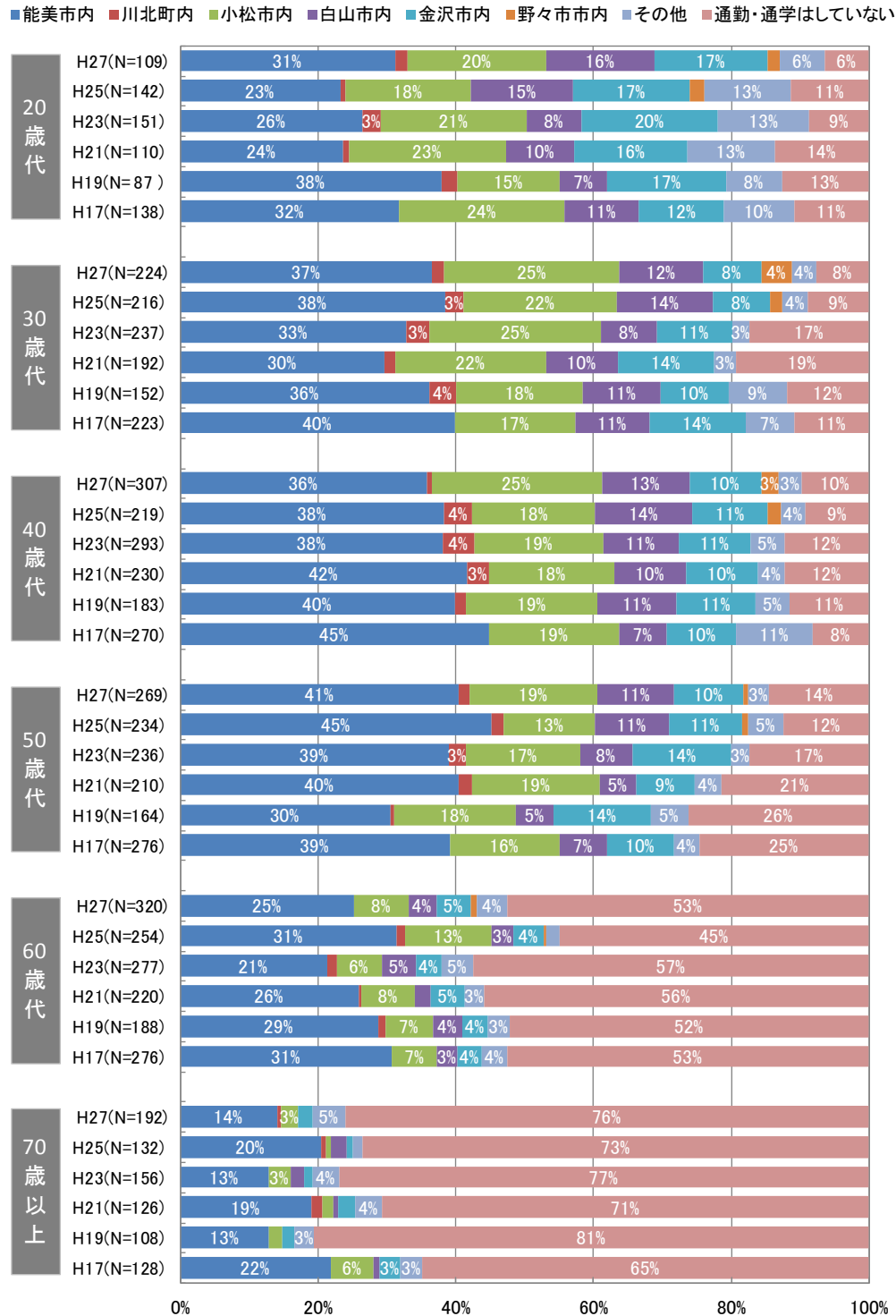
■通勤・通学先（性別）

- ・男性は「金沢市内」が女性より 6 ポイント高くなっています。
- ・女性は「通勤・通学なし」が男性より 6 ポイント高くなっています。



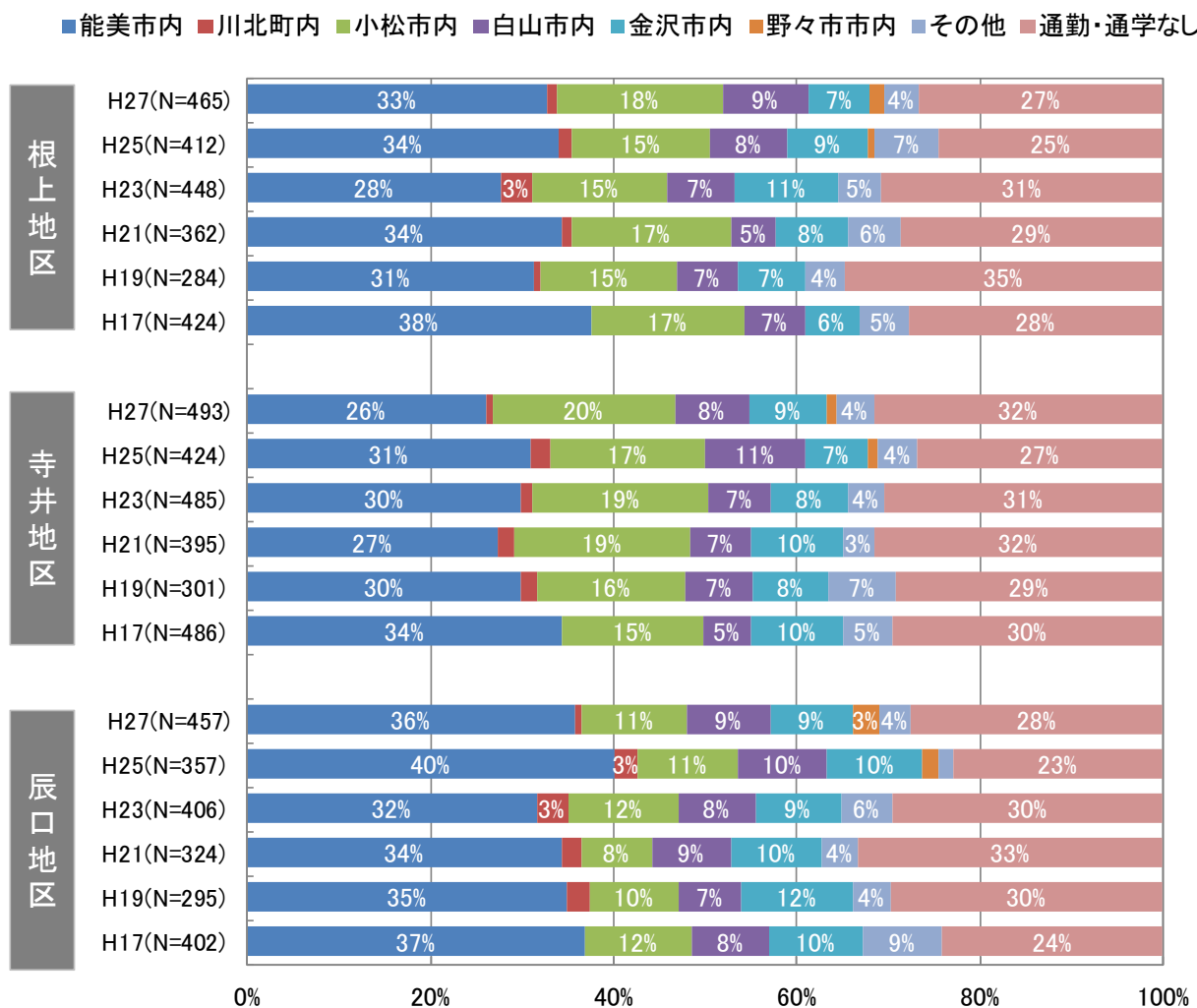
■通勤・通学先（年代別）

- ・ 20 歳代から 50 歳代は「能美市内」、60 歳以上は「通勤・通学なし」が最も多くなっています。
- ・ 20 歳代から 50 歳代は「小松市内」が増加傾向にあります。



■通勤・通学先（地区別）

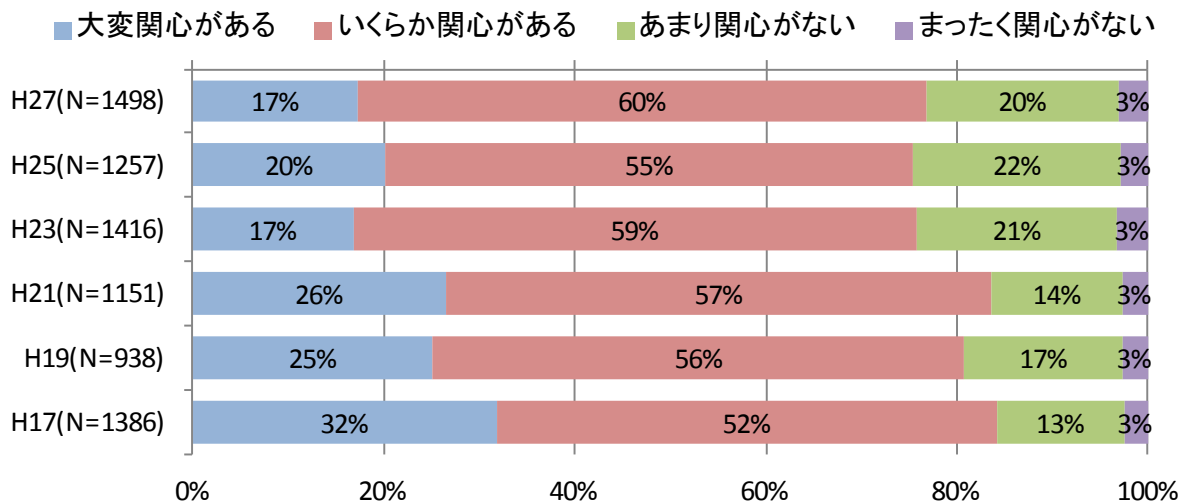
- ・ 3 地区共に、「能美市内」がそれぞれ減少し、「通勤・通学なし」がそれぞれ増加傾向にあります。
- ・ 根上、寺井は「小松市内」が H25 に比べて 3 ポイント高くなっています。
- ・ 寺井、辰口は「通勤・通学なし」が H25 に比べて 5 ポイント高くなっています。



問 9 能美市の行政に関心がありますか？

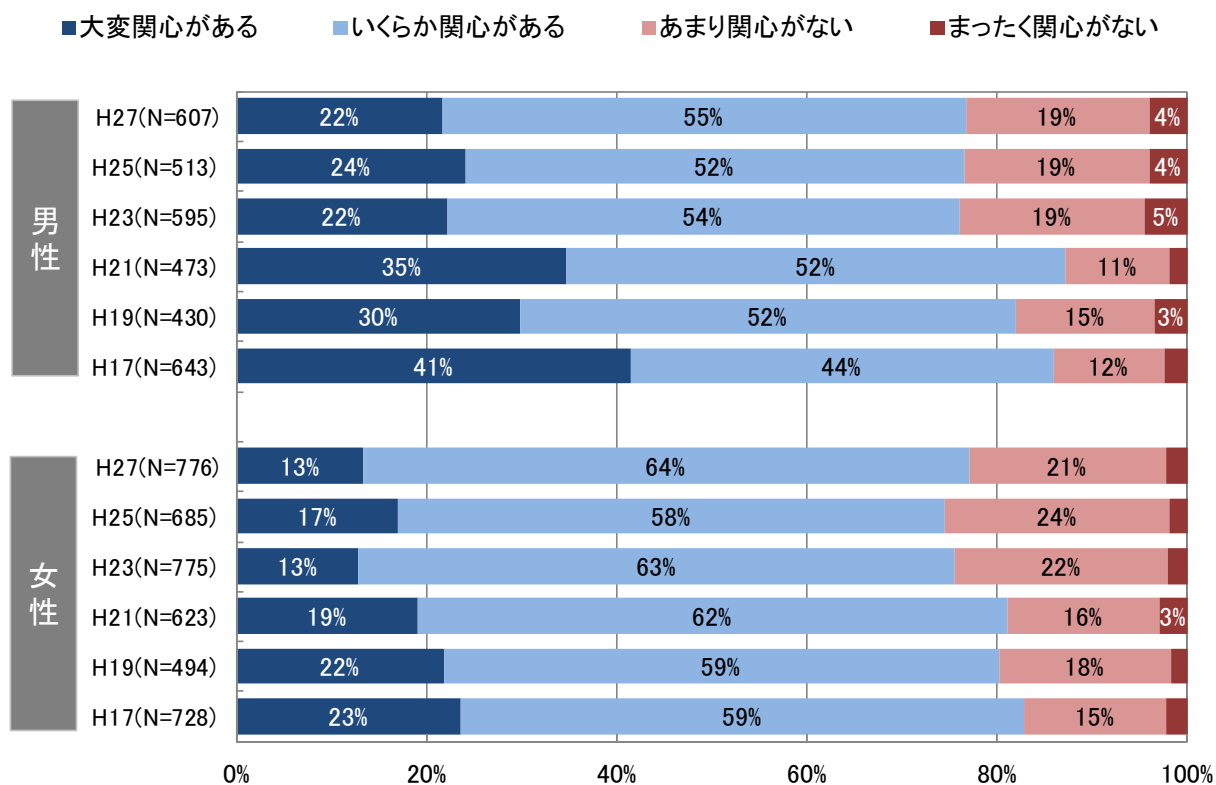
◆「いづらか関心がある」が 60%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が 20%、「大変関心がある」が 17%となっており、市政に関心のある方が約 8 割を占めています。

◆H17、H19、H21 の「大変関心がある」「いづらか関心がある」の合計は大きな差がみられませんが、H23 以降は 4 ポイント以上減少しています。



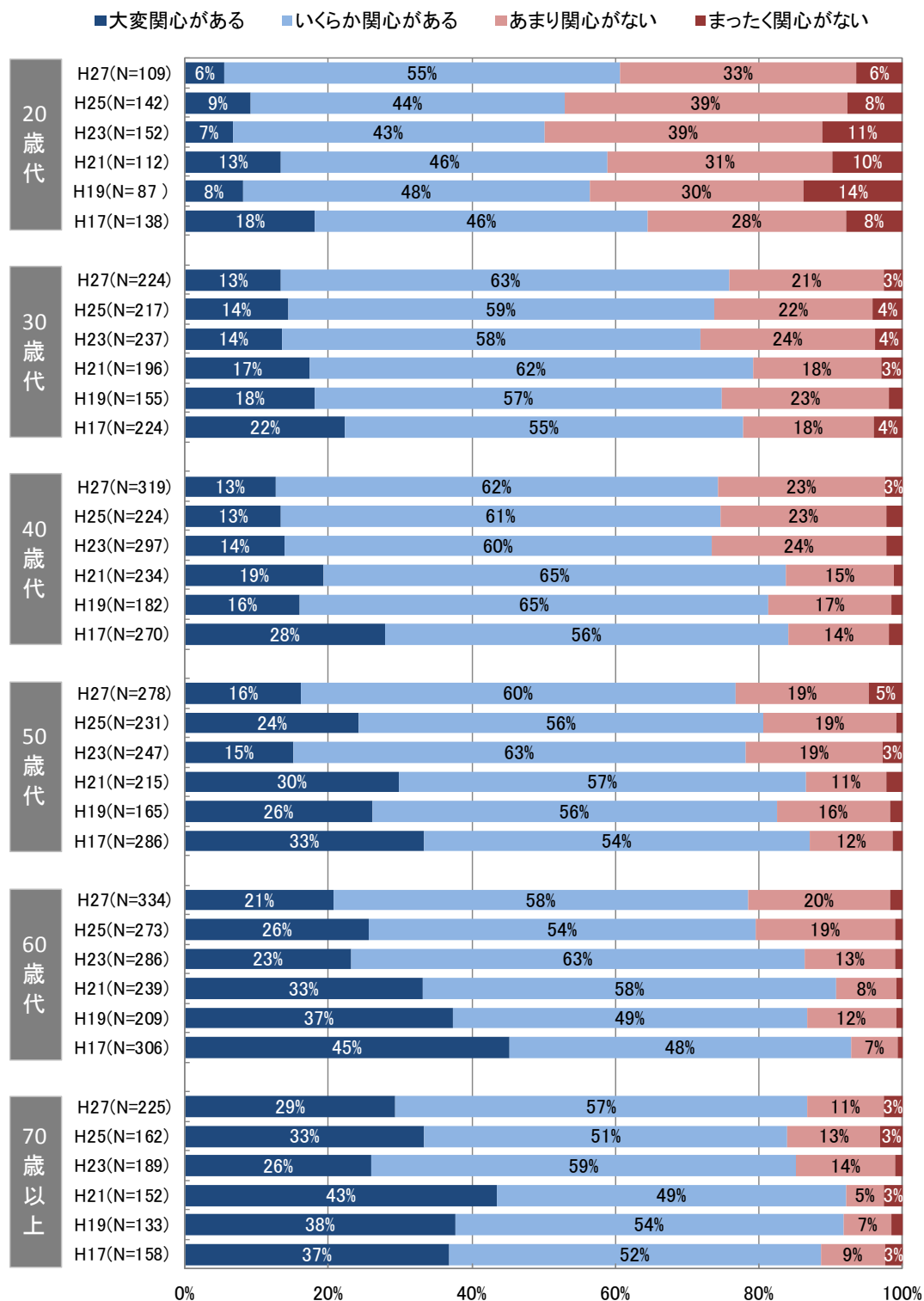
■ 市政への関心（性別）

- ・男性は「大変関心がある」が 22%と女性より 9 ポイント高くなっています。
- ・男女共に「大変関心がある」が、H25 に比べて減少傾向にあります。



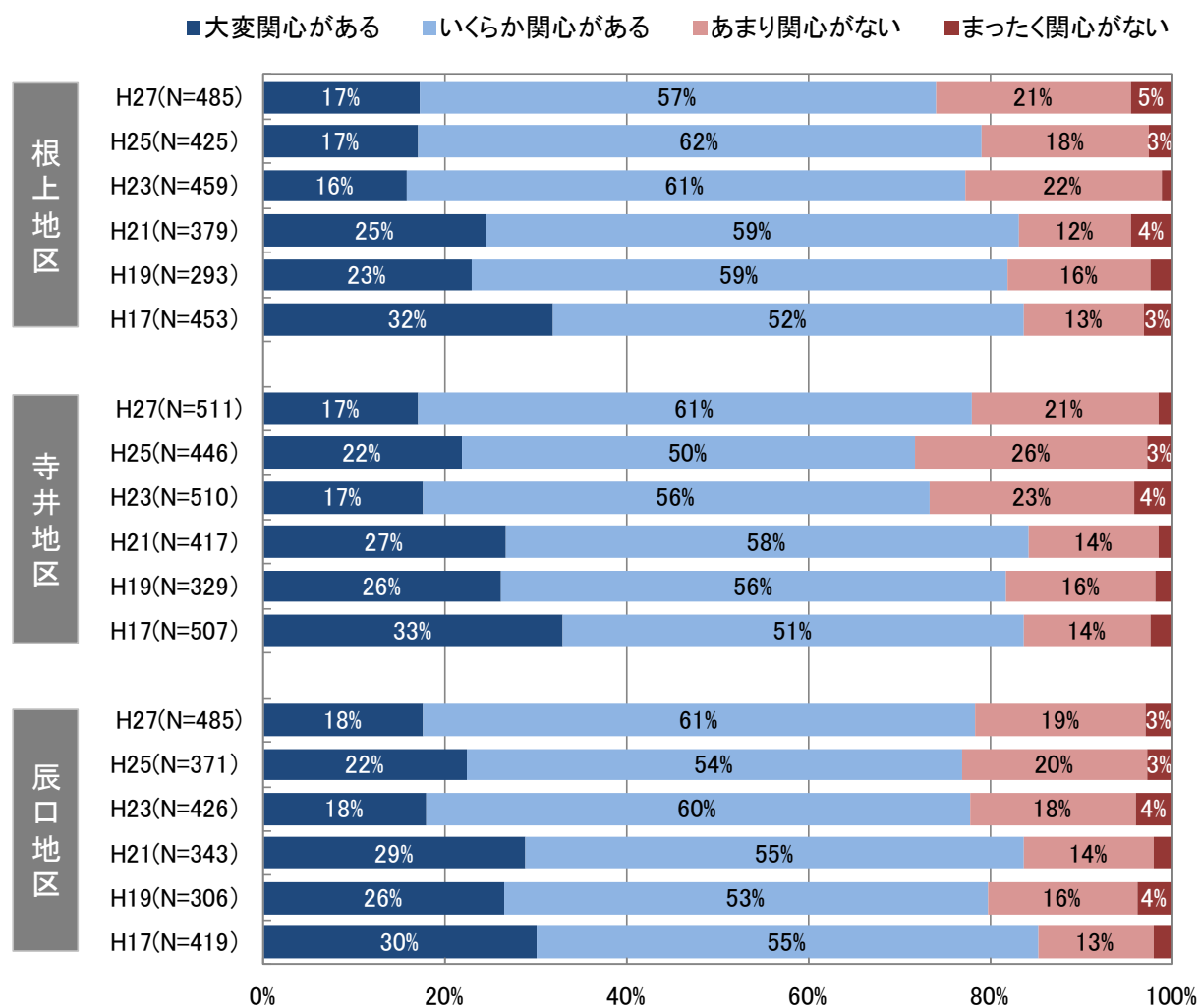
■ 市政への関心（年代別）

- ・年代が高くなるほど「大変関心がある」や「いづらか関心がある」が多くなり、市政への関心が高くなっています。一方で、年代が若いほど関心は低く、20 歳代は「あまり関心がない」が他の年代と比べ 10 ポイント以上高くなっています。
- ・40 歳代以外は、H25 に比べて「大変関心がある」が減少しており、特に 50 歳代は 8 ポイント、60 歳代は 5 ポイントと大きく減少しています。



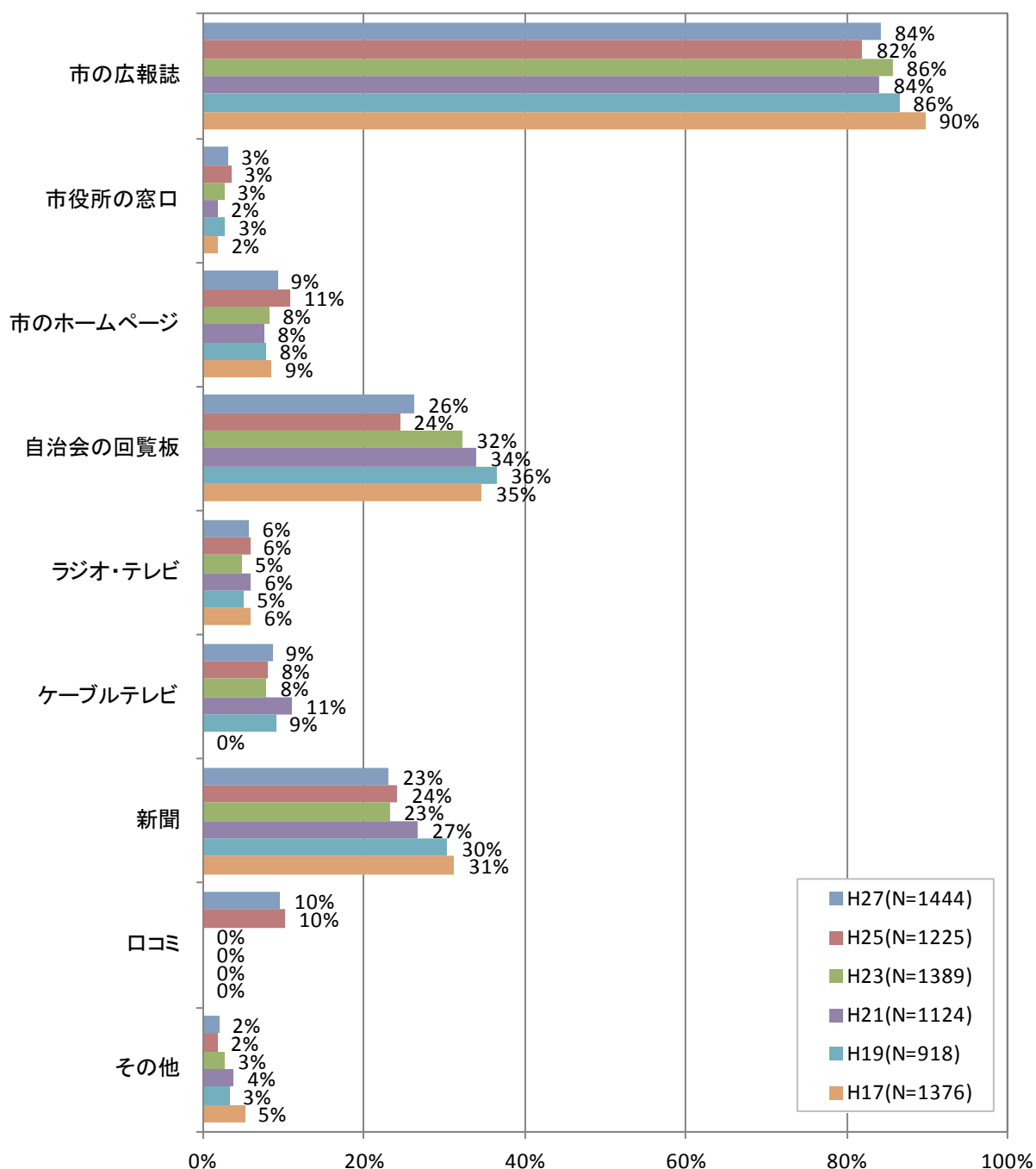
■ 市政への関心（地区別）

- ・「大変関心がある」「いづらか関心がある」の合計は、根上で 5 ポイント減少、寺井は 6 ポイント増加、辰口はあまり変化がみられません。
- ・全ての地区で「あまり関心がない」「まったく関心がない」の合計が約 2 割を占めています。
- ・寺井、辰口は「いづらか関心がある」が H25 に比べて 7 ポイント以上増加しています。一方「大変関心がある」が 4 ポイント以上減少しています。



問 10 市政情報の主な入手方法は何ですか？（主な 2 つに○）

- ◆「市の広報誌」が 84%と最も多く、次いで「自治会の回覧板」が 26%、「新聞」が 23%となっています。
- ◆「市役所の窓口」「市のホームページ」「ラジオ・テレビ」「ケーブルテレビ」はそれぞれ 1 割未満となっています。

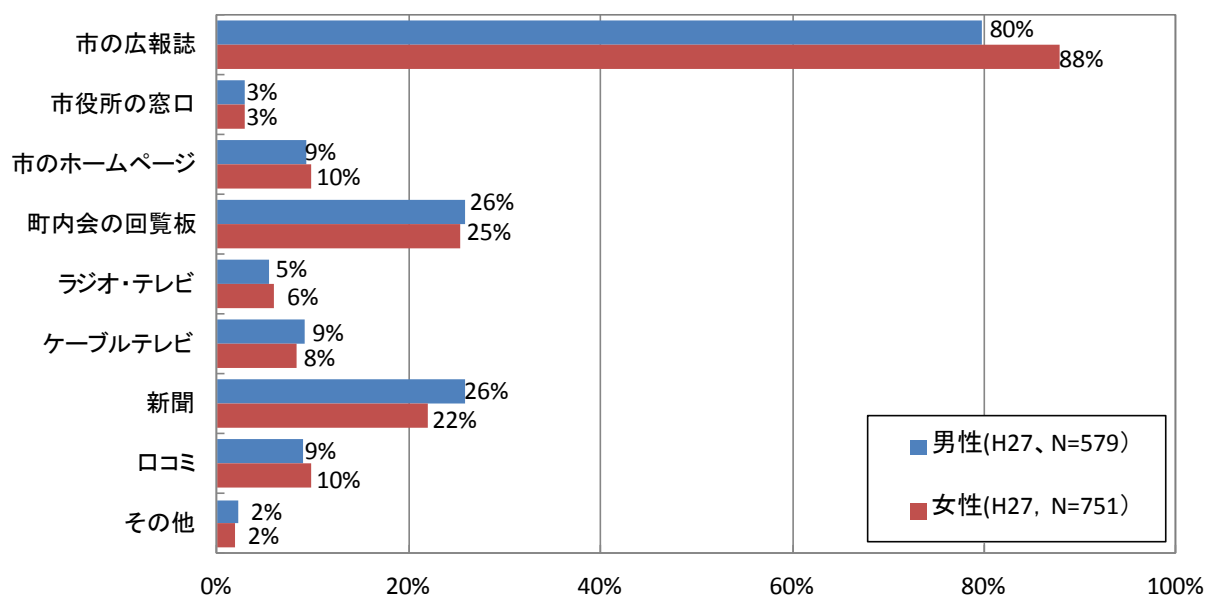


※「ケーブルテレビ」はH17には調査項目なし、「口コミ」はH25より追加

■ 市政情報の入手方法（性別）

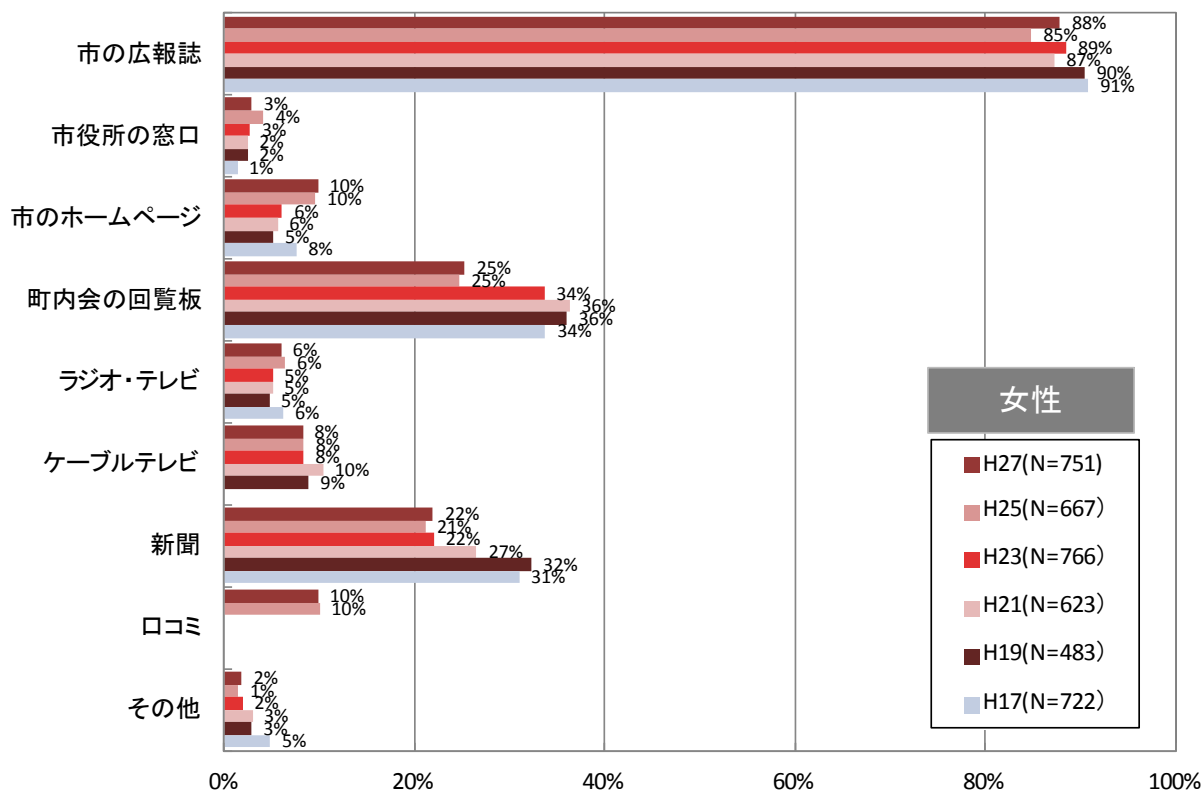
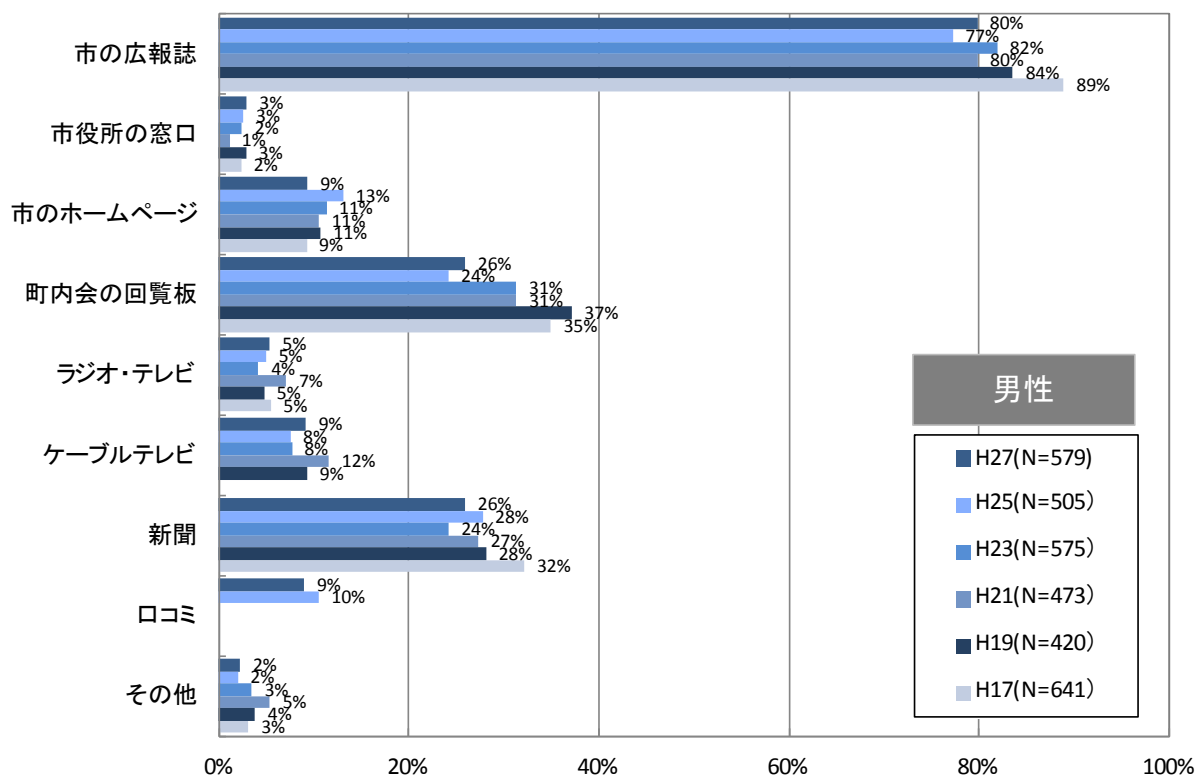
【今回（H27）】

- ・男女共に「市の広報誌」が 8 割以上を占めており、女性は男性よりも 8 ポイント高くなっています。
- ・男性は「新聞」が 26%と、女性より 4 ポイント高くなっています。



【経年変化】

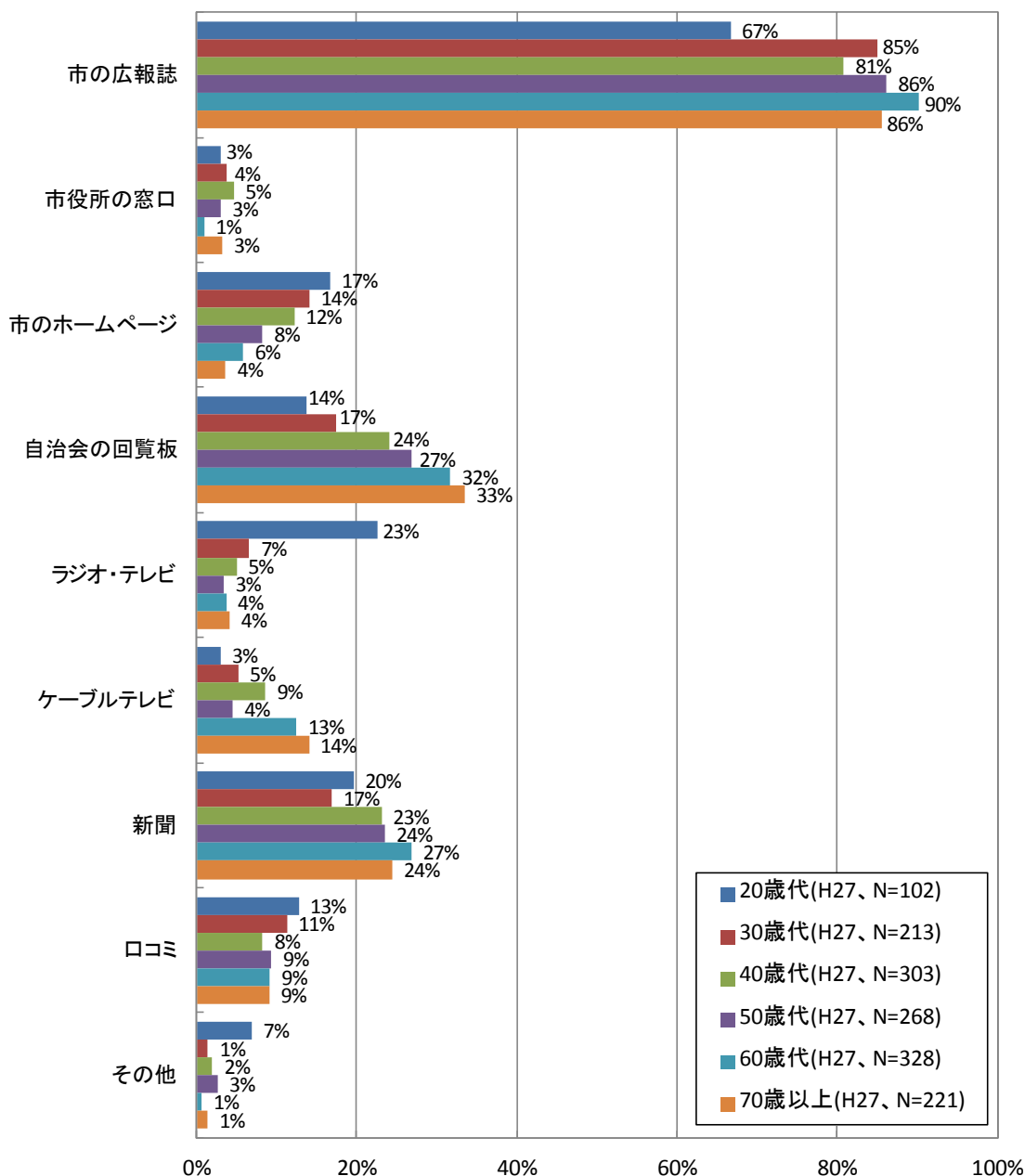
- ・男女共に「市の広報誌」が H25 に比べて増加しています。



■ 市政情報の入手方法（年代別）

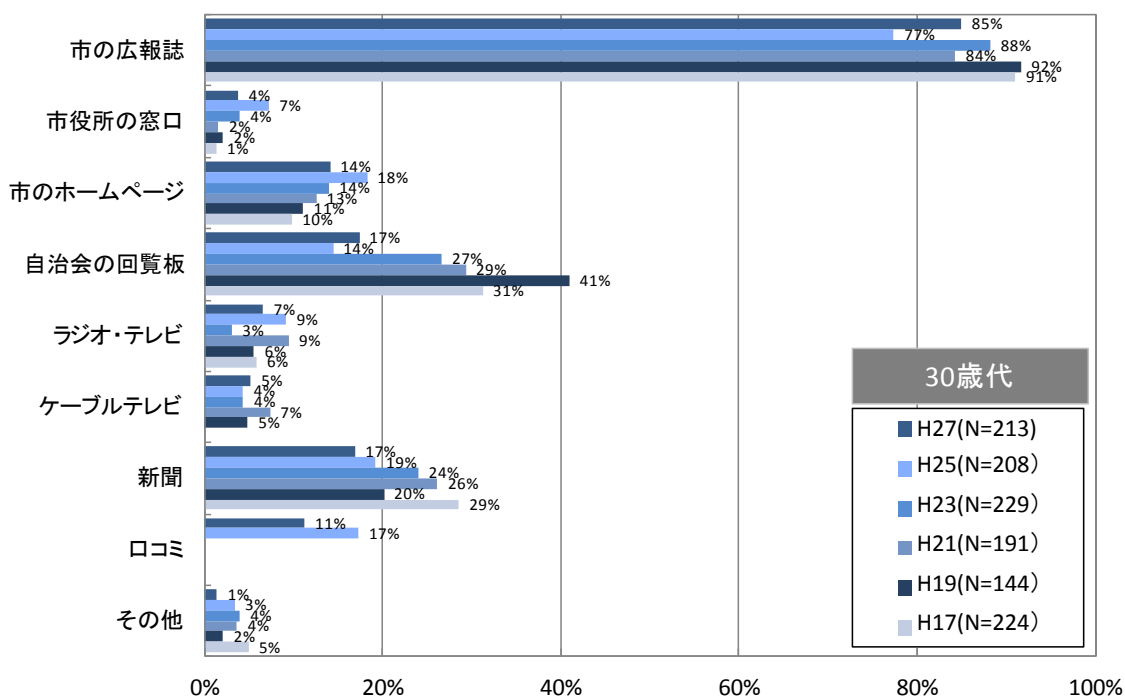
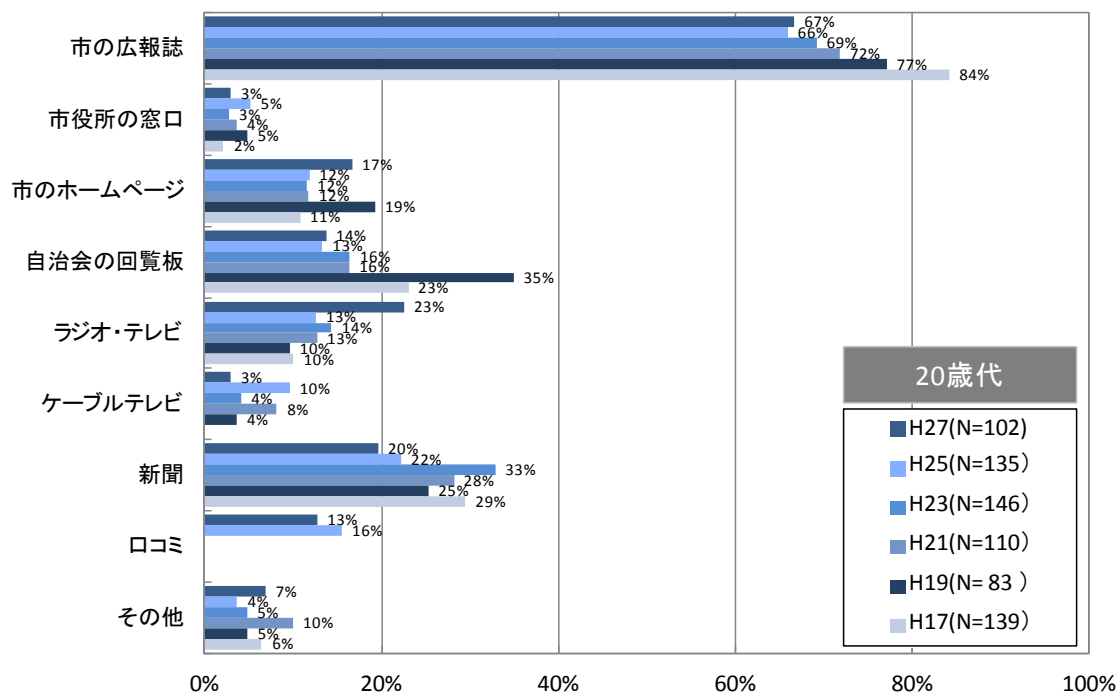
【今回（H27）】

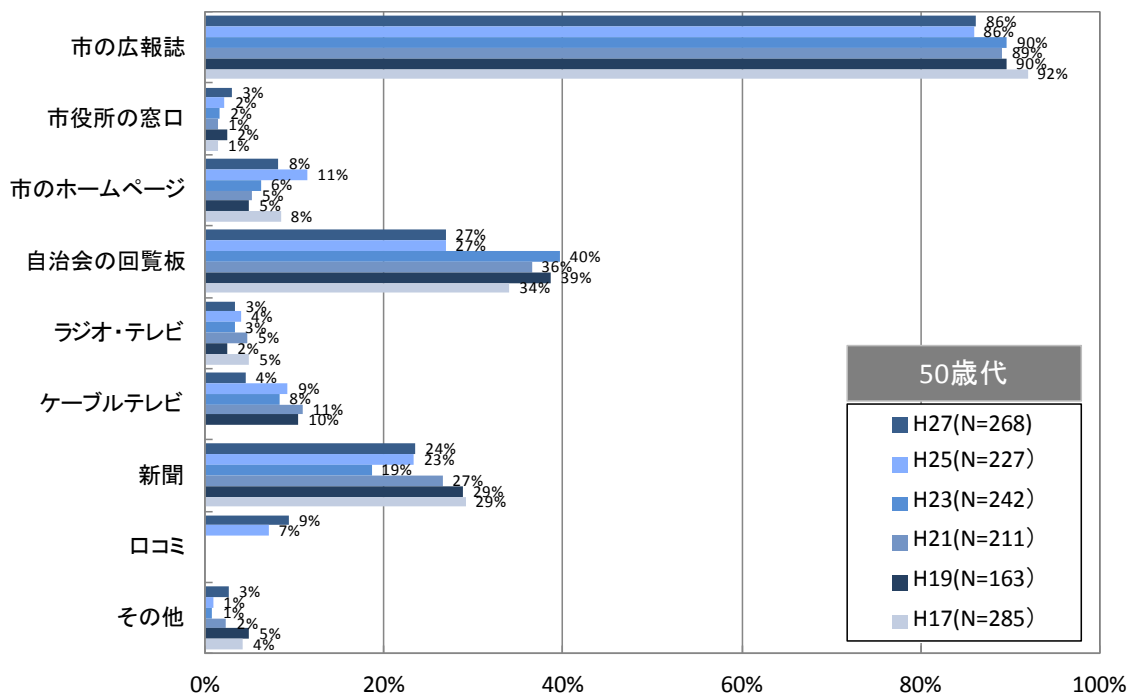
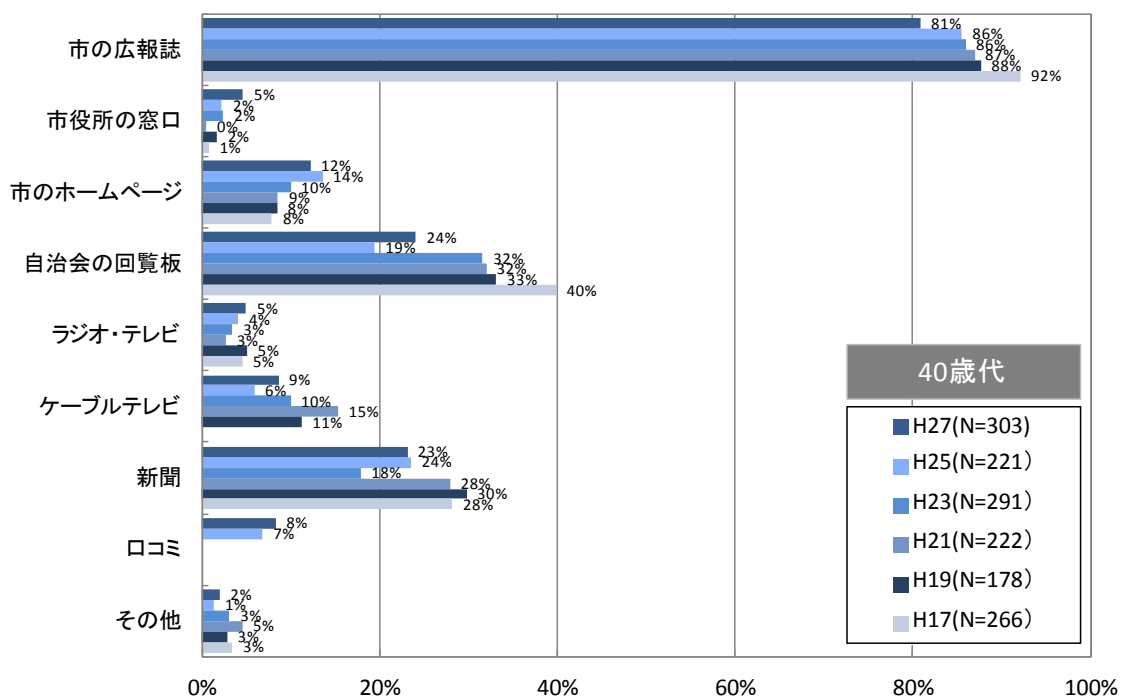
- ・どの年代においても「市の広報誌」が最も多くなっていますが、20 歳代は他の年代と比べて 14 ポイント以上低くなっています。
- ・20～40 歳代は「市のホームページ」が 1 割以上となっていますが、年代が上がるほど減少しています。
- ・60 歳以上は「自治会の回覧板」が約 3 割と多くなっていますが、40 歳代以下は年代が下がるほど減少しており、特に 20 歳代は 60 歳代より 19 ポイント低くなっています。

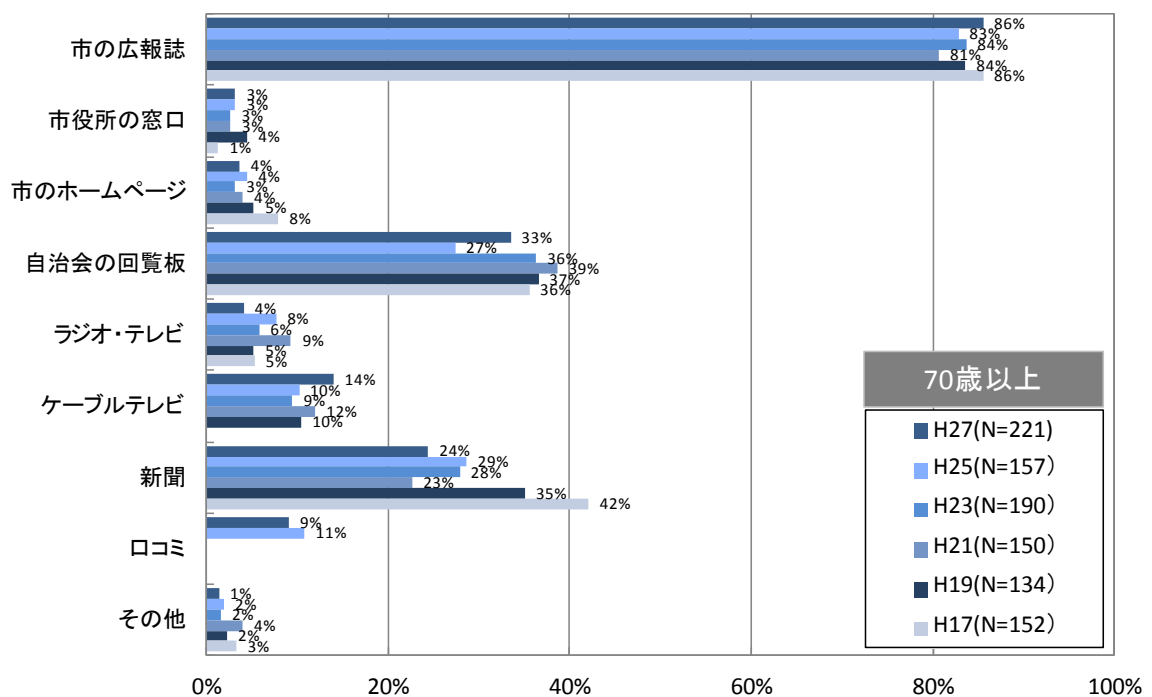
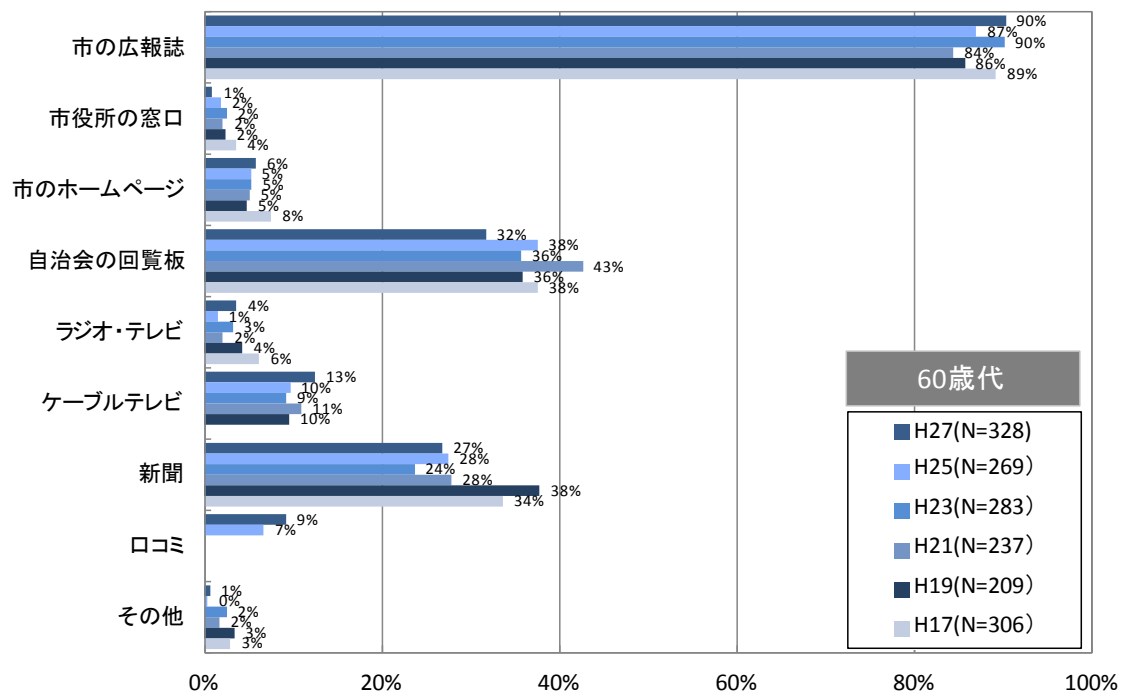


【経年変化】

- ・ 20 歳代は「市の広報誌」が H17 以降減少傾向にあります。
- ・ 50 歳代以外は「新聞」が H25 に比べて減少しています。
- ・ 50 歳代、60 歳代以外は「自治会の回覧板」が H25 に比べて増加しています。



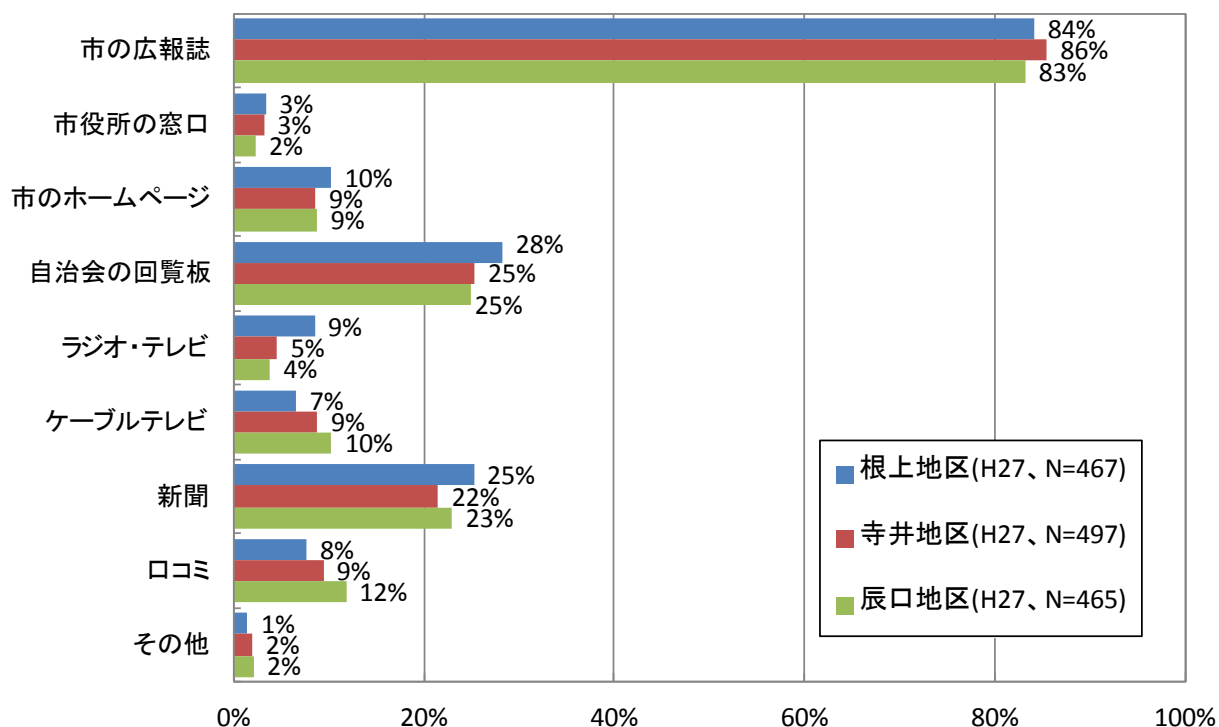




■ 市政情報の入手方法（地区別）

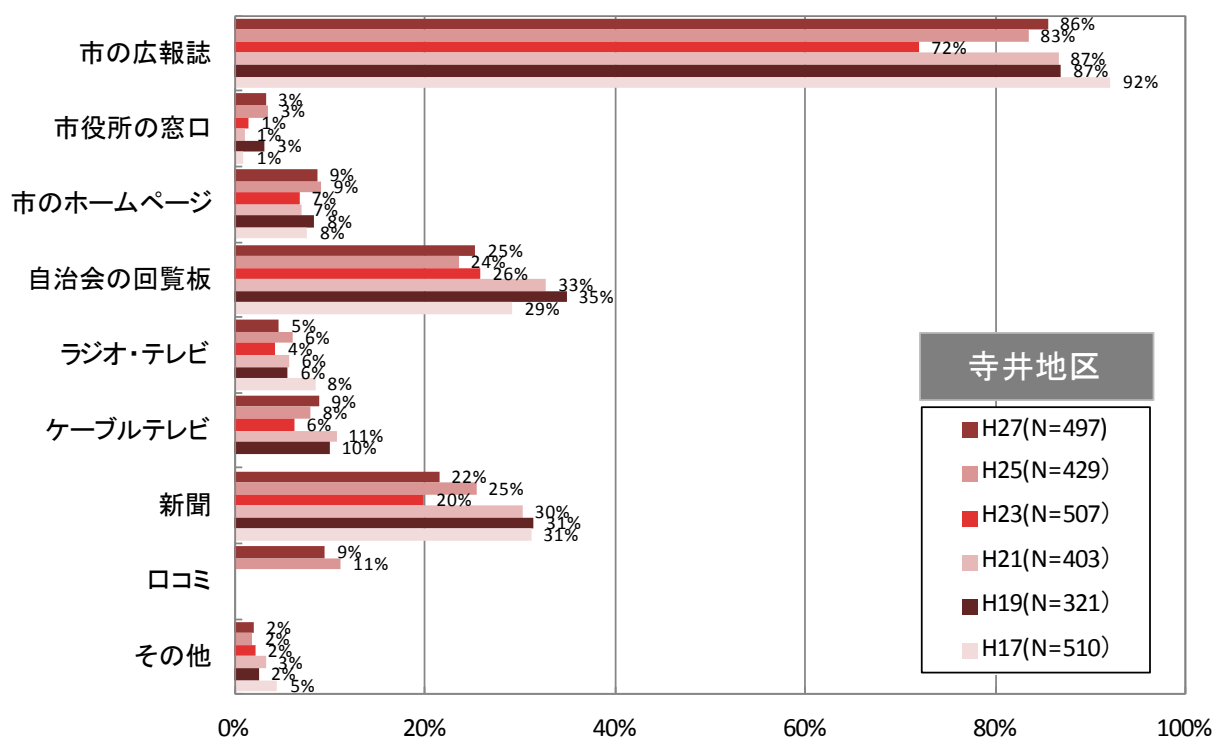
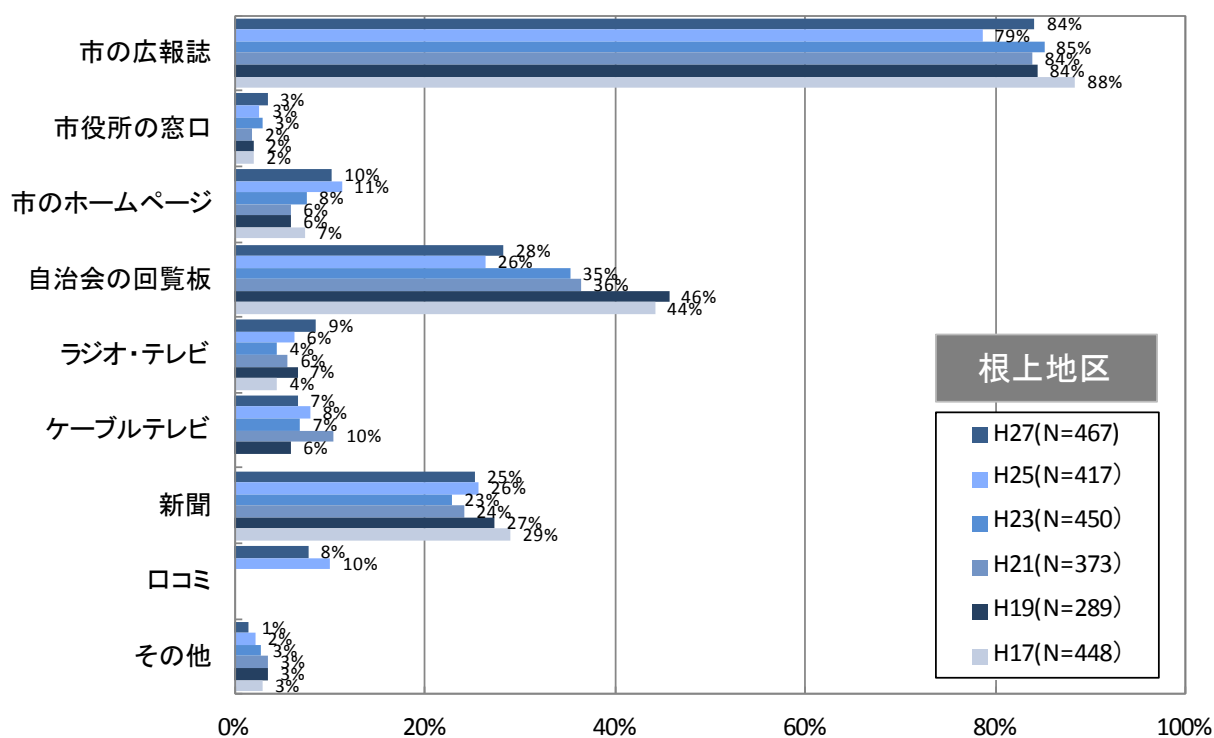
【今回（H27）】

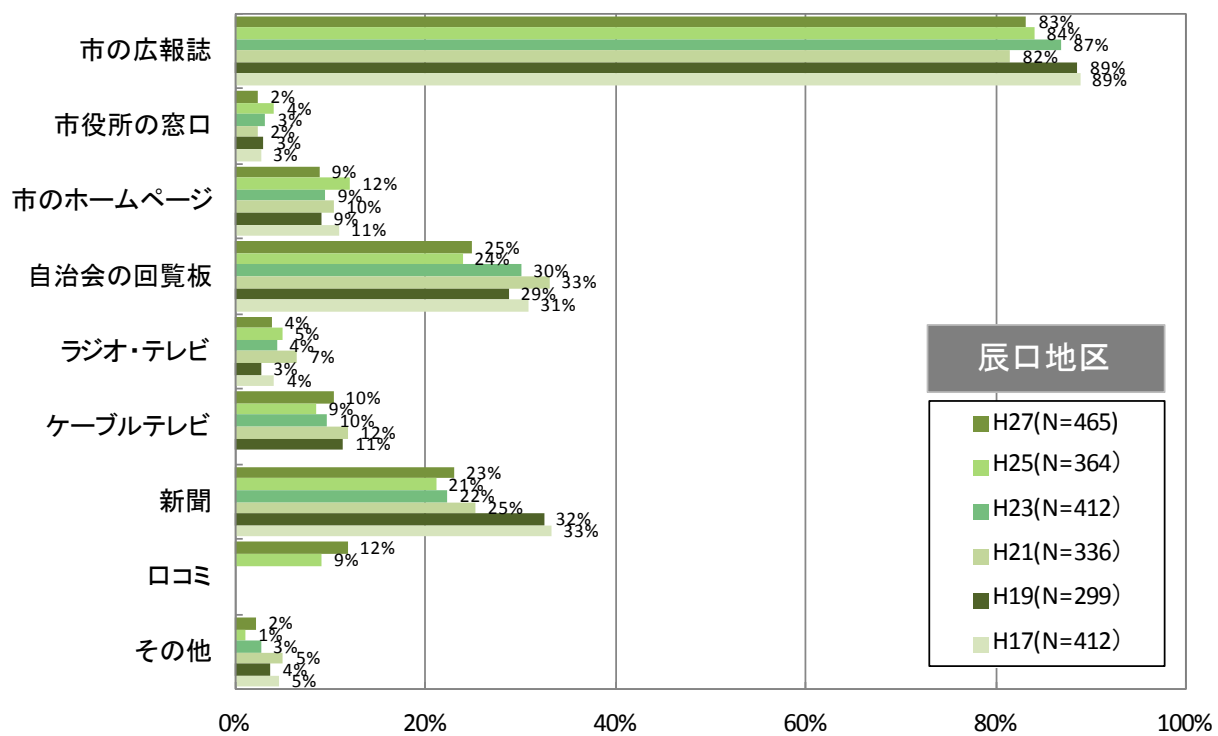
- ・ 全ての地区の 8 割以上が「市の広報誌」から市政情報を入手しています。
- ・ 根上は「自治会の回覧板」が 28% と他の地区より 3 ポイント高くなっています。



【経年変化】

- ・地区別ではあまり大きな変化は見られません。





(2) 能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について

問 11

能美市の取り組みについて、「あなたの満足度」はどのくらいですか。また、「さらに取り組みを進めることは、能美市にとってどのくらい重要である」と考えますか。

- 第一次能美市総合計画で示している 52 の施策について、満足度と重要度の評価点を算出しました。
- また、能美市における施策全体の総合評価（満足度）を算出しました。

◆評価点の算出について

- ・満足度と重要度については、下記の計算式にあるように数段階の評価に点数を与え、評価点を算出しています。ただし、無回答については除外しました。
- ・点数が高いほど満足度、重要度が高く、反対に点数が低いほど満足度、重要度は低くなります。

【評価点の算出式】

満足度評価点＝{ 満足である×(2点)＋やや満足である×(1点)＋やや不満である×(－1点)＋不満である×(－2点)＋わからない×(0点)}÷ 回答者数

重要度評価点＝{ 重要である×(2点)＋やや重要である×(1点)＋あまり重要でない×(－1点)＋重要でない×(－2点)}÷ 回答者数

◆全体的な考察

- ・「能美市における施策全体の総合評価」は 0.38 となり、市民の満足度が着実に高まっています。
- ・満足度の点数がマイナスになっている項目は、「人や自転車にやさしい道路の整備」、「農林業の振興」、「商業の振興、商店街の活性化」、「労働環境の向上・支援」、「効率的な行政運営の取り組み」の 5 項目であり、その他の項目はプラス評価となっていることから、総じて市民の満足度は高いと言えます。
- ・満足度と重要度の関係から、満足度が低く重要度が高い『優先的に改善すべき項目』（弱み）は、「生活に身近な公園や緑地の整備」、「人や自転車にやさしい道路の整備」、「公共交通網の整備」、「社会保障の取り組み」、「効率的な行政運営の取り組み」の 5 項目となっています。一方、満足度・重要度共に高い『現状を維持・向上すべき項目』（強み）としては、子育て支援や高齢者福祉、地域福祉等の福祉関連施策をはじめ、上下水道等の都市基盤、自然環境、医療、学校教育、景観、工業振興などが挙げられています。
- ・平成 25 年度調査結果と比較すると、「環境に配慮した取り組み」が満足度・重要度共に評価点が低下していますが、それ以外ではほとんどの施策項目で評価が上がっており、「地区ごとの拠点づくり」については満足度・重要度共に 0.1 以上の増加がみられます。

■満足度と重要度の評価点の相関

・満足度が低く重要度が高い『優先的に改善すべき項目』は、次の5項目となっています。

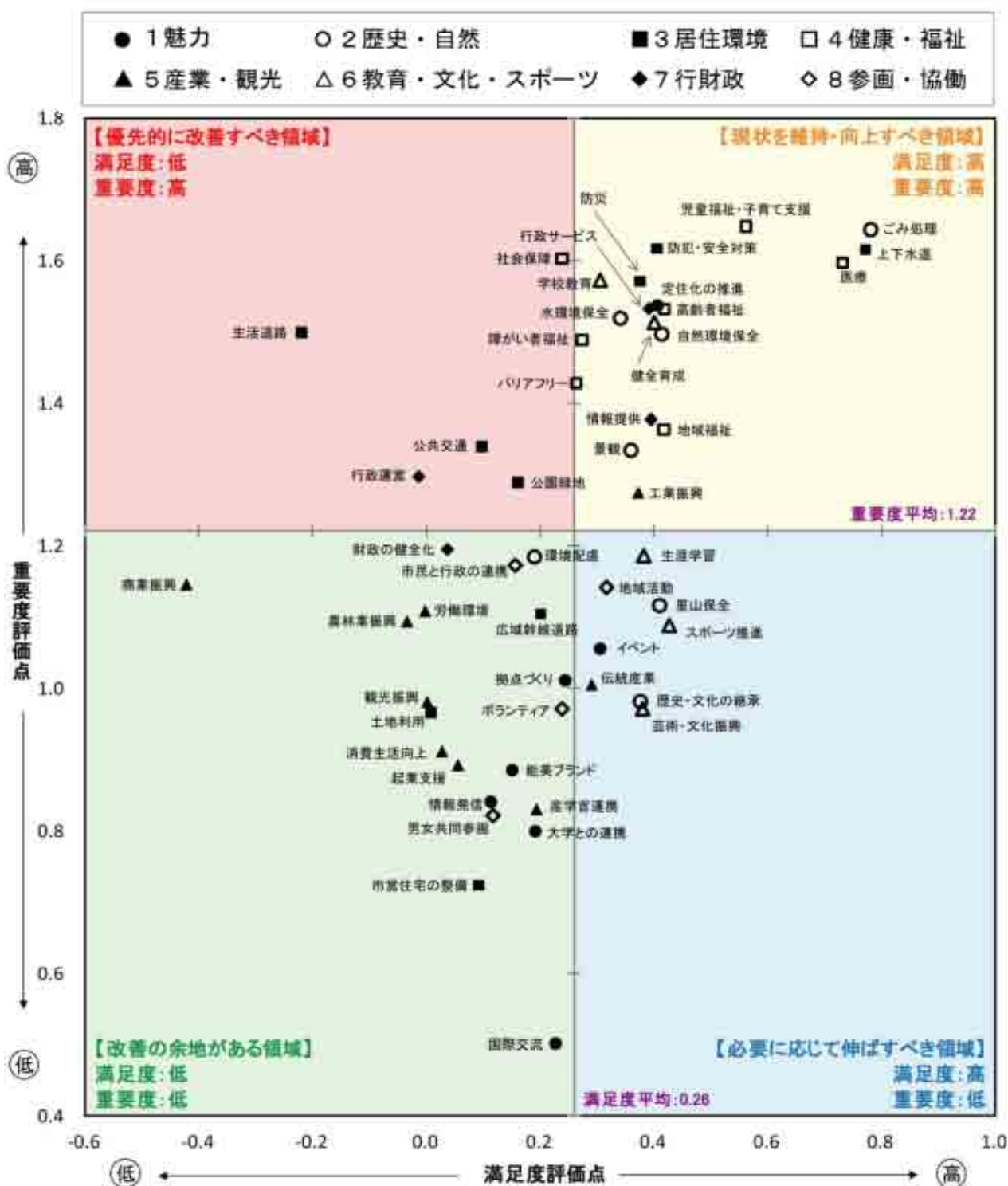
《居住環境》①生活に身近な公園や緑地の整備／⑤人や自転車にやさしい道路の整備／

⑥公共交通網の整備

《健康・福祉》⑦社会保障の取り組み

《行財政》⑤効率的な行政運営の取り組み

【満足度－重要度グラフ（H27）】

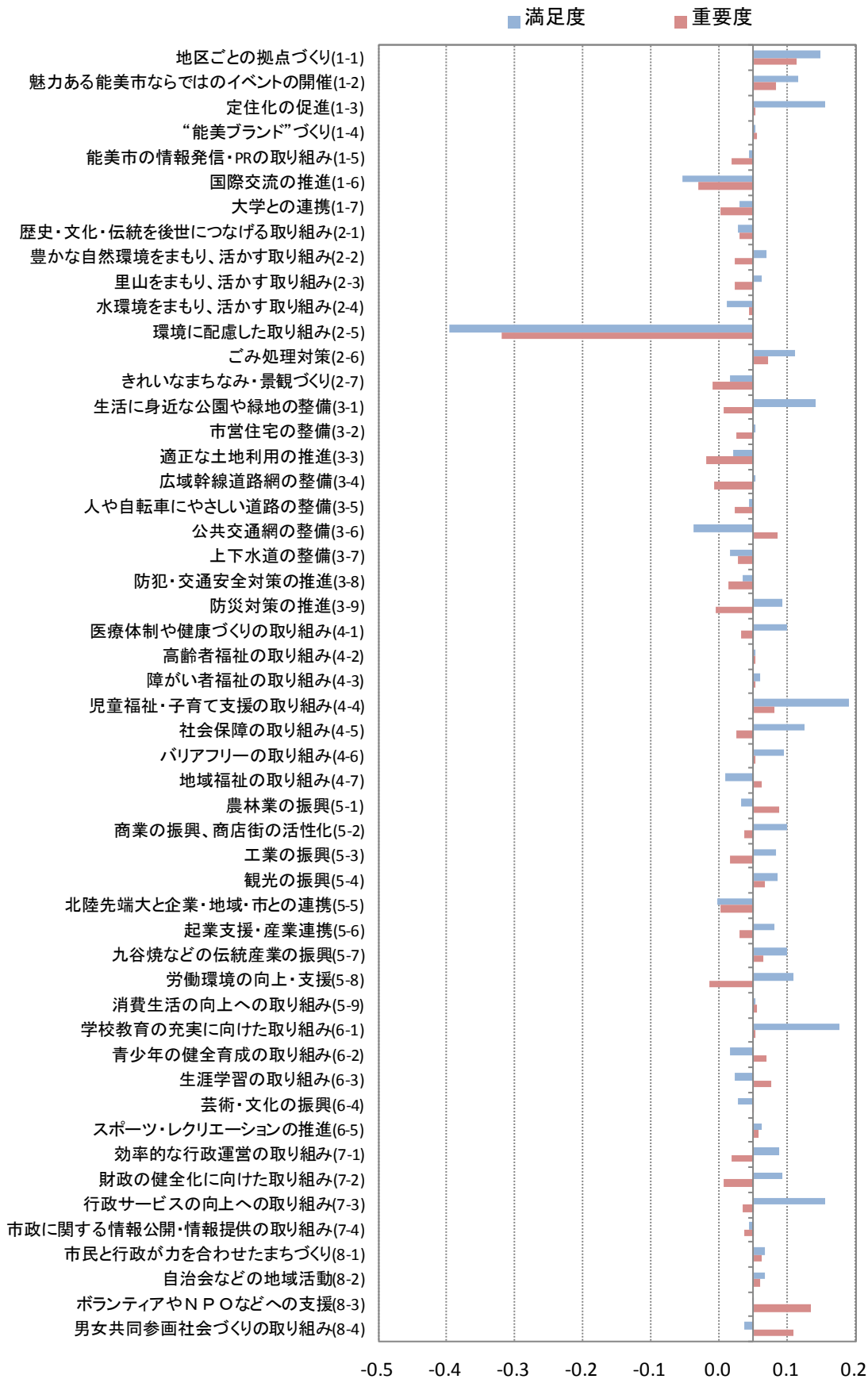


【満足度および重要度の評価点一覧（H27、H25、H23、H21、H19、H17）】

	評価項目	(今回)H27評価点		H25評価点		H23評価点		H21評価点		H19評価点		H17評価点	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
魅力	1-1 地区ごとの拠点づくり	0.24	1.01	0.10	0.90	-0.06	0.78	-0.27	0.73	-0.28	0.72	-	-
	1-2 魅力ある能美市ならではのイベントの開催	0.31	1.05	0.19	0.97	0.15	0.94	0.14	0.92	0.15	0.77	-	-
	1-3 定住化の促進	0.41	1.54	0.25	1.48	0.13	1.48	0.06	1.50	-0.06	1.23	-	-
	1-4 “能美ブランド”づくり	0.15	0.89	0.10	0.83	0.02	0.80	-0.03	0.76	0.06	0.82	-0.12	0.76
	1-5 能美市の情報発信・PRの取り組み	0.11	0.84	0.07	0.82	0.02	0.80	-0.01	0.76	-0.05	0.83	-0.06	1.02
	1-6 国際交流の推進	0.23	0.50	0.28	0.53	0.17	0.46	0.16	0.28	0.21	0.37	0.27	0.54
	1-7 大学との連携	0.19	0.80	0.16	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-
歴史・自然	2-1 歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	0.38	0.98	0.35	0.95	0.30	0.95	0.30	0.89	0.26	0.80	0.33	0.75
	2-2 豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	0.41	1.50	0.34	1.47	0.29	1.49	0.28	1.56	-0.01	1.50	-0.01	1.22
	2-3 里山をまもり、活かす取り組み	0.41	1.12	0.35	1.09	0.33	1.06	0.37	1.03	0.09	0.92	0.05	1.09
	2-4 水環境をまもり、活かす取り組み	0.34	1.52	0.33	1.48	0.23	1.46	0.30	1.48	0.12	1.37	0.15	1.04
	2-5 環境に配慮した取り組み	0.19	1.18	0.59	1.50	0.53	1.51	0.54	1.59	0.24	1.58	-0.05	1.24
	2-6 ごみ処理対策	0.78	1.64	0.67	1.57	0.67	1.57	0.76	1.64	0.58	1.61	0.31	1.61
	2-7 きれいなまちなみ・景観づくり	0.36	1.33	0.35	1.34	0.28	1.31	0.29	1.36	0.03	0.83	0.22	0.72
居住環境	3-1 生活に身近な公園や緑地の整備	0.16	1.29	0.02	1.28	0.04	1.25	0.17	1.20	0.01	1.09	0.27	0.85
	3-2 市営住宅の整備	0.09	0.72	0.04	0.70	0.02	0.69	0.15	0.59	0.16	0.40	0.16	0.19
	3-3 適正な土地利用の推進	0.01	0.97	-0.01	0.98	-0.09	0.88	-0.07	0.82	-0.17	1.03	-	-
	3-4 広域幹線道路網の整備	0.20	1.10	0.15	1.11	0.02	0.96	0.14	0.84	0.30	1.01	0.61	0.86
	3-5 人や自転車にやさしい道路の整備	-0.22	1.50	-0.26	1.48	-0.17	1.40	0.03	1.35	0.00	1.38	0.44	1.10
	3-6 公共交通網の整備	0.10	1.34	0.14	1.25	0.18	1.18	0.27	1.07	-0.08	1.01	-0.49	0.92
	3-7 上下水道の整備	0.77	1.62	0.76	1.59	0.71	1.52	0.81	1.53	0.69	1.43	0.51	1.40
	3-8 防犯・交通安全対策の推進	0.41	1.62	0.37	1.60	0.34	1.54	0.44	1.58	0.40	1.55	0.11	1.62
	3-9 防災対策の推進	0.38	1.57	0.28	1.58	0.18	1.56	0.35	1.53	0.36	1.53	0.11	1.61
健康・福祉	4-1 医療体制や健康づくりの取り組み	0.73	1.60	0.63	1.56	0.58	1.58	0.50	1.59	0.36	1.57	0.35	1.59
	4-2 高齢者福祉の取り組み	0.42	1.53	0.37	1.48	0.31	1.48	0.27	1.49	0.18	1.48	0.12	1.54
	4-3 障がい者福祉の取り組み	0.27	1.49	0.21	1.44	0.15	1.44	0.16	1.42	0.17	1.34	0.06	1.45
	4-4 児童福祉・子育て支援の取り組み	0.56	1.65	0.37	1.57	0.31	1.54	0.27	1.54	0.19	1.55	0.09	1.56
	4-5 社会保障の取り組み	0.24	1.60	0.11	1.58	0.04	1.54	0.09	1.55	-0.20	1.54	-0.15	1.41
	4-6 バリアフリーの取り組み	0.26	1.43	0.17	1.37	0.15	1.36	0.20	1.36	0.12	1.23	-0.19	1.36
	4-7 地域福祉の取り組み	0.42	1.36	0.41	1.30	0.39	1.24	0.45	1.28	0.39	1.26	-	-
産業・環境	5-1 農林業の振興	-0.03	1.09	-0.07	1.01	-0.05	1.00	-0.10	0.99	-0.15	0.88	-0.02	0.75
	5-2 商業の振興、商店街の活性化	-0.42	1.15	-0.52	1.11	-0.50	1.08	-0.63	1.03	-0.58	0.97	-0.66	1.09
	5-3 工業の振興	0.37	1.27	0.29	1.26	0.29	1.27	0.05	1.20	0.03	1.01	-0.02	1.00
	5-4 観光の振興	0.00	0.98	-0.08	0.91	-0.07	0.92	-0.14	0.81	-0.13	0.71	-0.19	0.76
	5-5 北陸先端大と企業・地域・市との連携	0.19	0.83	0.20	0.83	0.20	0.83	0.18	0.70	0.04	0.57	0.03	0.73
	5-6 起業支援・産業連携	0.06	0.89	-0.03	0.86	-0.00	0.84	-0.04	0.75	-0.08	0.53	-0.17	0.79
	5-7 九谷焼などの伝統産業の振興	0.29	1.00	0.19	0.94	0.08	0.92	0.15	0.89	0.06	0.74	0.12	0.82
	5-8 労働環境の向上・支援	-0.00	1.11	-0.11	1.12	-0.16	1.11	-0.27	1.18	-0.24	1.02	-	-
	5-9 消費生活の向上への取り組み	0.03	0.91	-0.03	0.86	-0.02	0.84	-0.11	0.82	-0.23	0.88	-	-
スポーツ・文化・教育	6-1 学校教育の充実に向けた取り組み	0.31	1.57	0.13	1.52	0.19	1.54	0.19	1.53	0.03	1.60	0.10	1.51
	6-2 青少年の健全育成の取り組み	0.40	1.51	0.39	1.44	0.39	1.48	0.40	1.50	0.14	1.52	0.26	1.28
	6-3 生涯学習の取り組み	0.38	1.19	0.36	1.11	0.36	1.12	0.38	1.09	0.37	1.01	0.31	0.84
	6-4 芸術・文化の振興	0.38	0.97	0.35	0.92	0.35	0.92	0.43	0.88	0.37	0.82	-	-
	6-5 スポーツ・レクリエーションの推進	0.43	1.09	0.36	1.03	0.37	1.03	0.46	0.96	0.41	0.86	0.43	0.71
行財政	7-1 効率的な行政運営の取り組み	-0.01	1.30	-0.10	1.28	-0.17	1.24	-0.26	1.28	-0.23	1.22	-	-
	7-2 財政の健全化に向けた取り組み	0.04	1.20	-0.06	1.19	-0.11	1.11	-0.18	1.12	-0.21	1.17	-0.25	1.22
	7-3 行政サービスの向上への取り組み	0.39	1.53	0.24	1.50	0.24	1.44	0.14	1.52	-0.27	1.36	-0.29	1.15
	7-4 市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	0.40	1.38	0.35	1.34	0.25	1.31	0.25	1.38	0.04	1.31	-0.05	1.20
参画・協働	8-1 市民と行政が力を合わせたまちづくり	0.16	1.17	0.09	1.11	0.05	1.14	0.02	1.12	-0.04	1.12	-0.17	1.32
	8-2 自治会などの地域活動	0.32	1.14	0.25	1.08	0.27	1.12	0.28	1.06	0.18	1.01	0.32	1.03
	8-3 ボランティアやNPOなどへの支援	0.24	0.97	0.19	0.84	0.15	0.90	0.13	0.86	0.15	0.81	0.07	0.85
	8-4 男女共同参画社会づくりの取り組み	0.12	0.82	0.08	0.71	0.07	0.65	0.01	0.60	0.06	0.68	0.10	0.49
平均	平均	0.26	1.22	0.20	1.18	0.16	1.17	0.17	1.15	0.08	1.09	0.07	1.07
評価合計	9-1 能美市における施策全体の総合評価	0.38	-	0.23	-	0.07	-	0.01	-	-0.06	-	-0.01	-

■優先的に改善すべき項目、■現状を維持・向上すべき項目、■必要に応じて伸ばすべき項目、■改善の余地がある項目（【満足度－重要度グラフ（H25）】の領域の色に対応）

【満足度及び重要度の変化 (H27-H25)】



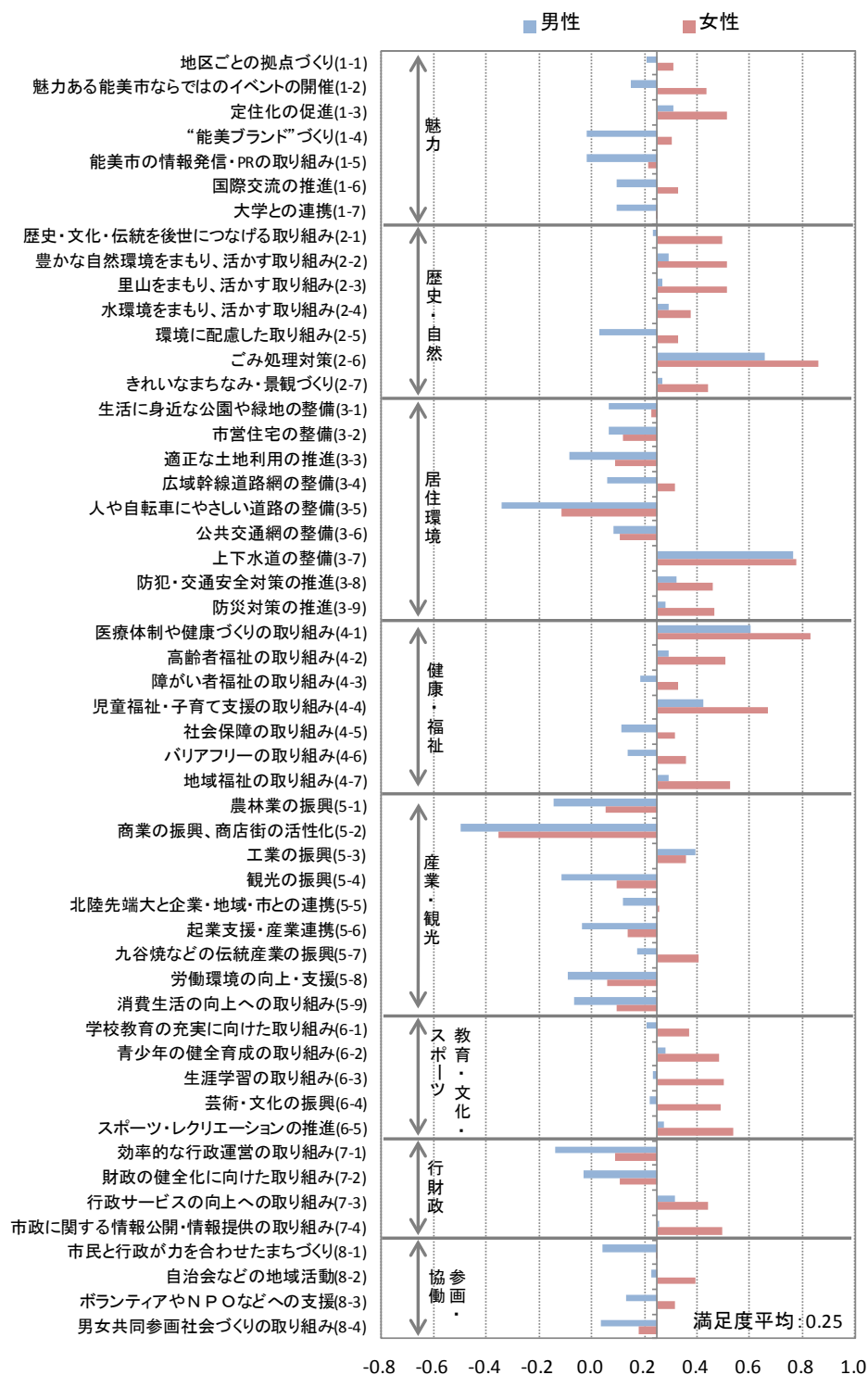
【満足度及び重要度の変化 (H27-H25)】

		+0.1 以上				±0.1 未満				-0.1 以下			
	評価項目	満足度				重要度							
		変動	差 H27- H25	H27	H25	変動	差 H27- H25	H27	H25				
1 魅 力	1-1 地区ごとの拠点づくり	↑	0.15	0.24	0.10	↑	0.11	1.01	0.90				
	1-2 魅力ある能美市ならではのイベントの開催	↑	0.12	0.31	0.19	→	0.08	1.05	0.97				
	1-3 定住化の促進	↑	0.16	0.41	0.25	→	0.05	1.54	1.48				
	1-4 “能美ブランド”づくり	→	0.05	0.15	0.10	→	0.05	0.89	0.83				
	1-5 能美市の情報発信・PRの取り組み	→	0.04	0.11	0.07	→	0.02	0.84	0.82				
	1-6 国際交流の推進	→	-0.05	0.23	0.28	→	-0.03	0.50	0.53				
	1-7 大学との連携	→	0.03	0.19	0.16	→	0.00	0.80	0.80				
2 歴 史 ・ 自 然	2-1 歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	→	0.03	0.38	0.35	→	0.03	0.98	0.95				
	2-2 豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	→	0.07	0.41	0.34	→	0.02	1.50	1.47				
	2-3 里山をまもり、活かす取り組み	→	0.06	0.41	0.35	→	0.02	1.12	1.09				
	2-4 水環境をまもり、活かす取り組み	→	0.01	0.34	0.33	→	0.04	1.52	1.48				
	2-5 環境に配慮した取り組み	↓	-0.40	0.19	0.59	↓	-0.32	1.18	1.50				
	2-6 ごみ処理対策	↑	0.11	0.78	0.67	→	0.07	1.64	1.57				
	2-7 きれいなまちなみ・景観づくり	→	0.01	0.36	0.35	→	-0.01	1.33	1.34				
3 居 住 環 境	3-1 生活に身近な公園や緑地の整備	↑	0.14	0.16	0.02	→	0.01	1.29	1.28				
	3-2 市営住宅の整備	→	0.05	0.09	0.04	→	0.03	0.72	0.70				
	3-3 適正な土地利用の推進	→	0.02	0.01	-0.01	→	-0.02	0.97	0.98				
	3-4 広域幹線道路網の整備	→	0.05	0.20	0.15	→	-0.01	1.10	1.11				
	3-5 人や自転車にやさしい道路の整備	→	0.04	-0.22	-0.26	→	0.02	1.50	1.48				
	3-6 公共交通網の整備	→	-0.04	0.10	0.14	→	0.08	1.34	1.25				
	3-7 上下水道の整備	→	0.02	0.77	0.76	→	0.03	1.62	1.59				
	3-8 防犯・交通安全対策の推進	→	0.03	0.41	0.37	→	0.01	1.62	1.60				
	3-9 防災対策の推進	→	0.09	0.38	0.28	→	-0.01	1.57	1.58				
4 健 康 ・ 福 祉	4-1 医療体制や健康づくりの取り組み	→	0.10	0.73	0.63	→	0.03	1.60	1.56				
	4-2 高齢者福祉の取り組み	→	0.05	0.42	0.37	→	0.05	1.53	1.48				
	4-3 障がい者福祉の取り組み	→	0.06	0.27	0.21	→	0.05	1.49	1.44				
	4-4 児童福祉・子育て支援の取り組み	↑	0.19	0.56	0.37	→	0.08	1.65	1.57				
	4-5 社会保障の取り組み	↑	0.13	0.24	0.11	→	0.03	1.60	1.58				
	4-6 バリアフリーの取り組み	→	0.10	0.26	0.17	→	0.05	1.43	1.37				
	4-7 地域福祉の取り組み	→	0.01	0.42	0.41	→	0.06	1.36	1.30				
5 産 業 ・ 環 境	5-1 農林業の振興	→	0.03	-0.03	-0.07	→	0.09	1.09	1.01				
	5-2 商業の振興、商店街の活性化	→	0.10	-0.42	-0.52	→	0.04	1.15	1.11				
	5-3 工業の振興	→	0.08	0.37	0.29	→	0.01	1.27	1.26				
	5-4 観光の振興	→	0.09	0.00	-0.08	→	0.07	0.98	0.91				
	5-5 北陸先端大と企業・地域・市との連携	→	-0.00	0.19	0.20	→	0.00	0.83	0.83				
	5-6 起業支援・産業連携	→	0.08	0.06	-0.03	→	0.03	0.89	0.86				
	5-7 九谷焼などの伝統産業の振興	↑	0.10	0.29	0.19	→	0.06	1.00	0.94				
	5-8 労働環境の向上・支援	↑	0.11	-0.00	-0.11	→	-0.02	1.11	1.12				
	5-9 消費生活の向上への取り組み	→	0.05	0.03	-0.03	→	0.06	0.91	0.86				
6 文 化 ・ ス ポ ー ツ ・ 教 育	6-1 学校教育の充実に向けた取り組み	↑	0.18	0.31	0.13	→	0.05	1.57	1.52				
	6-2 青少年の健全育成の取り組み	→	0.02	0.40	0.39	→	0.07	1.51	1.44				
	6-3 生涯学習の取り組み	→	0.02	0.38	0.36	→	0.08	1.19	1.11				
	6-4 芸術・文化の振興	→	0.03	0.38	0.35	→	0.05	0.97	0.92				
	6-5 スポーツ・レクリエーションの推進	→	0.06	0.43	0.36	→	0.06	1.09	1.03				
7 行 政	7-1 効率的な行政運営の取り組み	→	0.09	-0.01	-0.10	→	0.02	1.30	1.28				
	7-2 財政の健全化に向けた取り組み	→	0.09	0.04	-0.06	→	0.01	1.20	1.19				
	7-3 行政サービスの向上への取り組み	↑	0.15	0.39	0.24	→	0.03	1.53	1.50				
	7-4 市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	→	0.04	0.40	0.35	→	0.04	1.38	1.34				
8 参 画 ・ 協 働	8-1 市民と行政が力を合わせたまちづくり	→	0.07	0.16	0.09	→	0.06	1.17	1.11				
	8-2 自治会などの地域活動	→	0.07	0.32	0.25	→	0.06	1.14	1.08				
	8-3 ボランティアやNPOなどへの支援	→	0.05	0.24	0.19	↑	0.13	0.97	0.84				
	8-4 男女共同参画社会づくりの取り組み	→	0.04	0.12	0.08	↑	0.11	0.82	0.71				
平均	平均	→	0.06	0.26	0.20	→	0.03	1.22	1.18				
9 評 価 合 計	9-1 能美市における施策全体の総合評価	↑	0.15	0.38	0.23	-	-	-	-				

(注：評価点の差は、丸め誤差のため、表に示す数値と一致しないことがあります。)

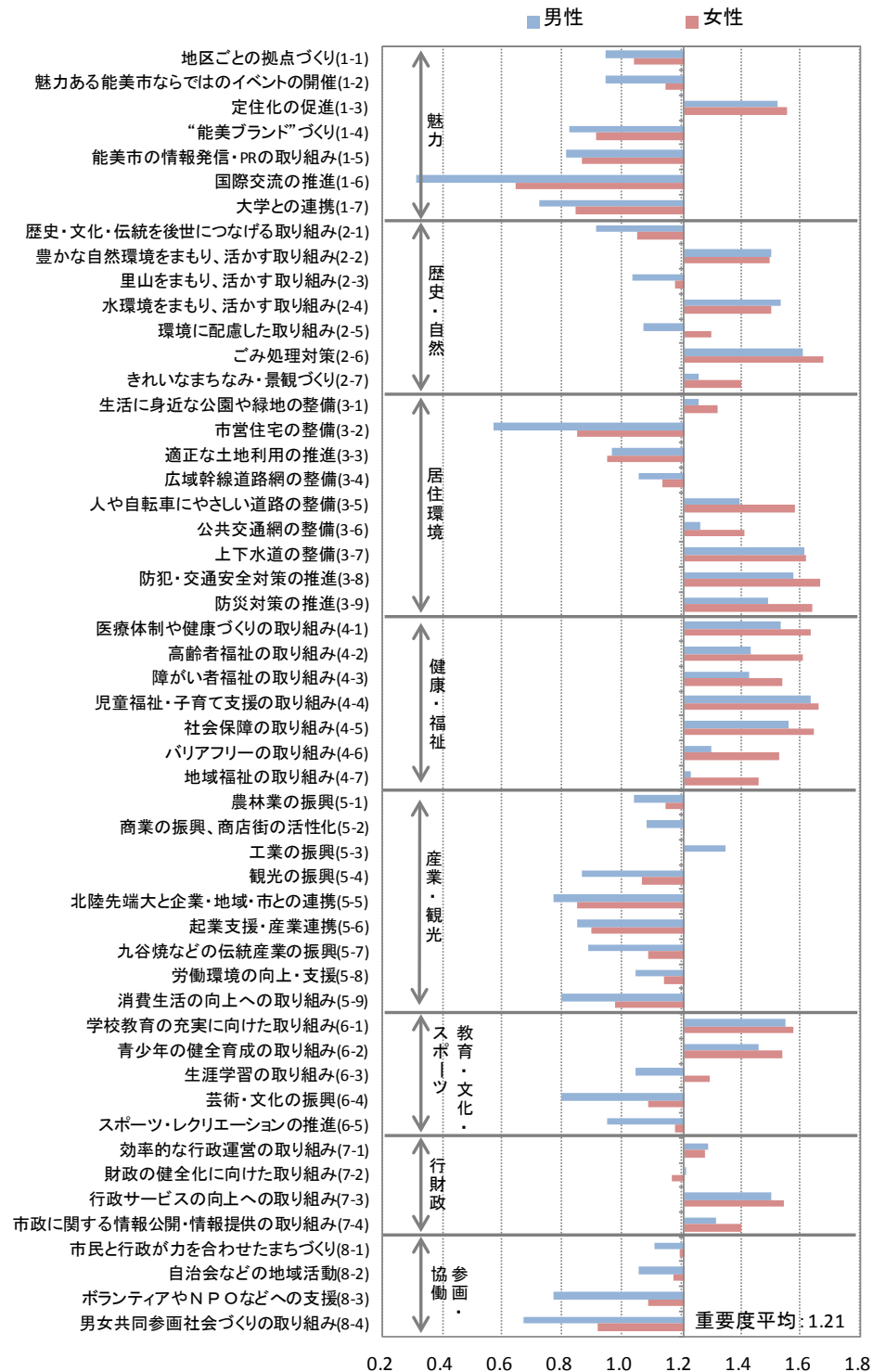
■満足度（性別）

- ・男性は「上下水道の整備（3-7）」、女性は「ごみ処理対策（2-6）」が最も高くなっています。
- 一方、男女共に「商業の振興、商店街の活性化（5-2）」が最も低くなっています。
- ・全体的に女性は男性よりも評価点が高くなっており、特に「“能美ブランド”づくり（1-4）」「環境に配慮した取り組み（2-5）」「魅力ある能美市ならではのイベントの開催（1-2）」等では男女間で差が大きくなっています。



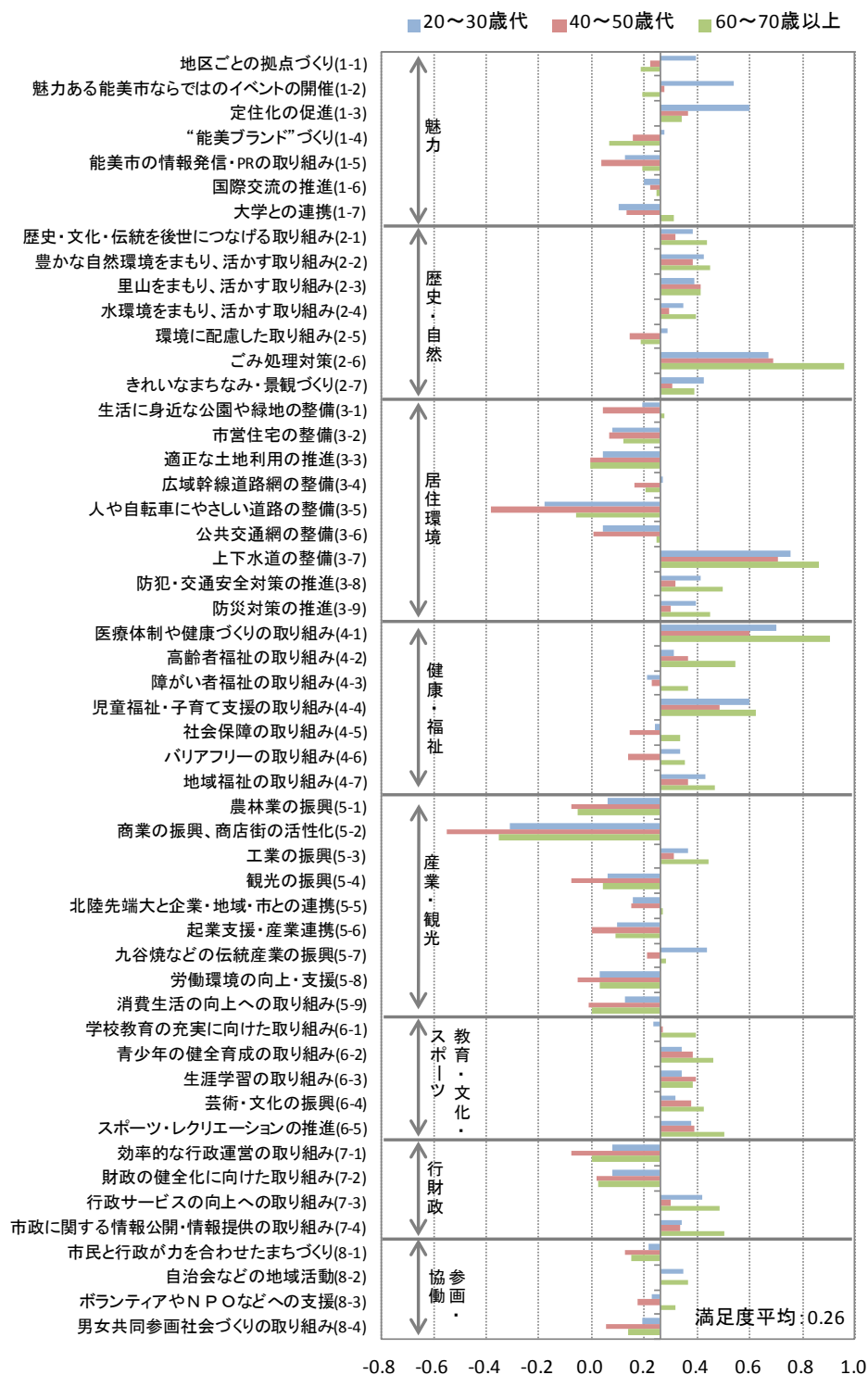
■重要度（性別）

- ・男性は「児童福祉・子育て支援の取り組み(4-4)」、女性は「ごみ処理対策(2-6)」が最も高くなっています。一方、男女共に「国際交流の推進(1-6)」が最も低くなっています。
- ・全体的に女性は男性よりも評価点が高くなっており、特に「国際交流の推進(1-6)」「ボランティアやNPOなどへの支援(8-3)」「芸術・文化の振興(6-4)」等では男女間で差が大きくなっています。



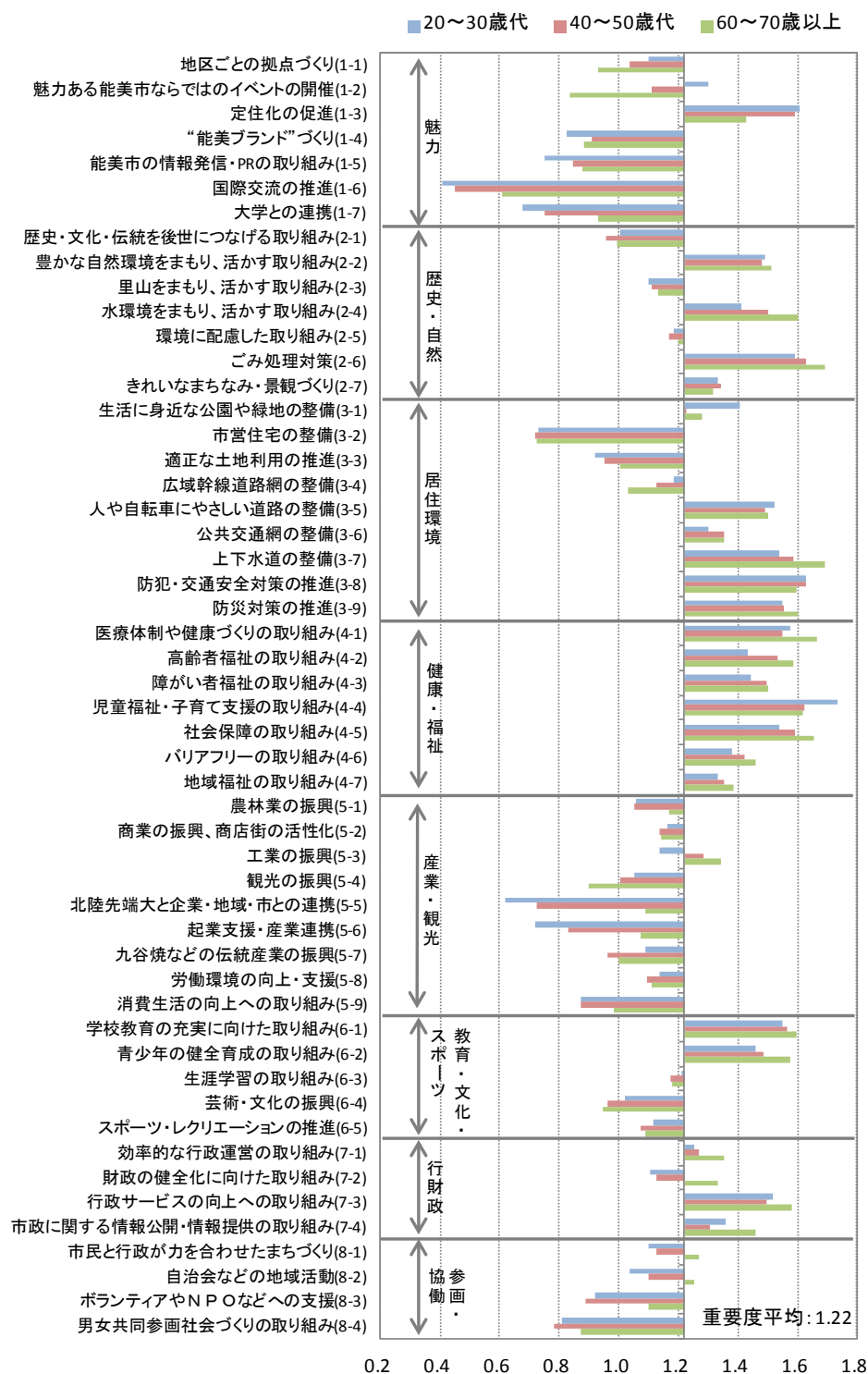
■満足度（年代別）

- ・20～30 歳代、40～50 歳代で「上下水道の整備(3-7)」、60～70 歳以上で「ごみ処理対策(2-6)」が最も高くなっています。一方、全ての年代で「商業の振興、商店街の活性化(5-2)」が最も低くなっています。
- ・全体的に 60～70 歳以上が他の年代と比べて評価点が高くなっており、特に「魅力ある能美市ならではのイベントの開催(1-2)」「人や自転車にやさしい道路の整備(3-5)」「医療体制や健康づくりの取り組み(4-1)」等の項目で差が大きくなっています。



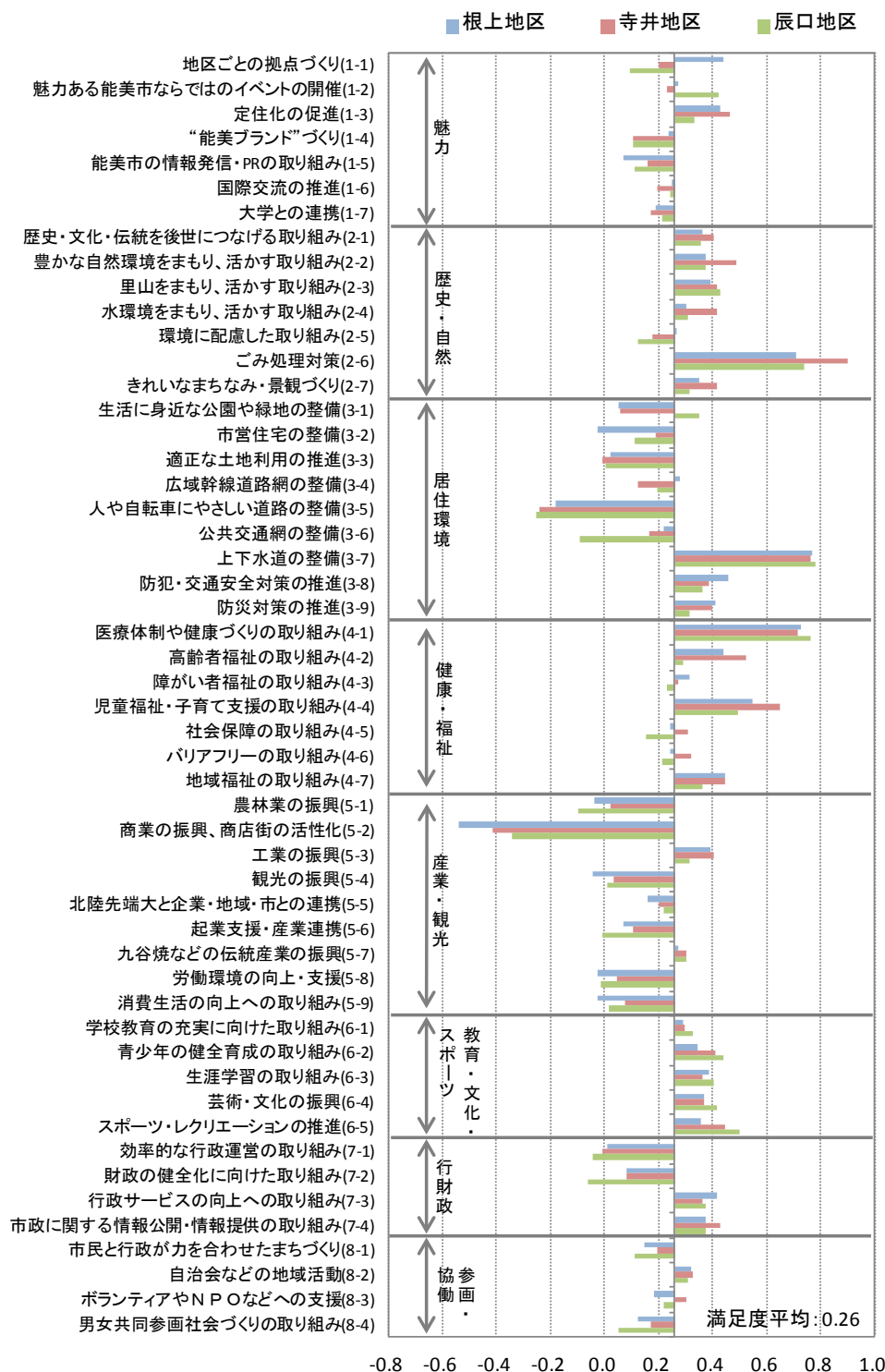
重要度（年代別）

- ・ 20～30 歳代は「児童福祉・子育て支援の取り組み(4-4)」が最も高くなっています。
- ・ 40～50 歳代は「ごみ処理対策 (2-6)」「防犯・交通安全対策の推進 (3-8)」が最も高くなっています。
- ・ 60～70 歳以上は「上下水道の整備 (3-7)」が最も高くなっています。
- ・ 全ての年代において「国際交流の推進(1-6)」が最も低くなっています。



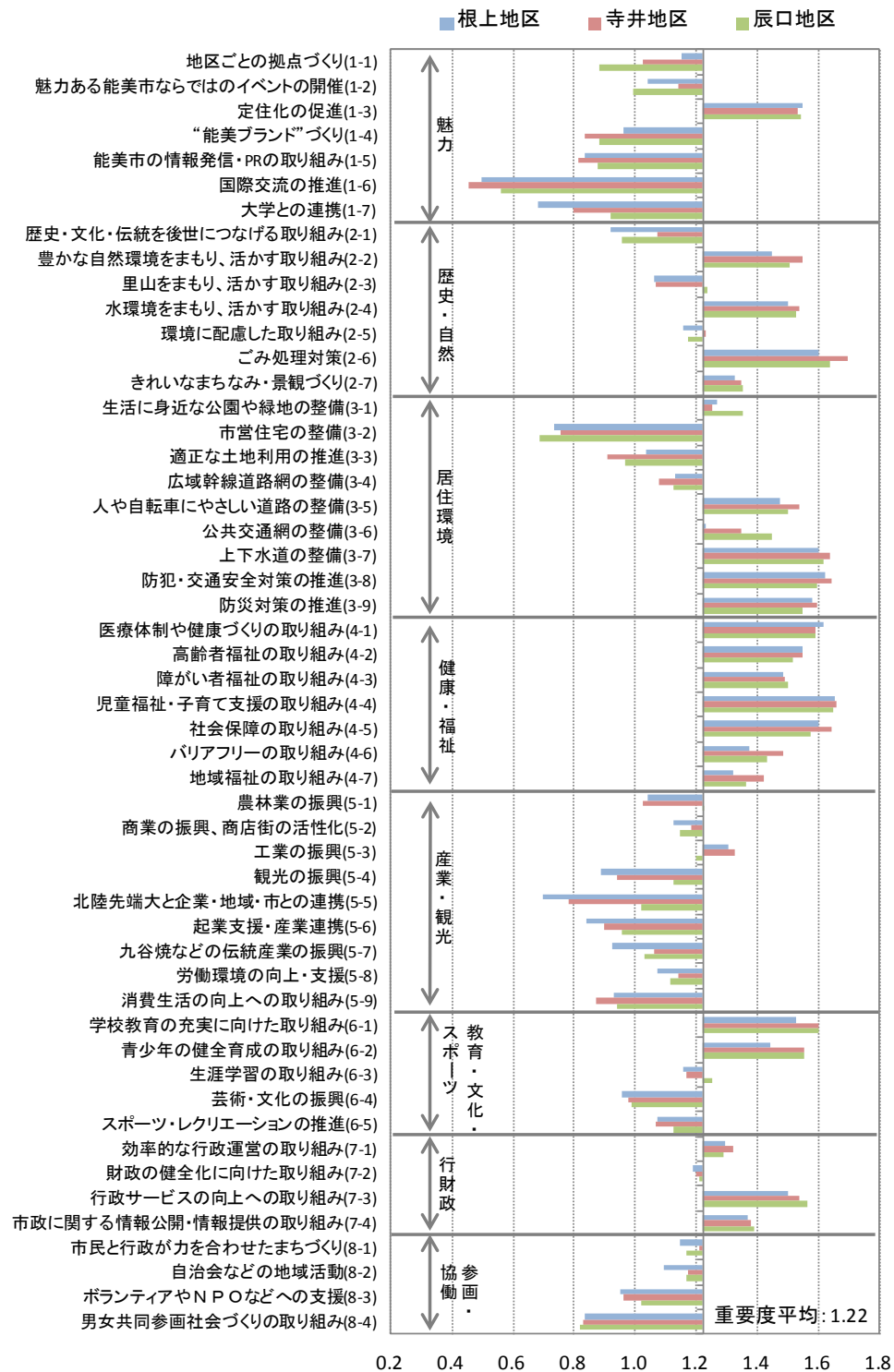
■満足度（地区別）

- ・ 3 地区共に「商業の振興、商店街の活性化（5-2）」が最も低くなっています。
- ・ 根上、辰口で「上下水道の整備（3-7）」、寺井で「ごみ処理対策（2-6）」が最も高くなっています。
- ・ 辰口では、「地区ごとの拠点づくり（1-1）」「公共交通網の整備（3-6）」の満足度が他の地区に比べて低くなっています。



重要度（地区別）

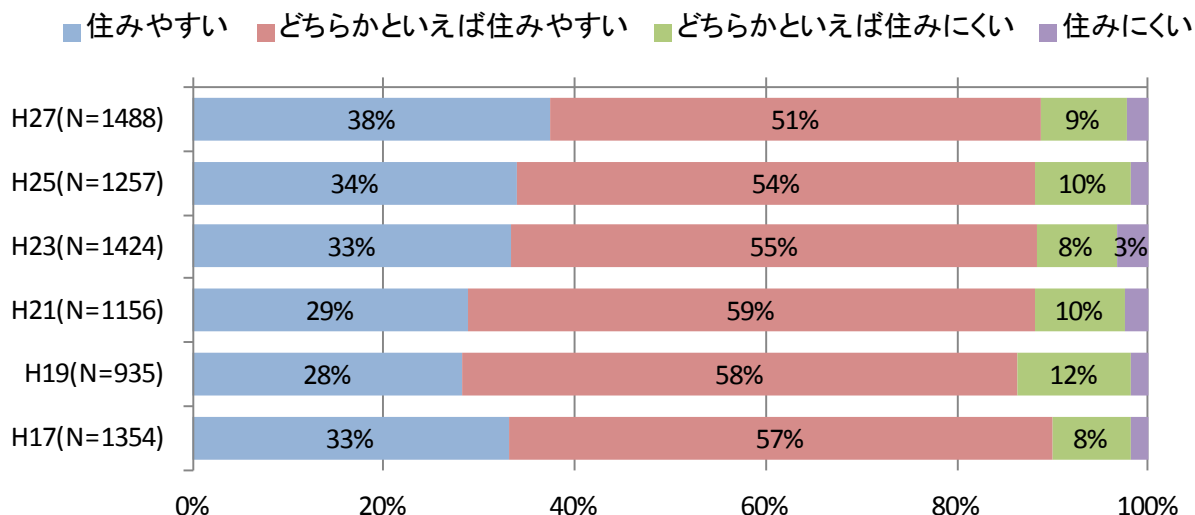
- ・根上、辰口で「防犯・交通安全対策の推進(3-8)」、寺井で「上下水道の整備(3-7)」が最も高くなっています。
- ・3地区共に「国際交流の推進(1-6)」が最も低くなっています。
- ・「北陸先端大と企業・地域・市との連携(5-5)」 「地区ごとの拠点づくり(1-1)」 「観光の振興(5-4)」等の項目で地区ごとの差が大きくなっています。



(3) 能美市に住むことについて

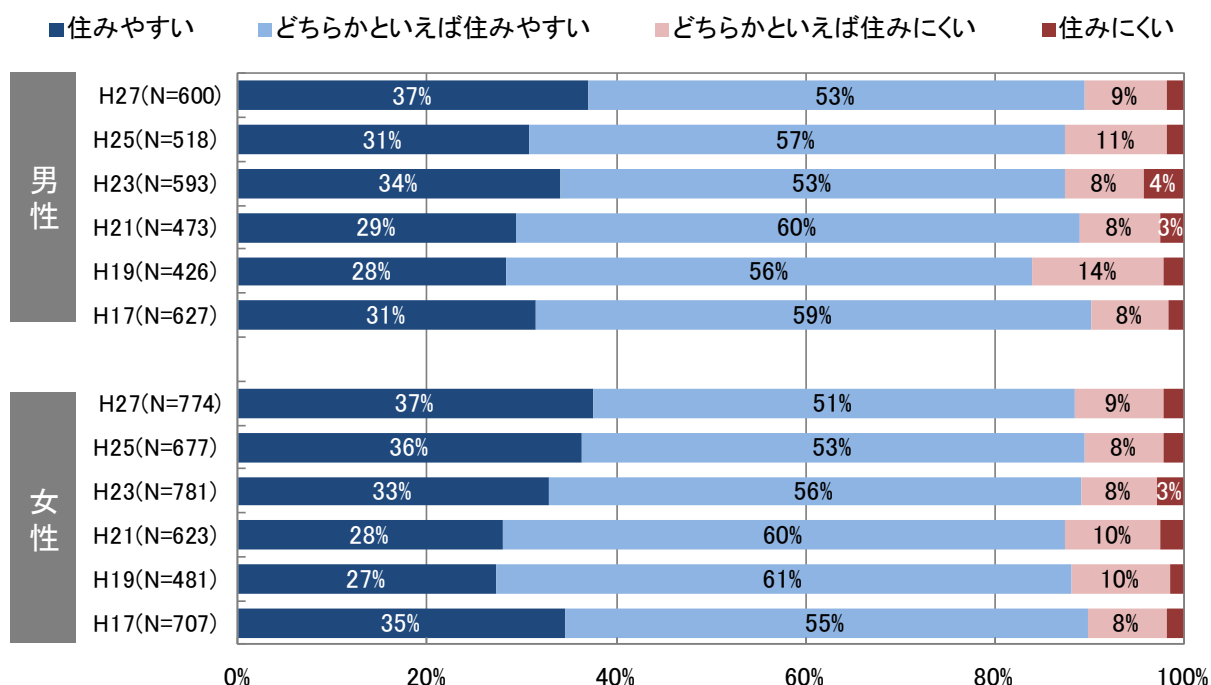
問 13 あなたは、能美市を住みやすいところだと思いますか？

- ◆「どちらかといえば住みやすい」が 51%と最も多く、次いで「住みやすい」が 38%で、約 9 割の方が能美市は住みやすいところであると評価しています。



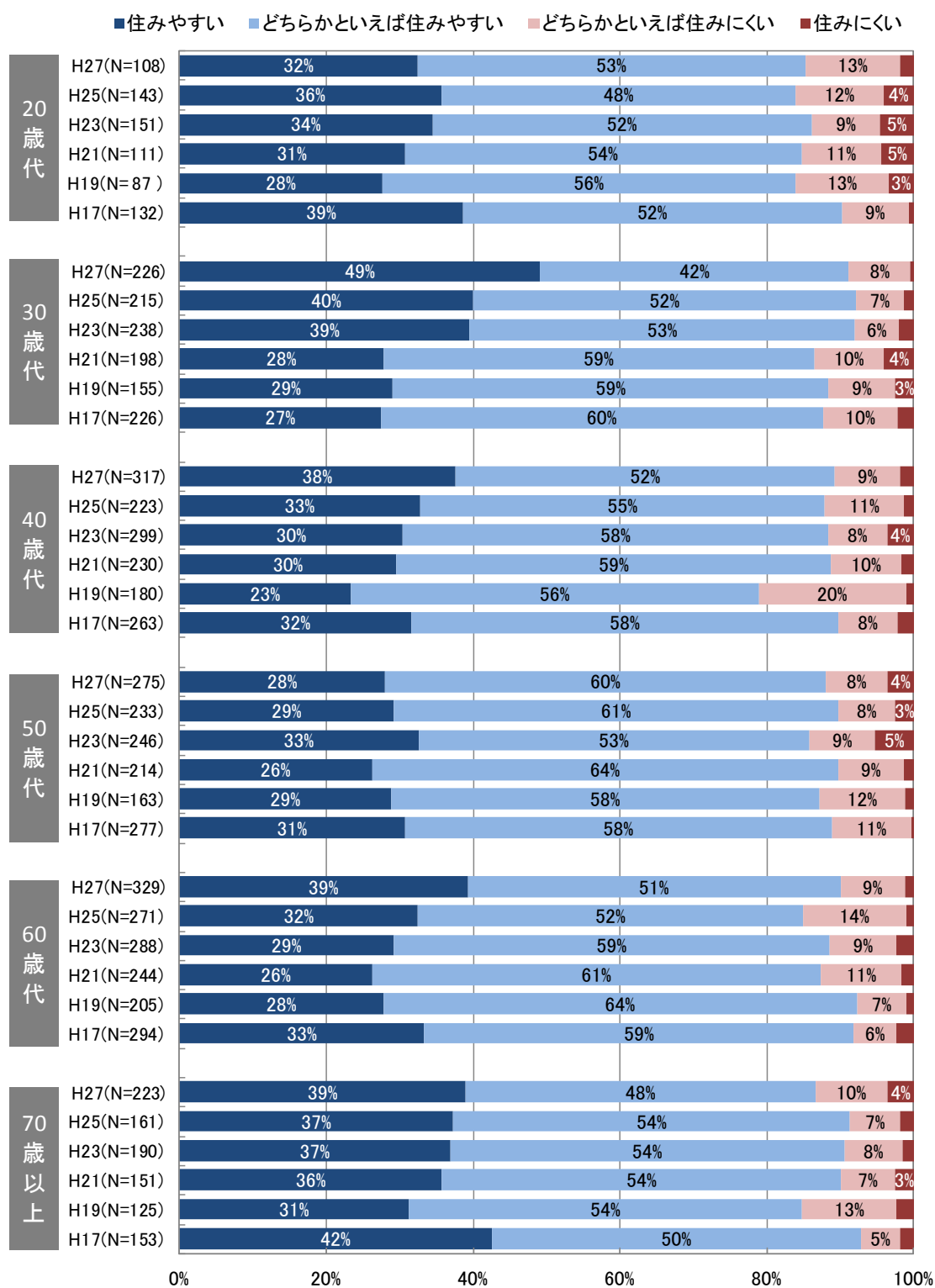
■ 能美市の住みやすさに対する意識（性別）

- ・性別による大きな違いはみられません。
- ・男女共には H19 以降「住みやすい」が増加傾向にあります。



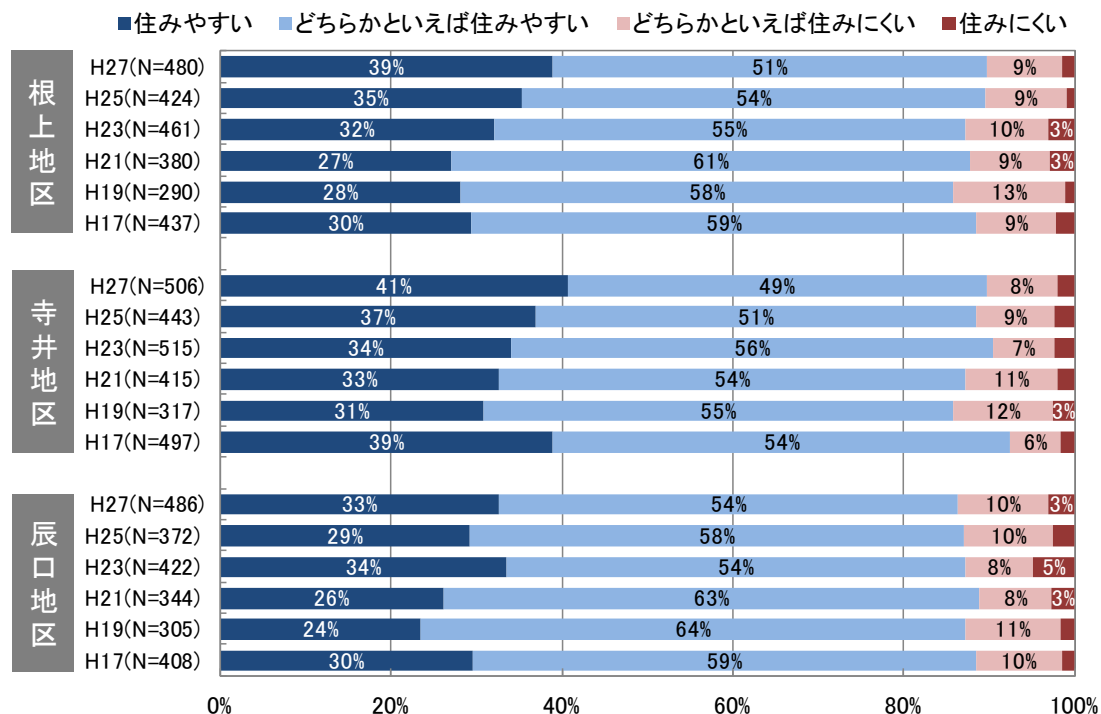
■能美市の住みやすさに対する意識（年代別）

- ・全ての年代で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が8割以上となっています。
- ・H25 に比べて「住みやすい」が 30 歳代、40 歳代、60 歳代、70 歳代で増加しています。



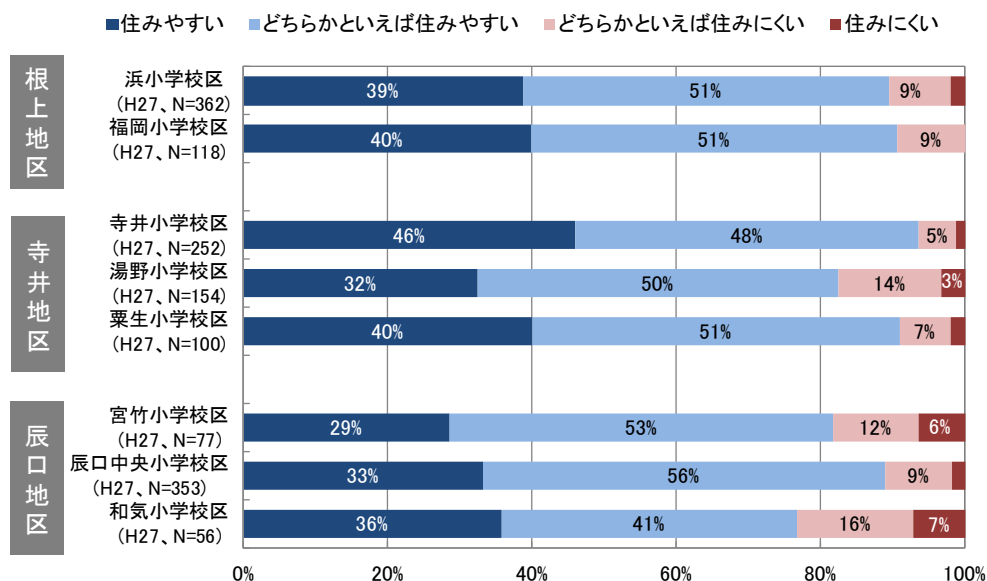
■能美市の住みやすさに対する意識（地区別）

- ・ 3 地区共に「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が約 9 割となっています。
- ・ 全ての地区で「住みやすい」が H25 に比べて 4 ポイント増加しています。
- ・ 根上、寺井は H21 以降「住みやすい」が増加しています。



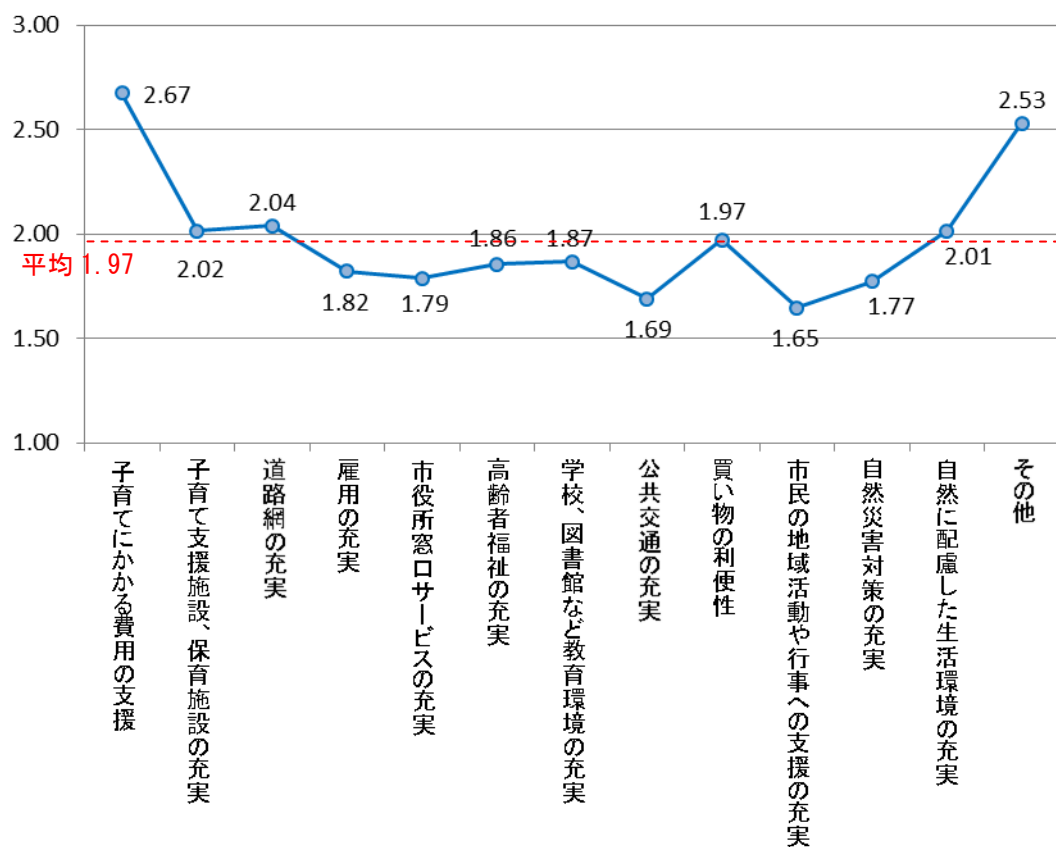
【小学校区別】

- ・ 湯野小学校区、宮竹小学校区、和気小学校区では「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」の合計が約 2 割を占めており、他の小学校区と比べて高くなっています。



問 14 ※問 13 で「1. 住みやすい」「2. どちらかというと住みやすい」と回答した方
 (1) 能美市を住みやすいと感じる理由は何ですか？（優先度 3 位まで選択）

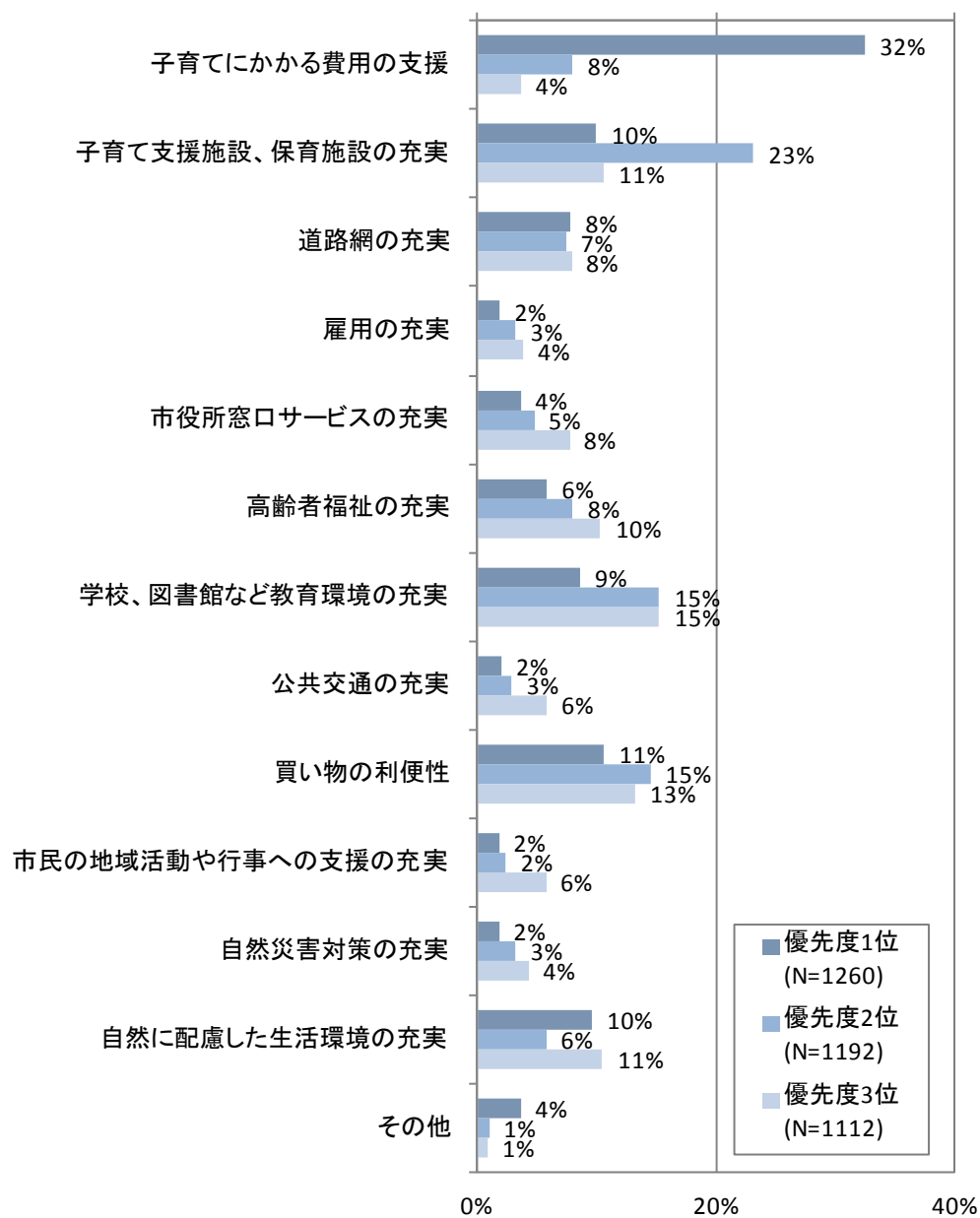
- ◆優先度 1 位を 3 点、優先度 2 位を 2 点、優先度 3 位を 1 点として加重平均値を算出した結果、「子育てにかかる費用の支援」が 2.67 で最も高く、次いで「道路網の充実」が 2.04、「子育て支援施設、保育施設の充実」が 2.02、「自然に配慮した生活環境の充実」が 2.01 となっており、充実した子育て支援施策等が住みやすさの高い評価につながっています。
- ◆「その他」については、「生まれ育ったところだから」、「静かだから」、「自然環境が良いから」、「自然災害が少ないから」、「障害者福祉が充実しているから」、「人が良い」等の自由回答が複数みられました。



【評価点の算出式】

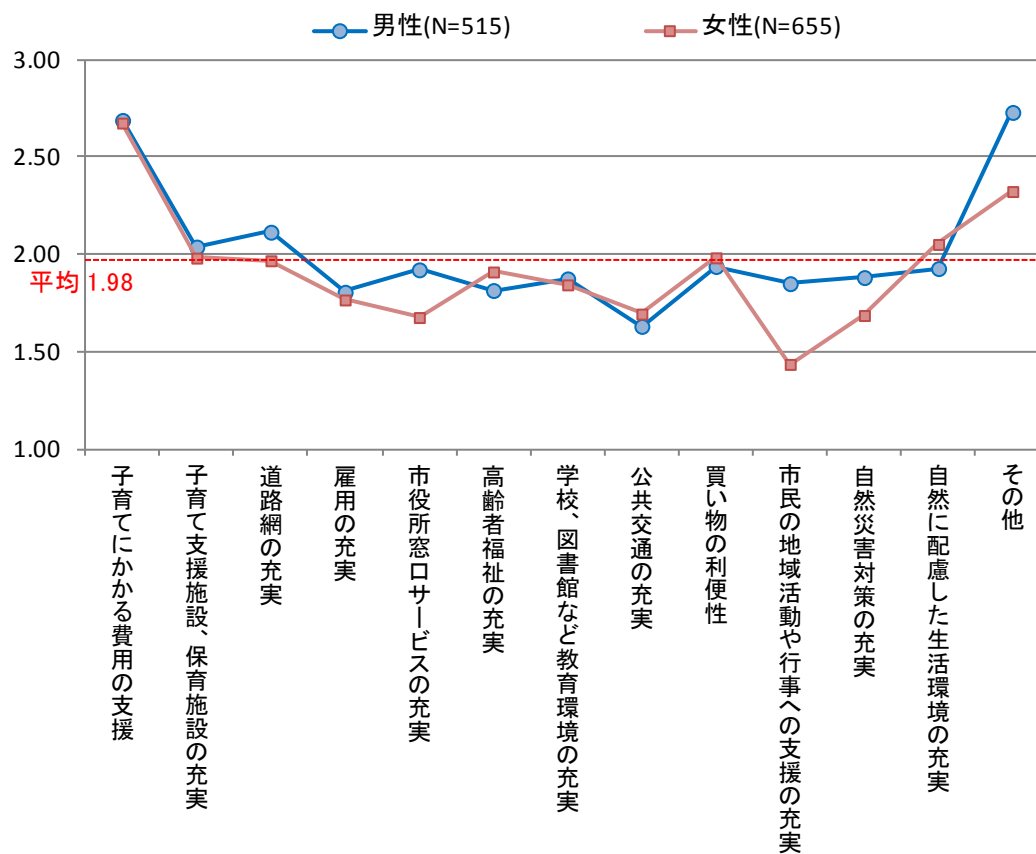
{ 優先度 1 位 × (3 点) + 優先度 2 位 × (2 点) + 優先度 3 位 × (1 点) } ÷ 回答者数

＜能美市を住みやすいと感じる理由（優先度 3 位まで選択）＞



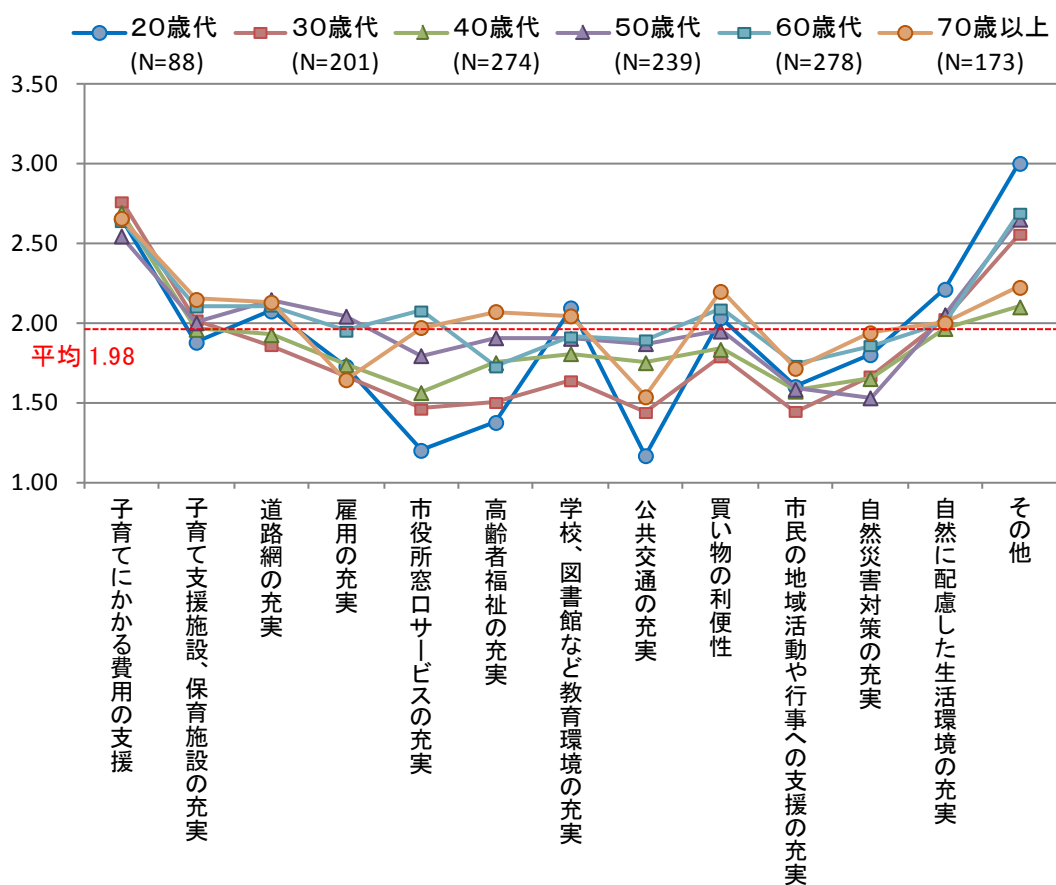
■能美市の住みやすさに対する意識（性別）

- ・女性で「市民の地域活動や行事への支援の充実」の評価が特に低くなっています。



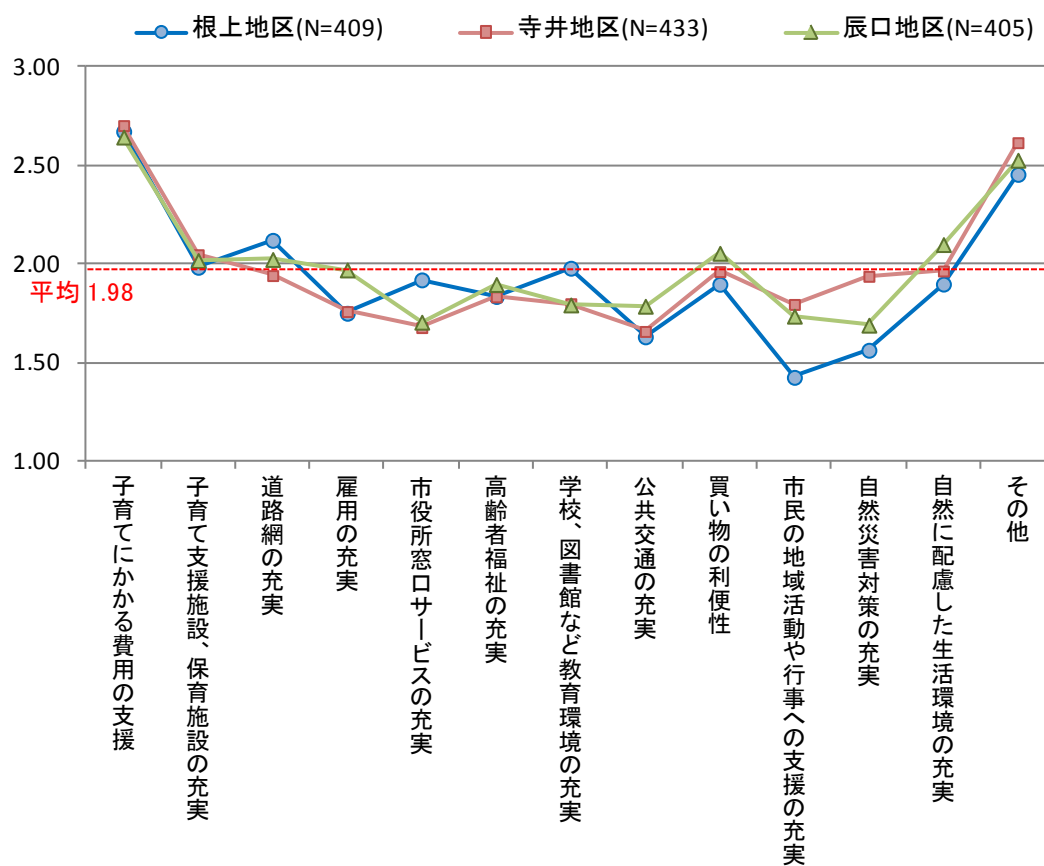
■能美市の住みやすさに対する意識（年代別）

- ・ 20 歳代で「市役所窓口サービスの充実」「公共交通の充実」の評価が低くなっています。



■能美市の住みやすさに対する意識（地区別）

- ・根上で「市民の地域活動や行事への支援の充実」の評価が低くなっています。

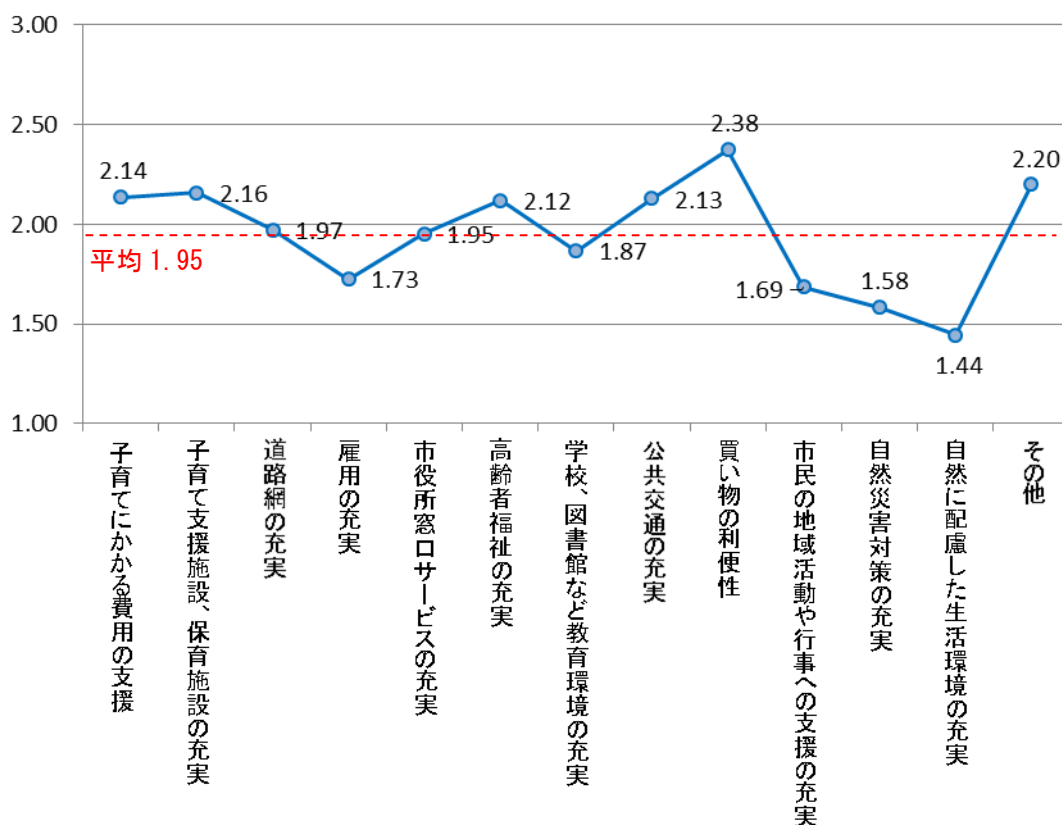


問 14
(2)

※問 13 で「3. どちらかといえば住みにくい」「4. 住みにくい」と回答した方

能美市を住みやすくするために今後どこに力を入れたらいいと思いますか？
(優先度 3 位まで選択)

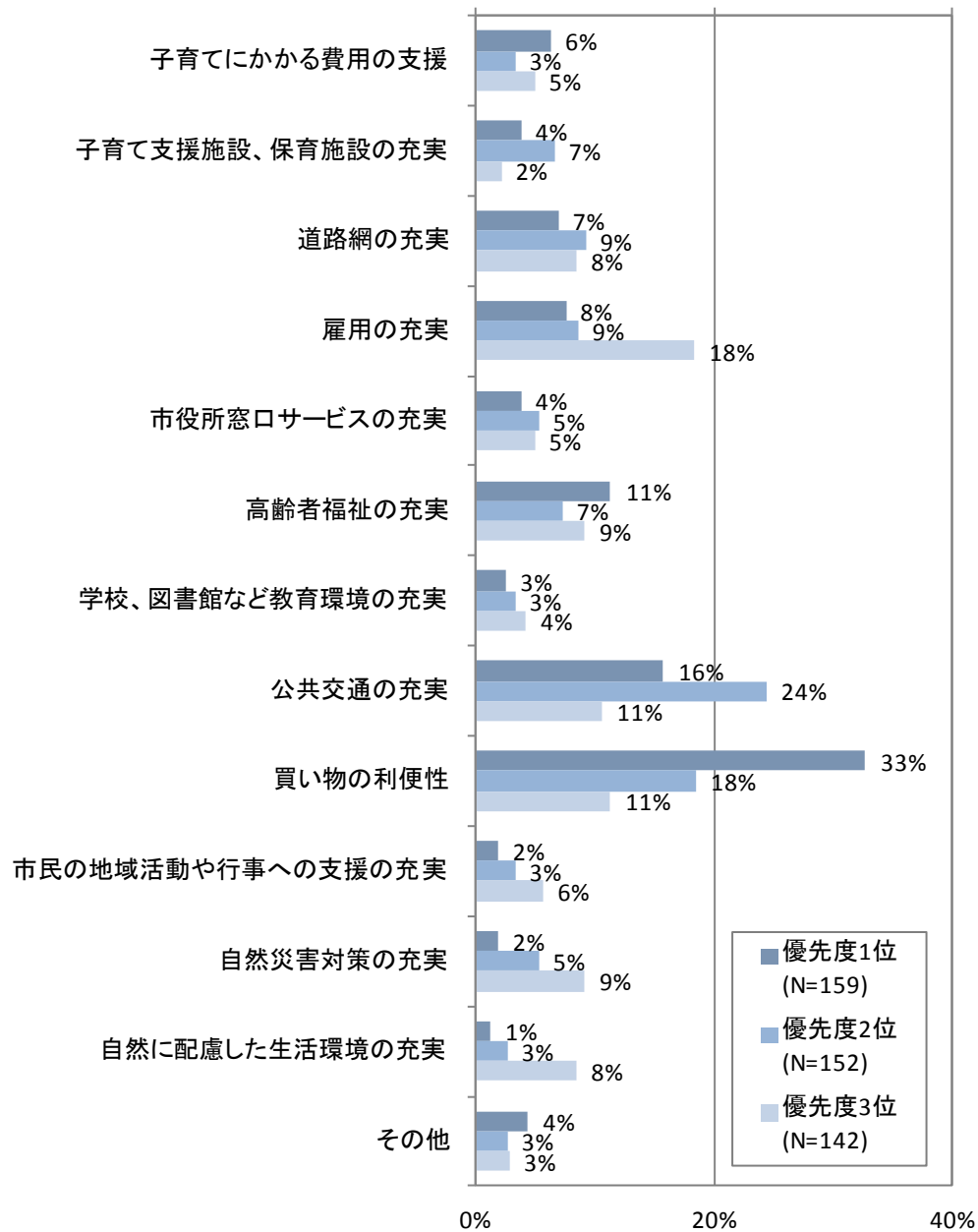
- ◆優先度 1 位を 3 点、優先度 2 位を 2 点、優先度 3 位を 1 点として加重平均値を算出した結果、「買い物の利便性」が 2.38 で最も高く、次いで「子育て支援施設、保育施設の充実」が 2.16、「子育てにかかる費用の支援」が 2.14、「公共交通の充実」が 2.13、「高齢者福祉の充実」が 2.12 となっており、日常の買い物環境や公共交通、児童福祉、高齢者福祉等に注力すべきとの回答が多くみられます。



【評価点の算出式】

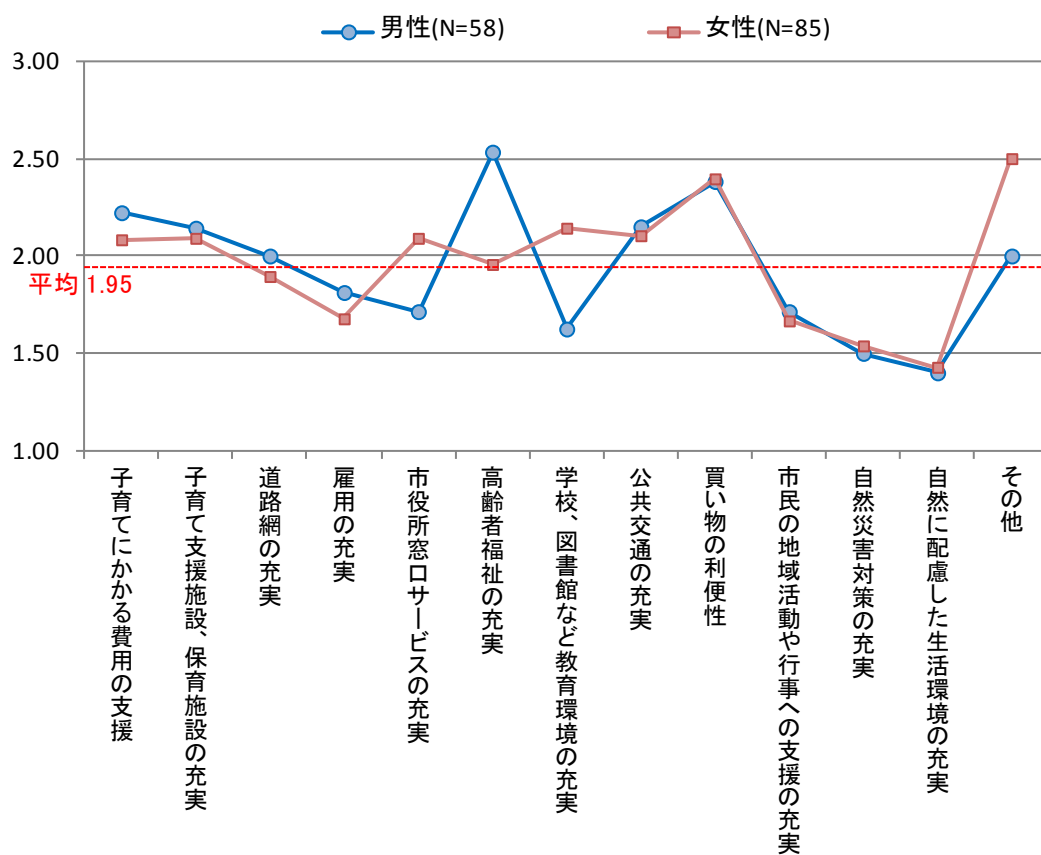
$$\{ \text{優先度 1 位} \times (3 \text{ 点}) + \text{優先度 2 位} \times (2 \text{ 点}) + \text{優先度 3 位} \times (1 \text{ 点}) \} \div \text{回答者数}$$

＜能美市を住みやすくするために力を入れるべき施策（優先度3位まで選択）＞



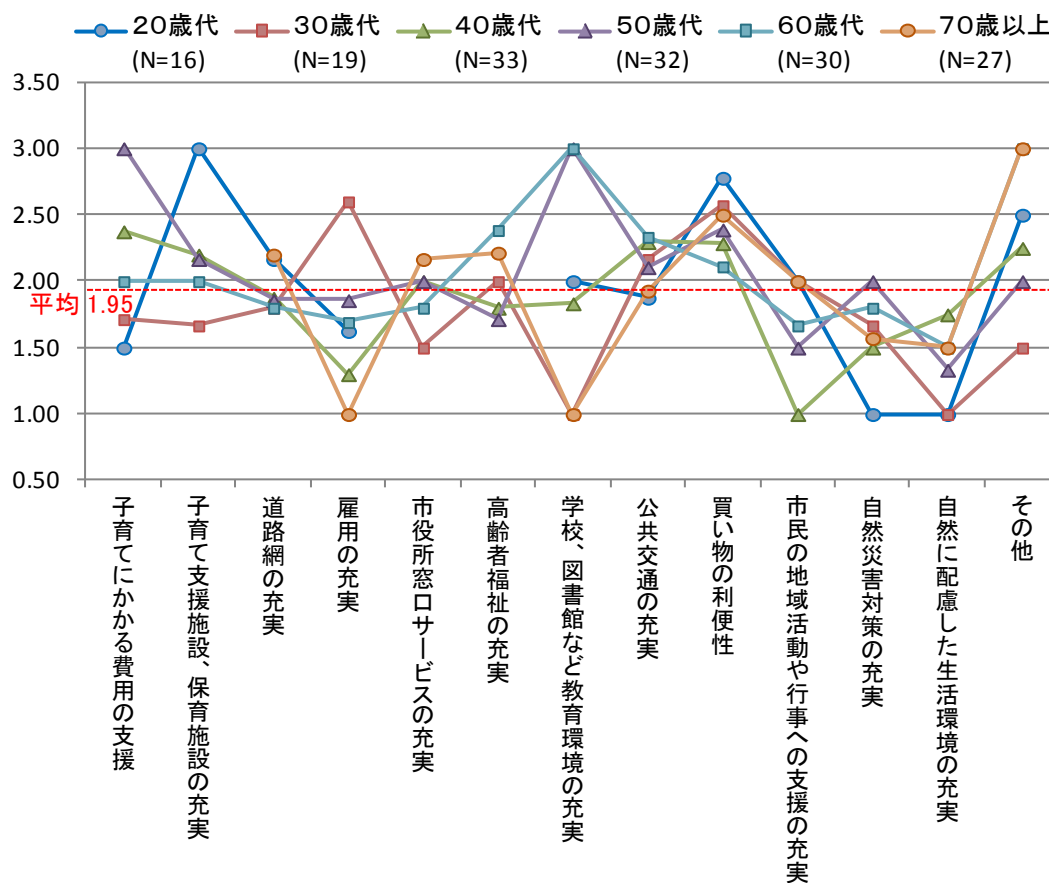
■能美市を住みやすくするために力を入れるべき施策（性別）

- ・「高齢者福祉の充実」「学校、図書館など教育環境の充実」で男女間の評価に大きな差がみられます。



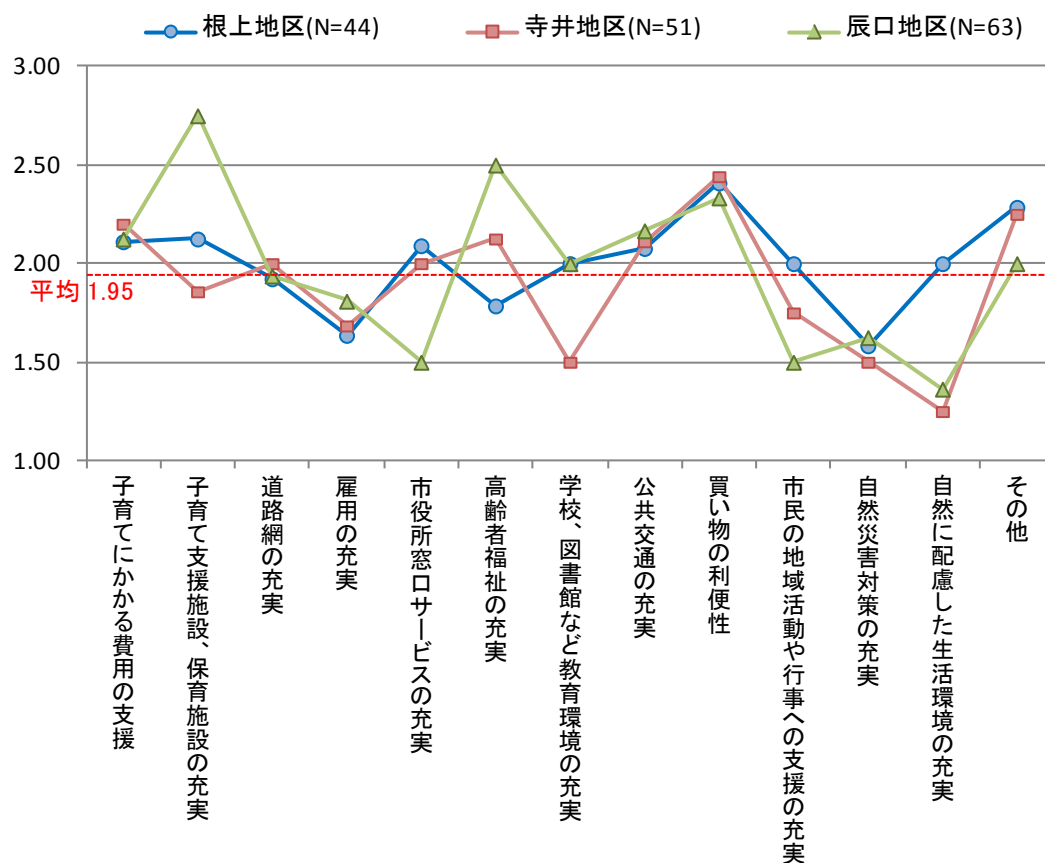
■能美市を住みやすくするために力を入れるべき施策（年代別）

- ・ 20 歳代で「子育て支援施設、保育施設の充実」の評価が他の年代と比べて高くなっています。一方、「子育てにかかる費用の支援」の評価が最も低くなっています。



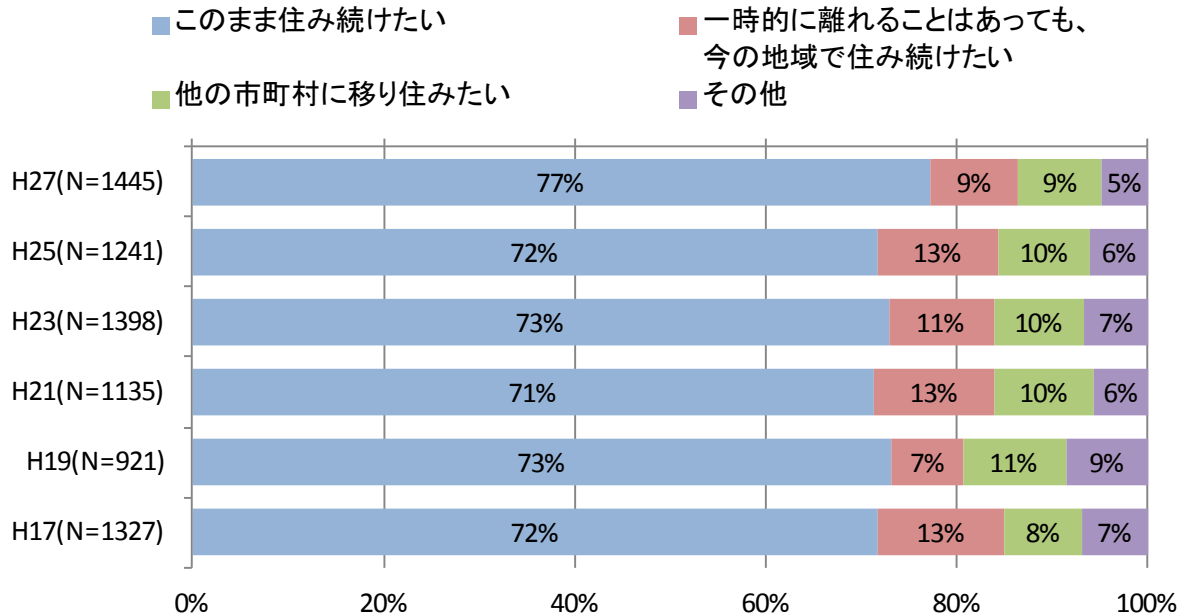
■能美市を住みやすくするために力を入れるべき施策（地区別）

- ・根上で「自然に配慮した生活環境の充実」の評価が他の地区と比べて高くなっています。
- ・寺井で「学校、図書館など教育環境の充実」の評価が他の地区と比べて低くなっています。
- ・辰口で「子育て支援施設、保育施設の充実」の評価が他の地区と比べて高くなっています。



問 15 あなたは、これからも能美市に住み続けたいと思いますか？

- ◆「このまま住み続けたい」が 77%と最も多く、次いで「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」が 9%で、8 割以上の方が住み続けたい意向を示しています。
- ◆経年的な変化はみられません。

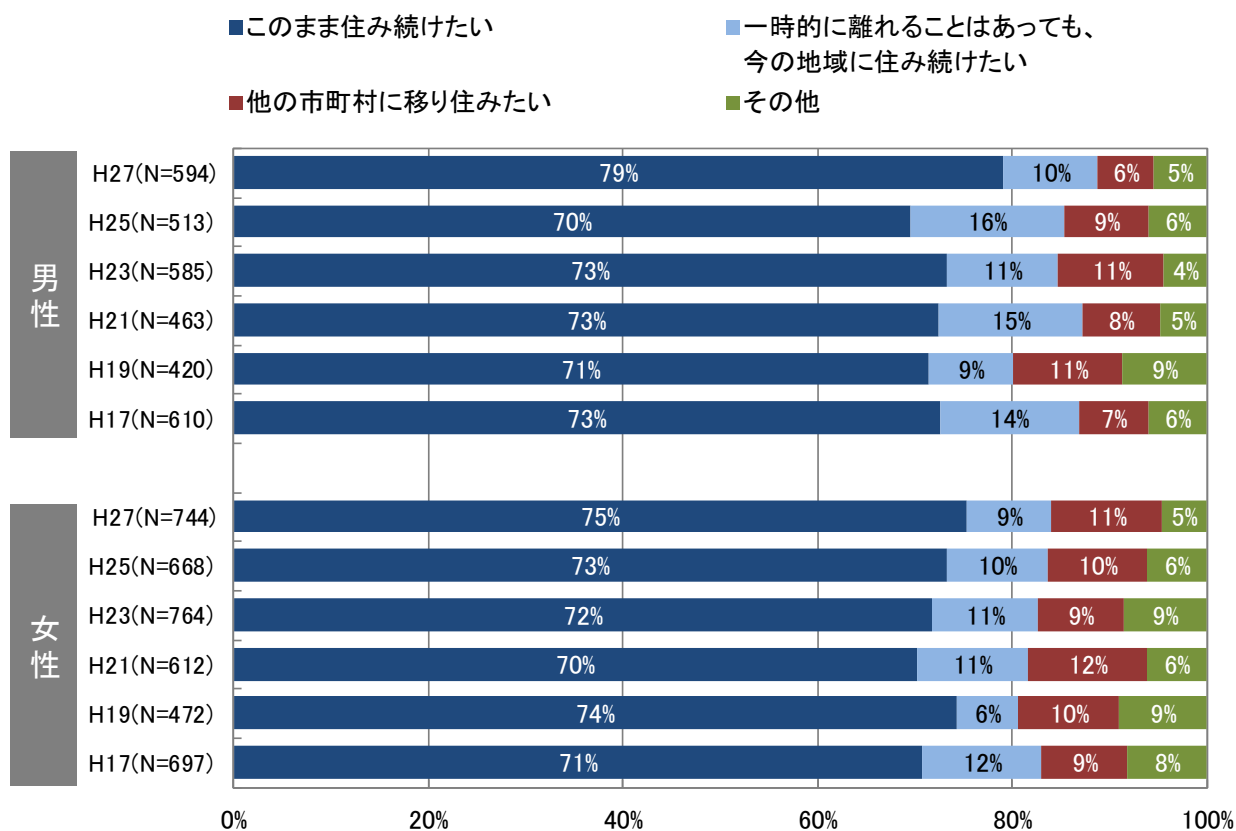


【定住意向の主な理由 (H27)】

定住意向	回答数	主な意見
①このまま住み続けたい	1,115 件	◇生まれ育った所、住みやすい、生活しやすいから
		◇自然に恵まれ、自然災害も少ないから
		◇子育て支援が充実しているから
②一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい	135 件	◇生まれ育った所だから
		◇自然環境が充実しているから
		◇住み慣れた所だから
③他の市町村に移り住みたい	125 件	◇公共交通が充実していないから
		◇店が少なく買い物が不便だから
		◇車がないと何もできないから

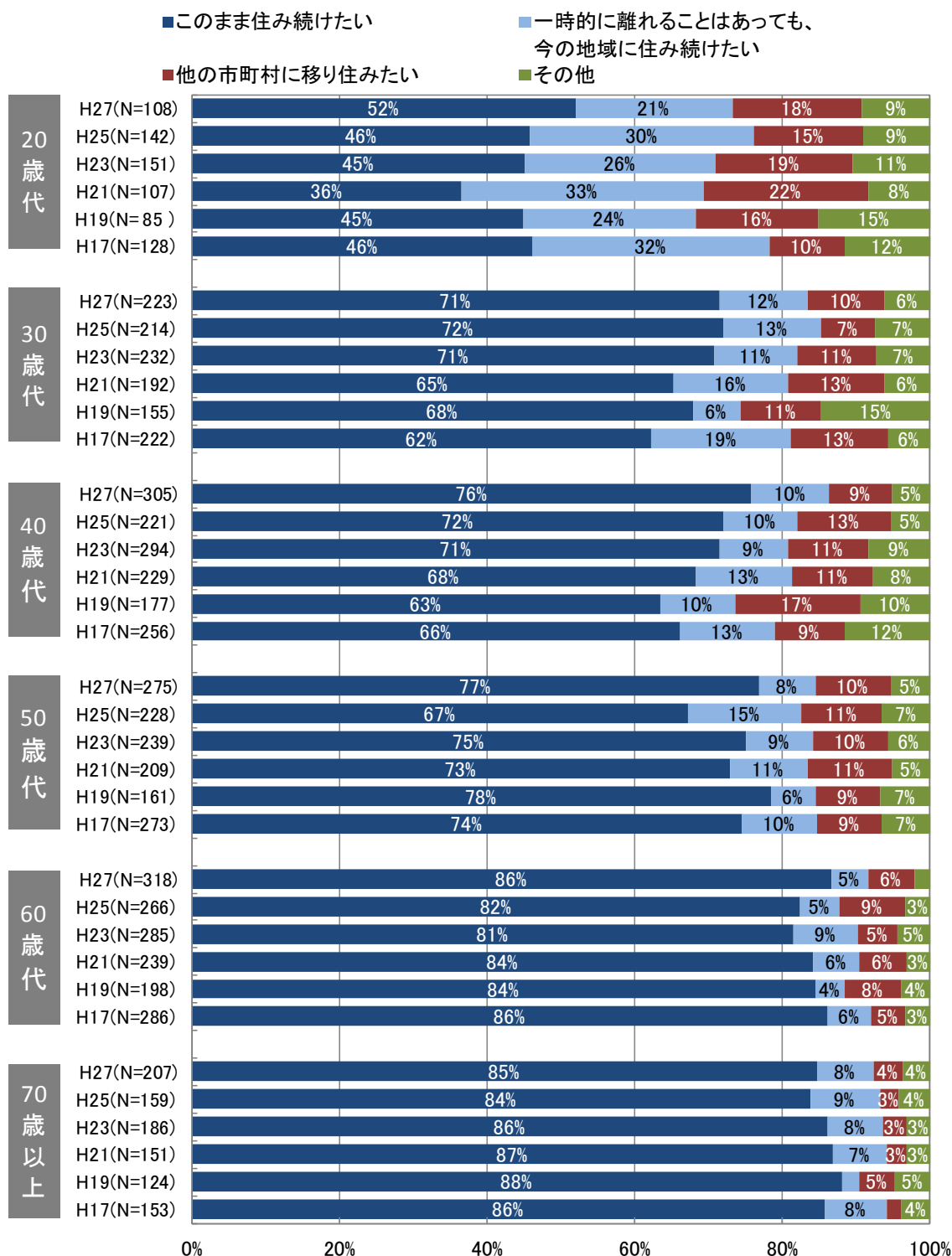
■将来的な定住意向（性別）

- ・男性は「このまま住み続けたい」が 79%と H25 と比べて 9 ポイント高くなっています。
- ・女性は「他の市町村に移り住みたい」が 11%と男性より 5 ポイント高くなっています。



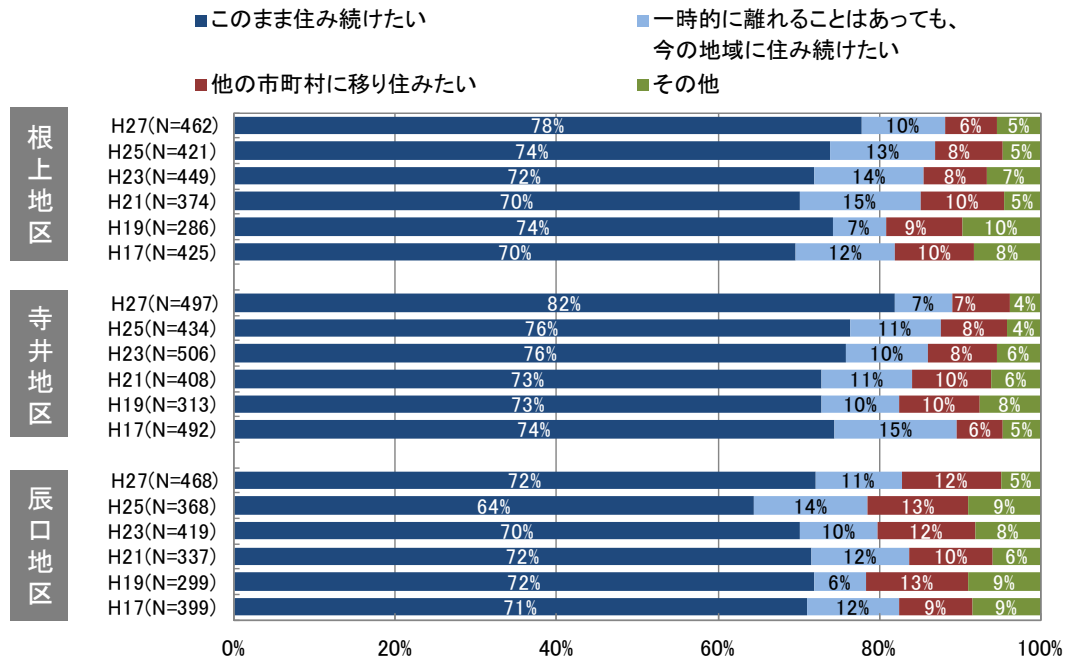
■将来的な定住意向（年代別）

- ・どの年代においても「このまま住み続けたい」が最も多くなっていますが、20 歳代は他の年代と比べて 19 ポイント以上低くなっています。一方で、20 歳代は「一時的に離れることがあっても今の地域で住み続けたい」が 21%と、他の年代と比べて 9 ポイント以上高くなっています。
- ・60 歳以上の方の約 9 割以上が住み続けたい意向を示しています。



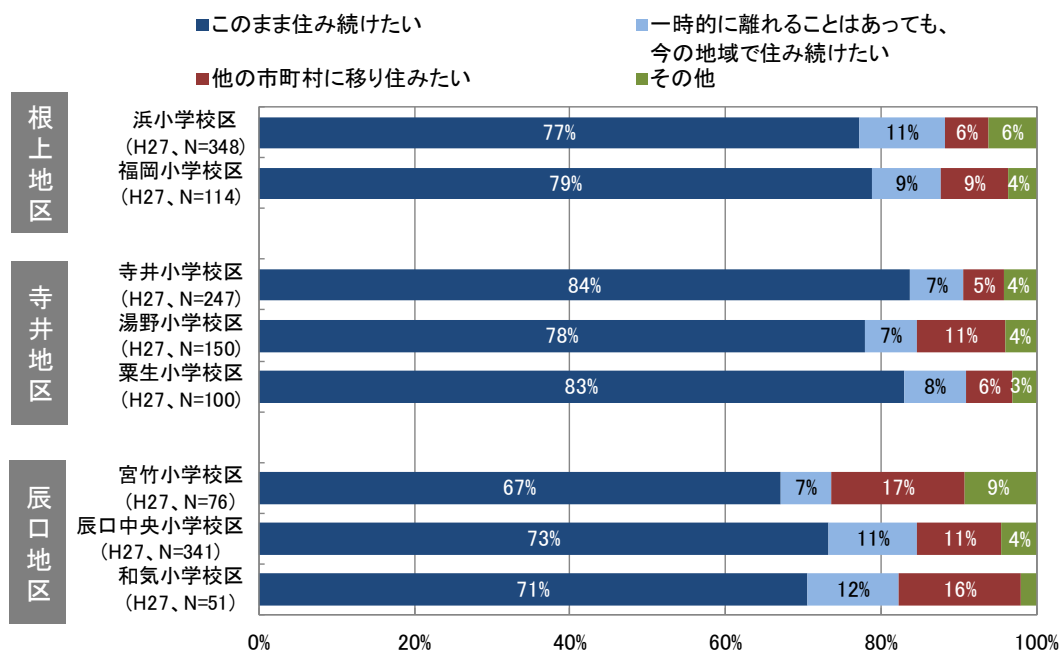
■将来的な定住意向（地区別）

- ・根上と寺井は、「このまま住み続けたい」と「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」の合計がそれぞれ 88%、89%と辰口より 5 ポイント以上高くなっています。
- ・辰口では H25 に比べて「このまま住み続けたい」が 8 ポイント増加しています。



【小学校区別】

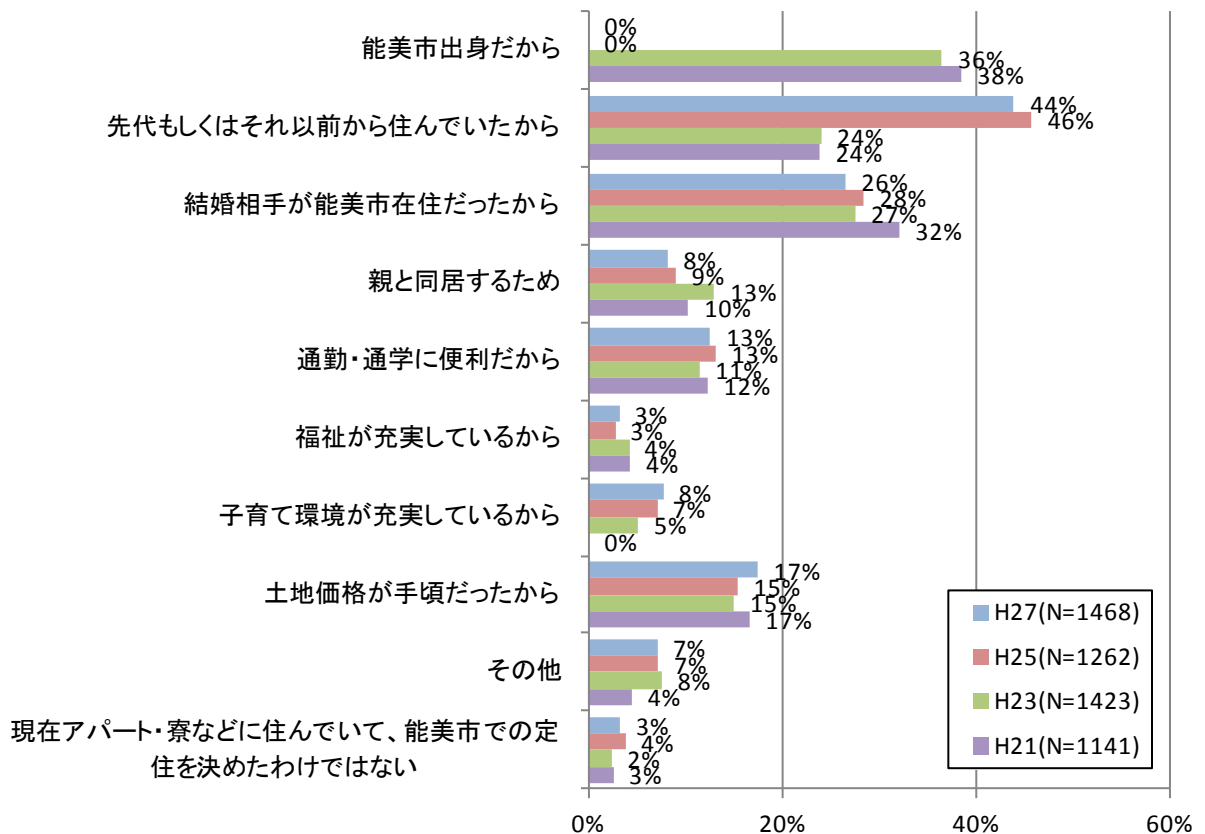
- ・辰口地区の宮竹小学校区と和気小学校区では「他の市町村に移り住みたい」が他の地区に比べて 5 ポイント以上高くなっています。



問 16 能美市に定住した主なきっかけは何ですか？（当てはまるもの全てに○）

※H21 に追加した設問

- ◆「先代もしくはそれ以前から住んでいたから」が 44%と最も多く、次いで「結婚相手が能美市在住だったから」が 26%、「土地価格が手頃だったから」が 17%となっています。
- ◆H23 に比べると、「能美市出身だから」の項目を「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」と合わせたことから、「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」の回答が増えていますが、その他の項目に大きな変化はみられません。

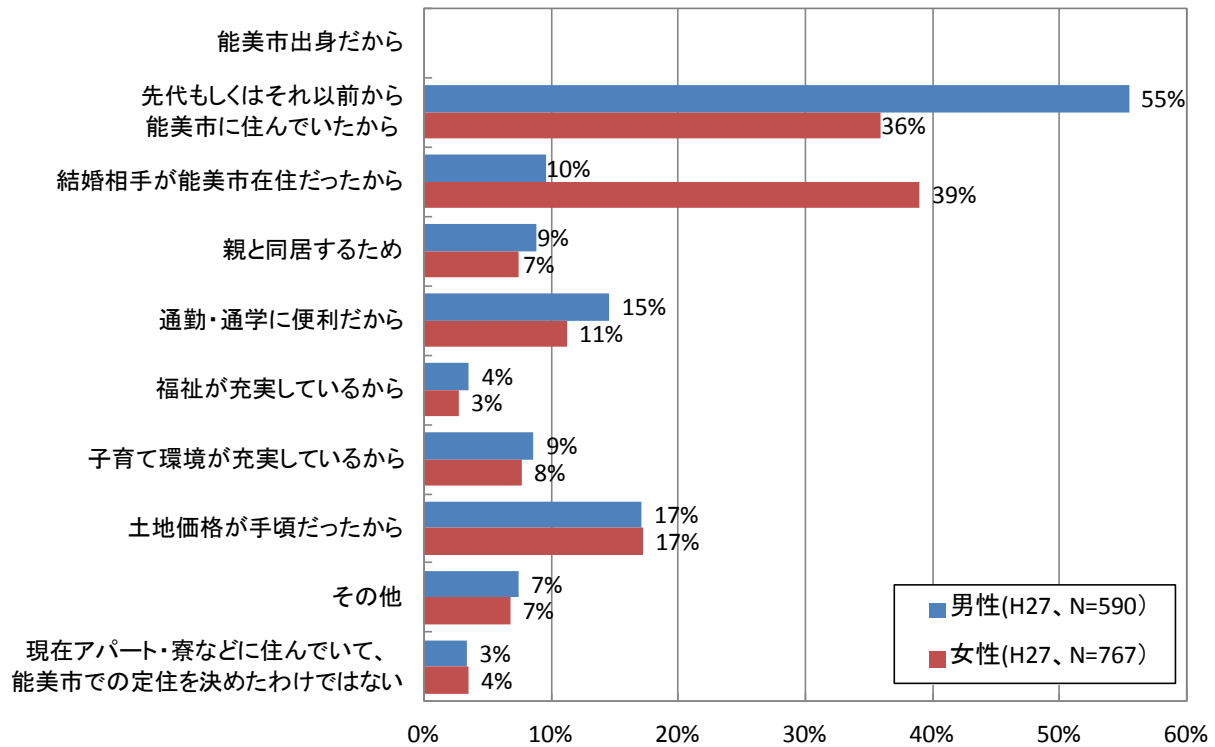


※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、「能美市出身だから」は H25 より削除

■能美市に定住した主なきっかけ（性別）

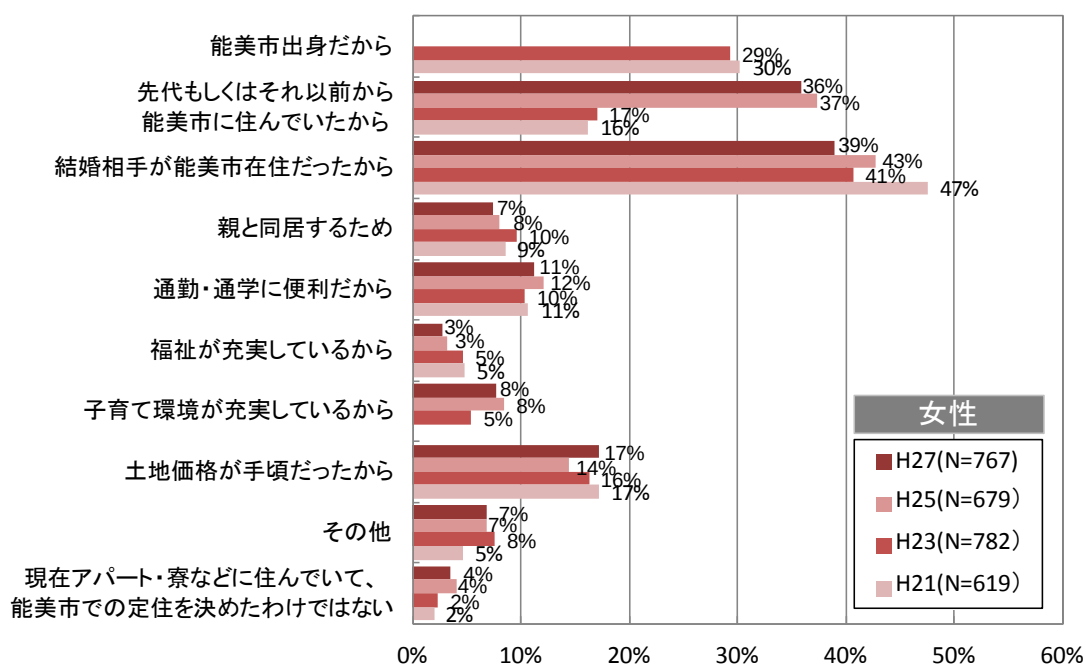
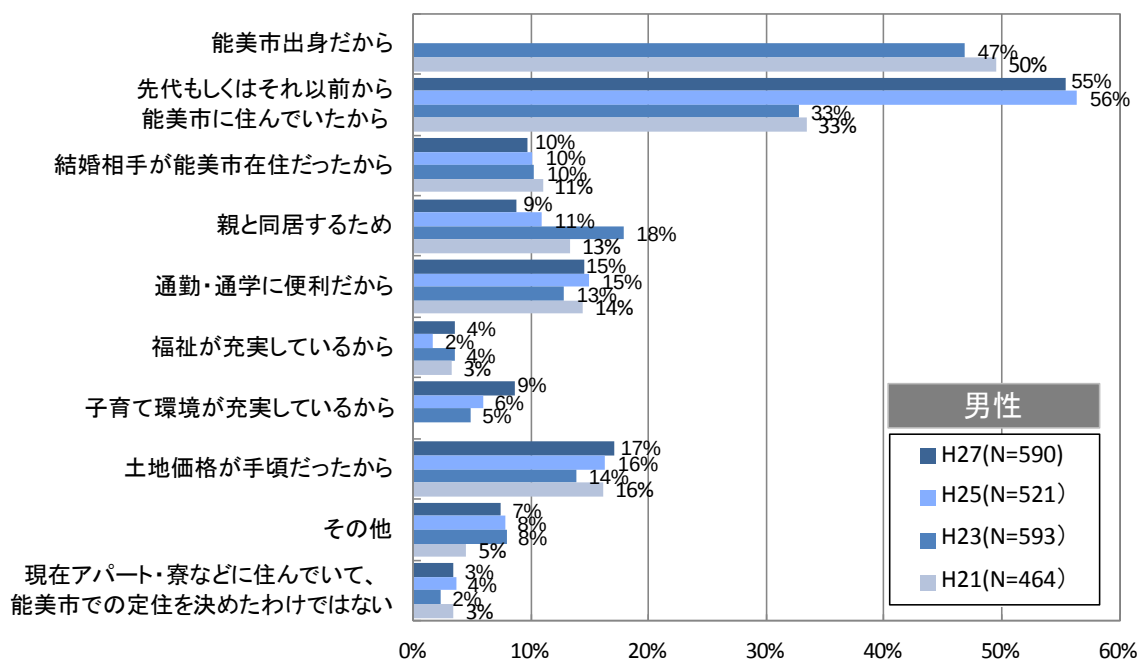
【今回（H27）】

- ・男性は「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が 55%と最も多く、女性より 19 ポイント高くなっており、次いで「土地価格が手頃だったから」が 17%となっています。
- ・女性は「結婚相手が能美市在住だったから」が 39%と最も多く、男性より 29 ポイント高くなっています。



【経年変化】

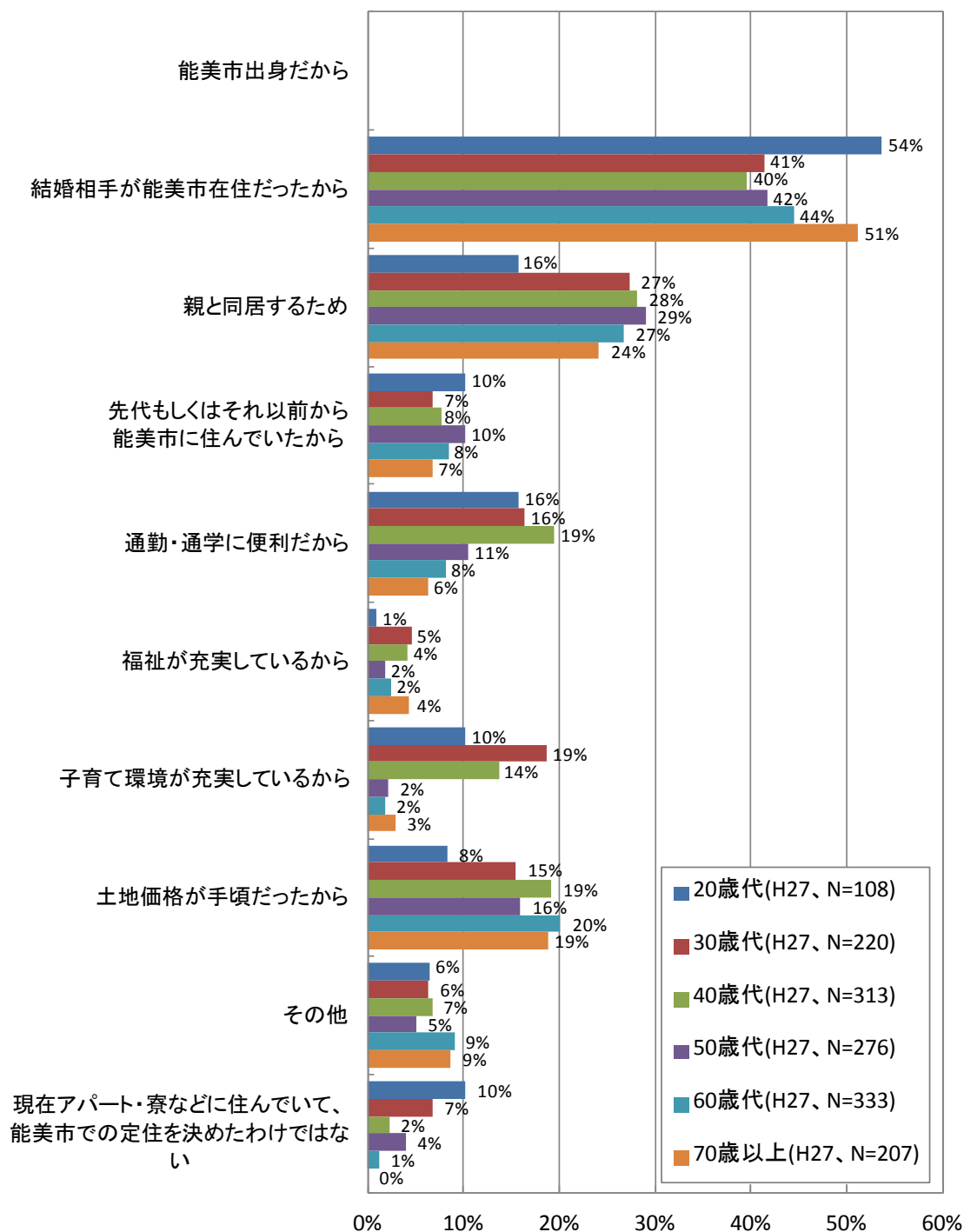
- ・男女共に、経年的な変化はみられません。



■能美市に定住した主なきっかけ（年代別）

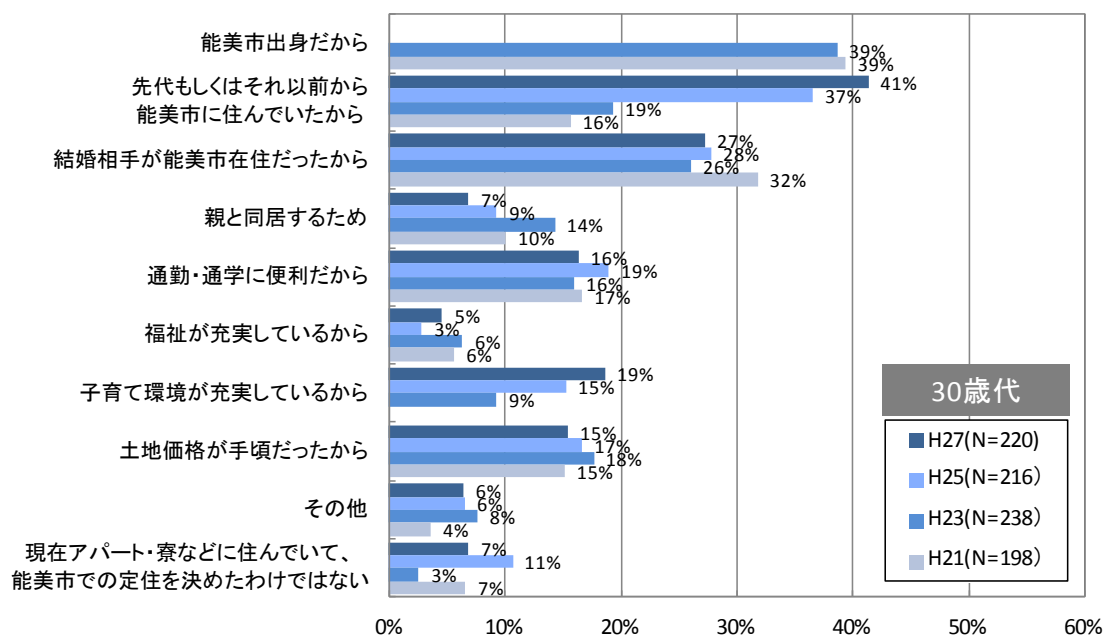
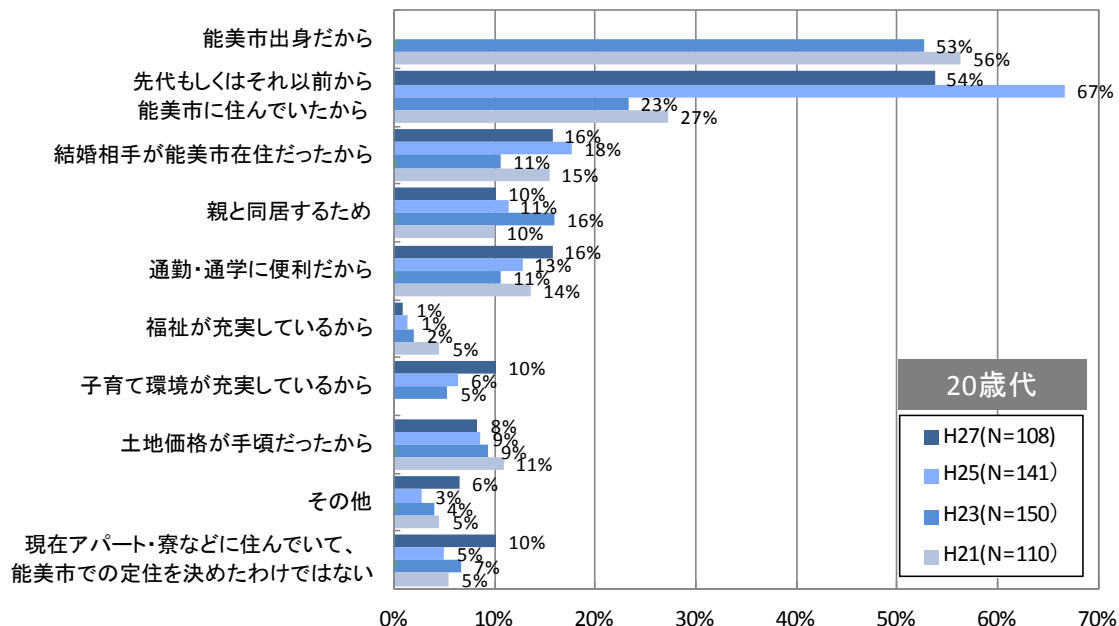
【今回（H27）】

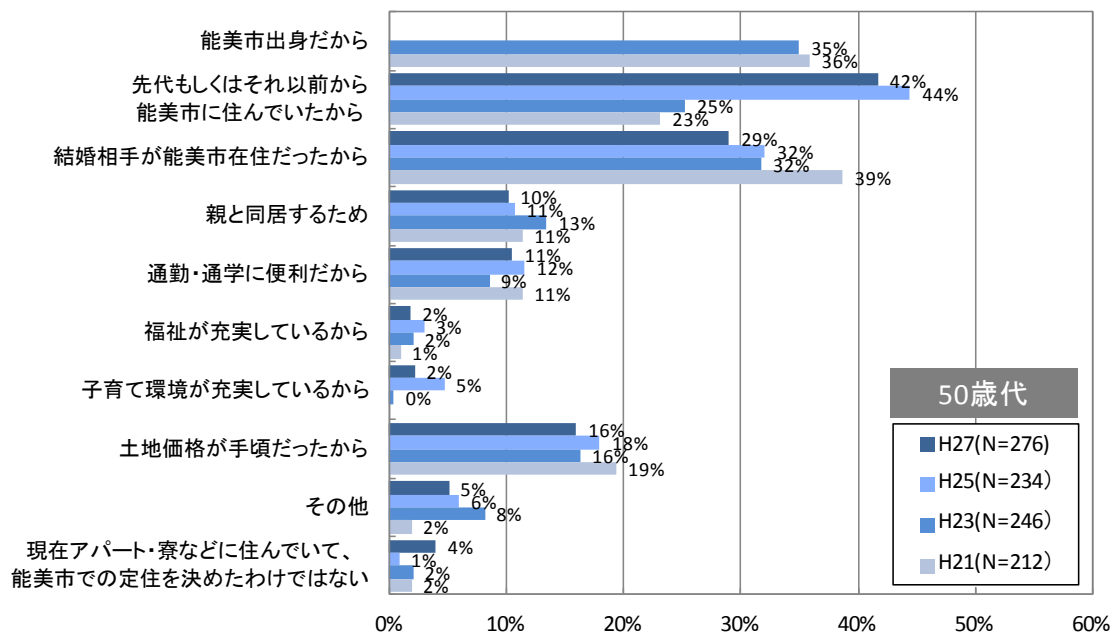
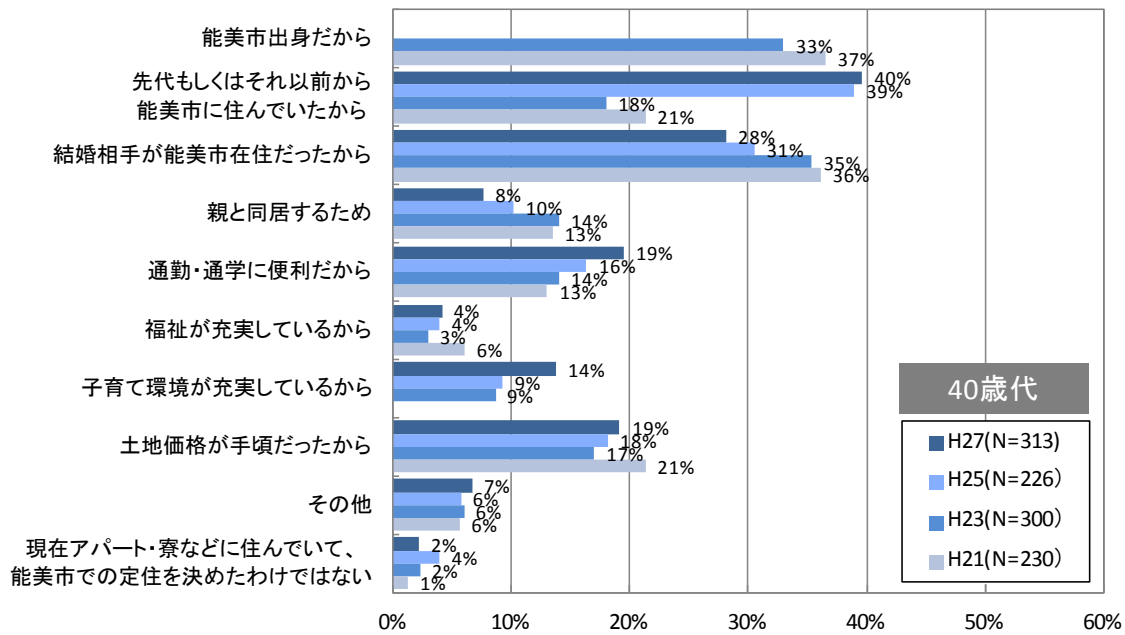
- ・20 歳代は「親と同居するため」が 16%とほかと比べて 8 ポイント以上低くなっています。
- ・30 歳代は「子育て環境が充実しているから」が 19%と他と比べて 5 ポイント以上高くなっています。

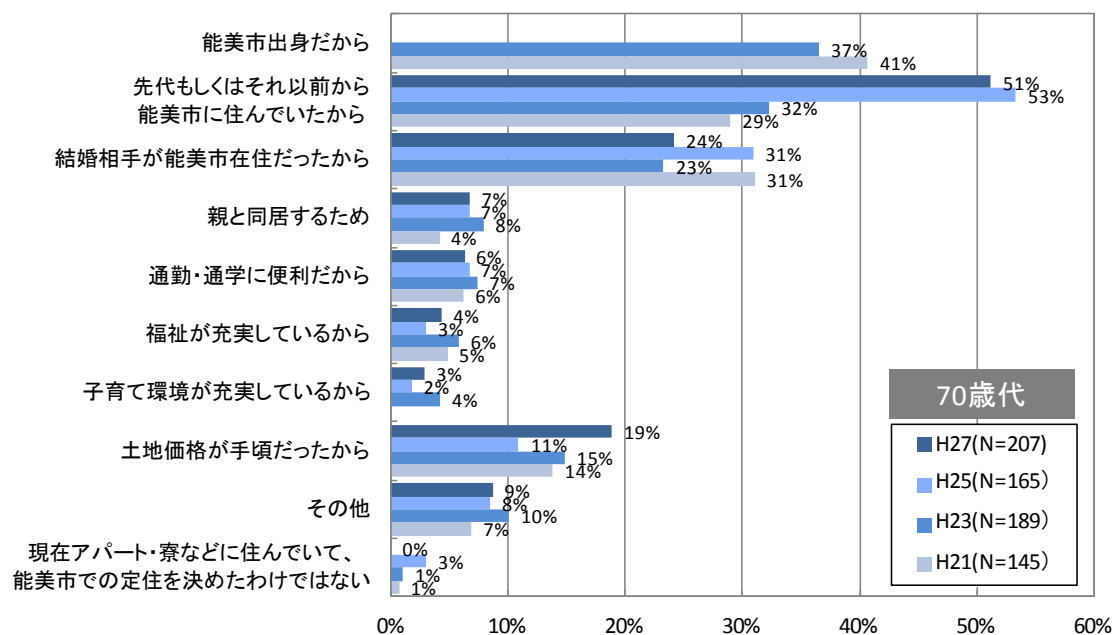
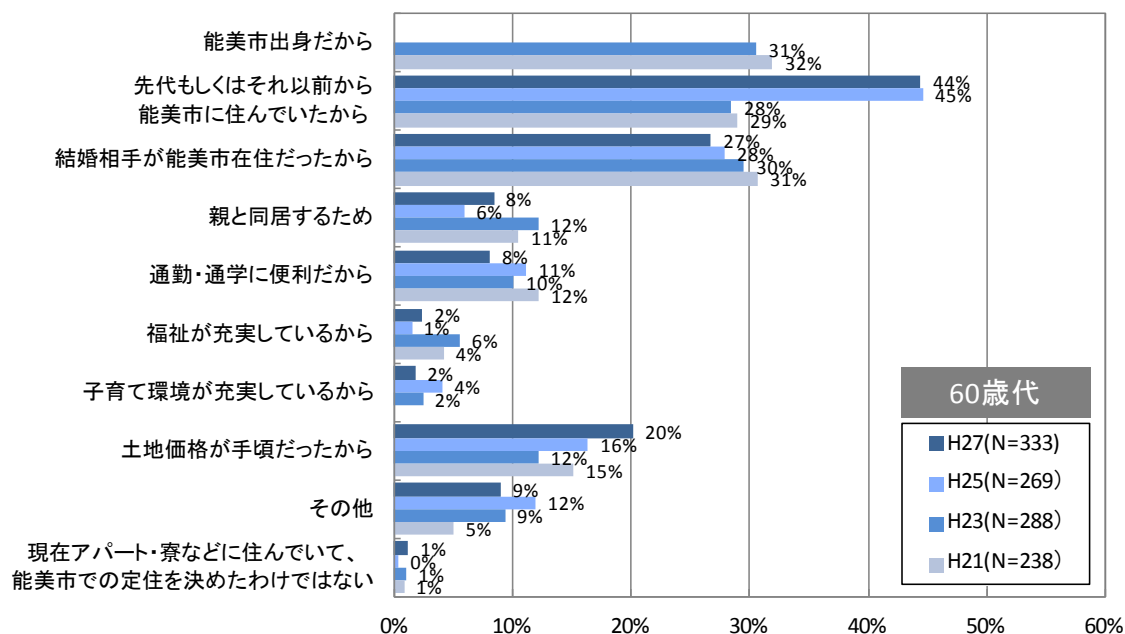


【経年変化】

- ・全ての年代で「親と同居するため」が減少しています。
- ・40 歳代、60 歳代、70 歳以上は「土地価格が手頃だったから」が増加していますが、他の年代では減少しています。



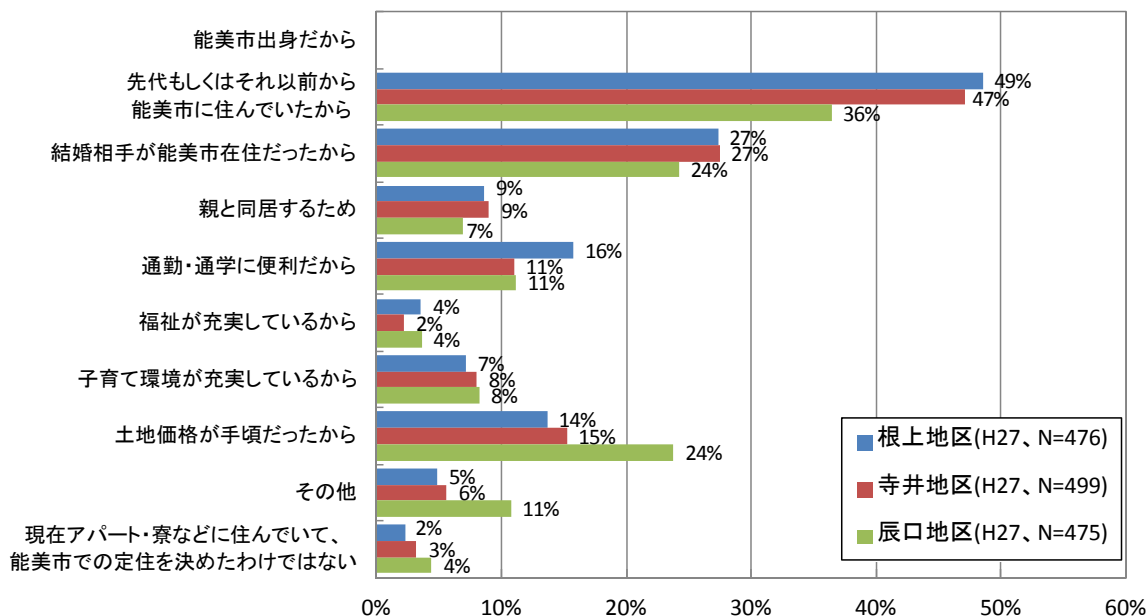




■能美市に定住した主なきっかけ（地区別）

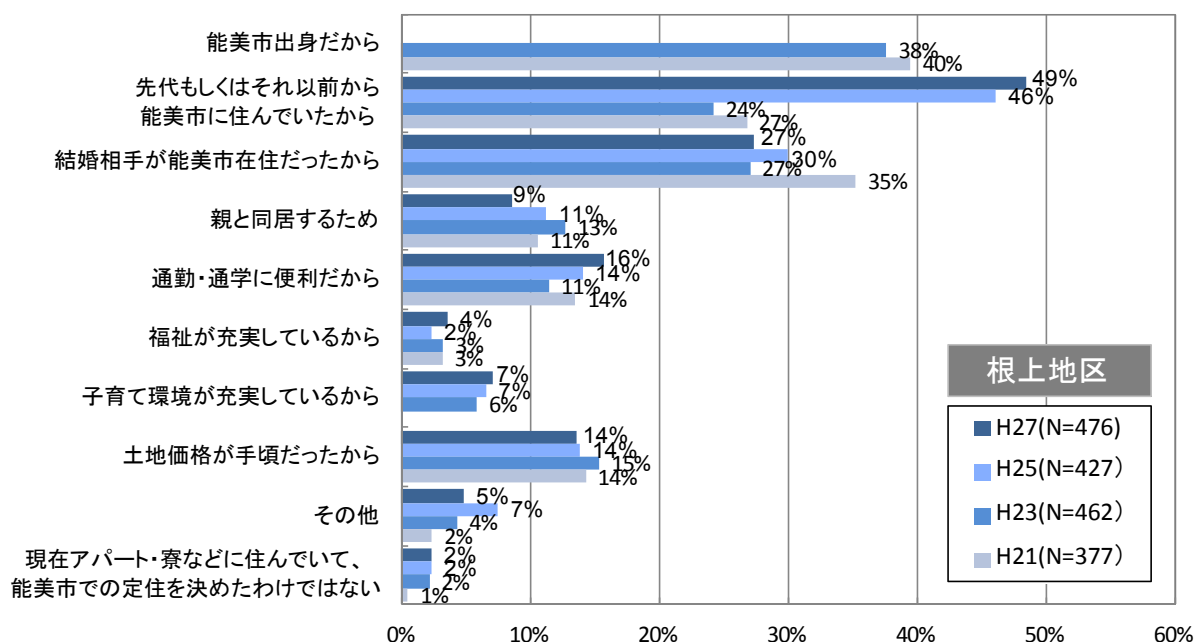
【今回（H27）】

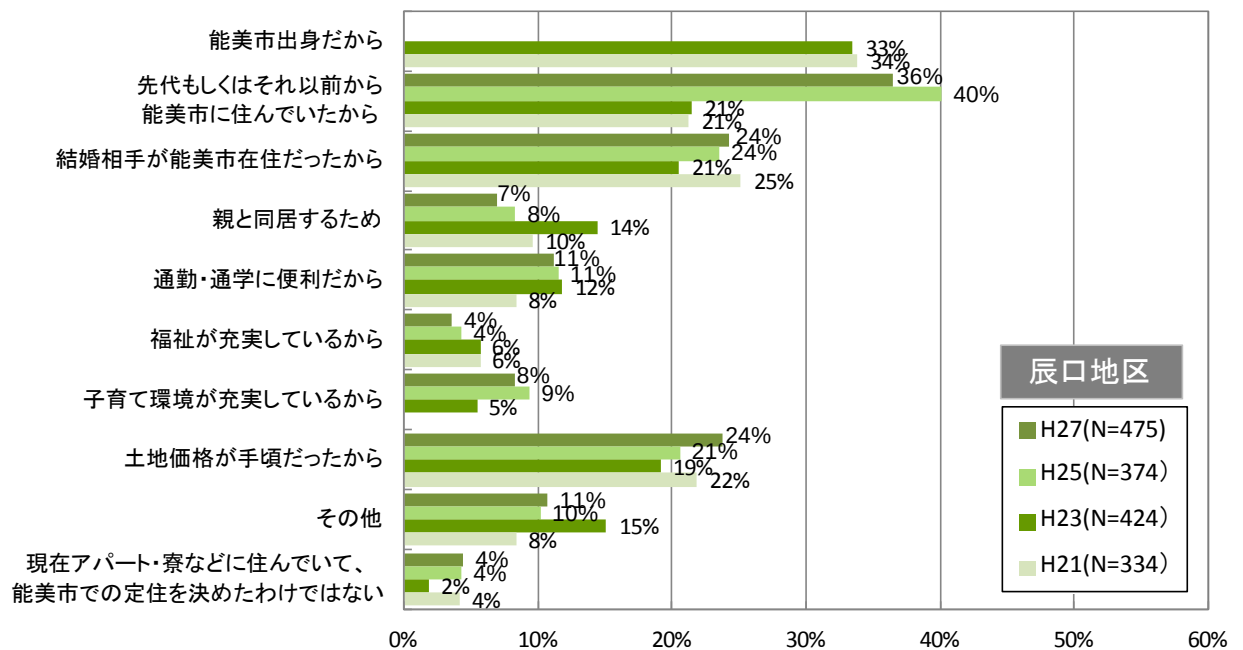
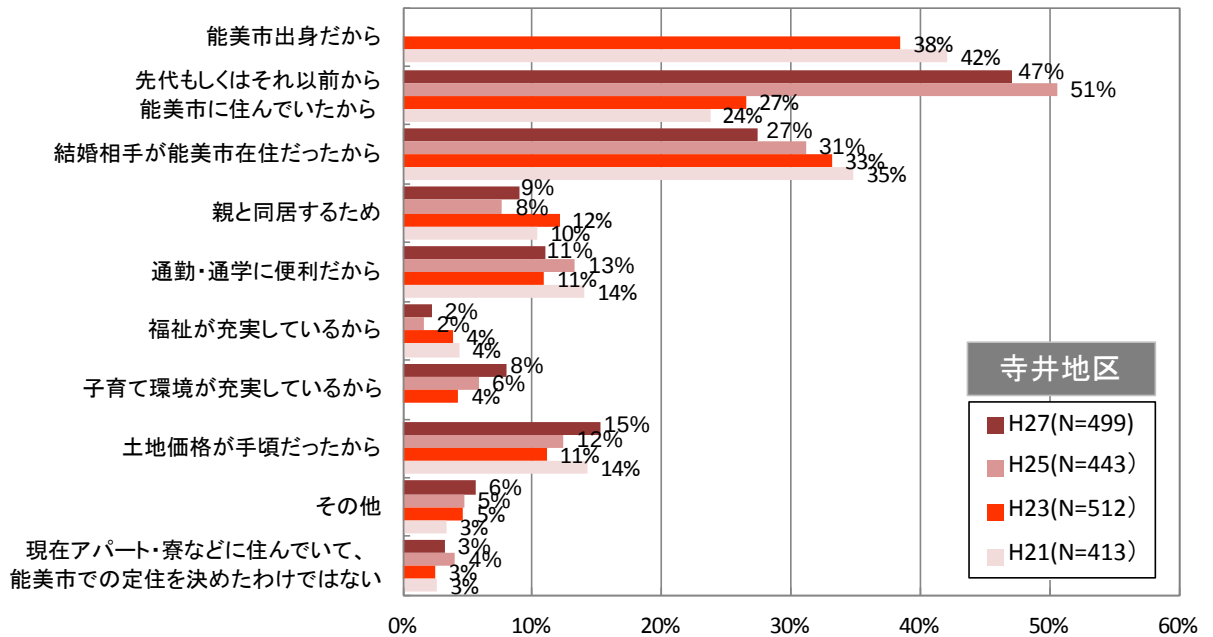
- ・3地区共に「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が最も多くなっています。
- ・根上は「通勤・通学に便利だから」が16%と他の地区より5ポイント以上高くなっています。辰口は「土地価格が手頃だったから」が24%と他の地区より9ポイント以上高くなっています。



【経年変化】

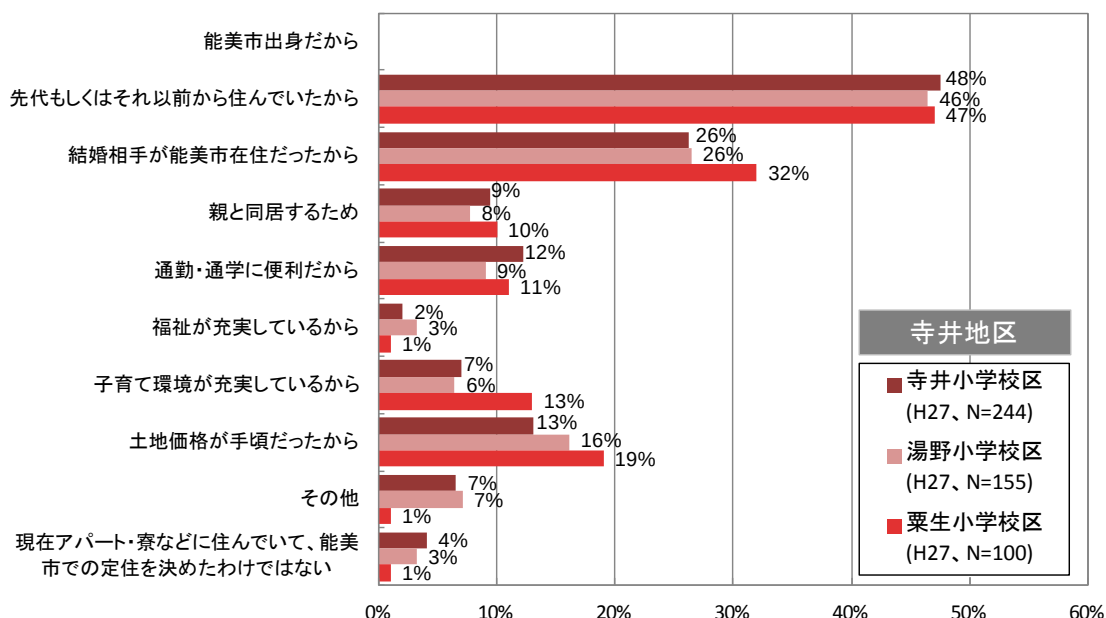
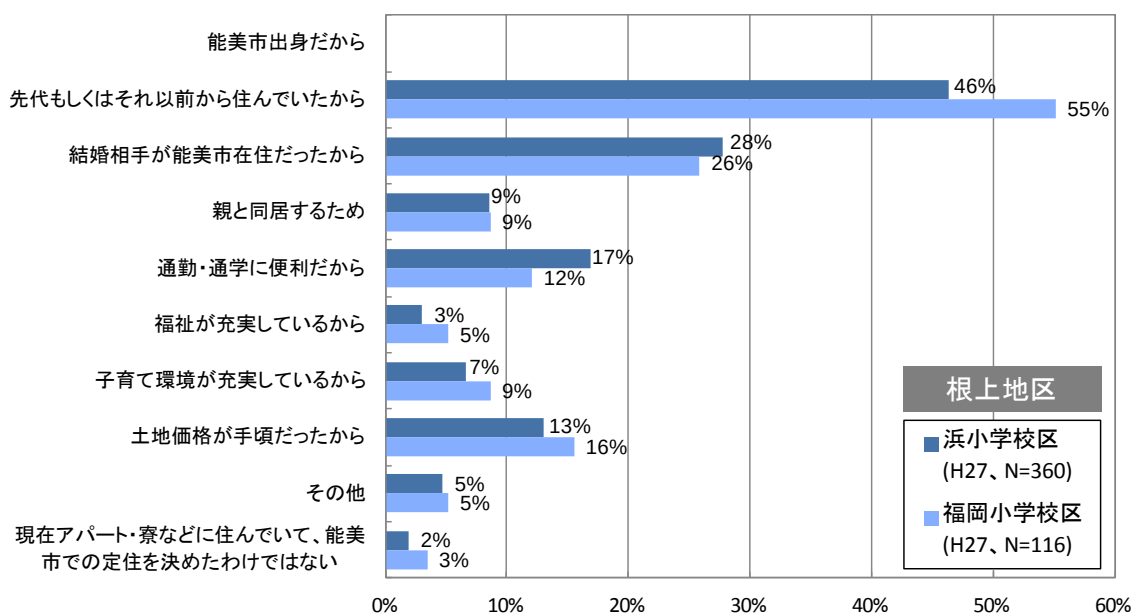
- ・根上では「親と同居するため」が経年的に減少している一方、「通学・通勤に便利だから」が増加傾向にあります。寺井では「結婚相手が能美市在住だったから」が経年的に減少する一方、「土地価格が手頃だったから」が増加傾向にあります。辰口では、「親と同居するため」が経年的に減少している一方、「土地価格が手頃だったから」が増加傾向にあります。

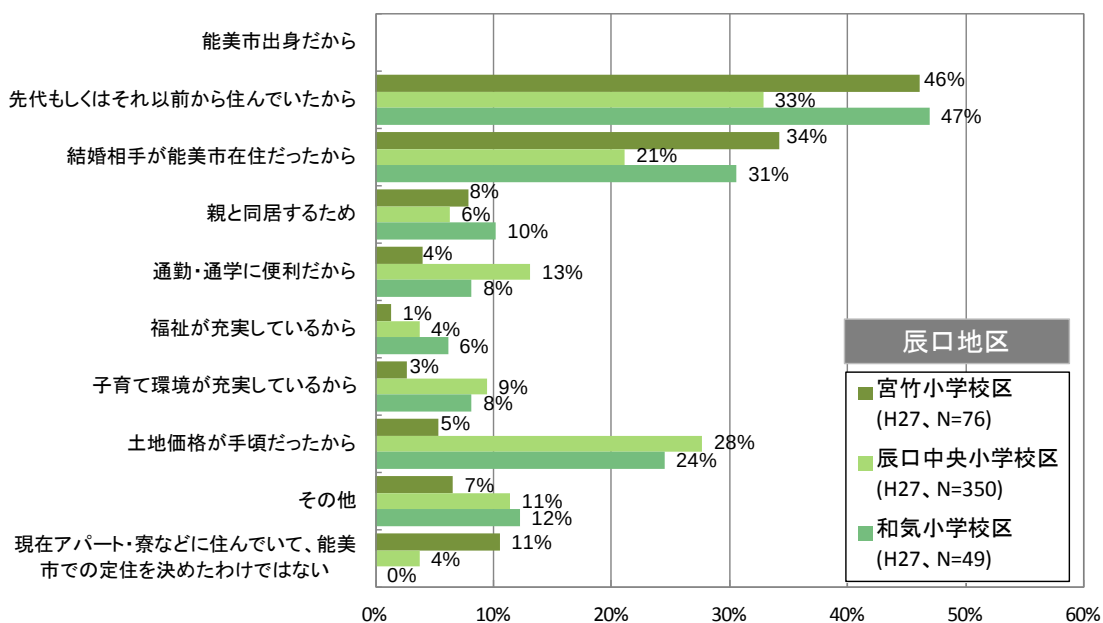




【小学校区別】

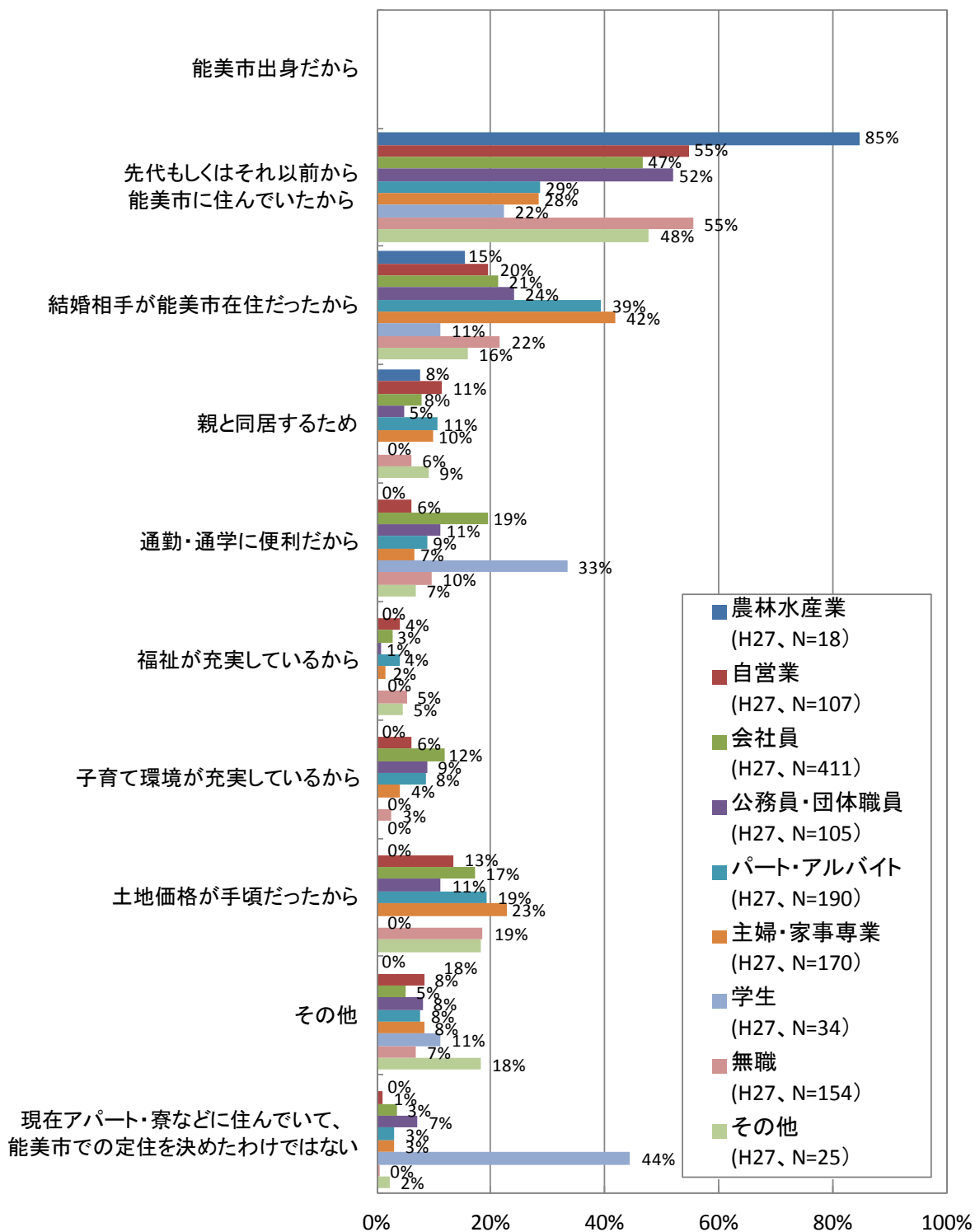
- ・全ての小学校区で「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が最も高くなっていますが、辰口中央小学校区は 33%、それ以外の小学校区は 4 割以上となっており、辰口中央小学校区は他と比べて 13 ポイント以上低くなっています。
- ・辰口中央小学校区は、「結婚相手が能美市在住だったから」が 21%と他と比べて、5 ポイント以上低くなっています。一方、「土地価格が手頃だったから」が 28%と根上、寺井の小学校区と比べて 9 ポイント以上高くなっています。





■能美市に定住した主なきっかけ（職業別）

- ・農林水産業、自営業、会社員、公務員・団体職員、無職は「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が最も多くなっています。
- ・パート・アルバイト、主婦・家事専業は「結婚相手が能美市在住だったから」が最も多くなっています。

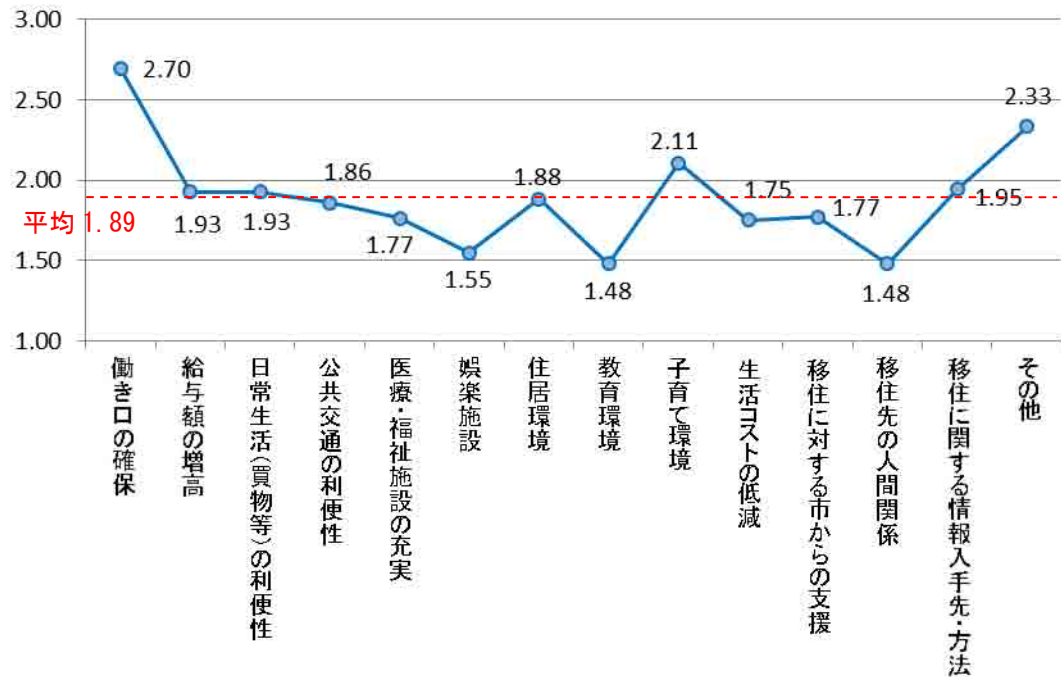


(4) 人口減少に向けた取り組みについて

問 17

若い世代が能美市に住み続ける条件として何が必要だと思いますか。
(優先度 3 位まで選択)

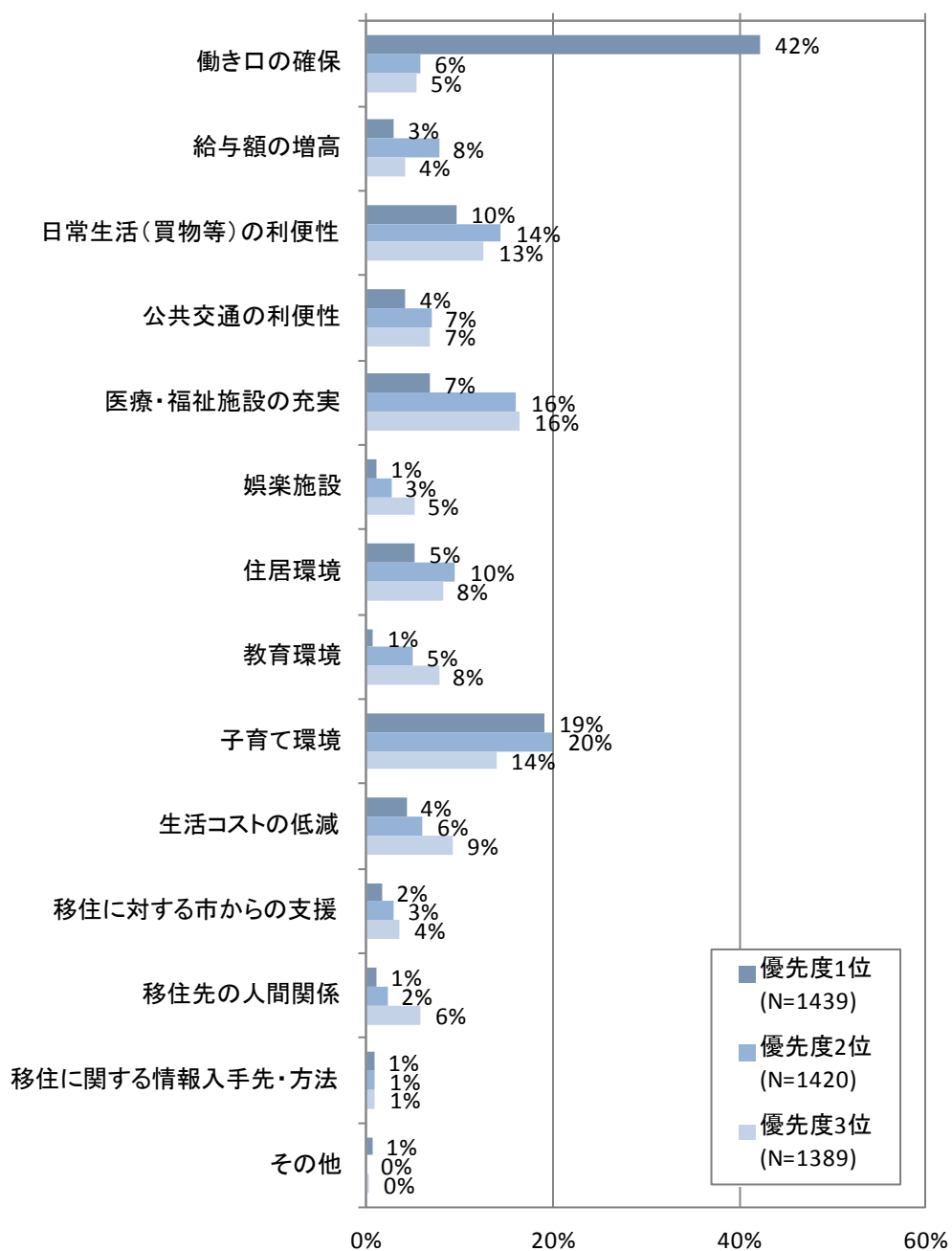
◆優先度 1 位を 3 点、優先度 2 位を 2 点、優先度 3 位を 1 点として加重平均値を算出した結果、「働き口の確保」が 2.70 で最も高く、次いで「子育て環境」が 2.11、「移住に関する情報入手先・方法」が 1.95、「日常生活（買物等）の利便性」及び「給与額の増高」が共に 1.93 となっています。



【評価点の算出式】

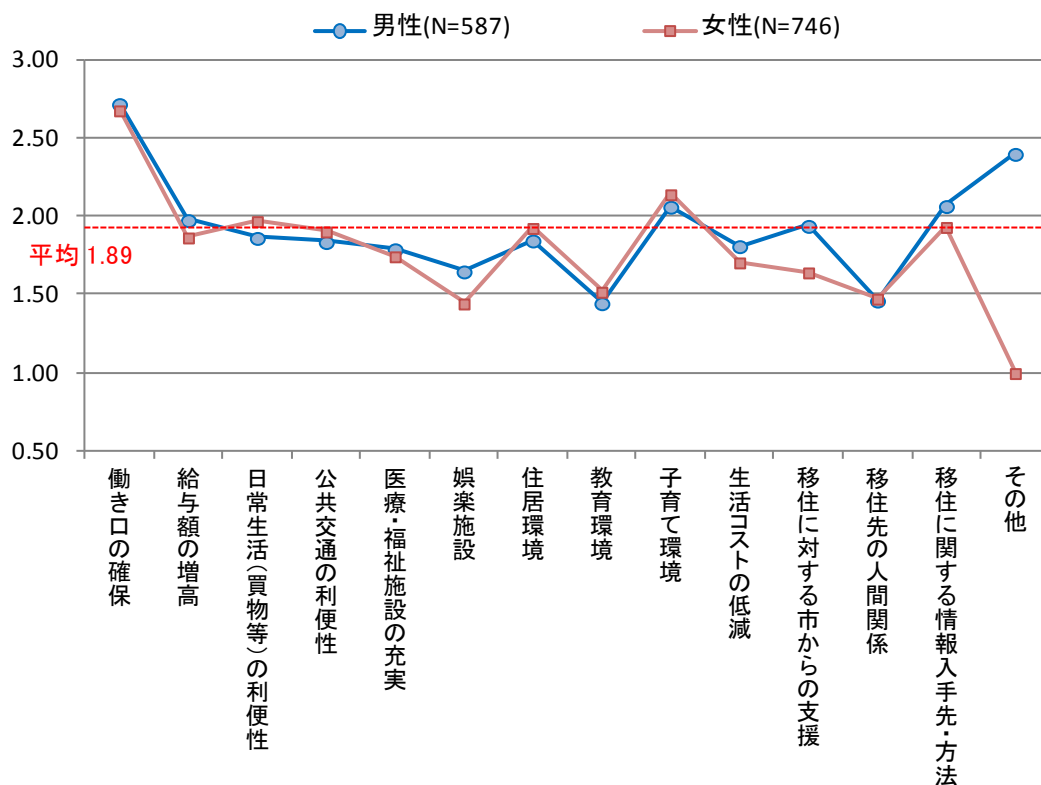
{ 優先度 1 位 × (3 点) + 優先度 2 位 × (2 点) + 優先度 3 位 × (1 点) } ÷ 回答者数

<若い世代が能美市に住み続ける条件（優先度3位まで選択）>



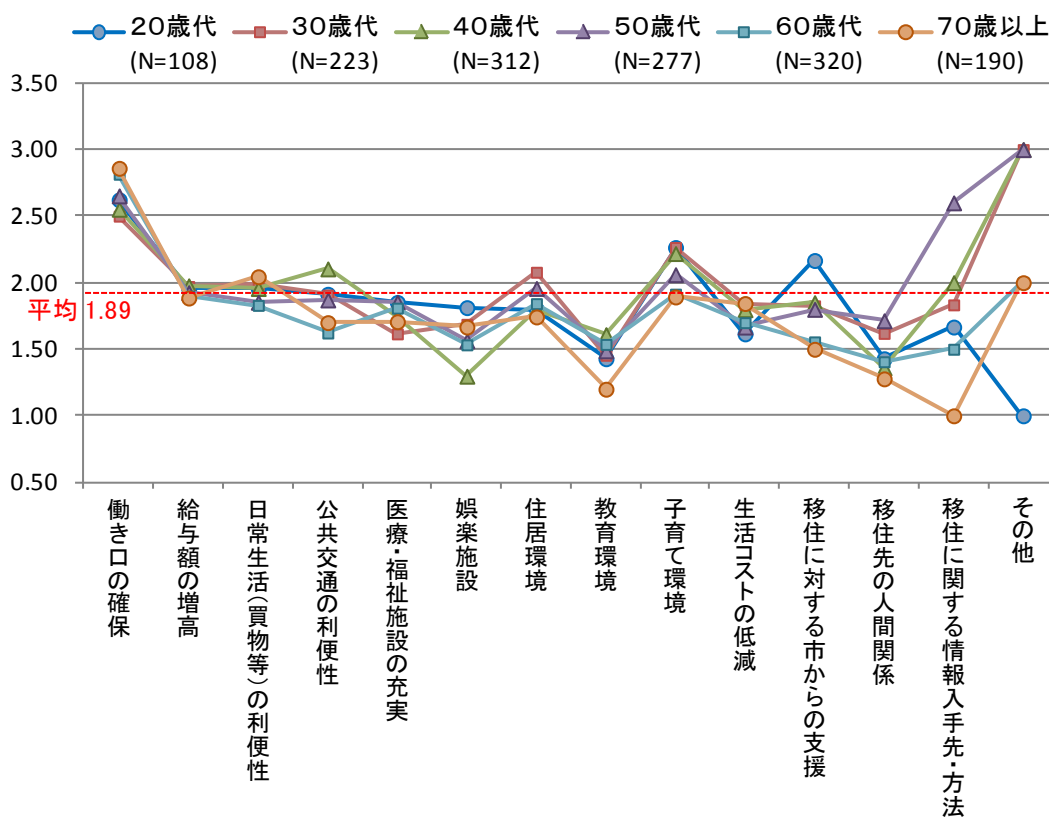
■若い世代が能美市に住み続ける条件に対する意識（性別）

- ・性別による大きな違いはみられません。



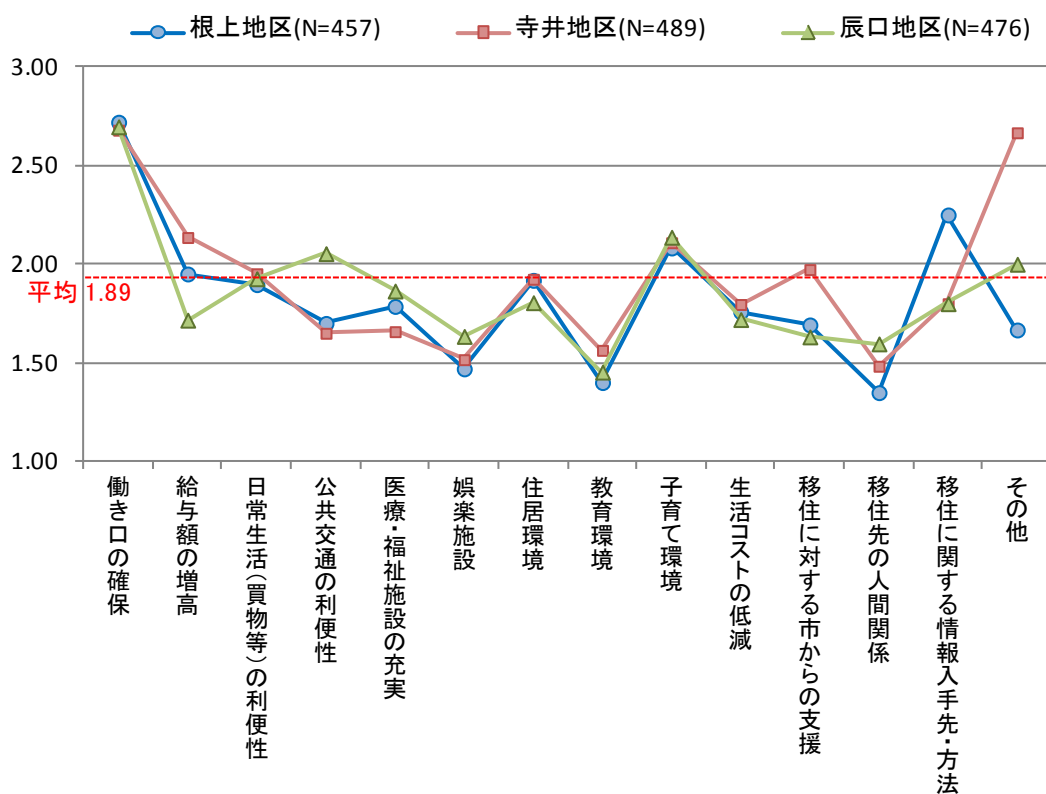
■若い世代が能美市に住み続ける条件に対する意識（年代別）

- ・70歳以上で「移住に関する情報入手先・方法」が他より評価が低くなっています。



■若い世代が能美市に住み続ける条件に対する意識（地区別）

- ・辰口で「公共交通の利便性」が他より評価が高くなっています。
- ・根上で「移住に関する情報入手先・方法」が他より評価が高くなっています。

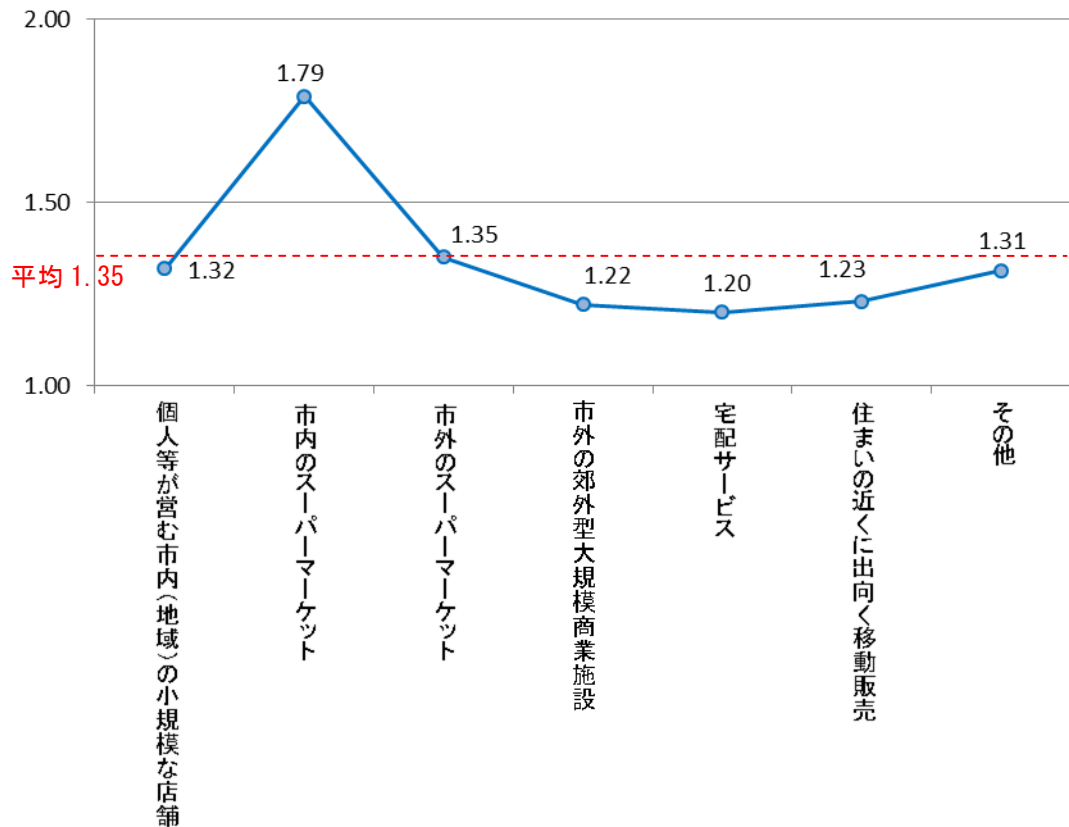


(5) 買い物について

問 18

生鮮三品（鮮魚、青果、精肉）や日用品を、普段、どこで購入していますか。
（頻度 2 位まで選択）

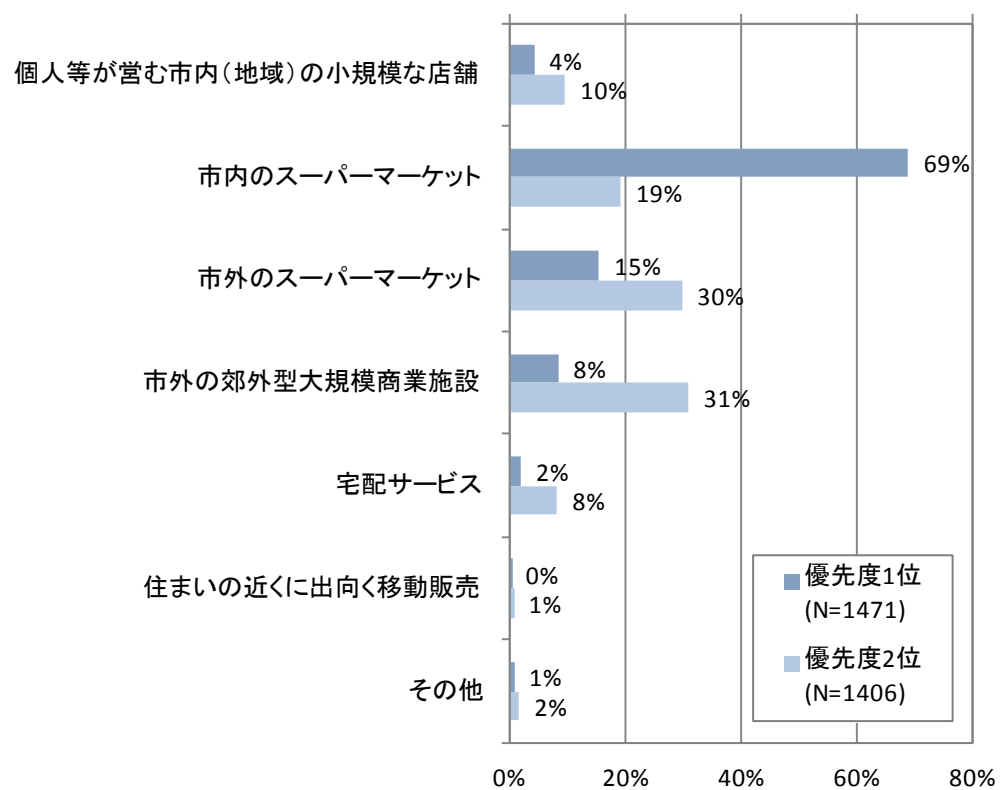
◆頻度 1 位を 2 点、頻度 2 位を 1 点として加重平均値を算出した結果、「市内のスーパーマーケット」が 1.79 で最も高く、次いで「市外のスーパーマーケット」が 1.35、「個人等が営む市内（地域）の小規模な店舗」が 1.32 となっています。



【評価点の算出式】

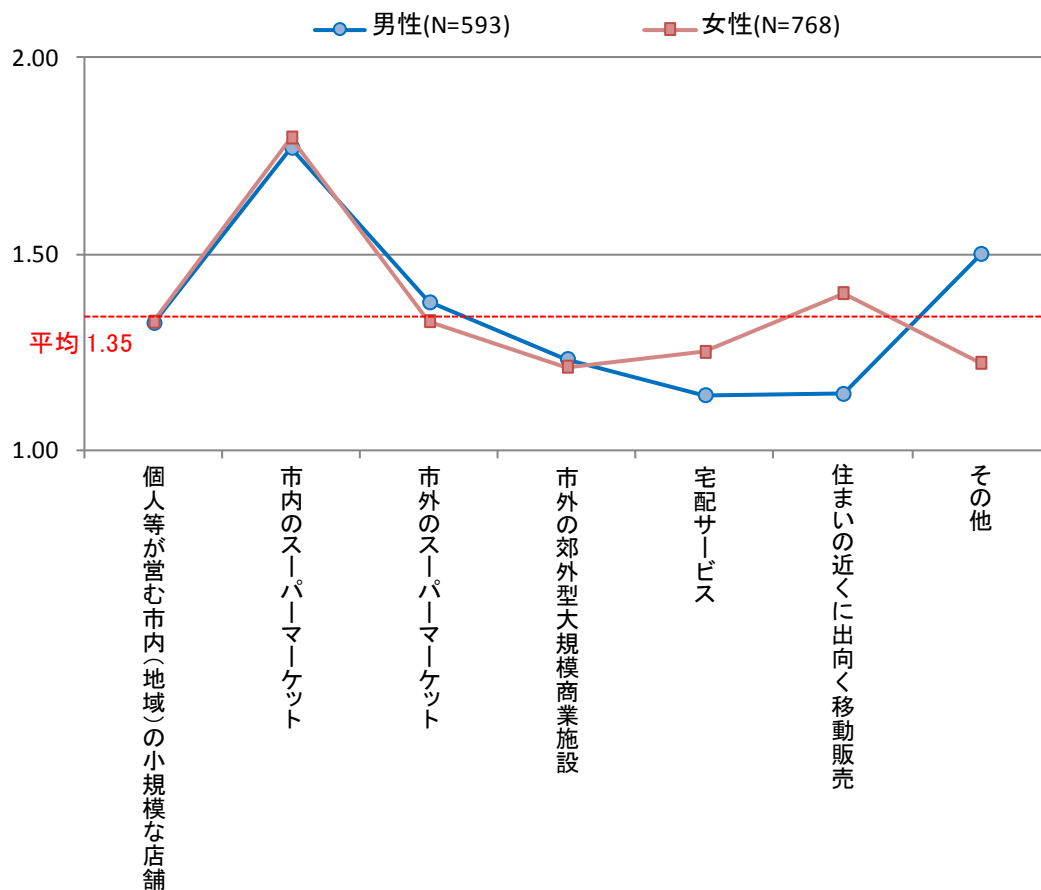
$$\{ \text{頻度 1 位} \times (2 \text{ 点}) + \text{頻度 2 位} \times (1 \text{ 点}) \} \div \text{回答者数}$$

＜生鮮三品（鮮魚、青果、精肉）や日用品の購入場所（頻度 2 位まで選択）＞



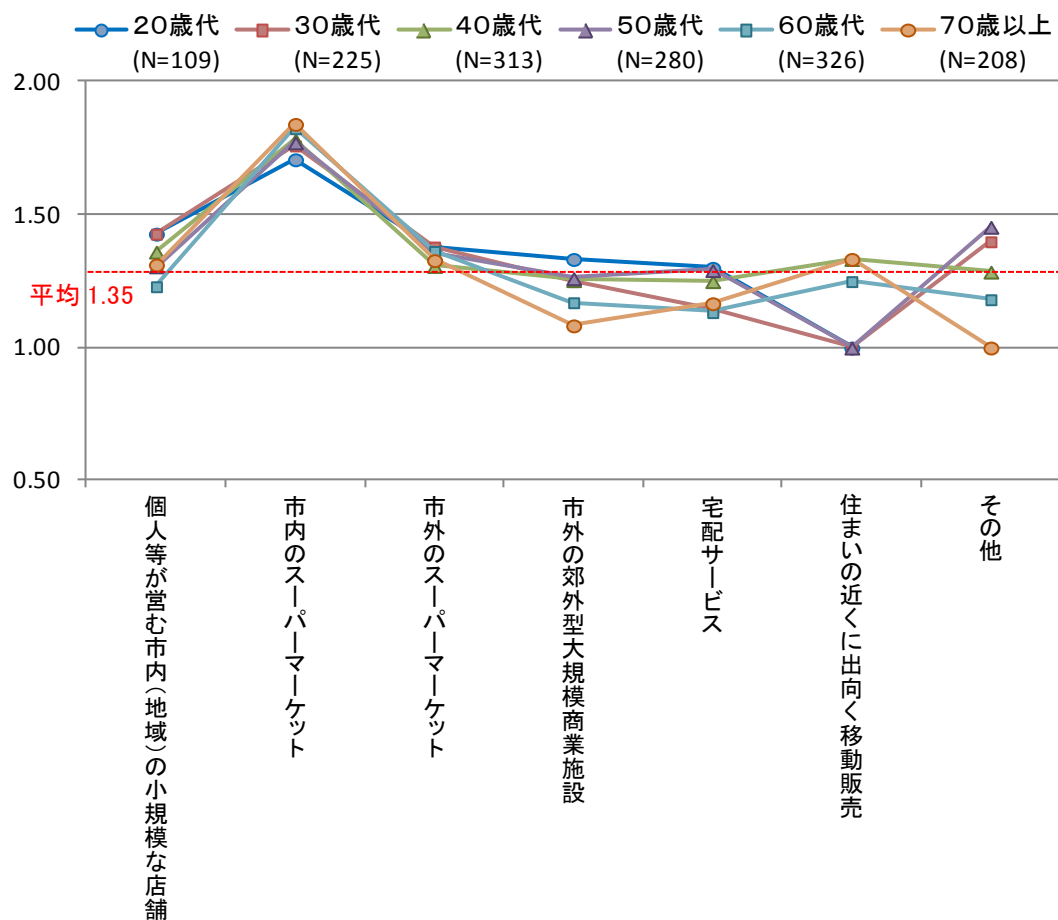
■生鮮三品（鮮魚、青果、精肉）や日用品の購入場所に対する意識（性別）

- ・ほとんど同じ傾向の回答結果となっていますが、「住まいの近くに出向く移動販売」については男女間で差がみられます。



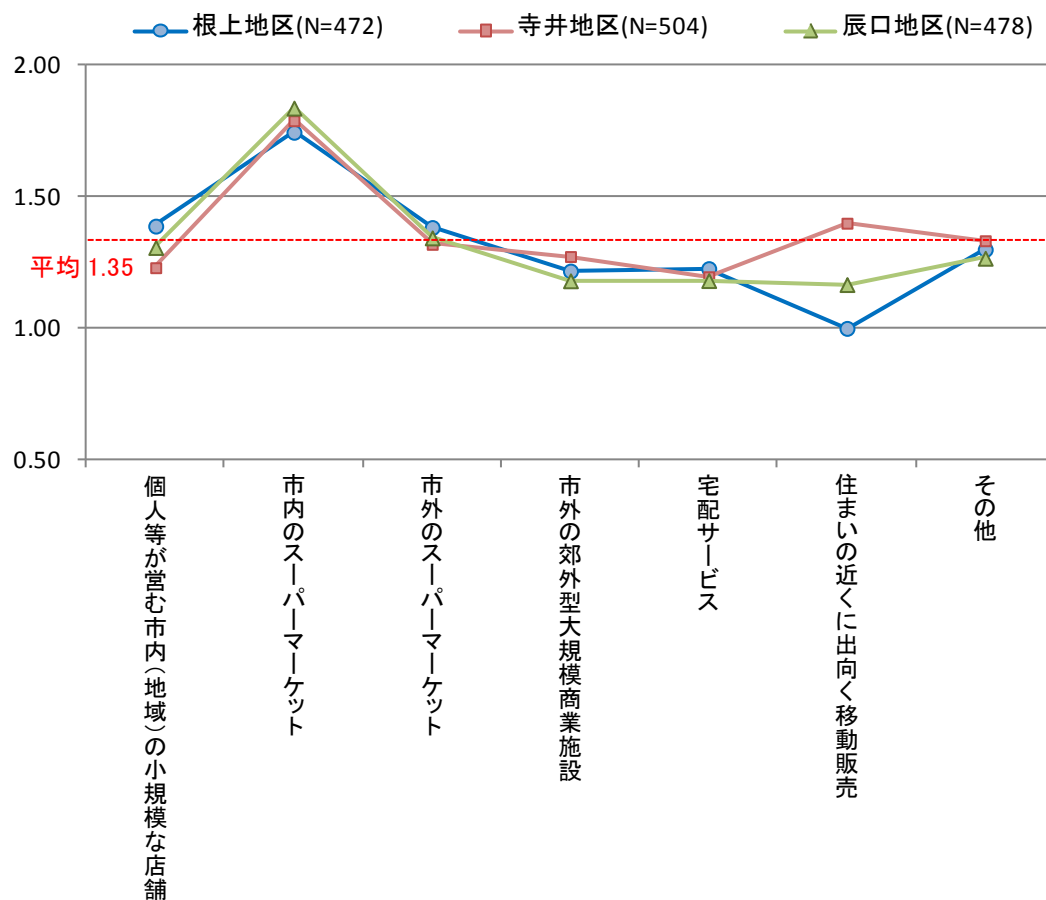
■生鮮三品（鮮魚、青果、精肉）や日用品の購入場所に対する意識（年代別）

・「住まいの近くに出向く移動販売」以外では大きな変化はみられません。



■生鮮三品（鮮魚、青果、精肉）や日用品の購入場所に対する意識（地区別）

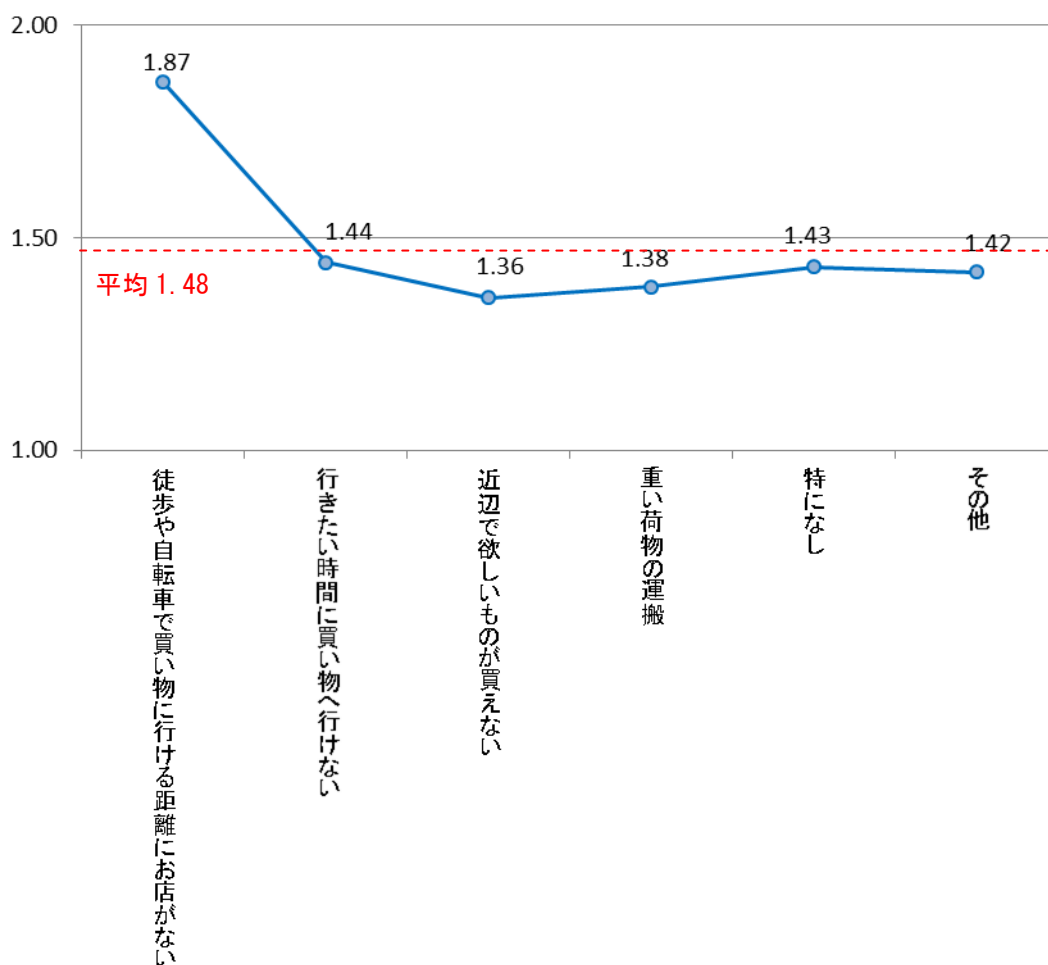
・「住まいの近くに出向く移動販売」以外では大きな変化はみられません。



問 19

自家用車で買い物に行けない方は、どんなことに不便を感じていますか。もしくは、この先、自家用車で買い物に行けなくなるとしたら、どんなことに不安を感じますか。（優先度 2 位まで選択）

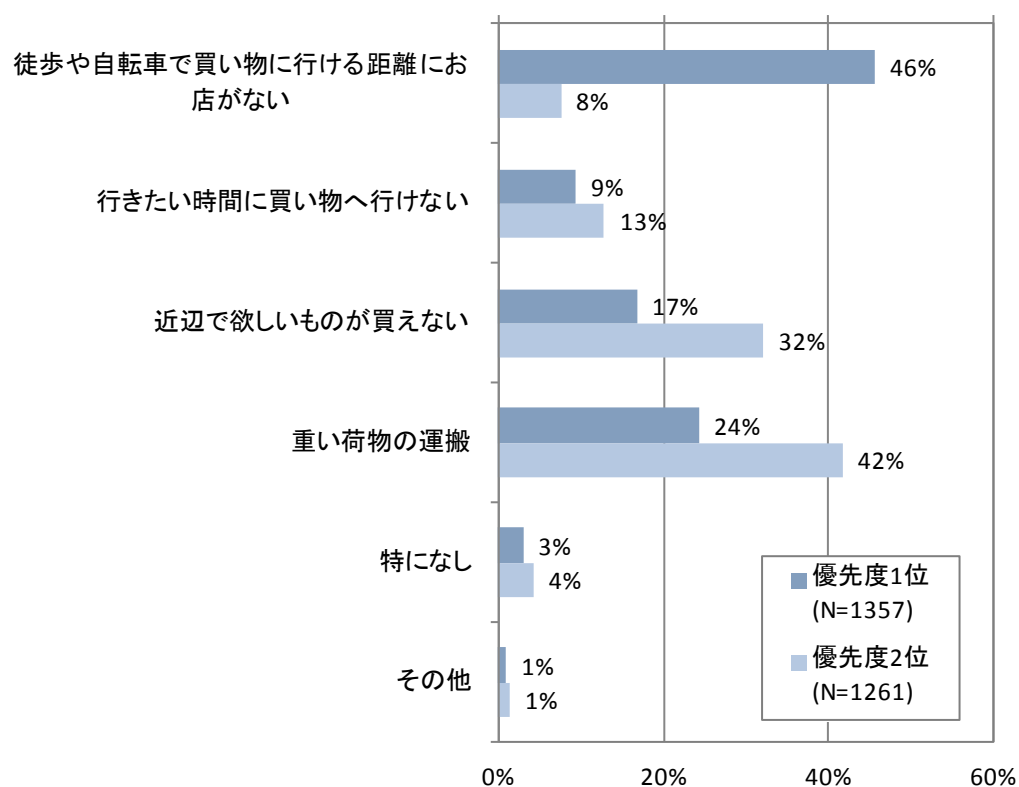
- ◆優先度 1 位を 2 点、優先度 2 位を 1 点として加重平均値を算出した結果、「徒歩や自転車で買い物に行ける距離にお店がない」が 1.87 で最も高く、次いで「行きたい時間に買い物に行けない」が 1.44、「特になし」が 1.43 となっています。



【評価点の算出式】

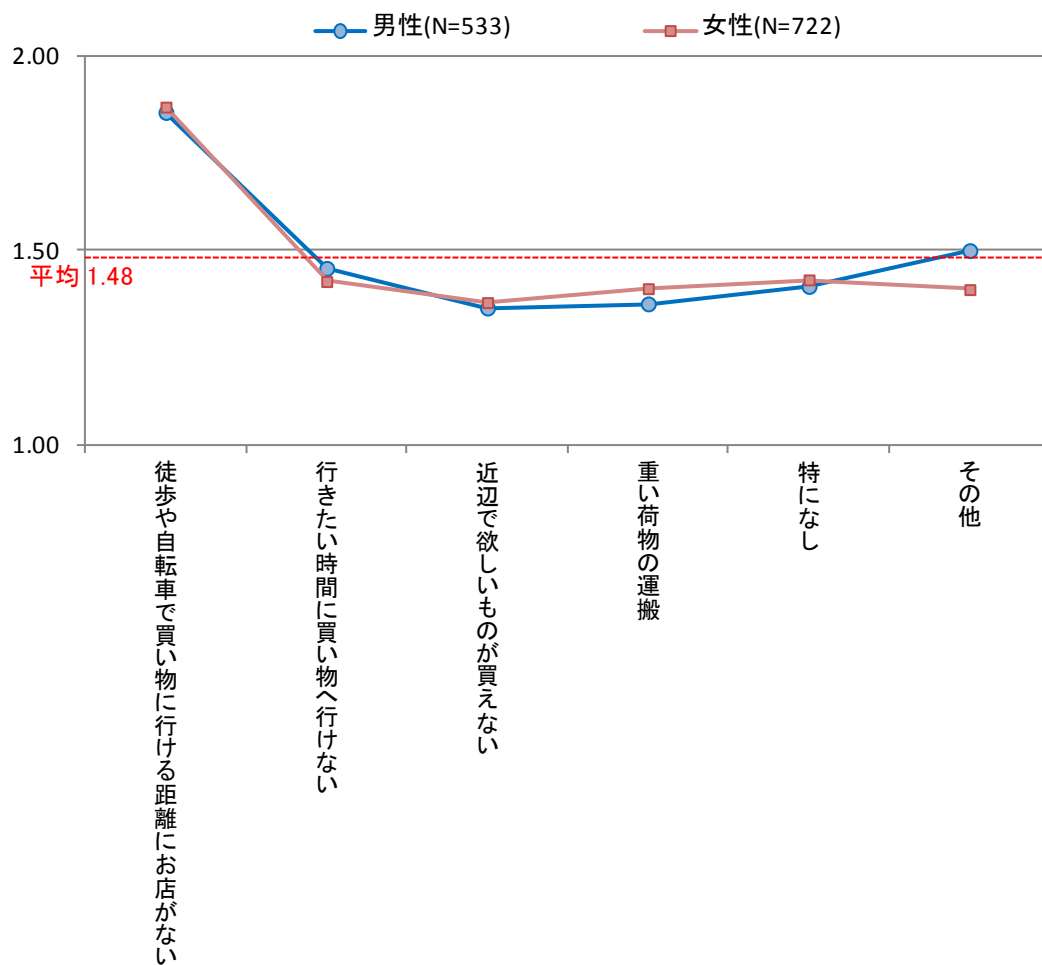
{ 優先度 1 位 × (2 点) + 優先度 2 位 × (1 点) } ÷ 回答者数

<自家用車で買い物に行けない不便（行けなくなる不安）（優先度 2 位まで選択）>



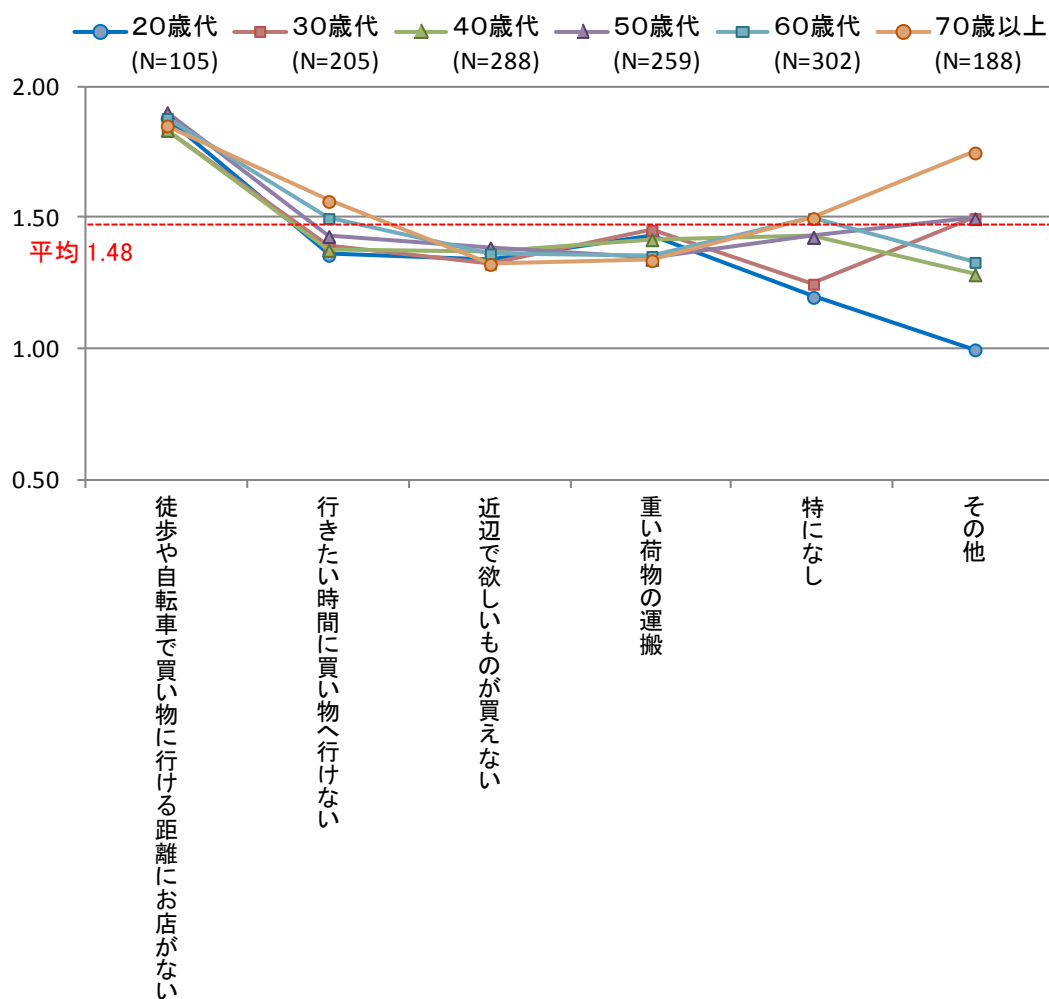
■自家用車で買い物に行けない不便（行けなくなる不安）に対する意識（性別）

- ・性別による大きな違いはみられません。



■ 自家用車で買い物に行けない不便（行けなくなる不安）に対する意識（年代別）

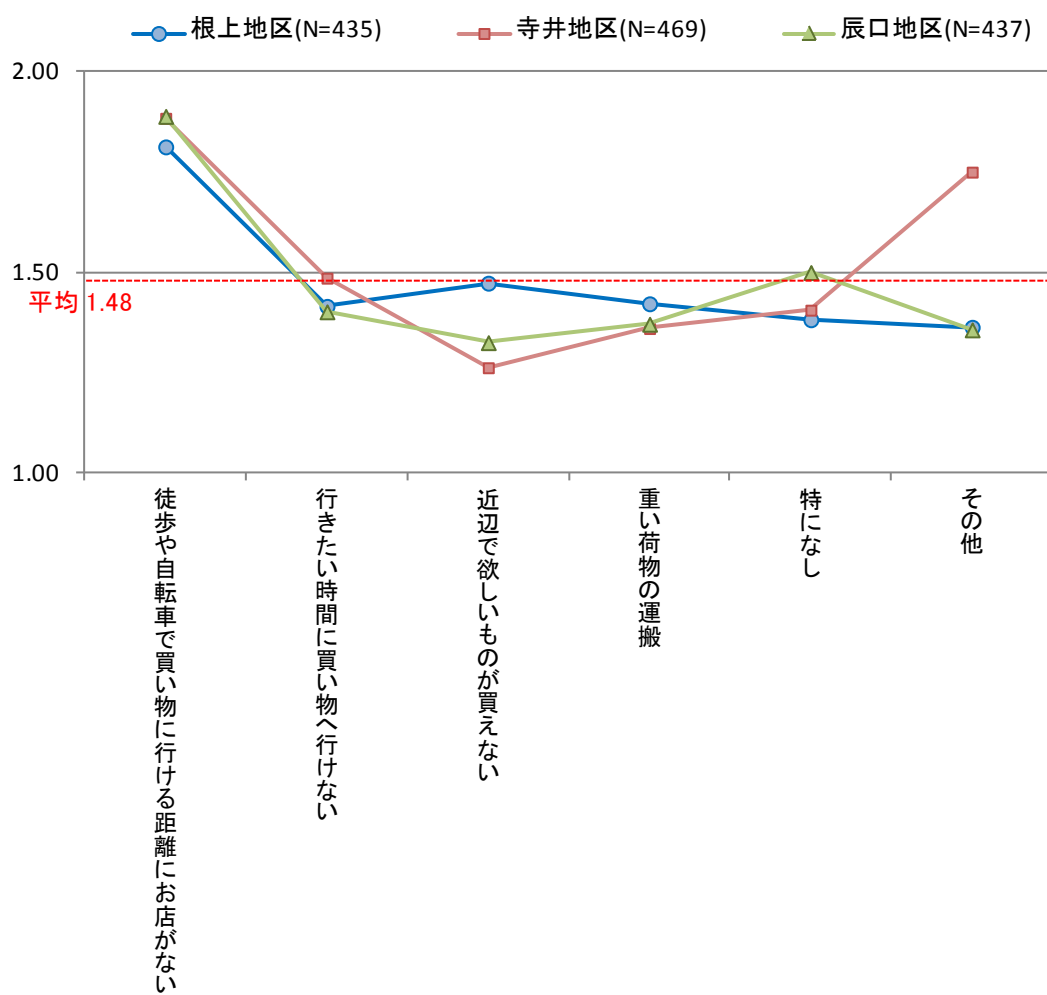
・年代による大きな違いはみられません。



■自家用車で買い物に行けない不便（行けなくなる不安）に対する意識（地区別）

【地区別】

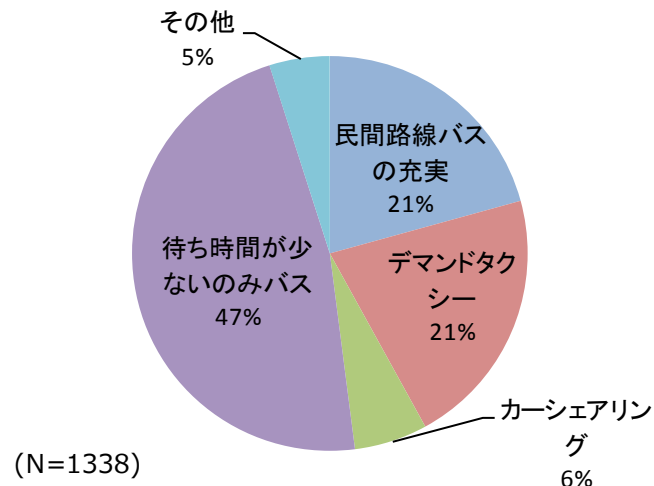
- ・「近辺で欲しいものが買えない」以外では大きな変化はみられません。



(6) 公共交通網の充実について

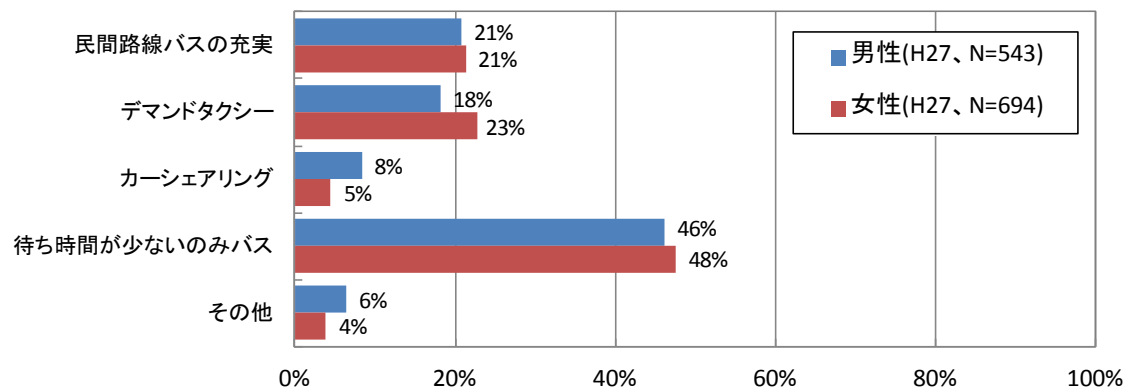
問 20 今後、あなたが「あったらいいな」と思う交通手段はなんですか？（1 つに○）

- ◆「待ち時間が少ないのみバス」が 47% で最も多く、次いで「デマンドタクシー」が 21%、「民間路線バスの充実」が 21% となっています。



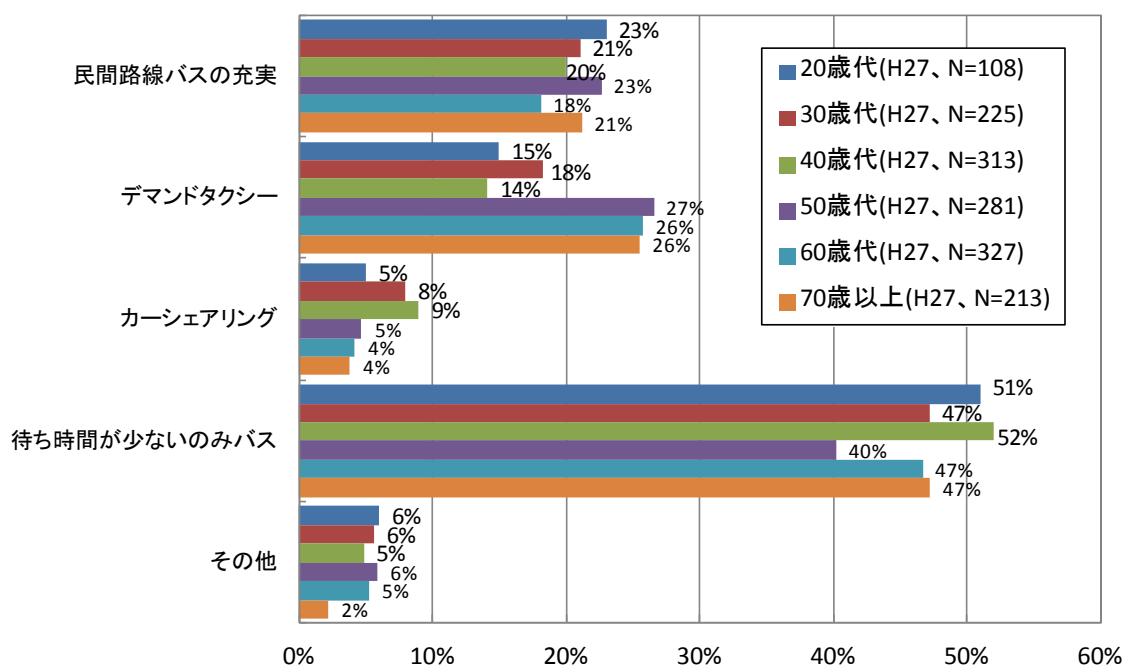
■ 今後、あなたが「あったらいいな」と思う交通手段（性別）

- ・性別による大きな違いはみられません。



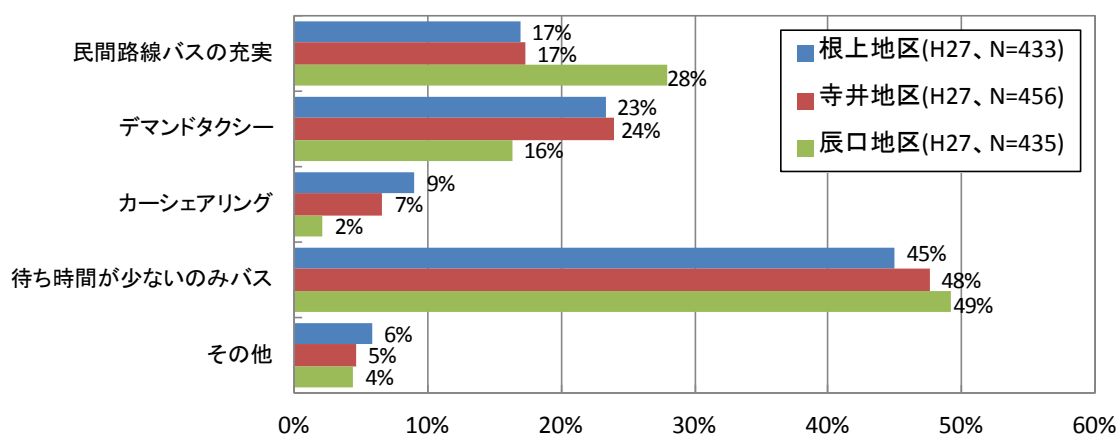
■今後、あなたが「あったらいいな」と思う交通手段（年代別）

- ・ 50～70 歳以上で「デマンドタクシー」が約 3 割を占めており、他の年代に比べて高くなっています。



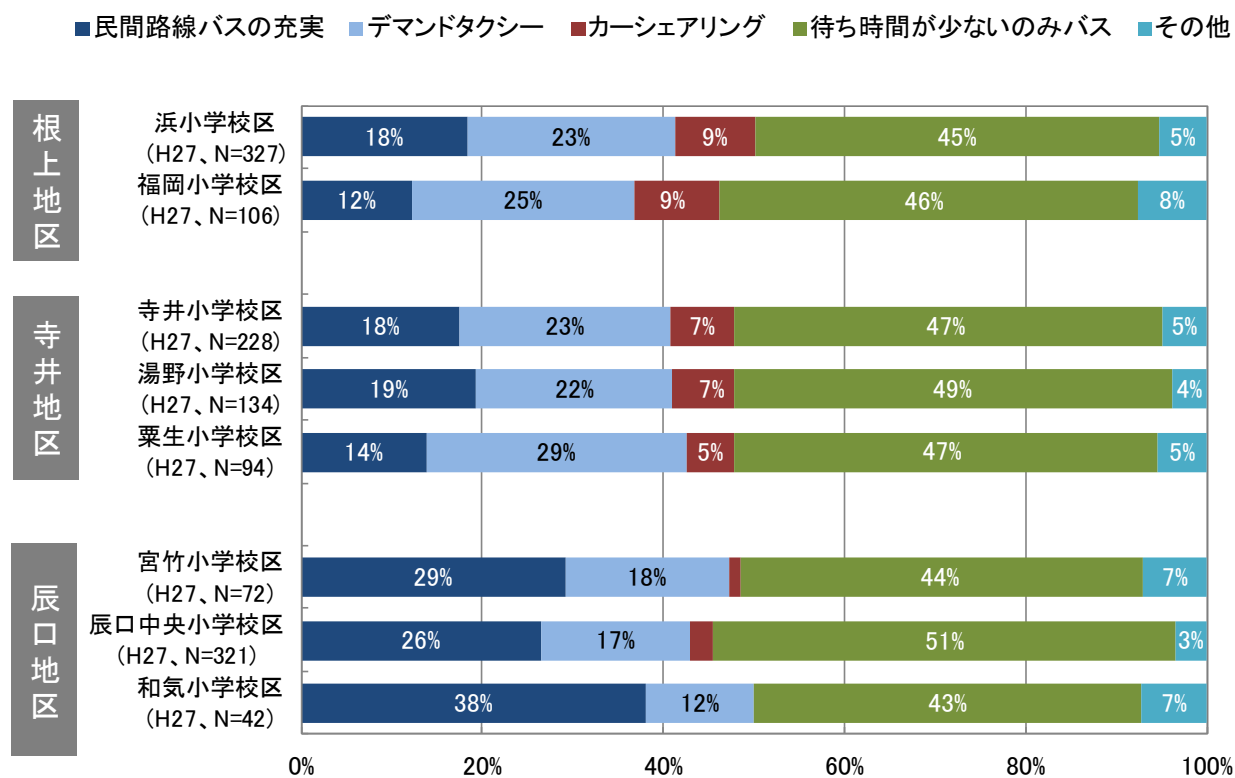
■今後、あなたが「あったらいいな」と思う交通手段（地区別）

- ・ 辰口で「民間路線バスの充実」が他より 11 ポイント高くなっています。一方で「デマンドタクシー」が他より 7 ポイント以上低くなっています。
- ・ 根上、寺井はほぼ同様の傾向となっています。



【小学校区別】

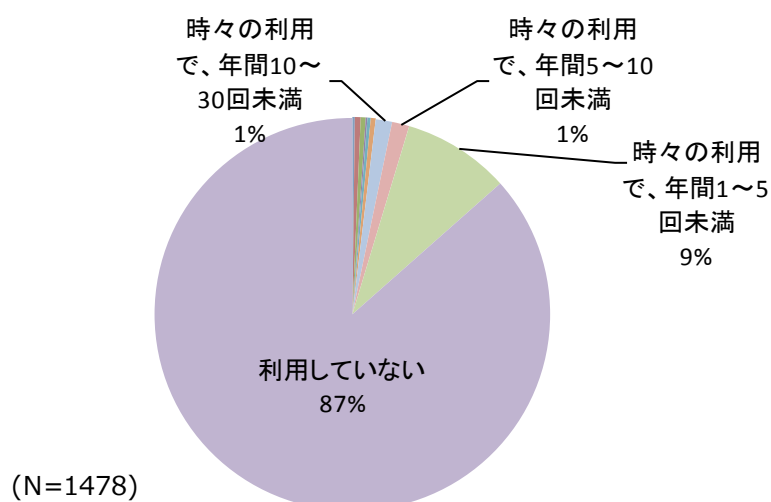
- ・全ての小学校区で「待ち時間が少ないのみバス」が約 4 ～ 5 割となっています。
- ・和気小学校区では「民間路線バスの充実」が他の小学校区と比べて 9 ポイント高くなっています。



問 21

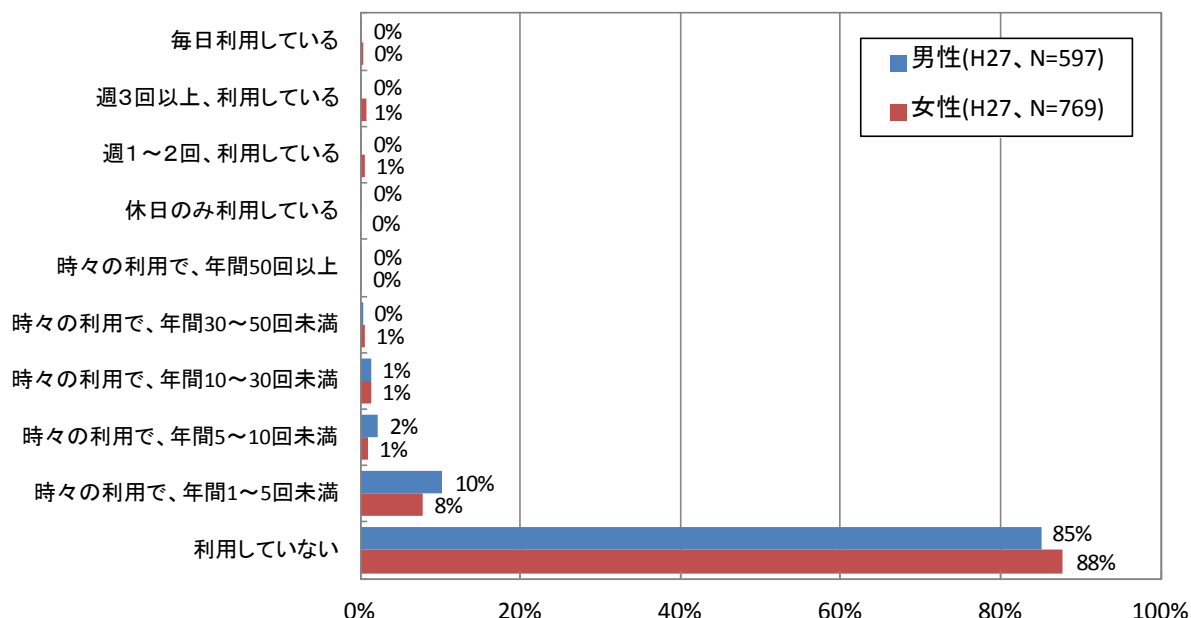
あなたは過去 1 年間（平成 25 年 8 月～平成 26 年 7 月）で、のみバスを利用したことがありますか？（1 つに○）また主な利用目的は何ですか？

- ◆「利用していない」が 87%で最も多く、次いで「時々利用で、年間 1～5 回未満」が 9%となっています。
- ◆主な利用目的としては、「病院」「買い物」「J R 能美根上駅」「図書館」などへのアクセスが挙げられています。



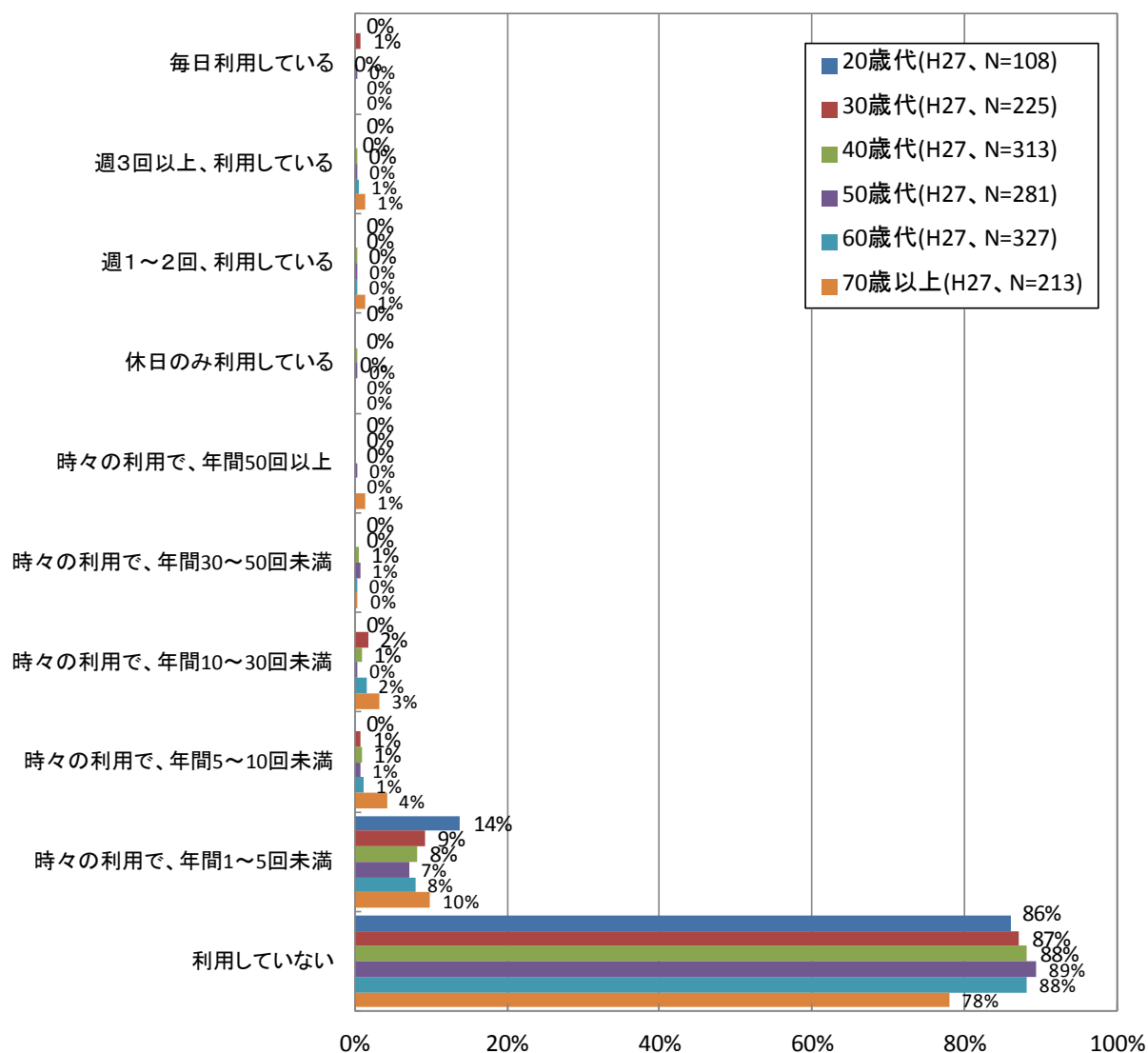
■のみバスの利用頻度（性別）

- ・性別による大きな違いはみられません。



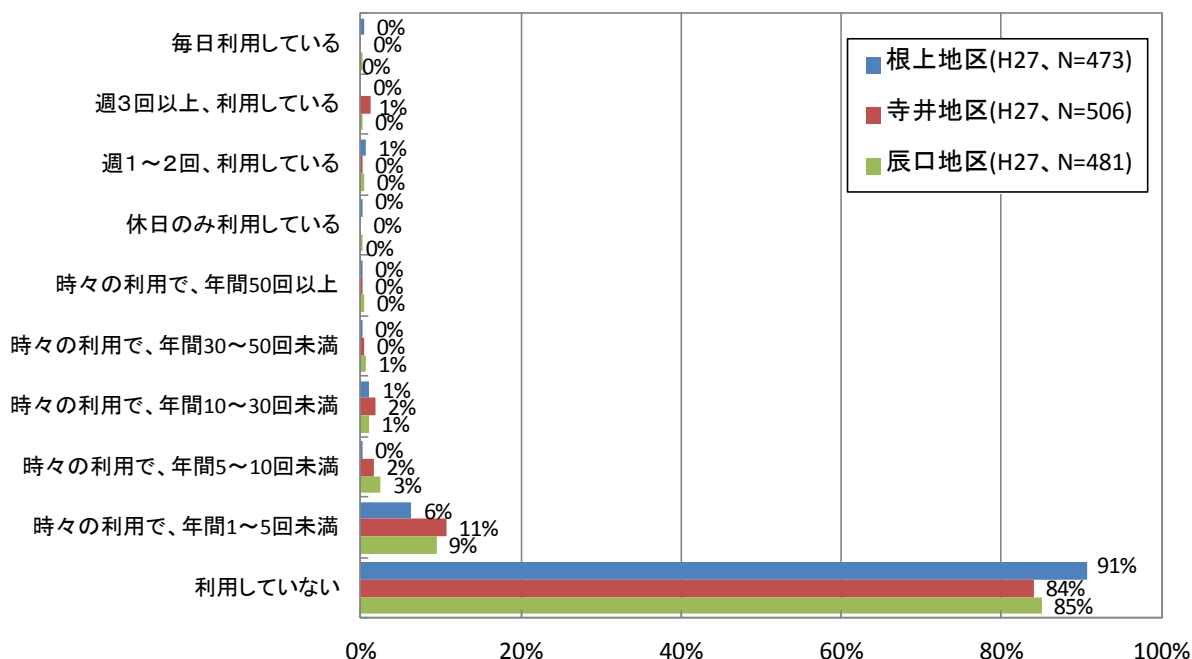
■のみバスの利用頻度（年代別）

- ・70 歳以上で「利用していない」が78%と、他と比べて9ポイント以上低くなっています。



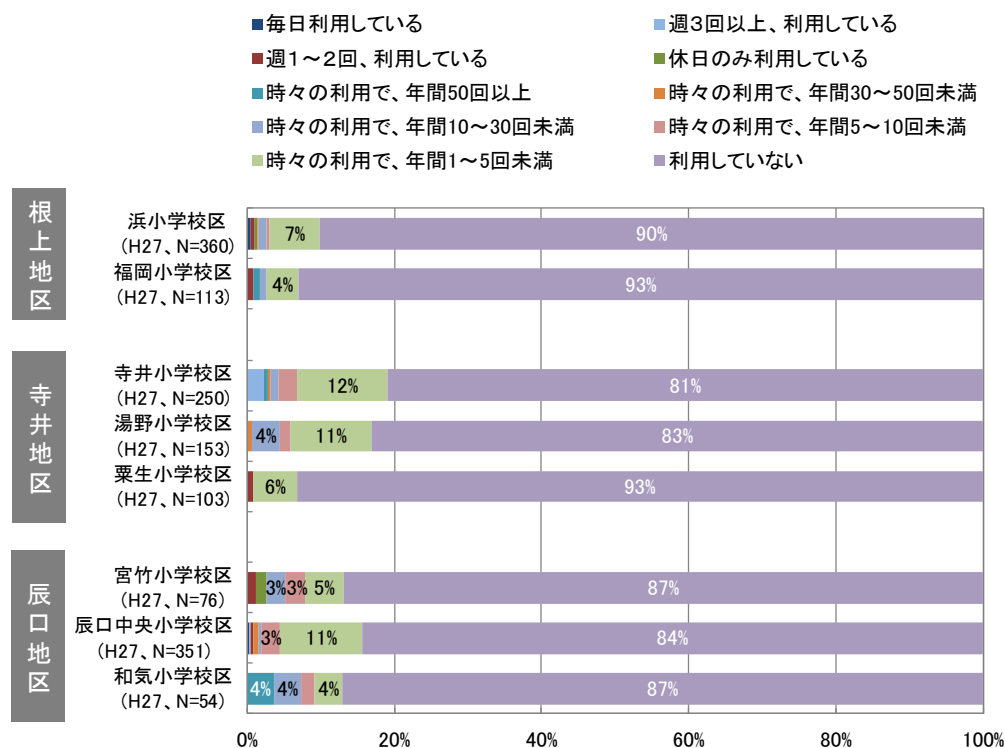
■のみバスの利用頻度（地区別）

- ・根上で「利用していない」が91%と、他と比べて6ポイント以上高くなっています。



【小学校区別】

- ・全ての小学校区で「利用していない」が約9割となっています。

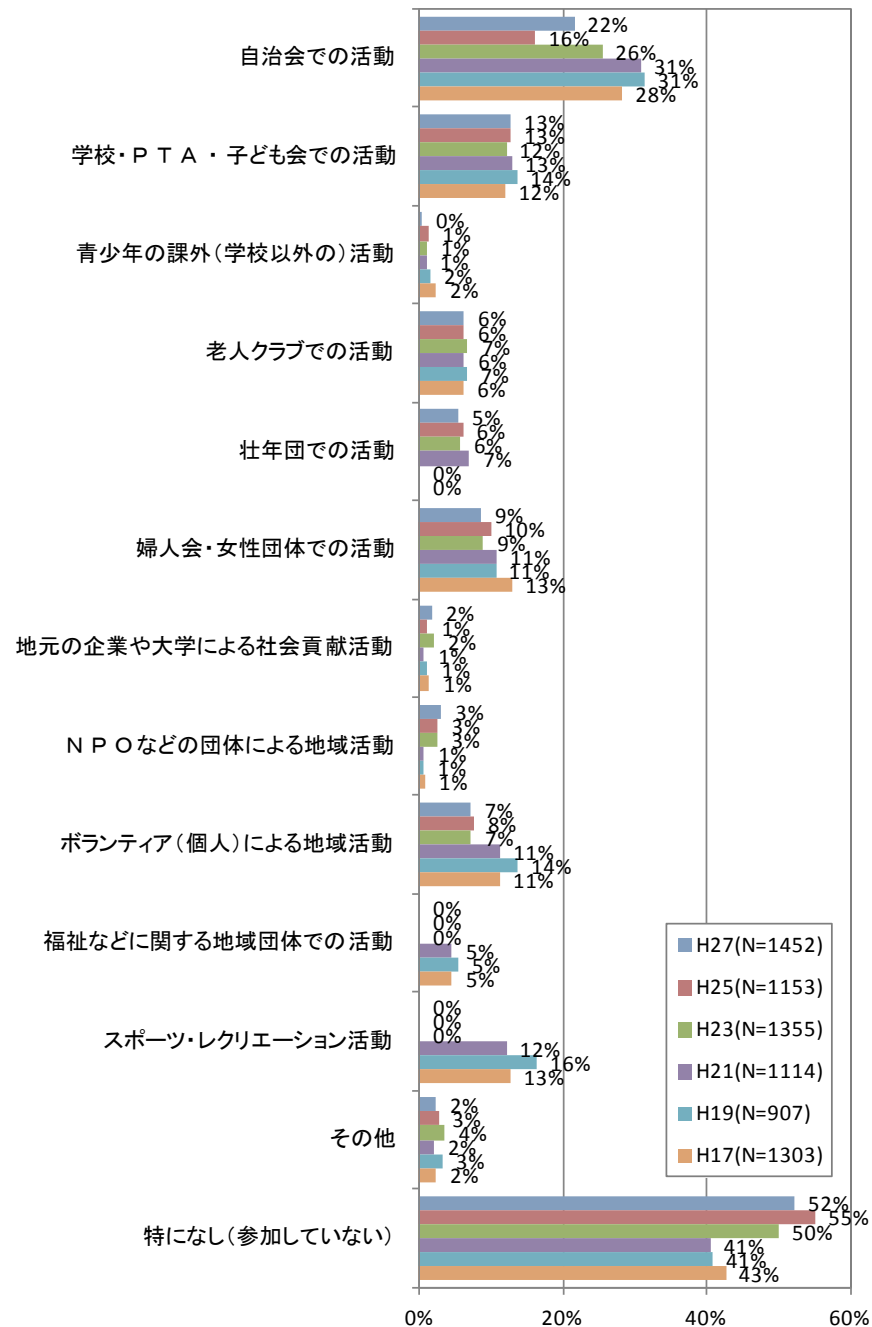


(7) 地域活動、市民活動および市民と行政の協働について

問 22

あなたは現在、仕事や学業とは別に、地域活動、ボランティア活動、市民活動として参加しているものはありますか？（当てはまるもの全てに○）

- ◆過年度調査結果とほぼ同様の割合となっています。
- ◆「特になし（参加していない）」が 52%で最も多く、次いで「自治会での活動」が 22%、「学校・P T A・子ども会での活動」が 13%となっています。
- ◆「特になし（参加していない）」が H25 に比べて 3 ポイント減少しています。一方、「自治会での活動」は増加傾向にあり、H25 に比べて 6 ポイント増加しています。



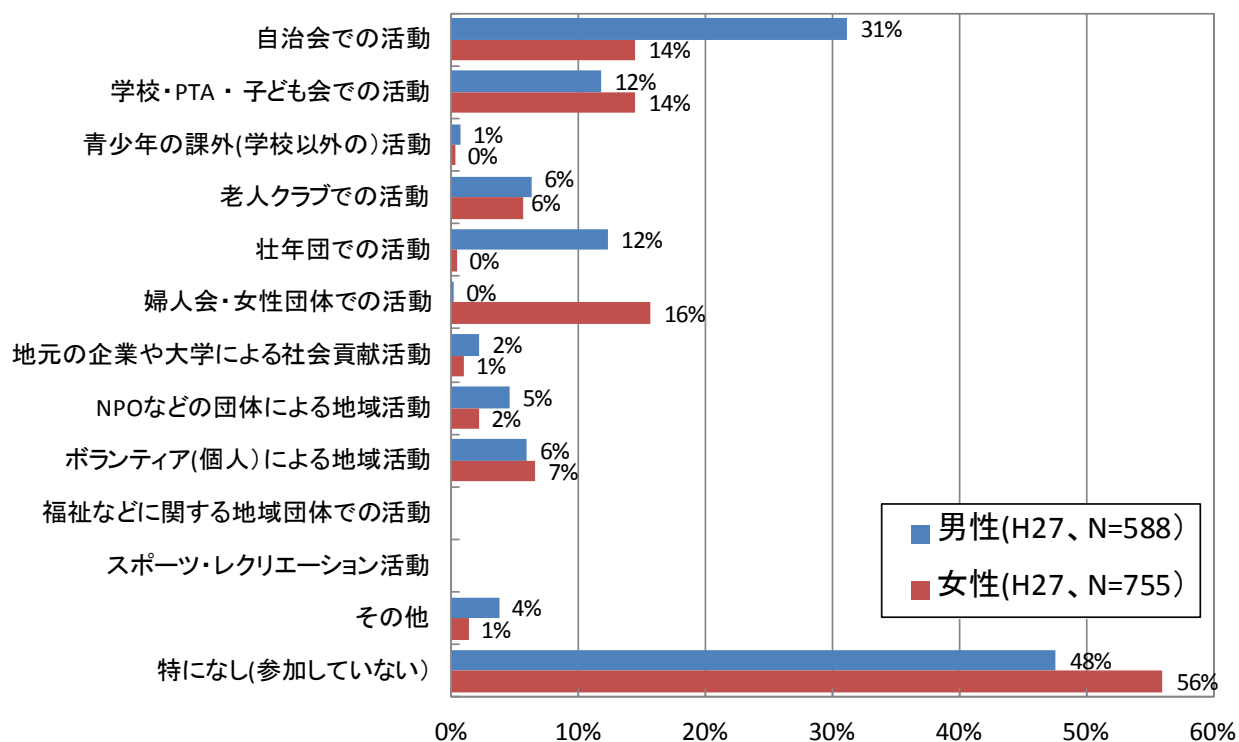
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

■地域活動、市民活動への参加状況（性別）

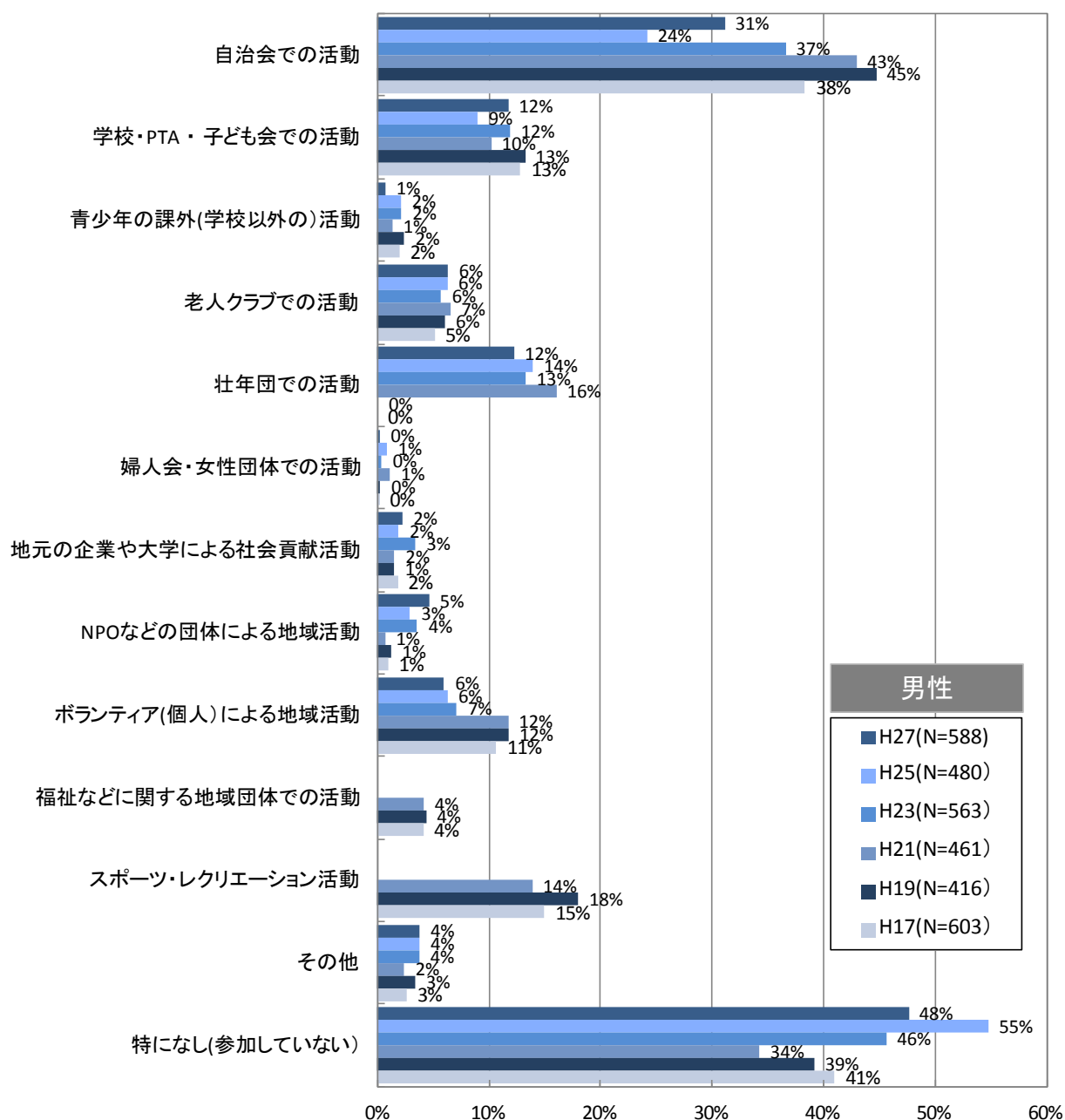
【今回（H27）】

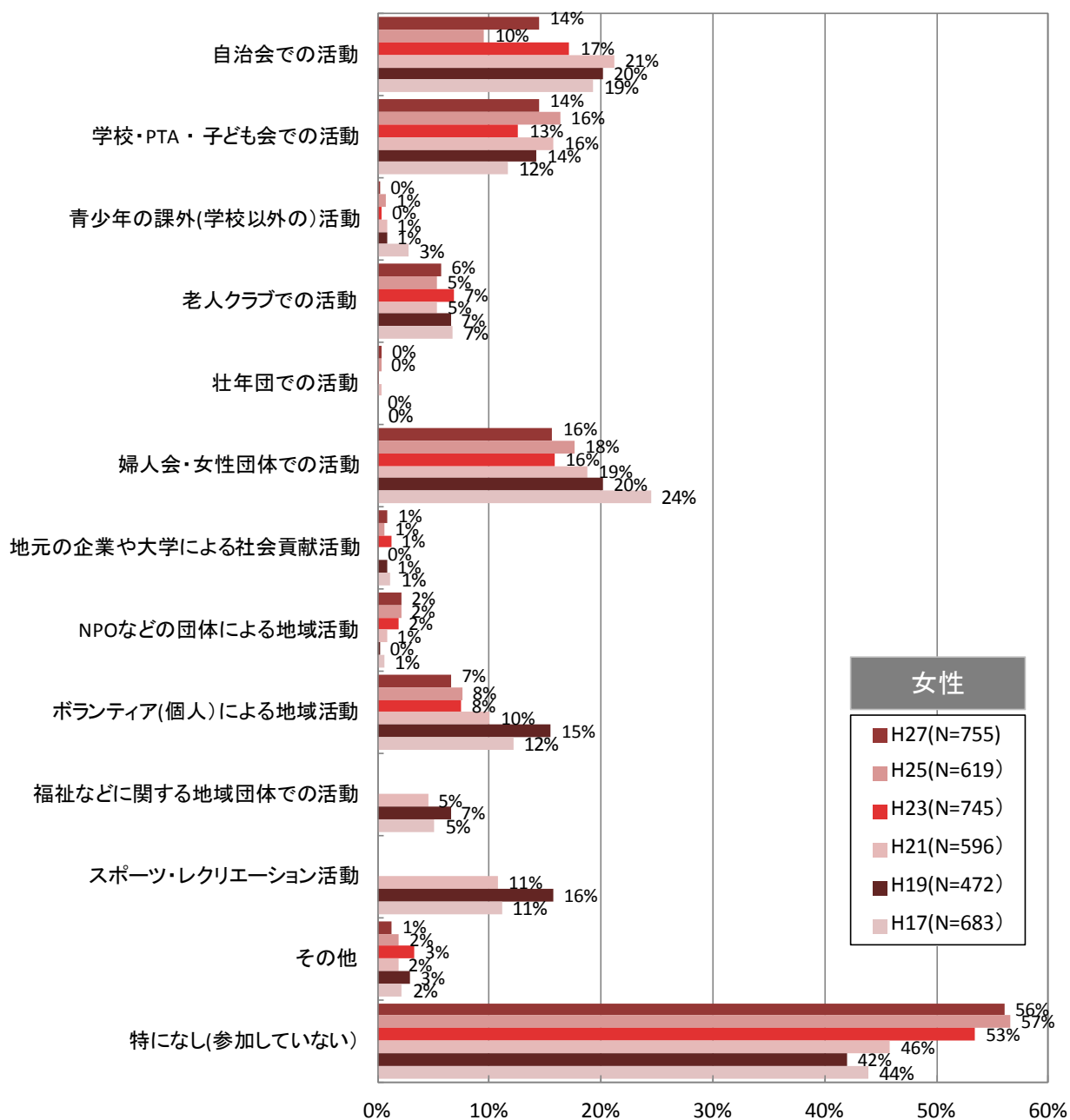
- ・男女共に「特になし（参加していない）」が最も多くなっています。
- ・男性は「自治会での活動」が 31%と、女性より 17 ポイント以上高くなっています。
- ・女性は「婦人会・女性団体での活動」が 16%、「自治会での活動」「学校・PTA・子ども会での活動」が 14%で他と比べて高くなっています。



【経年変化】

- ・男性は「特になし（参加していない）」が H17～H21 にかけて減少傾向にありましたが、H23 以降は増加傾向になり、今回は H25 に比べて 7 ポイント減少しています。また、女性も「特になし（参加していない）」が、H19 以降増加傾向となっています。
- ・男女共に「自治会での活動」が H25 に比べて増加傾向にあります。

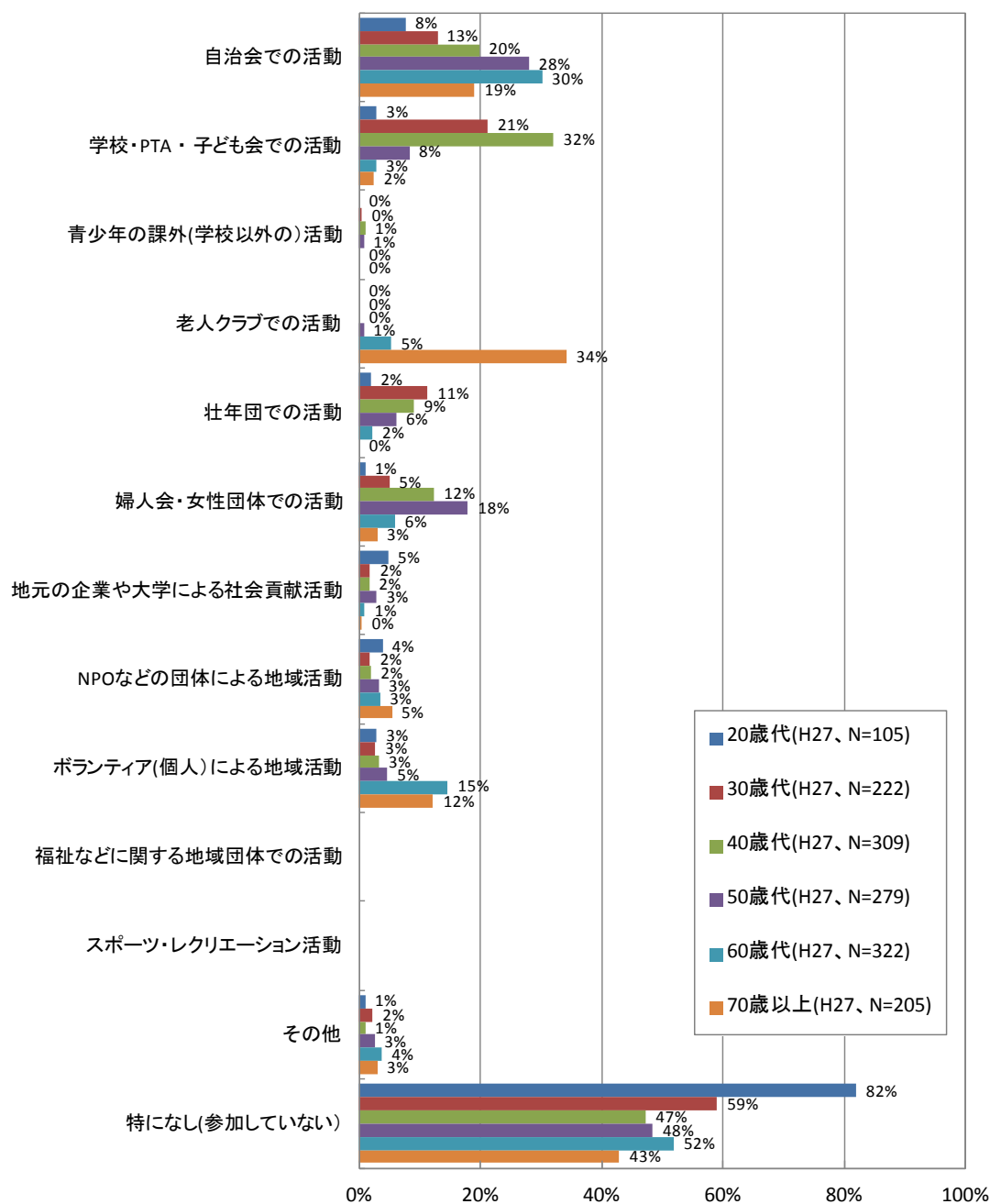




■地域活動、市民活動への参加状況（年代別）

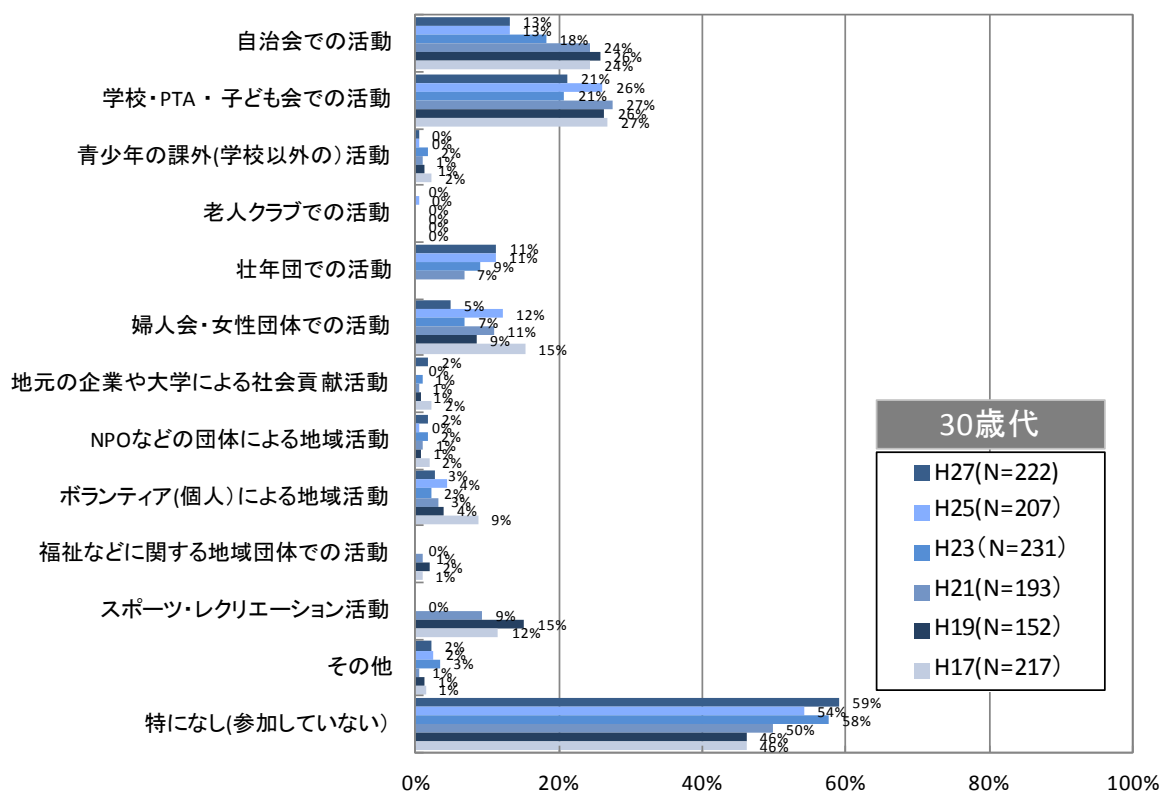
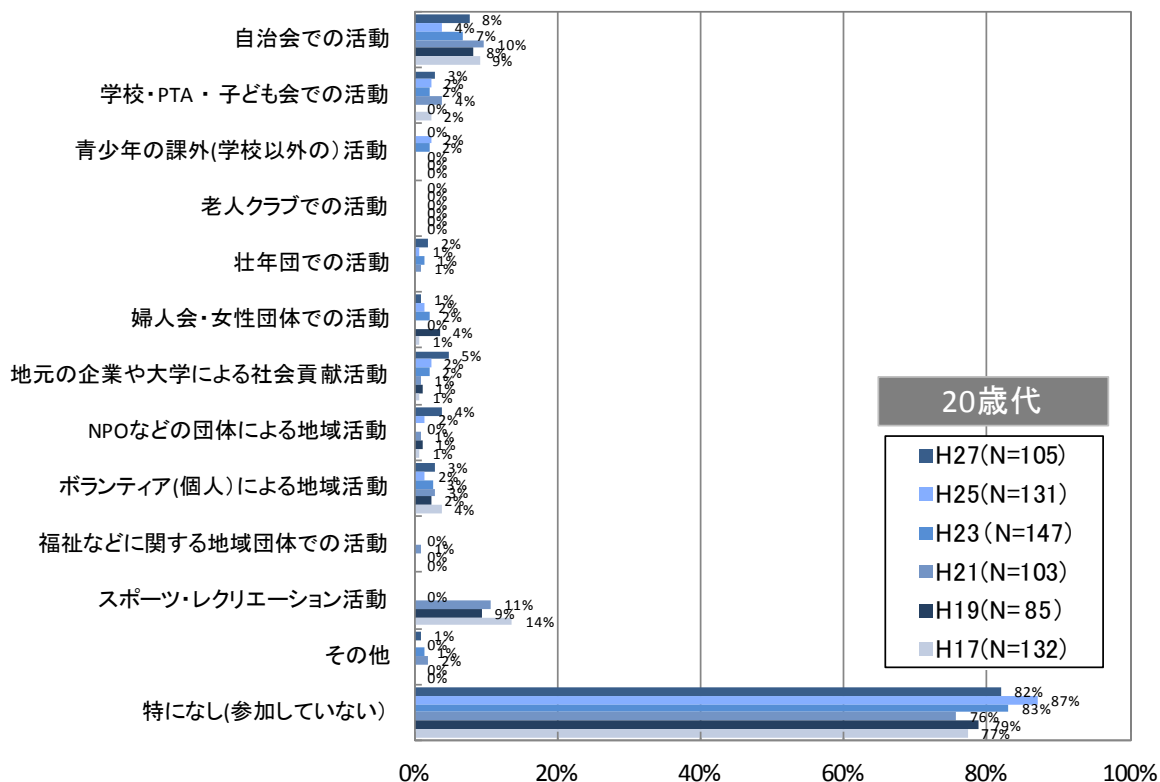
【今回（H27）】

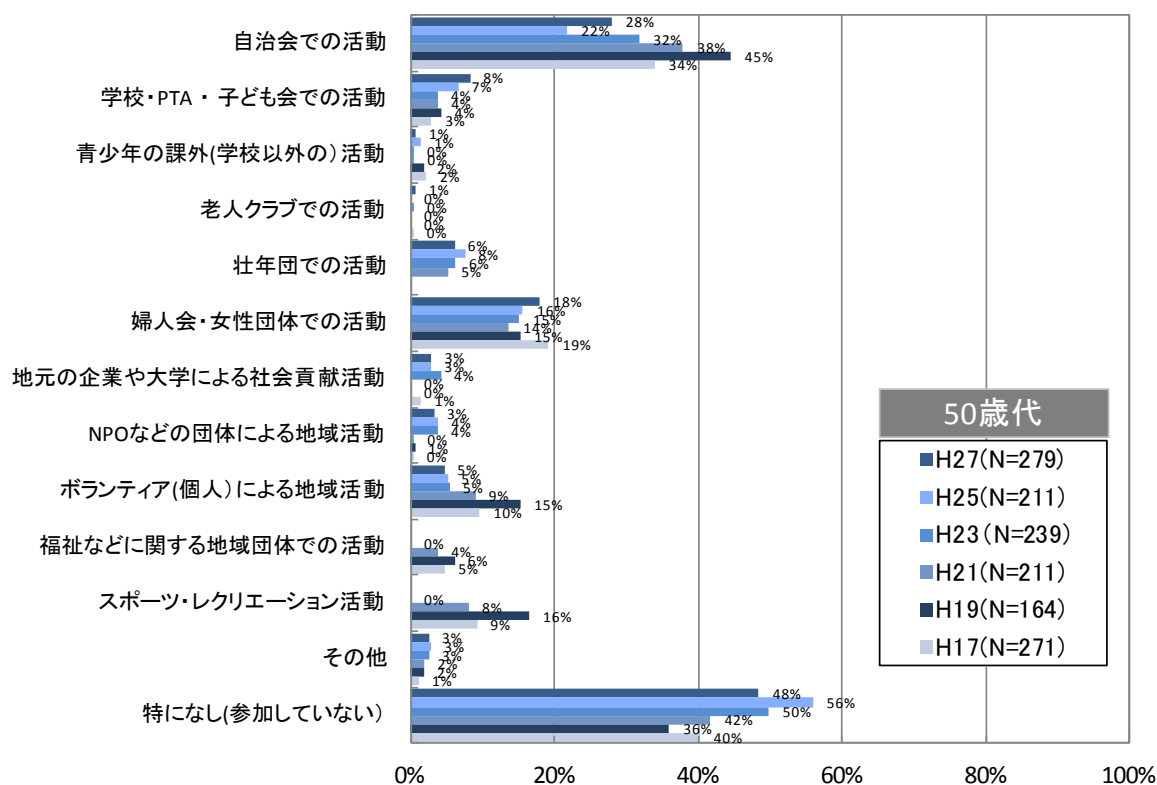
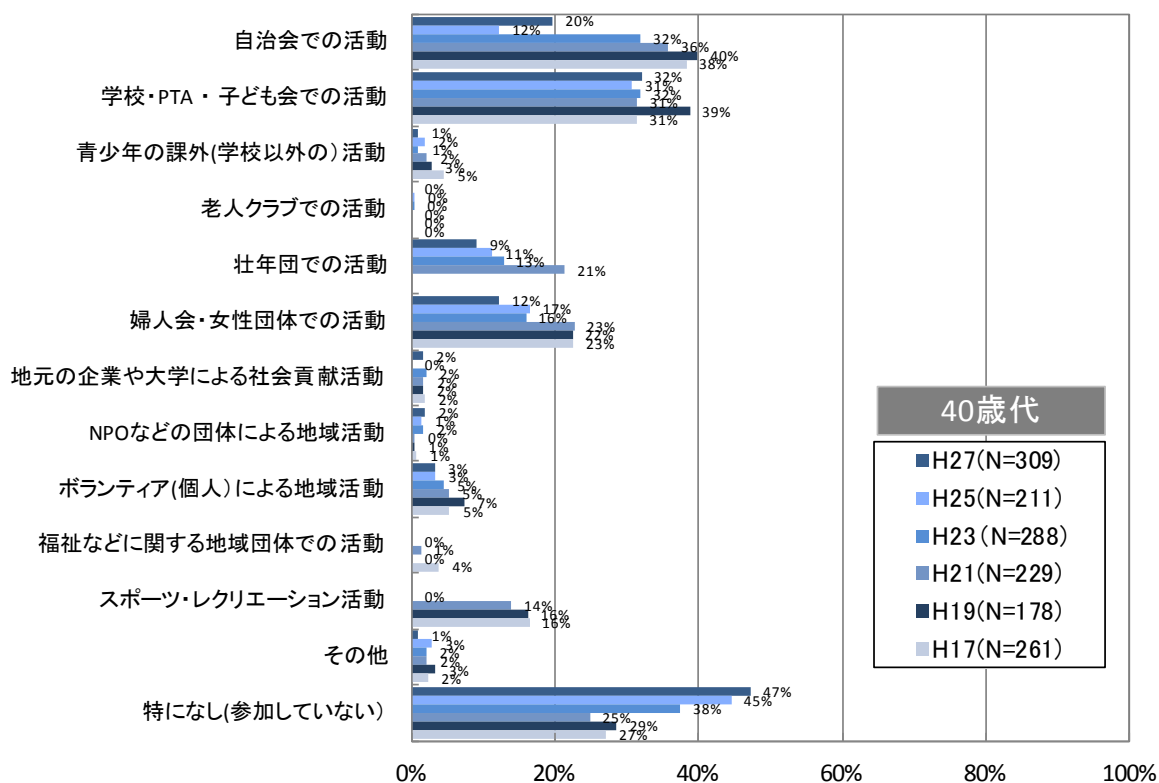
- ・全ての年代で「特になし（参加していない）」が最も多くなっており、特に 20 歳代は他の年代より 23 ポイント以上高くなっています。また、20 歳代は「自治会での活動」が他と比べて 5 ポイント以上低くなっています。
- ・30～40 歳代は「学校・PTA・子ども会での活動」が、他の年代より 13 ポイント以上高くなっています。また、「壮年団での活動」が比較的高くなっています。
- ・40～50 歳代は「婦人会・女性団体での活動」が比較的高くなっています。
- ・60 歳以上は「ボランティア（個人）による地域活動」が比較的高くなっています。
- ・70 歳以上は「老人クラブでの活動」が他の年代より 29 ポイント以上高くなっています。

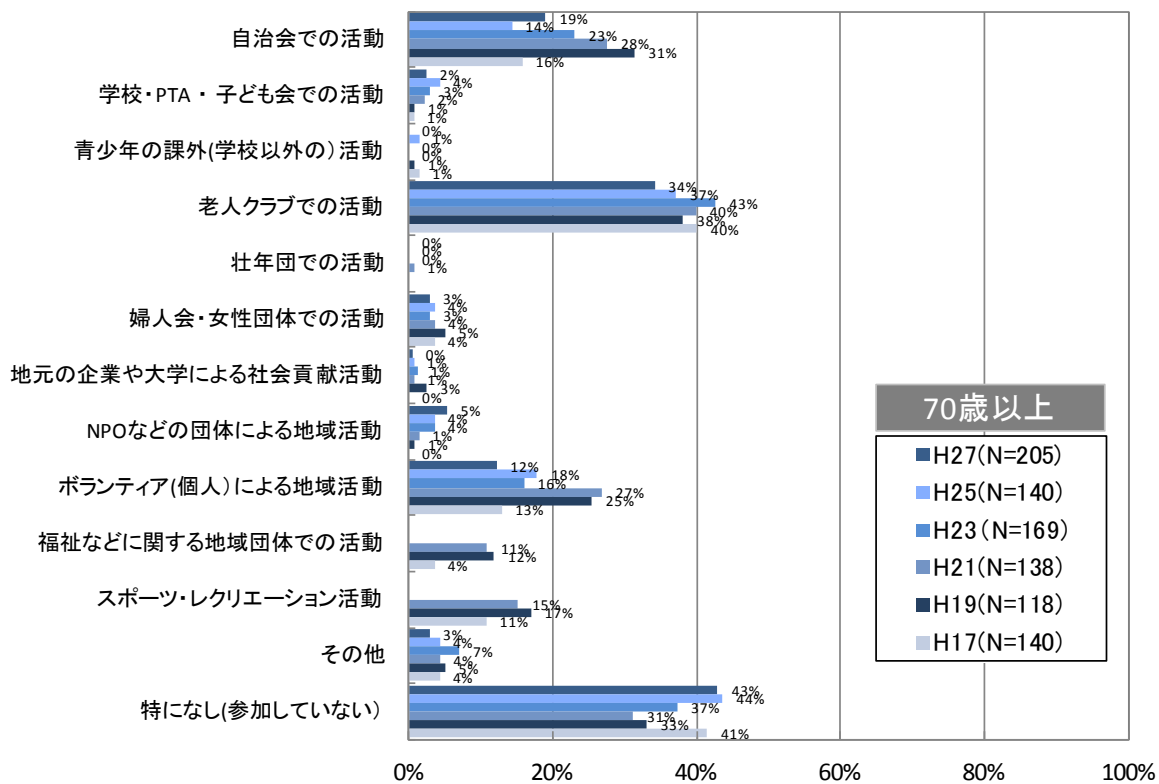
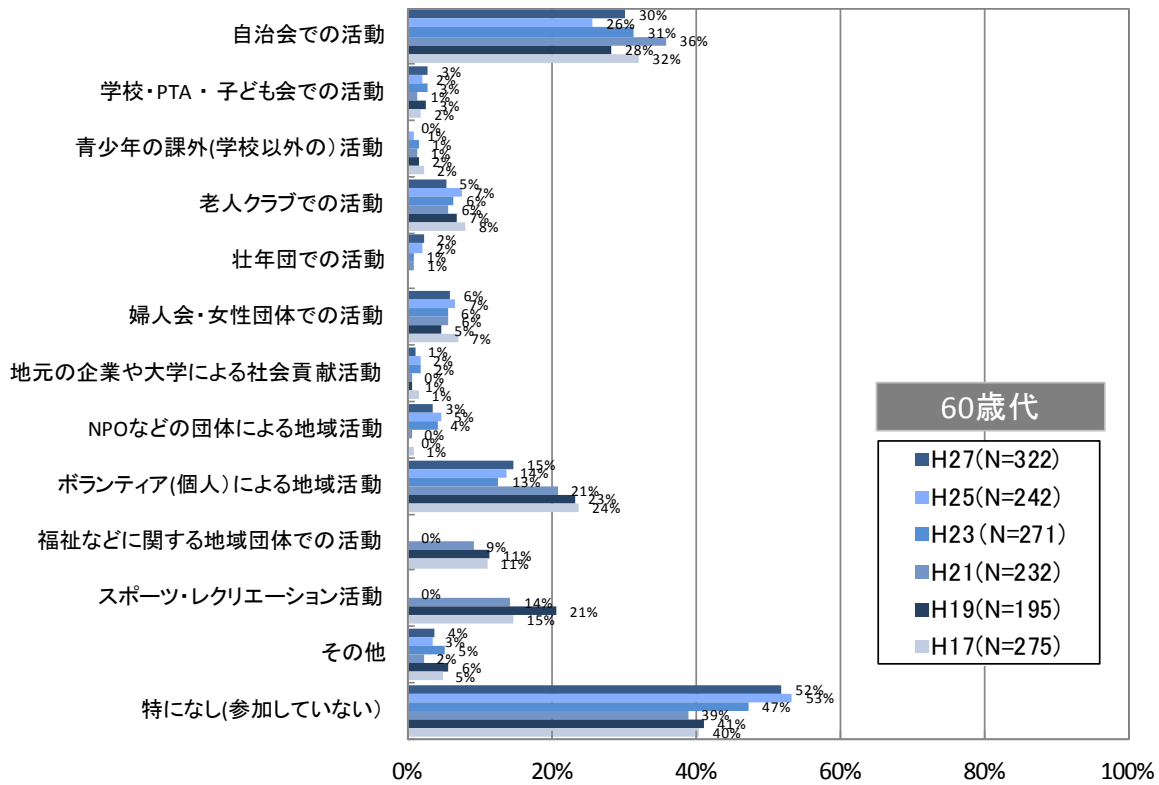


【経年変化】

- ・ 20 歳代で「特になし（参加していない）」が 8 割以上と他と比べて高くなっています。
- ・ 30 歳代、40 歳代で「学校・PTA・子ども会での活動」が他と比べて高くなっています。



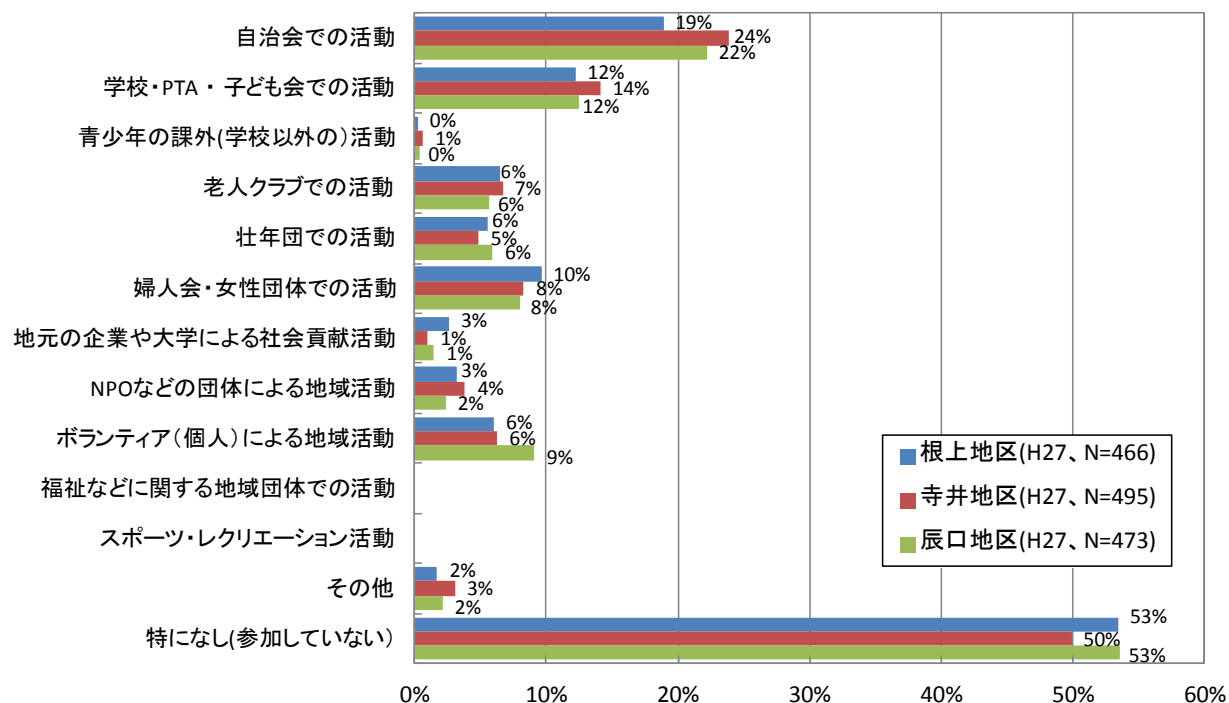




■地域活動、市民活動への参加状況（地区別）

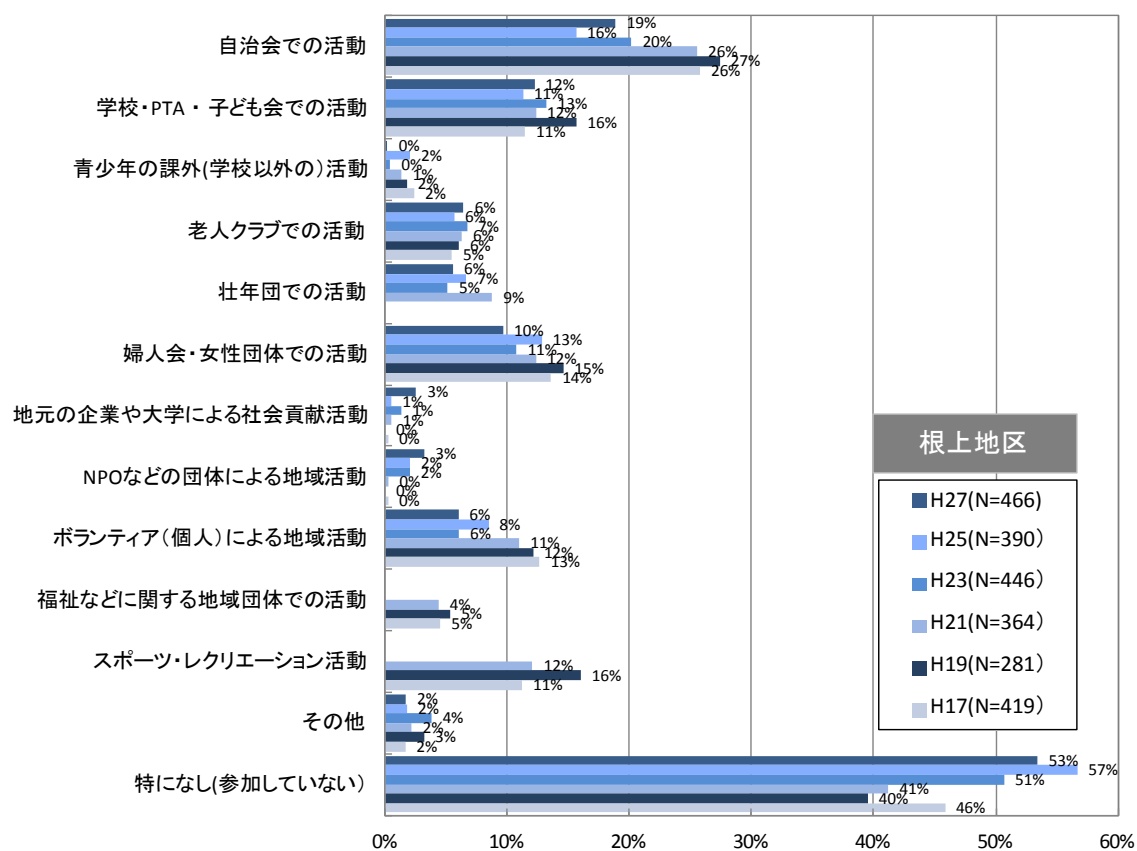
【今回（H27）】

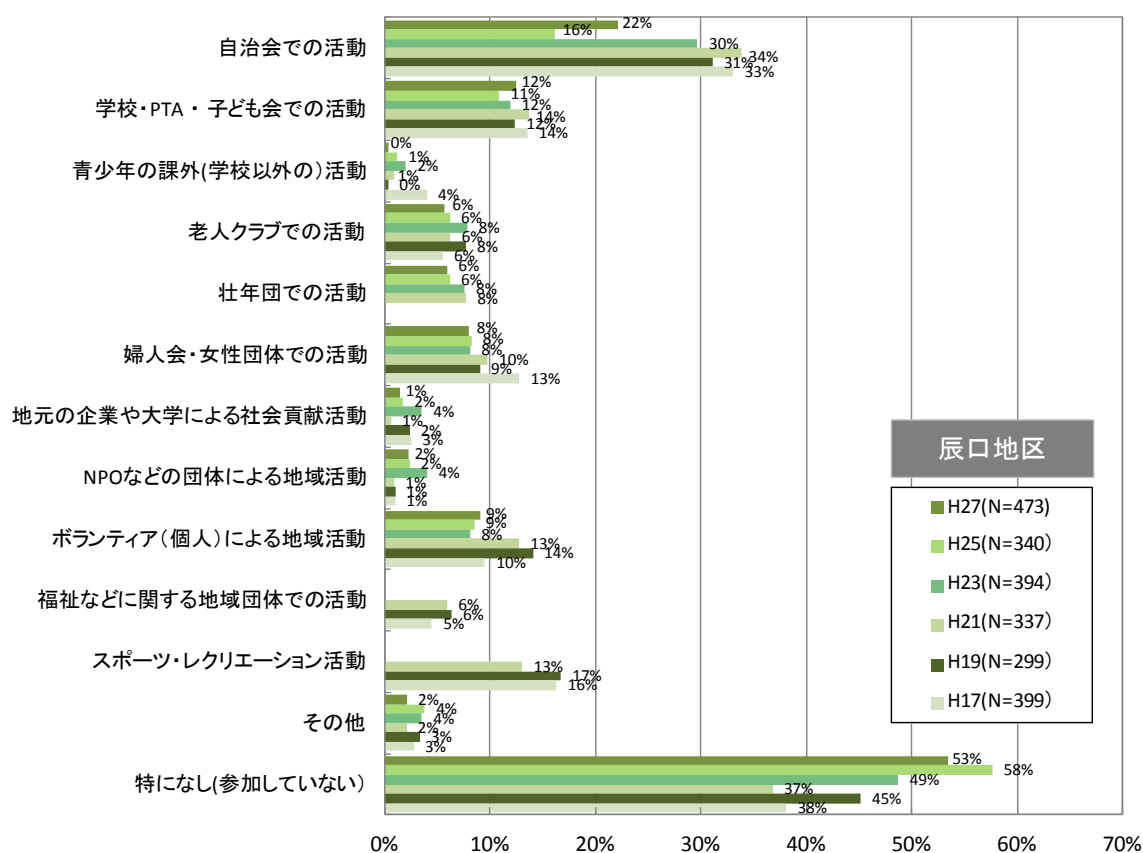
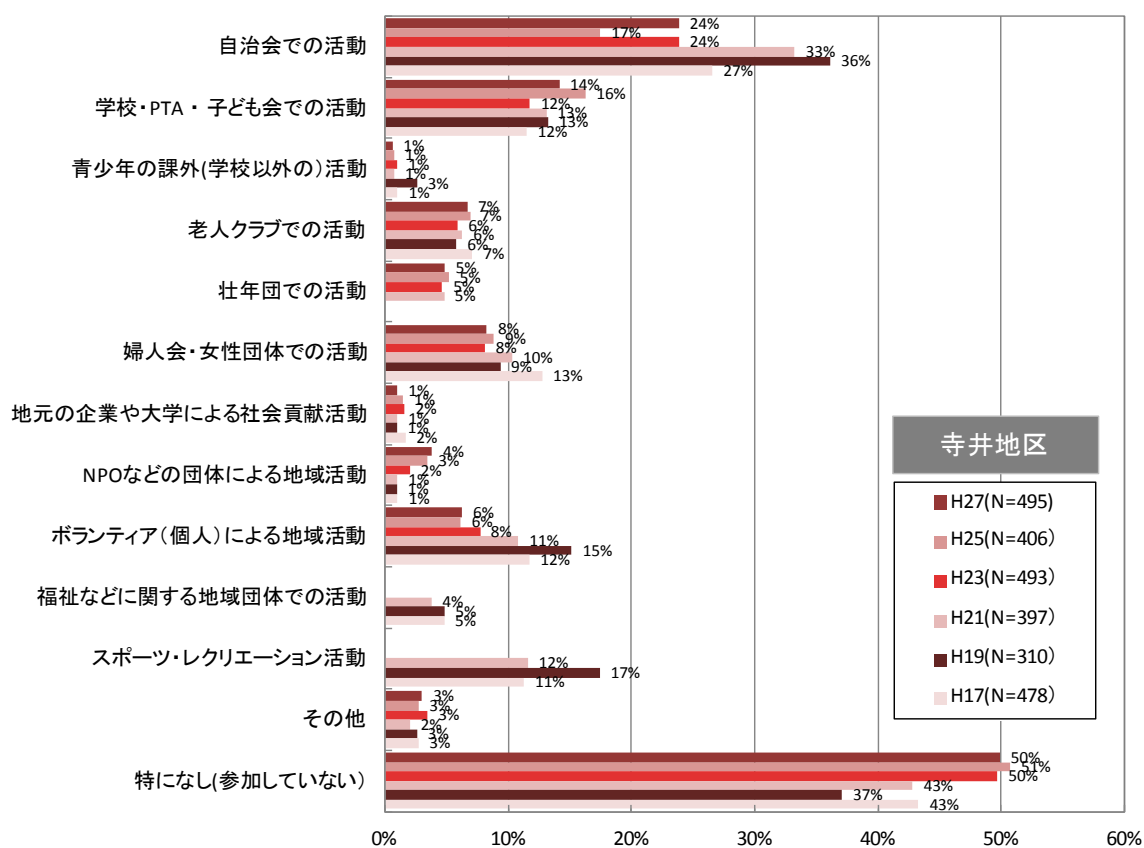
- ・ 3 地区共に「特になし（参加していない）」が約 5 割と最も多くなっています。
- ・ 地区による大きな違いはみられません。



【経年変化】

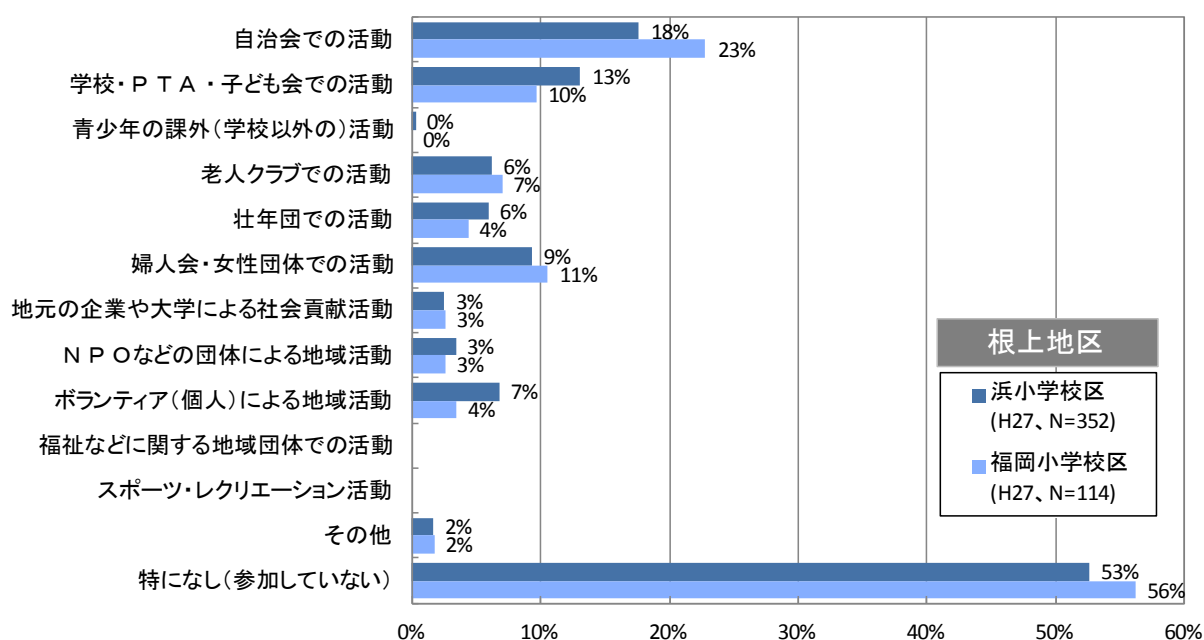
- ・根上では 53%、寺井では 50%、辰口では 53%が地域活動等に参加しておらず、全ての地区で地域活動への積極的な参加度合いが低くなっています。

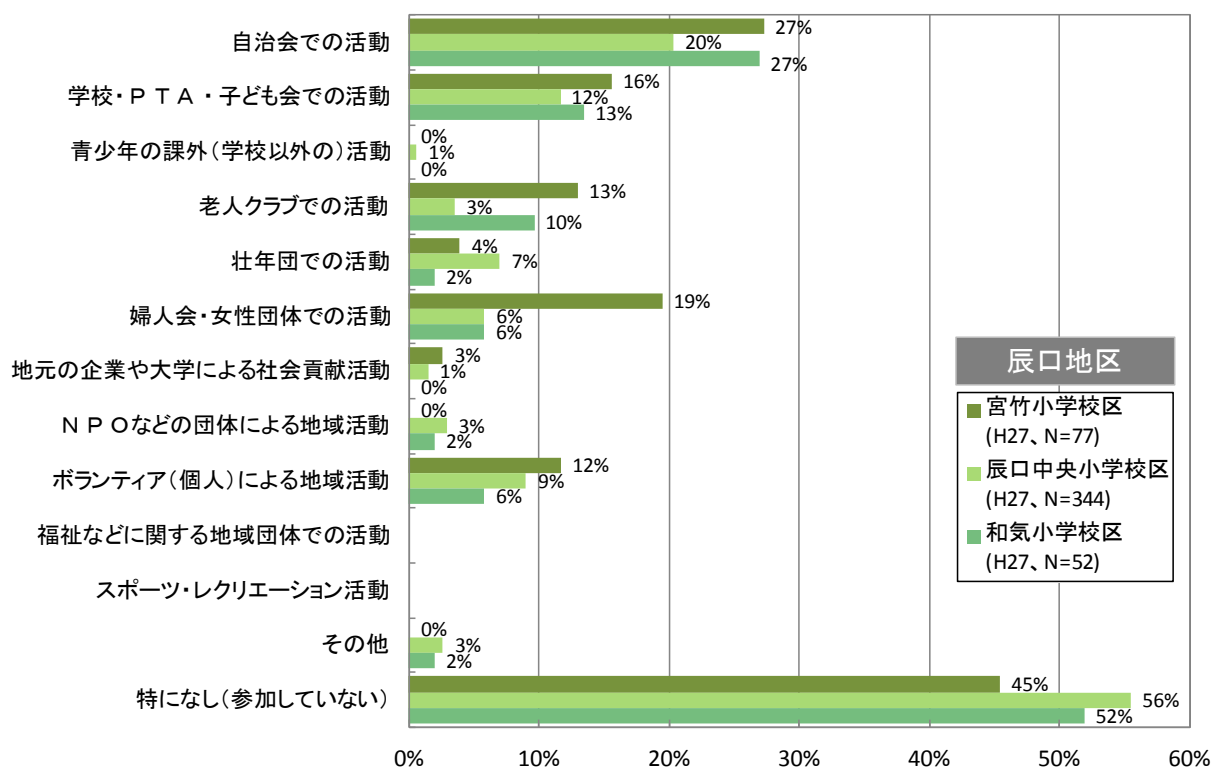
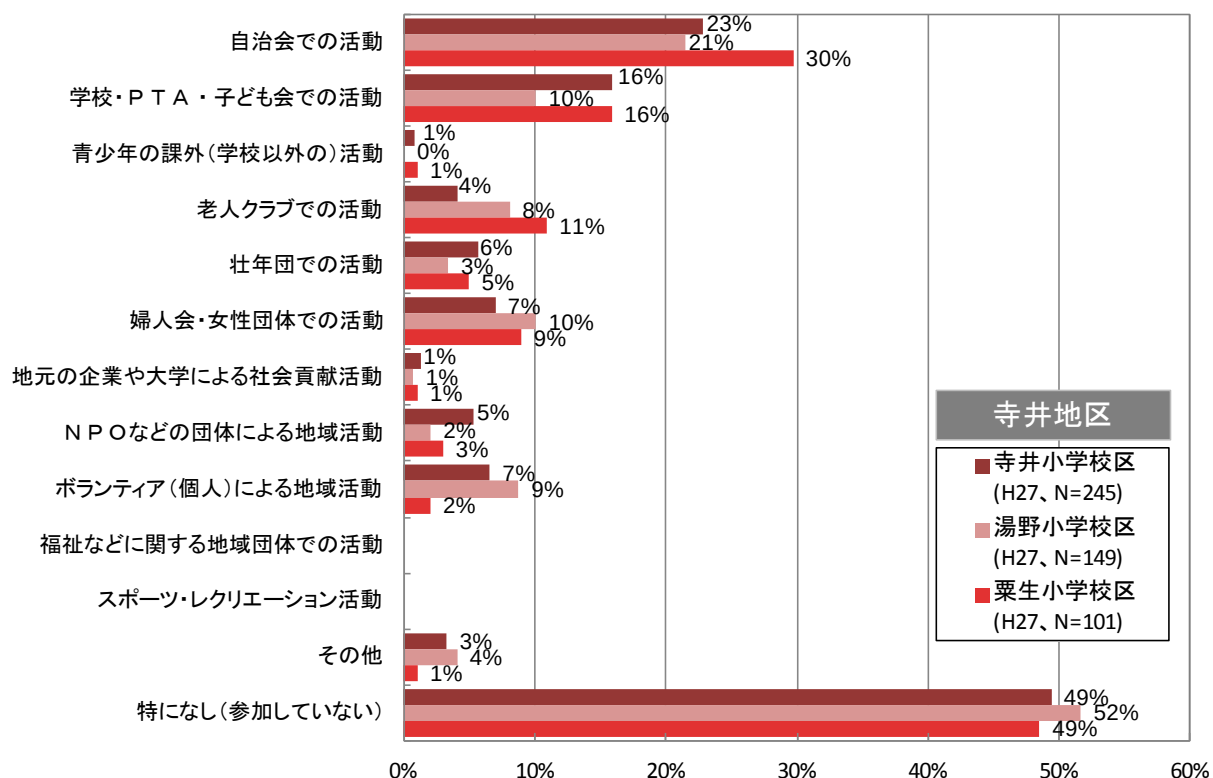




【小学校区別】

- ・全ての小学校区で「特になし（参加していない）」が最も多くなっています。特に、福岡小学校区、辰口中央小学校区は約 6 割と他の小学校区と比べて高くなっています。
- ・寺井の小学校区では、粟生小学校区の「自治会での活動」が他に比べて 7 ポイント以上高くなっています。
- ・辰口の小学校区では、宮竹小学校区の「婦人会・女性団体での活動」が他に比べて 13 ポイント以上高くなっています。

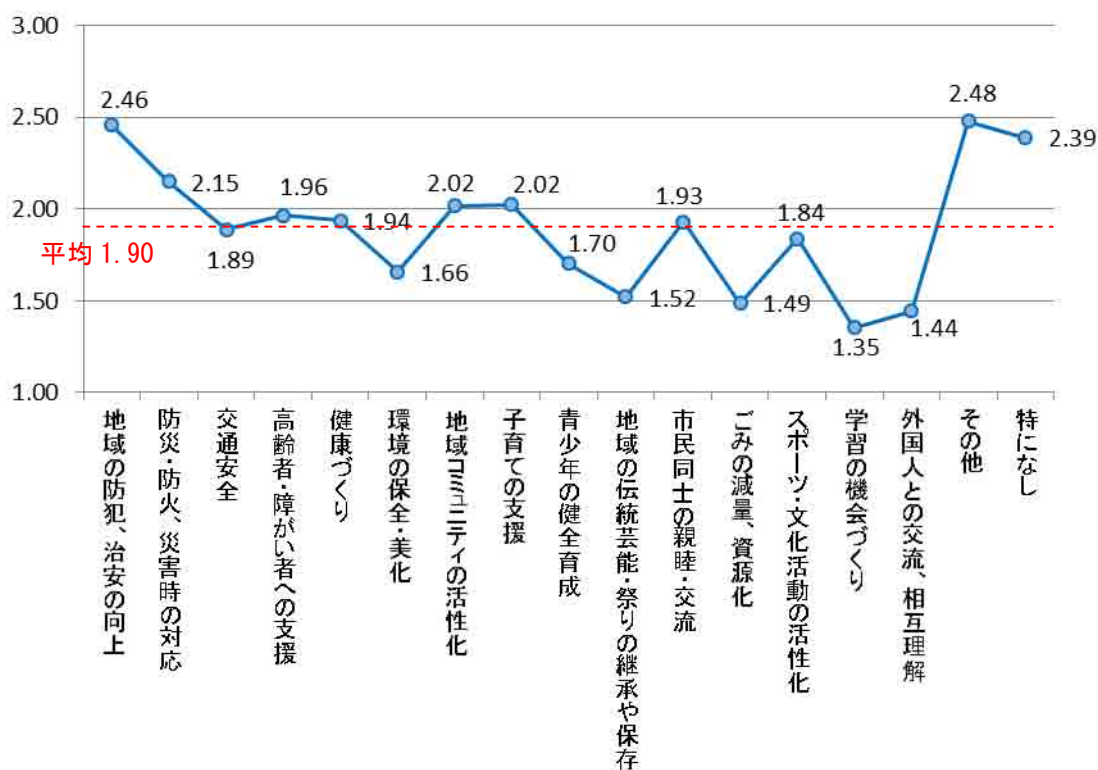




問 23

お住まいの地域（自治会等）で、地域が主体となって取り組むべき課題は、どんなことでしょうか？（優先度 3 位まで選択）

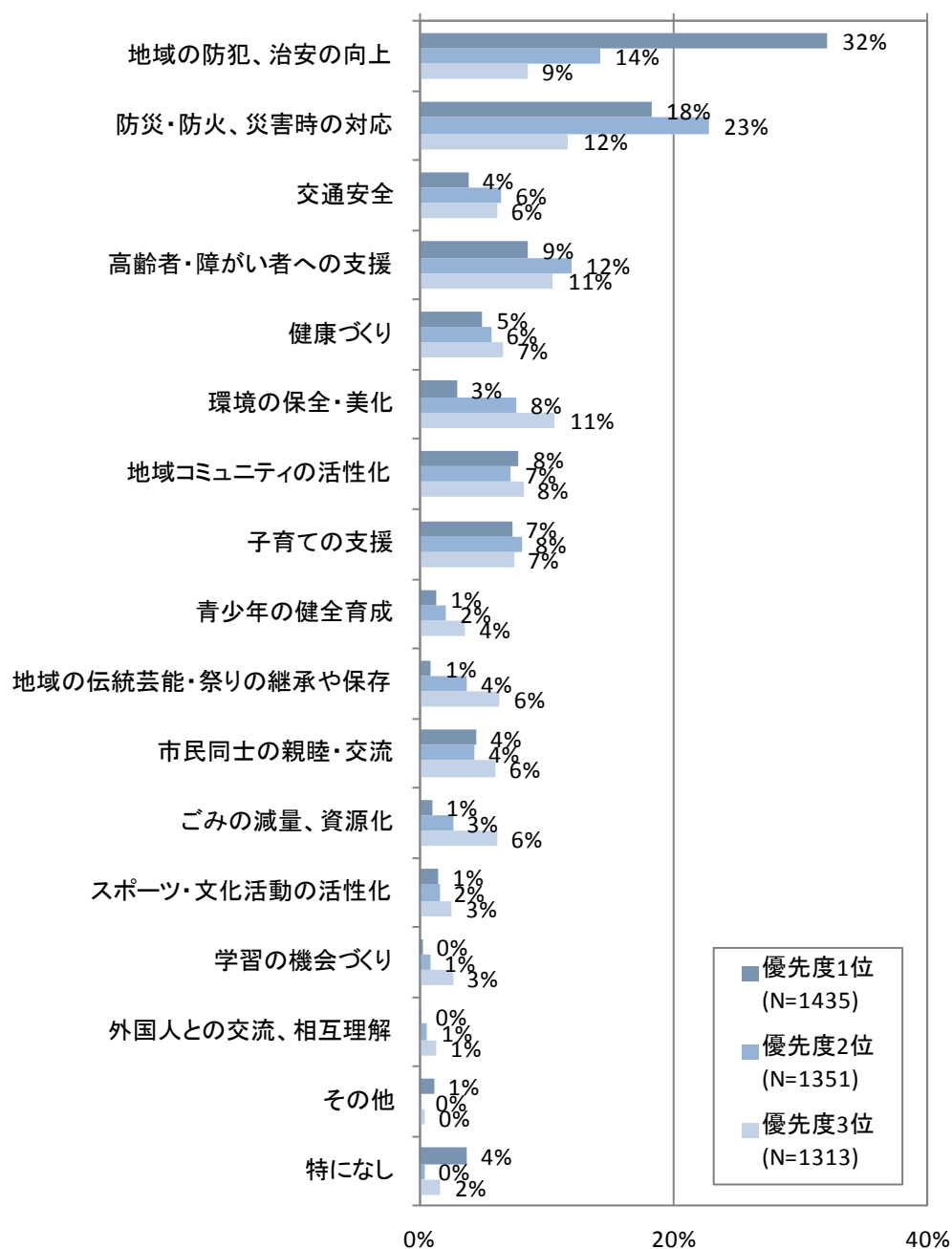
- ◆優先度 1 位を 3 点、優先度 2 位を 2 点、優先度 3 位を 1 点として加重平均値を算出した結果、「その他」及び「特になし」を除くと、「地域の防犯、治安の向上」が 2.46 で最も高く、次いで「防災・防火、災害時の対応」が 2.15、「地域コミュニティの活性化」及び「子育ての支援」が共に 2.02 となっています。
- ◆「特になし」が 2.39 と高く、地域課題を実感していない回答者も多く存在する。一方、「その他」の点数が高くなっており、回答者数は 20 名と少ないものの、「アパートの乱立」、「除雪」、「企業誘致、仕事雇用創出」、「高齢者の多い地域での自治活動」など、地域ごとに異なる課題が挙げられています。



【評価点の算出式】

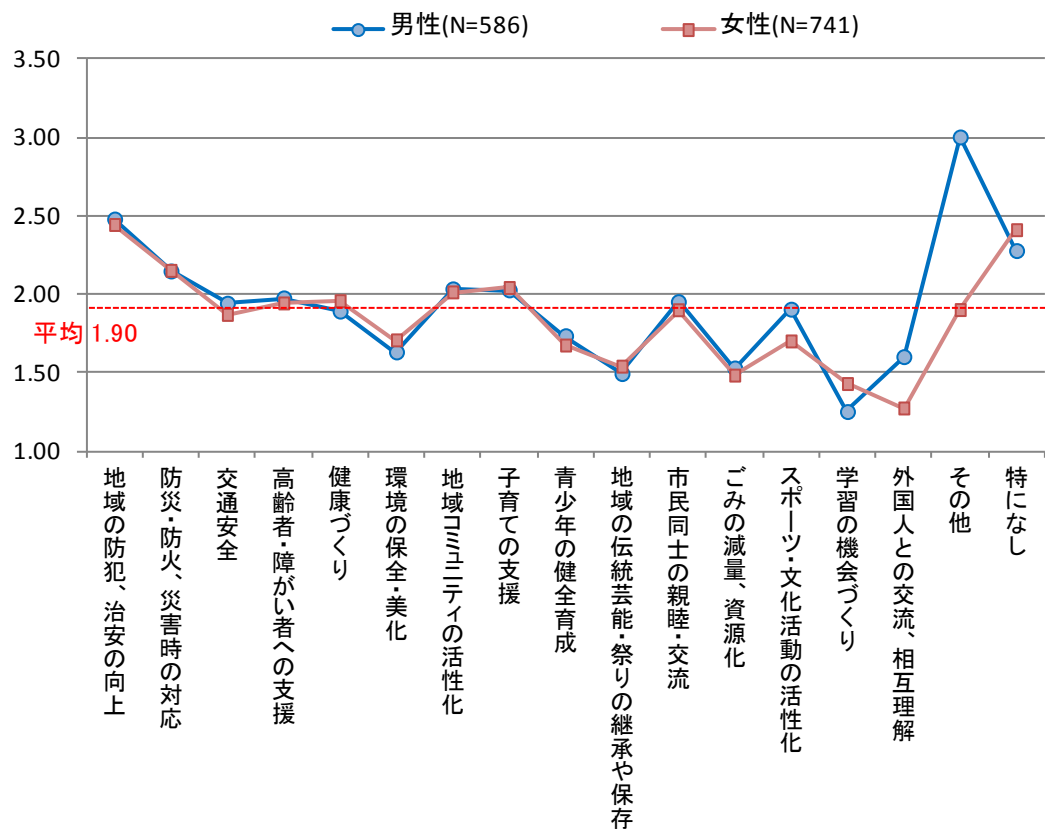
{優先度 1 位 × (3 点) + 優先度 2 位 × (2 点) + 優先度 3 位 × (1 点)} ÷ 回答者数

＜地域が主体となって取り組むべき課題（優先度 3 位まで選択）＞



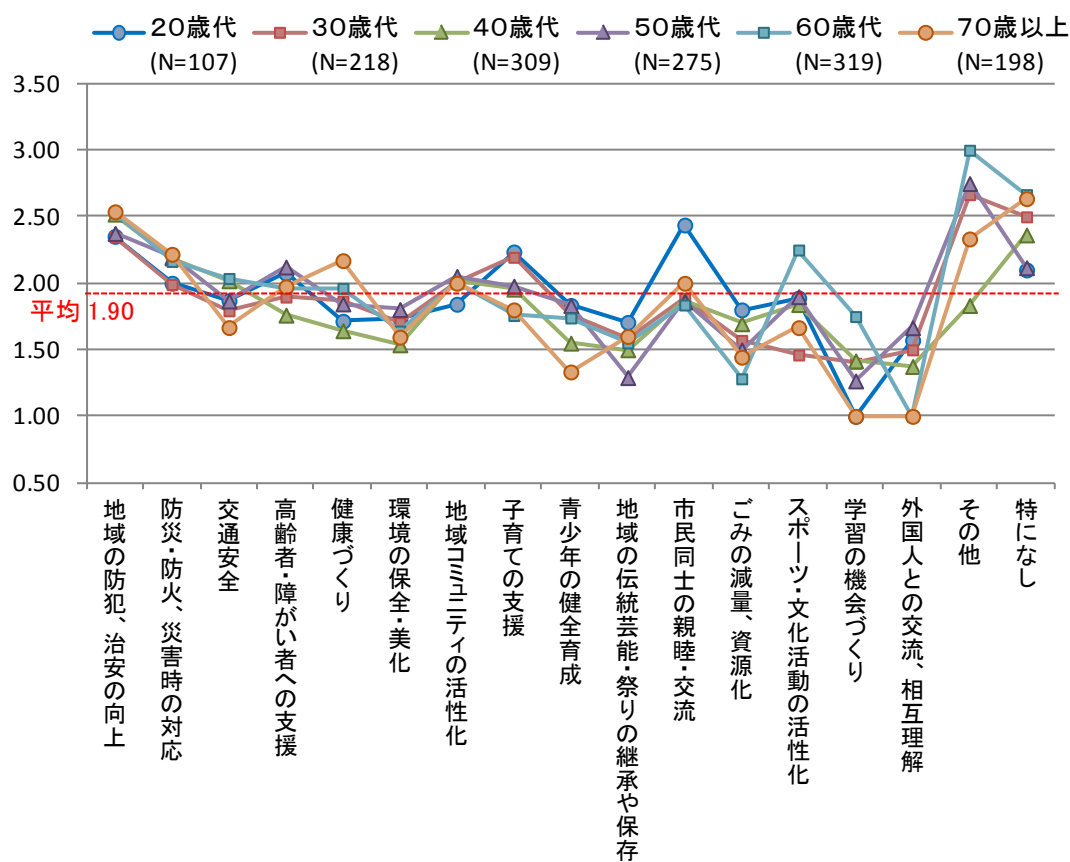
■地域が主体となって取り組むべき課題（性別）

・性別による大きな違いはみられません。



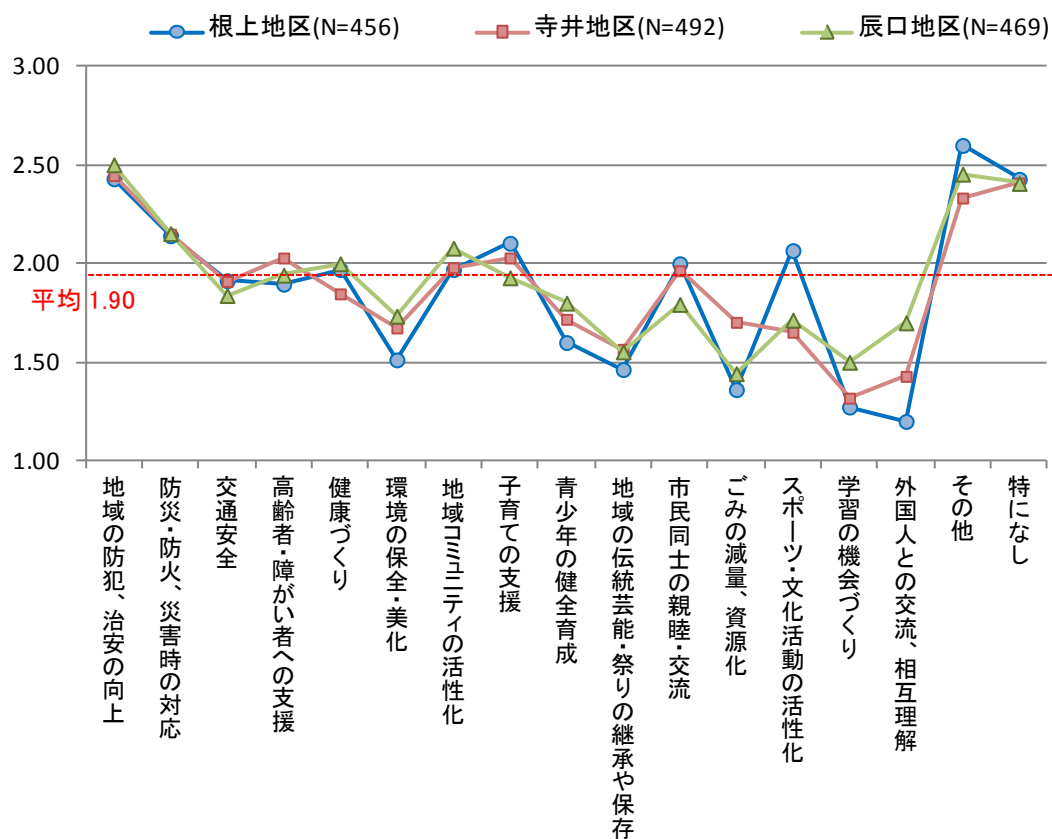
■地域が主体となって取り組むべき課題（年代別）

- ・ 20 歳代で「市民同士の親睦・交流」が、他と比べて高くなっています。



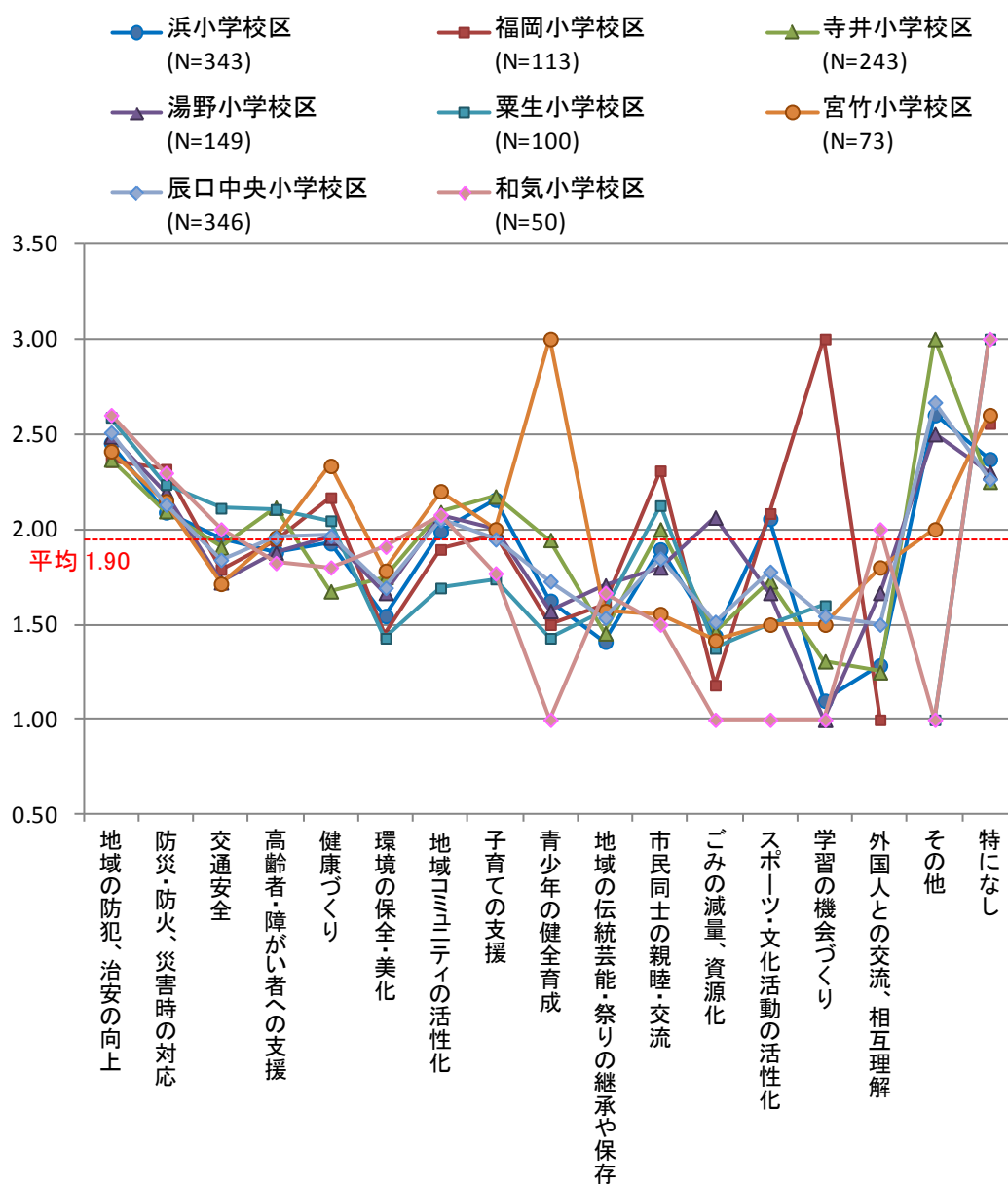
■地域が主体となって取り組むべき課題（地区別）

- ・全ての地区で「地域の防犯、治安の向上」が最も高くなっています。



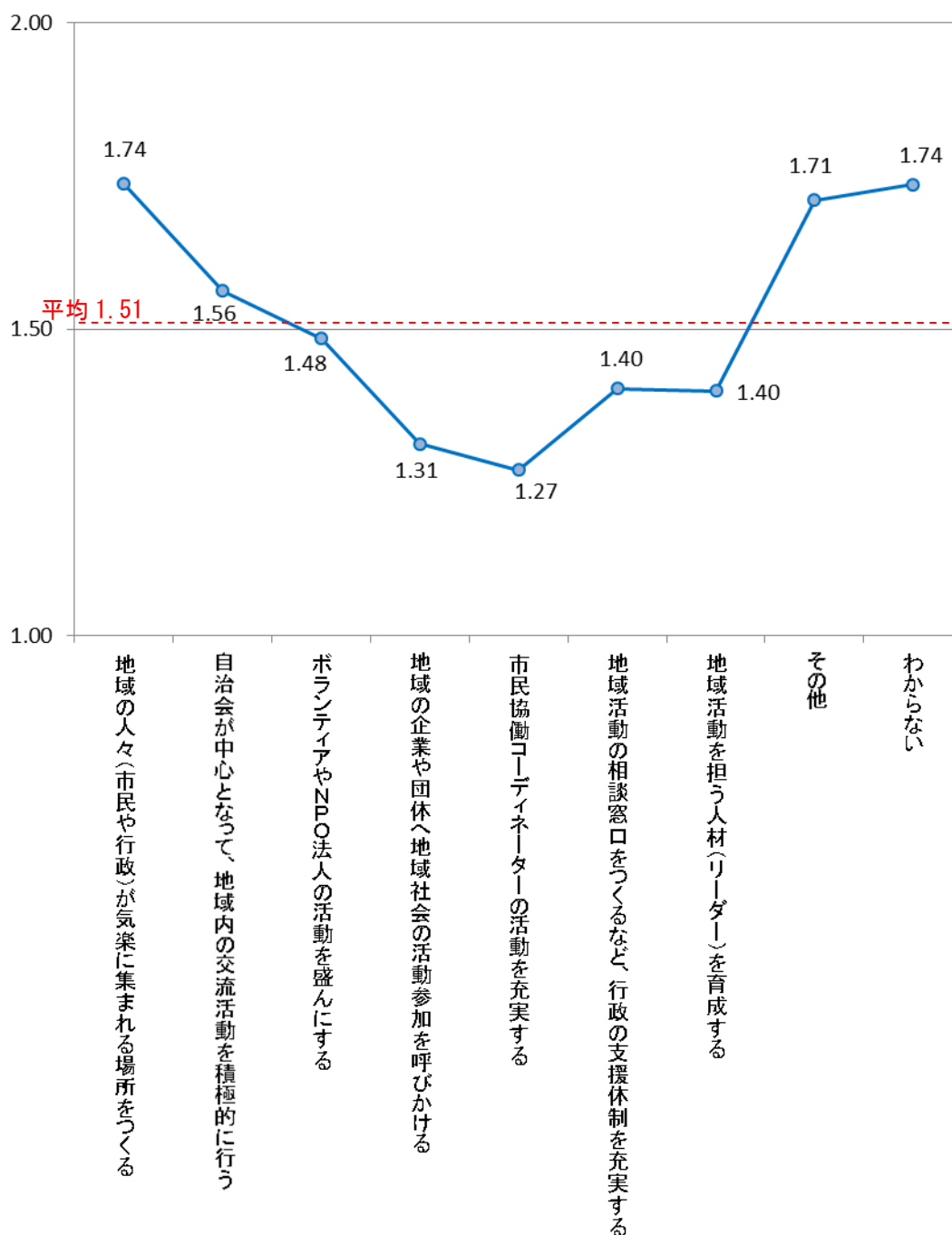
【小学校区別】

- ・福岡小学校区で「学習の機会づくり」、宮竹小学校区で「青少年の健全育成」が他と比べて特に高くなっています。

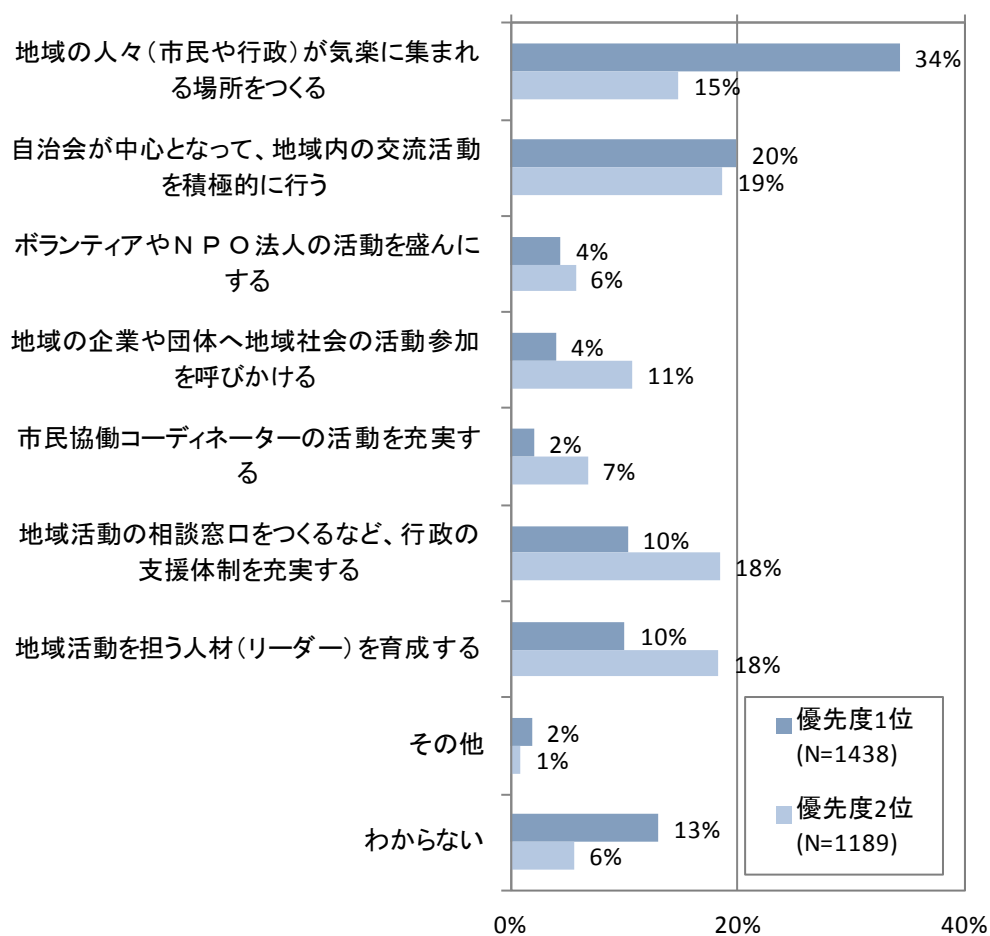


問 24 地域社会の問題解決に向けて、市民同士、あるいは市民と行政の協力（協働）関係をより深めるために、どんなことが重要だと思いますか？
（優先度 2 位まで選択）

◆優先度 1 位を 2 点、優先度 2 位を 1 点として加重平均値を算出した結果、「その他」及び「わからない」を除くと、「地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる」が 1.74 で最も高く、次いで「自治会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行う」が 1.56、「ボランティアや NPO 法人の活動を盛んにする」が 1.48 となっています。

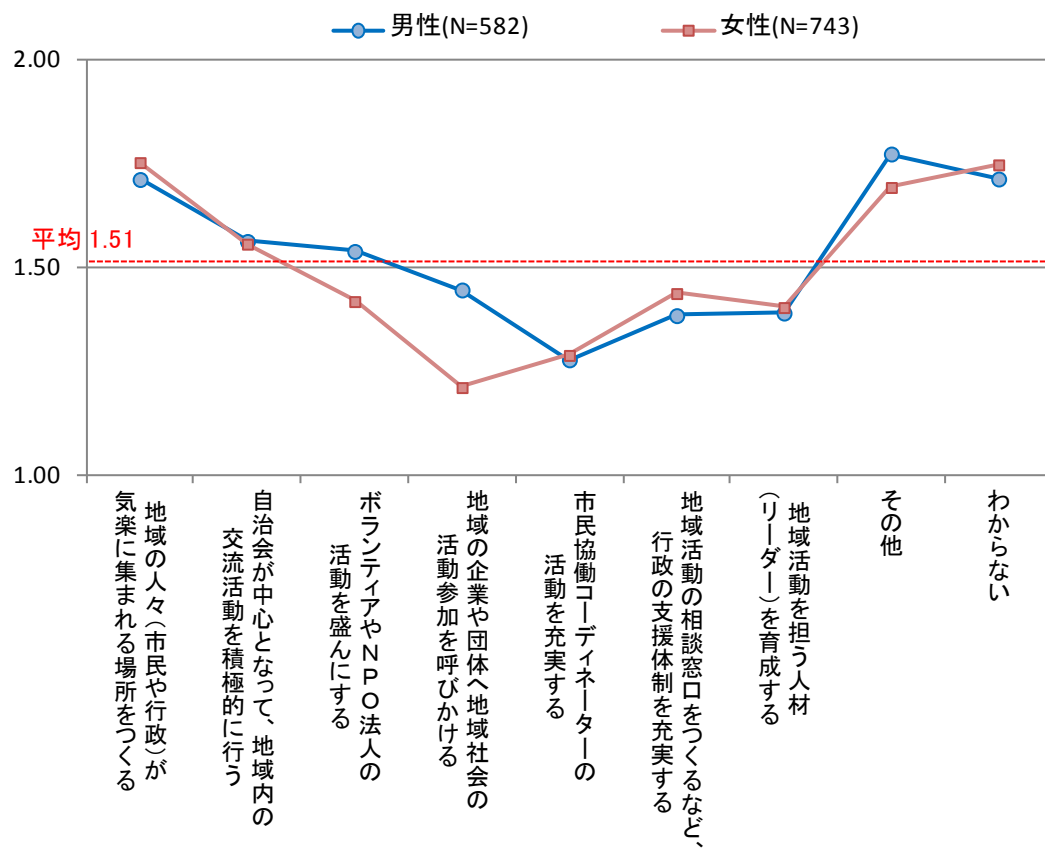


＜地域社会の問題解決に向けて、市民同士、あるいは市民と行政の協力（協働）関係をより深めるために重要なこと（優先度 2 位まで選択）＞



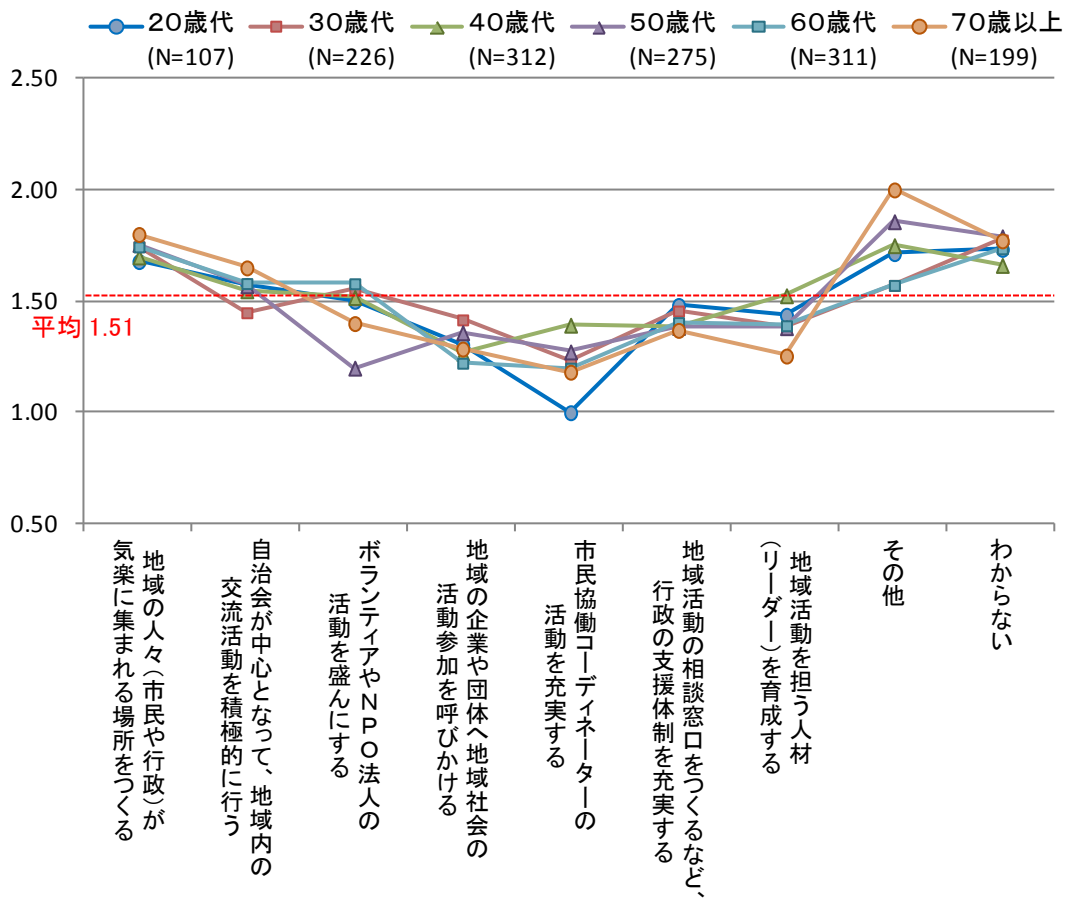
■市民と行政の協働推進に必要なこと（性別）

- ・男女共に「地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる」が最も高くなっています。
- ・男性は「地域の企業や団体へ地域社会の活動参加を呼びかける」、女性は「市民協働コーディネーターの活動を充実する」が最も低くなっています。



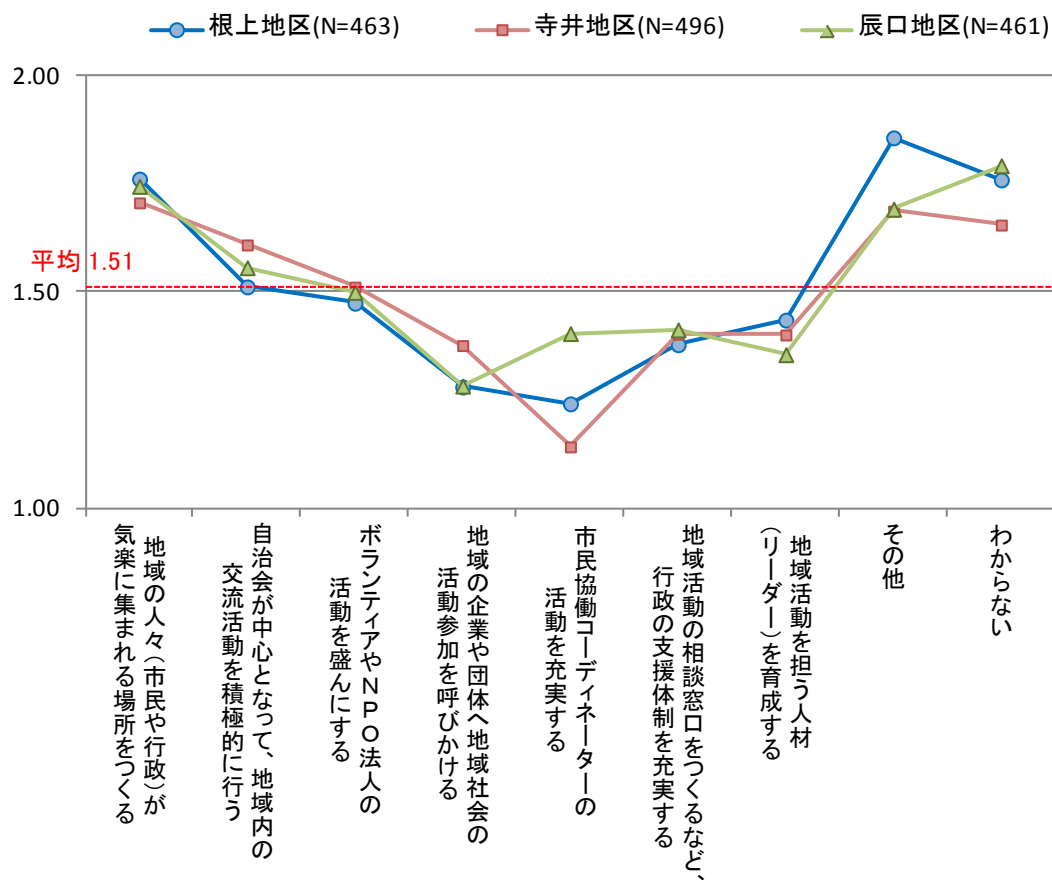
■市民と行政の協働推進に必要なこと（年代別）

- ・年代による大きな違いはみられません。



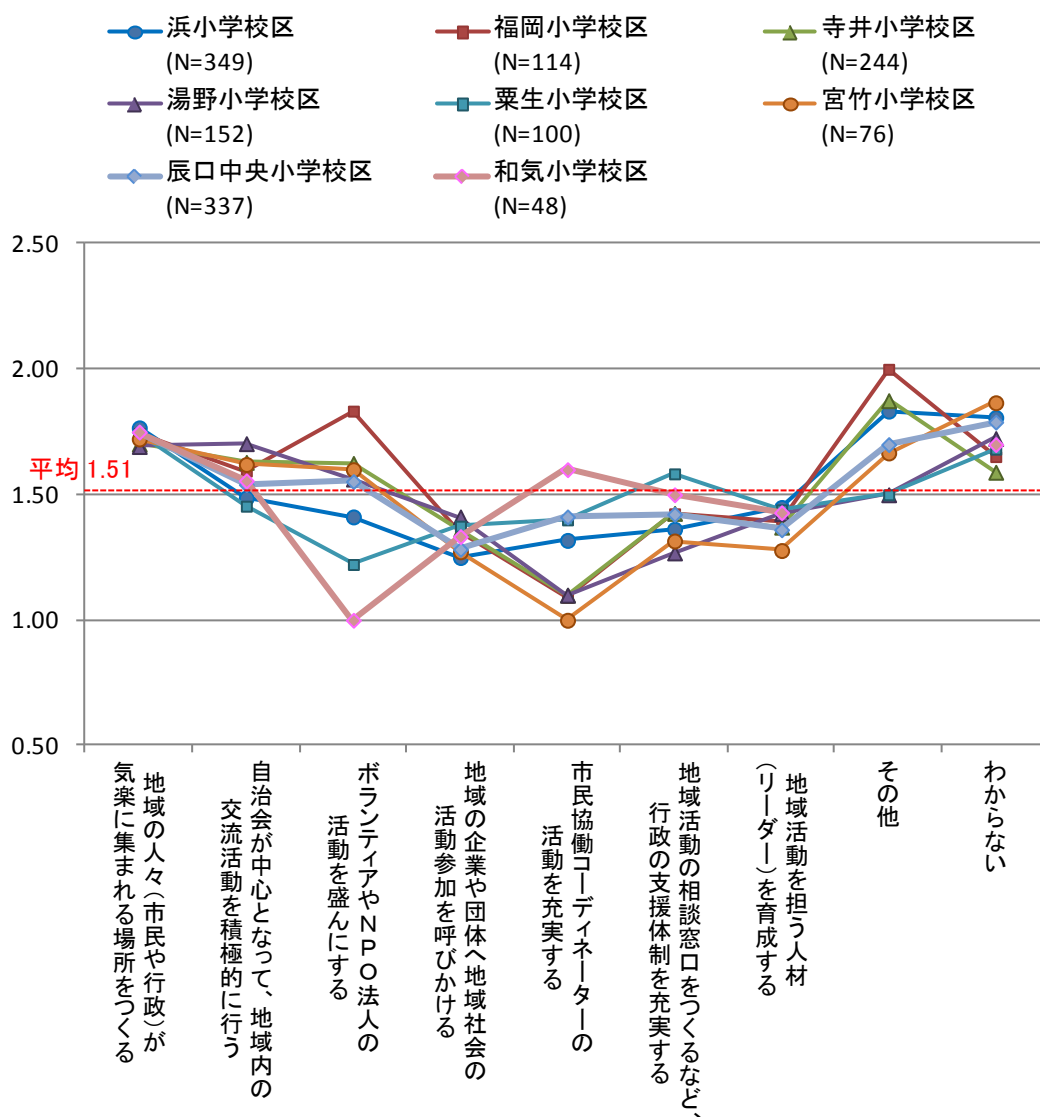
■市民と行政の協働推進に必要なこと（地区別）

- ・地区による大きな違いはみられません。



【小学校区別】

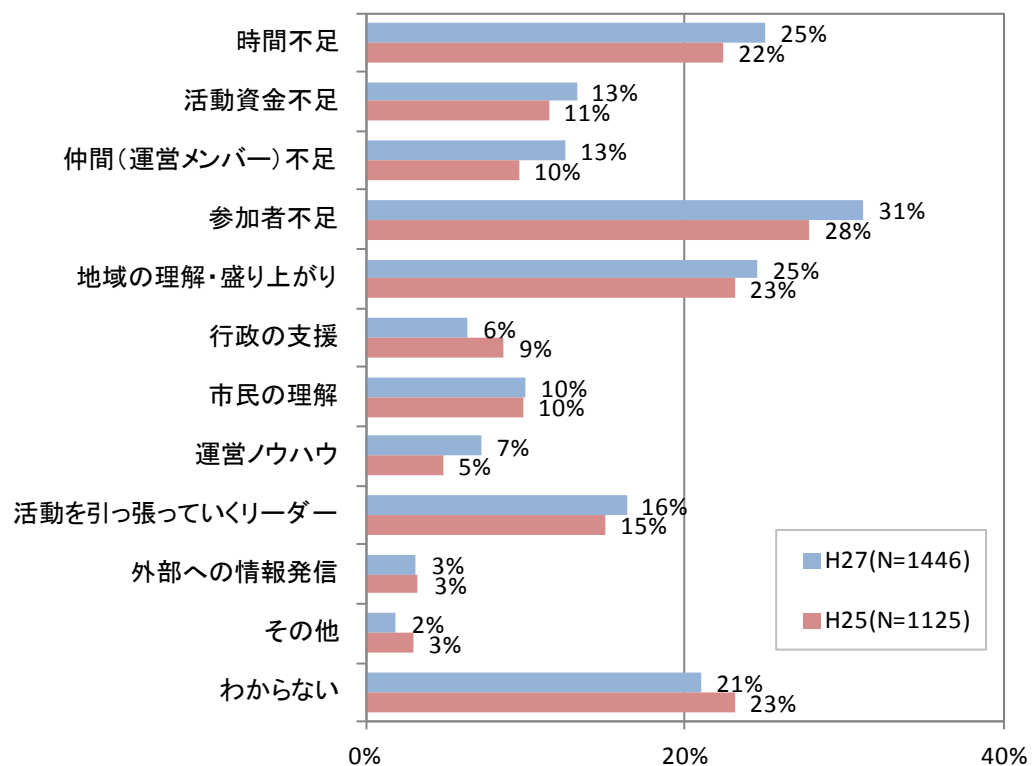
・「ボランティアやNPO法人の活動を盛んにする」で大きな差がみられます。



問 25 地域の問題解決に向けて、あなたの地域でまちづくり活動をするときに、活動の妨げになっていることは何ですか？（2つまで○）

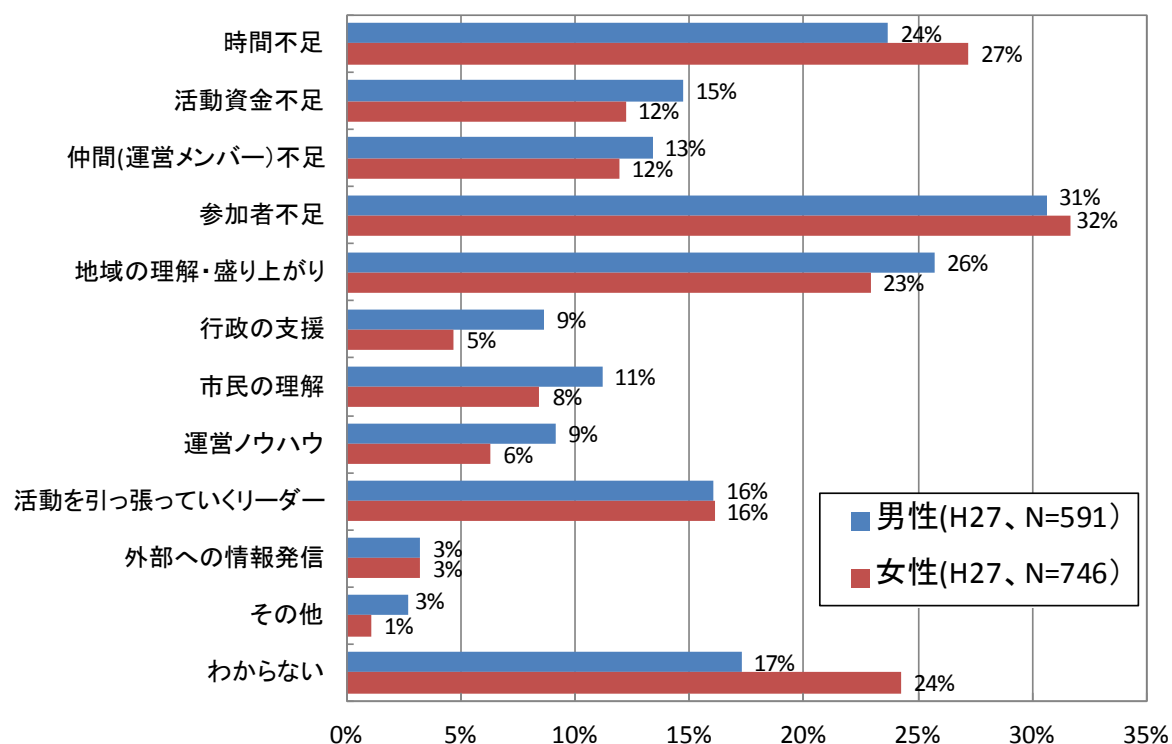
※H25 に追加した設問

- ◆「参加者不足」が31%と最も多く、次いで「時間不足」が25%、「地域の理解・盛り上がり」が25%となっています。



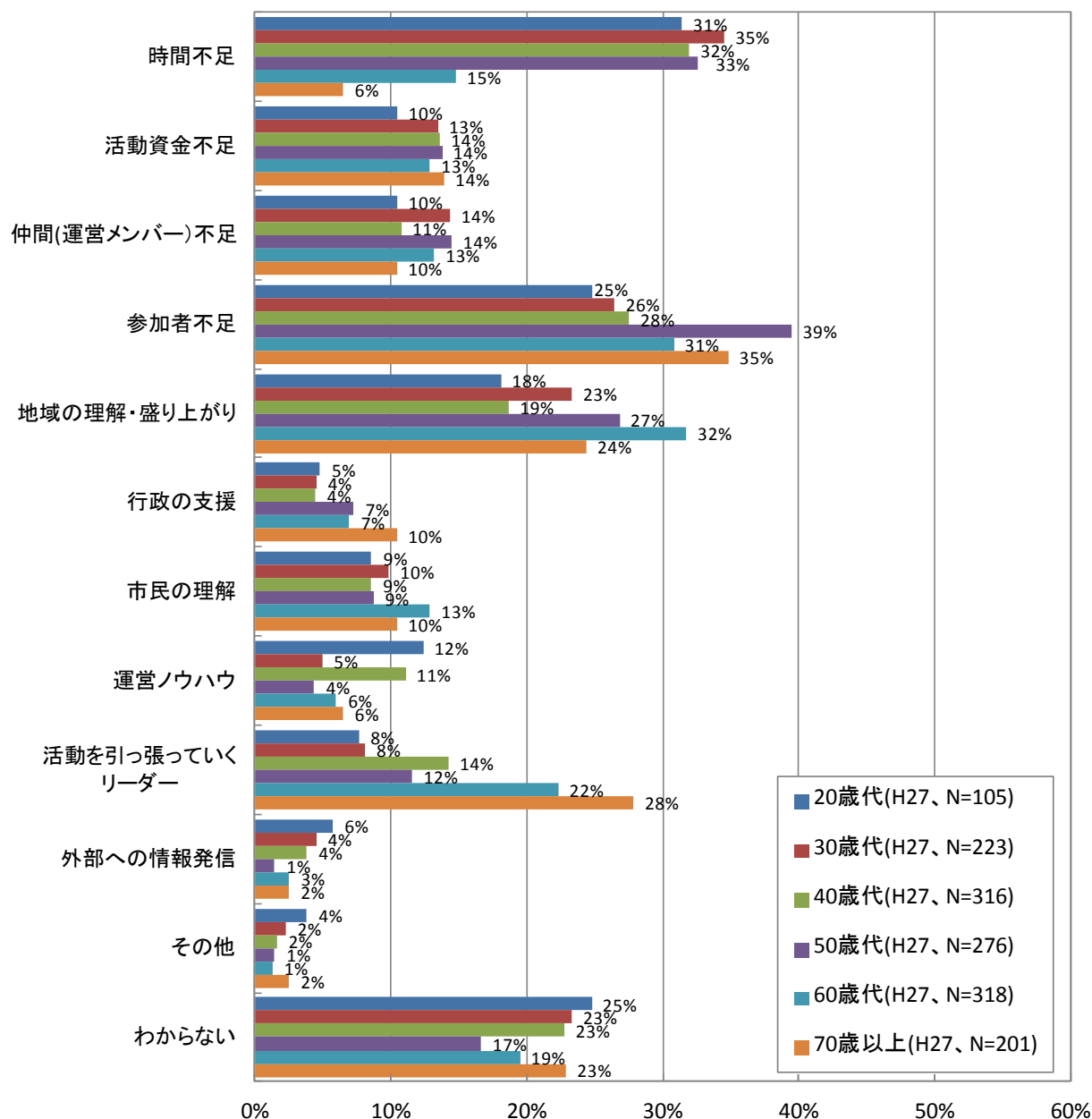
■まちづくり活動の妨げになっていること（性別）

- ・男女共に「参加者不足」が最も多くなっています。
- ・男性は「行政の支援」が9%と、女性より4ポイント高くなっています。
- ・女性は「わからない」が24%と、男性より7ポイント高くなっています。



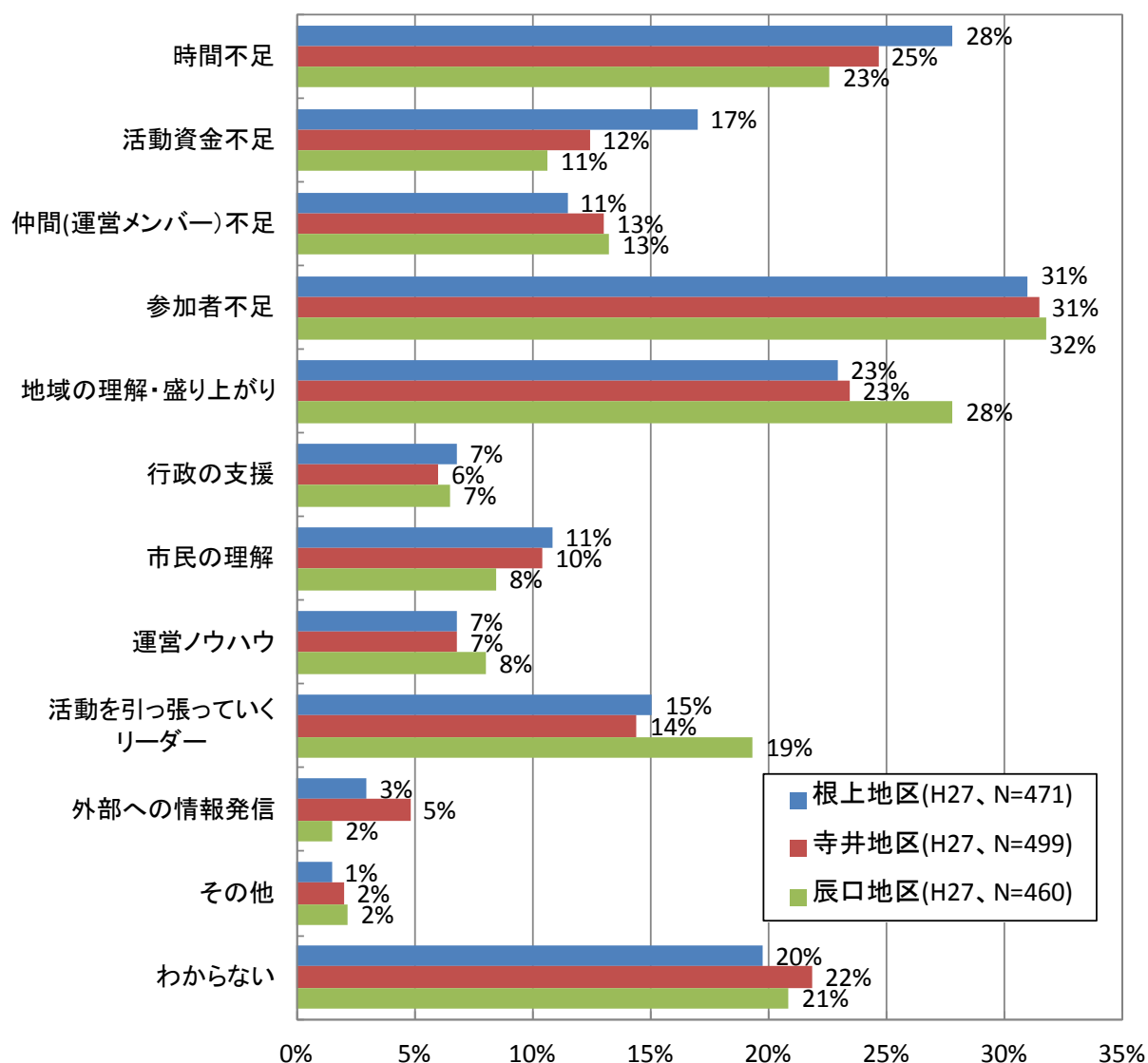
■まちづくり活動の妨げになっていること（年代別）

- ・ 70 歳以上は「活動を引っ張っていくリーダー」が他の年代と比べて 6 ポイント以上高くなっています。
- ・ 60 歳代では「地域の理解・盛り上がり」が他の年代と比べて 5 ポイント以上高くなっています。



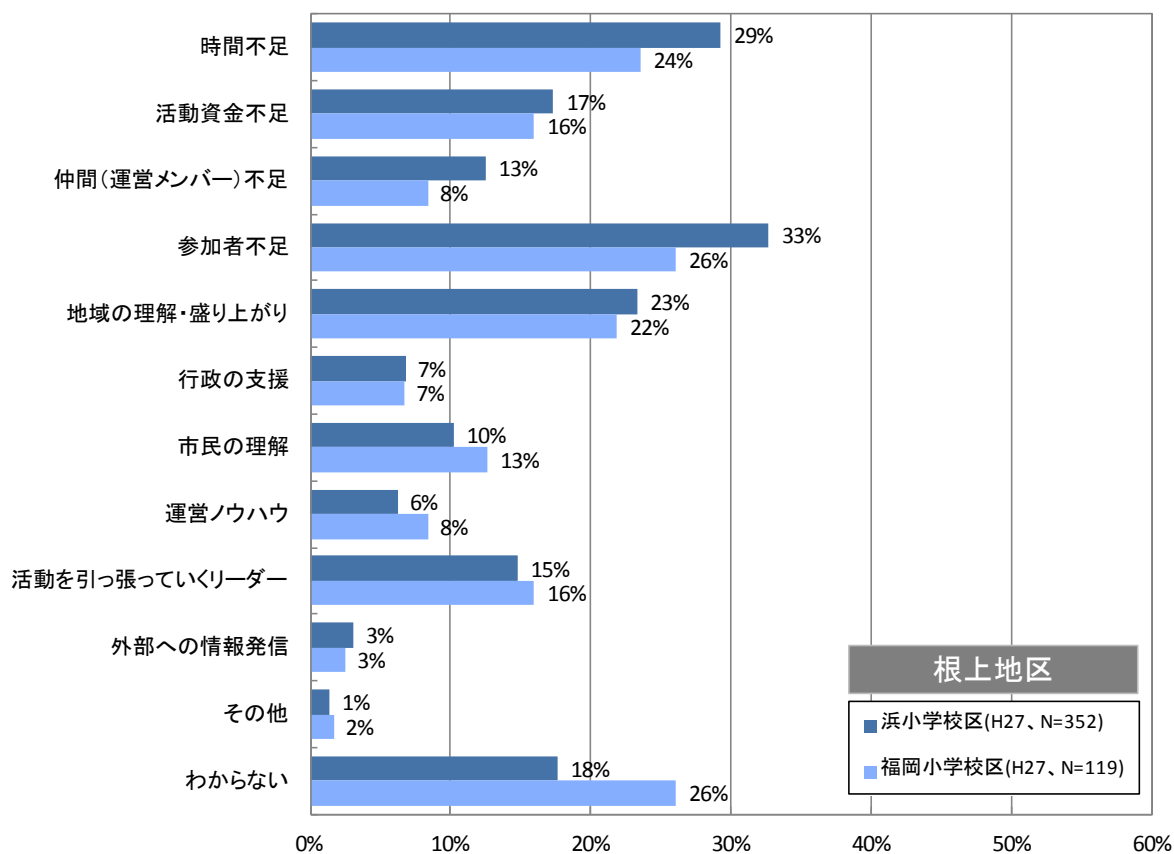
■まちづくり活動の妨げになっていること（地区別）

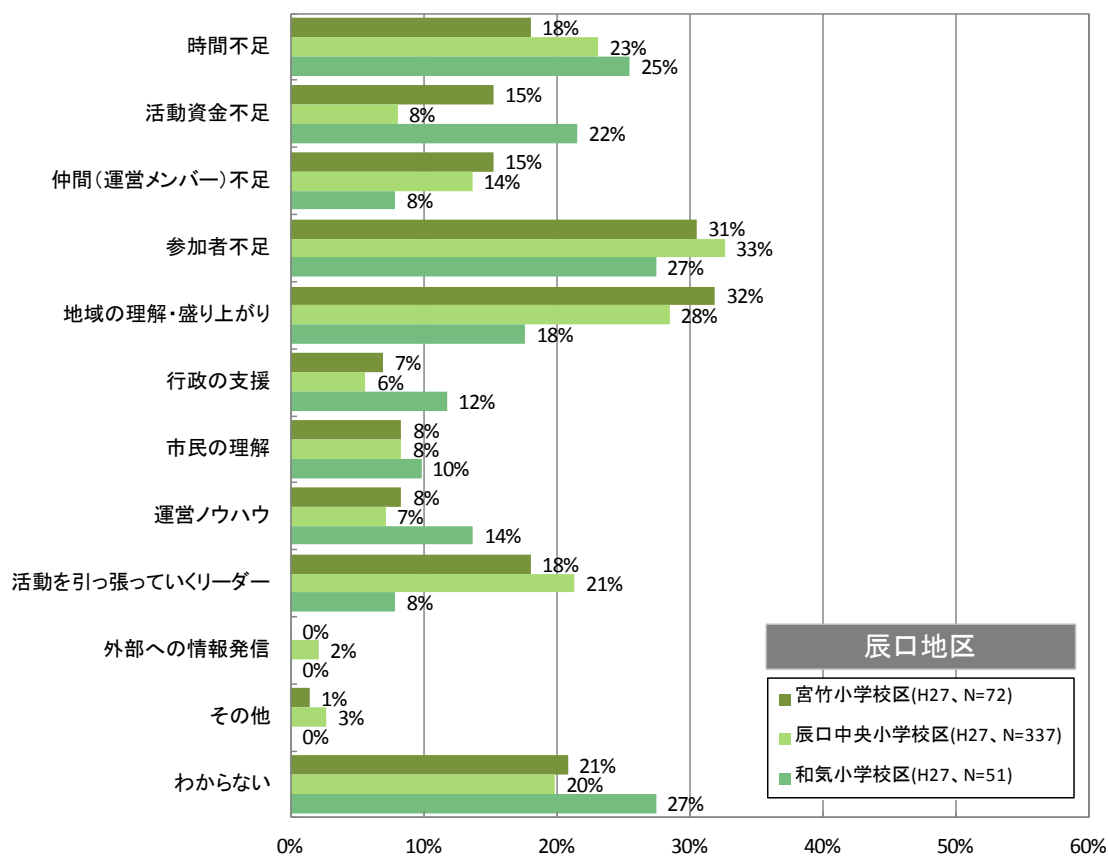
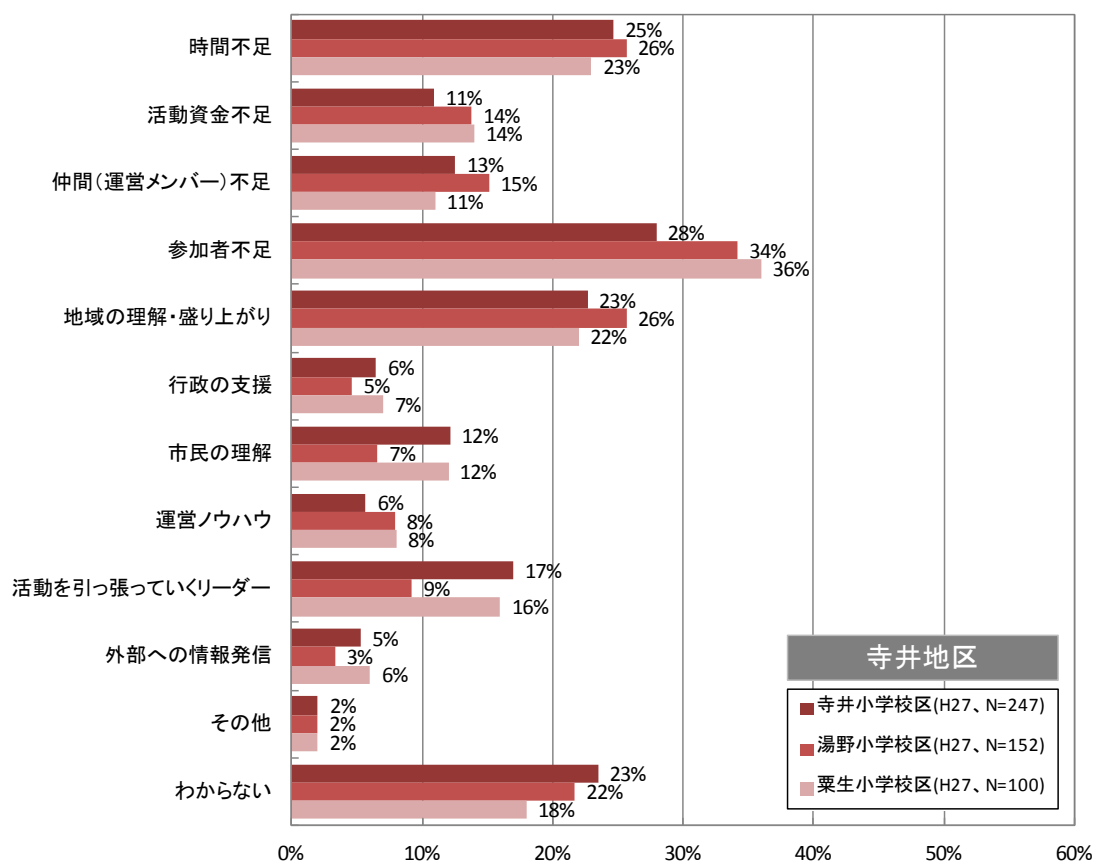
- ・根上では「時間不足」「活動資金不足」が他の地区と比べて高くなっています。
- ・寺井では「外部への情報発信」が他の地区と比べて高くなっています。
- ・辰口では「地域の理解・盛り上がり」「活動を引っ張っていくリーダー」が他の地区と比べて高くなっています。



【小学校区別】

- ・小学校区ごとに課題は異なるものの、「参加者不足」「時間不足」「地域の理解・盛り上がり」「活動を引っ張っていくリーダー」が主な課題となっていることがうかがえます。



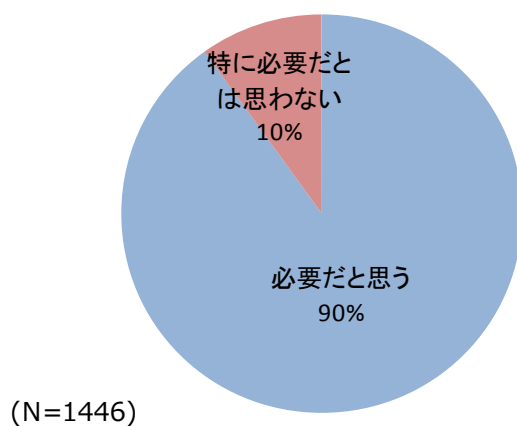


問 26

今後、能美市は 65 歳以上の高齢者が増えていき、25 年後には現在の 1.5 倍になる推計結果が出ています。高齢者が安心して暮らしていくには、地域での支援も重要になっていきますが、地域や N P O 等が主体となった支えあいのしくみづくりが必要だと思いませんか。（1 つに○）

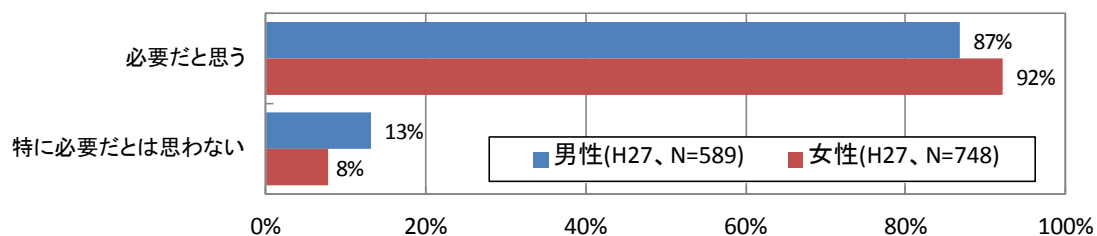
※H27 に追加した設問

◆「必要だと思う」が 90%を占めています。



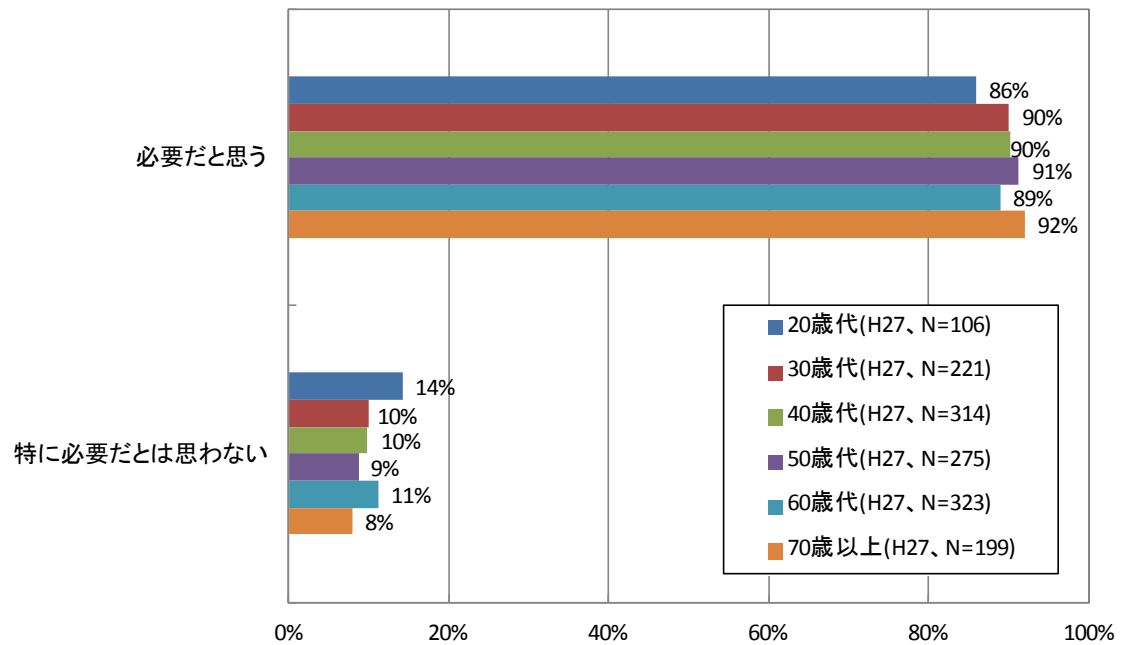
■地域や N P O 等が主体となった支えあいのしくみづくりの必要性(性別)

・男女共に「必要だと思う」が約 9 割となっています。



■地域やNPO等が主体となった支えあいのしくみづくりの必要性(年代別)

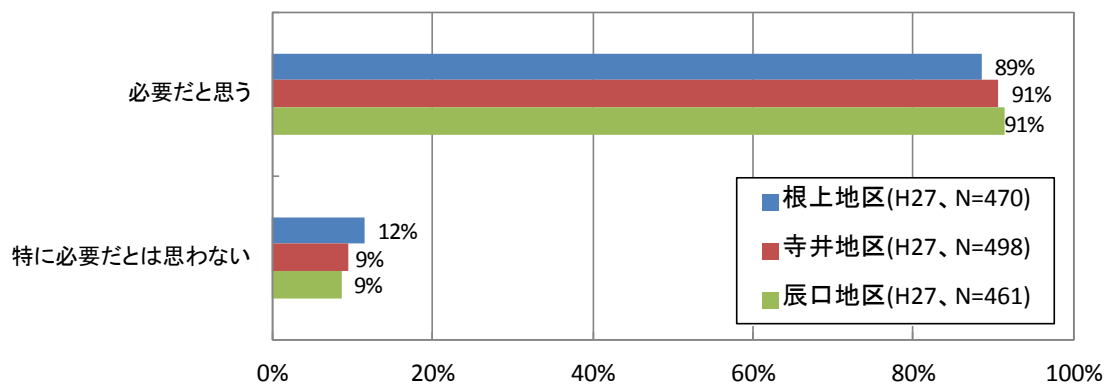
- ・全ての年代で「必要だと思う」が約9割となっています。



■地域やNPO等が主体となった支えあいのしくみづくりの必要性(地区別)

【地区別】

- ・全ての地区で「必要だと思う」が約9割となっています。

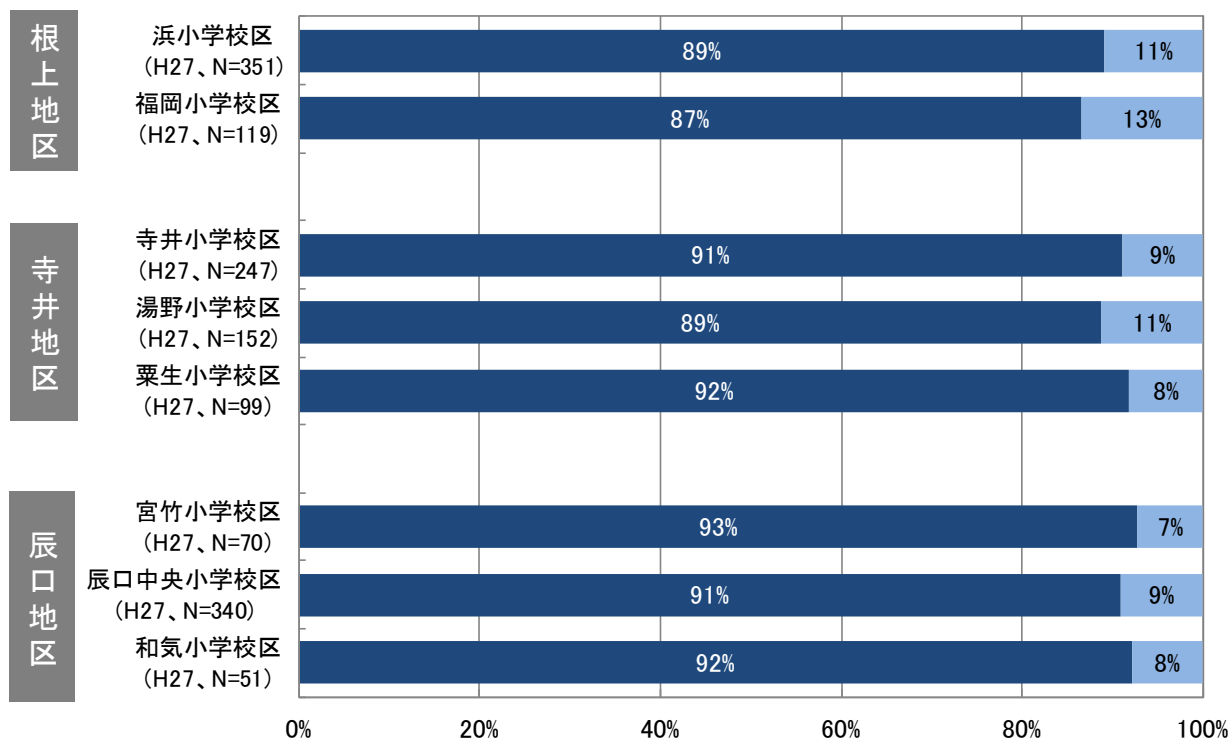


【小学校区別】

- ・全ての小学校区で「必要だと思う」が約9割となっています。

■必要だと思う

■特に必要だとは思わない

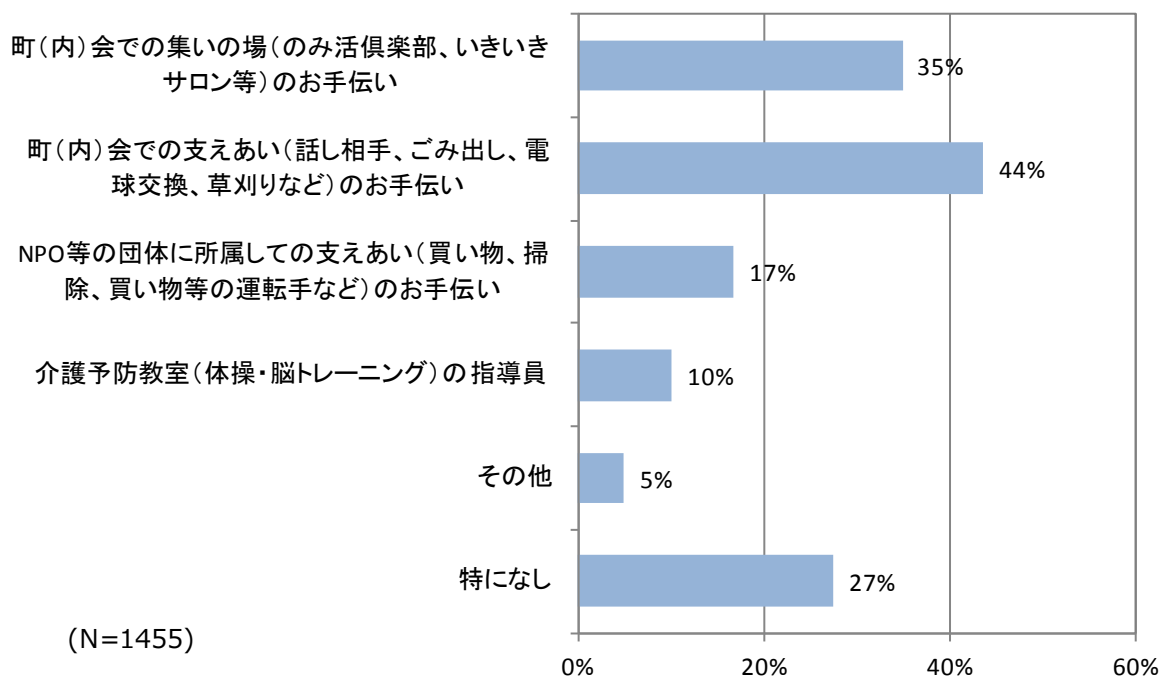


問 27

あなたが高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動はありますか。(当
てはまるもの全てに○)

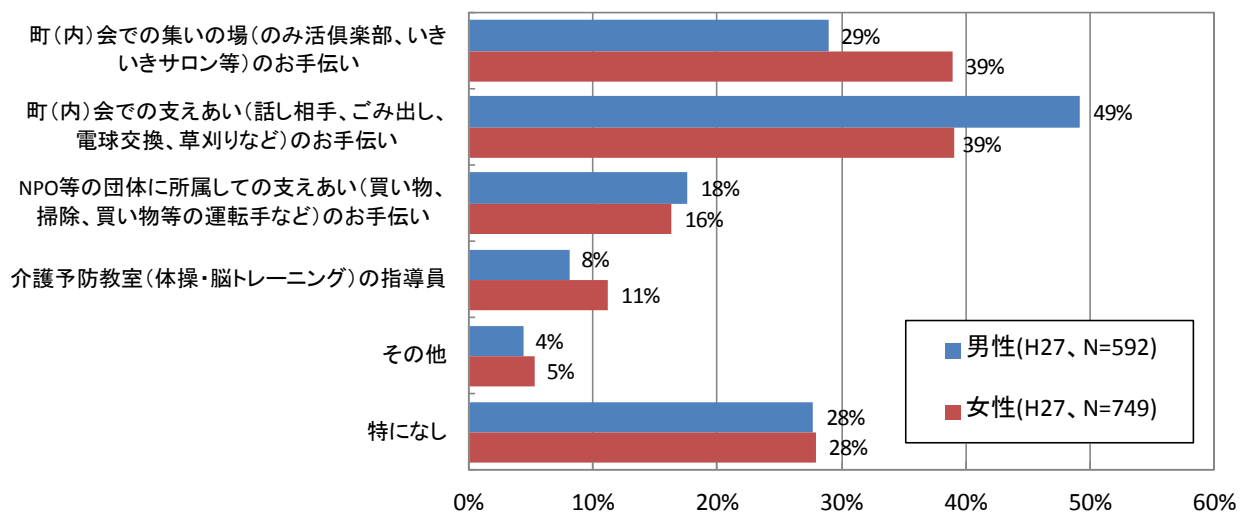
※H27 に追加した設問

◆「町（内）会での支えあい（話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど）のお手伝い」
が 44%で最も多く、次いで「町（内）会での集いの場（のみ活倶楽部、いきいきサロ
ン等）のお手伝い」が 35%、「特になし」が 27%となっています。



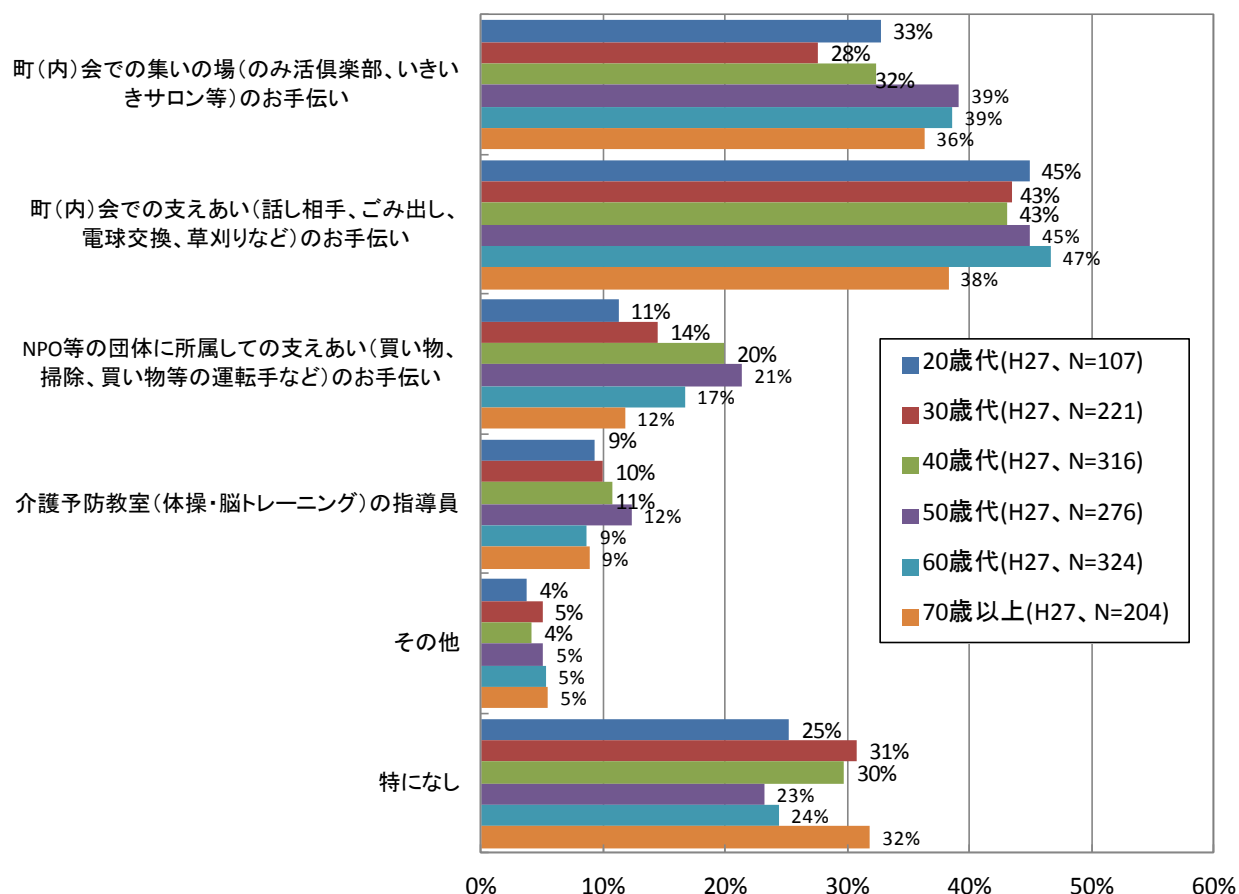
■高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動(性別)

- ・男性は「町（内）会での支えあい（話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど）のお手伝い」が女性より 10 ポイント高く、女性は「町（内）会での集いの場（のみ活倶楽部、いきいきサロン等）のお手伝い」が男性より、10 ポイント高くなっています。



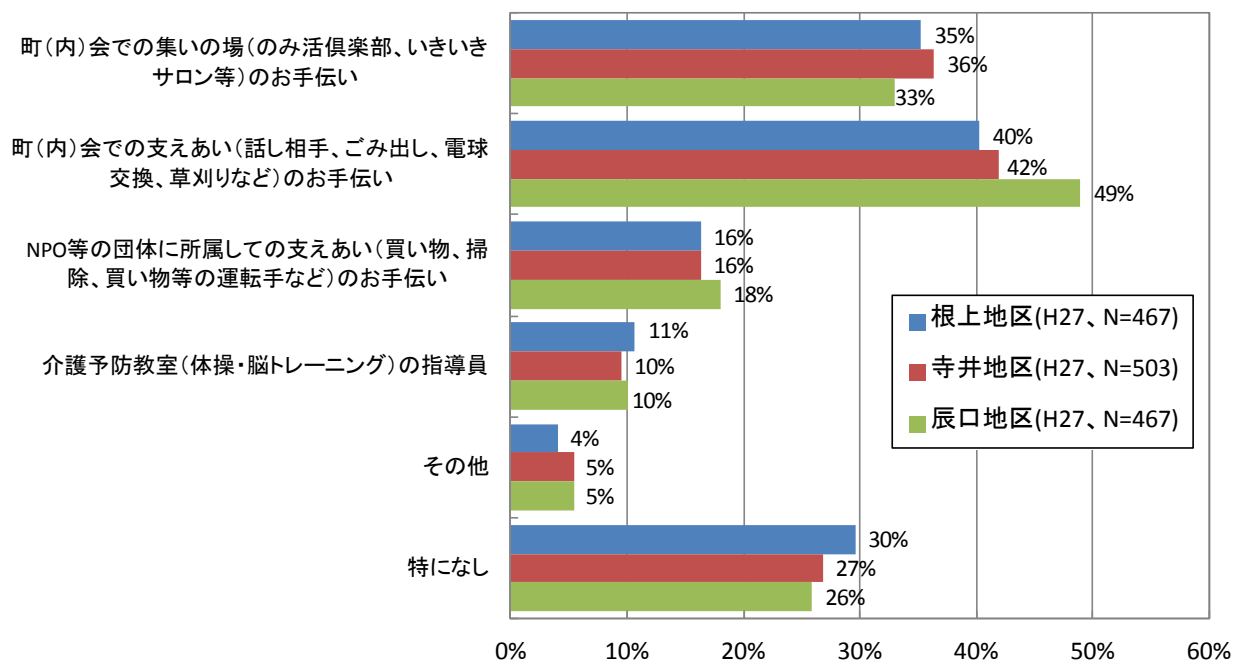
■ 高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動（年代別）

- ・ 30 歳代は「町（内）会での集いの場（のみ活倶楽部、いきいきサロン等）のお手伝い」が 28%と、他の年代と比べて 4 ポイント以上低くなっています。
- ・ 70 歳以上では「町（内）会での支えあい（話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど）のお手伝い」が 38%と他の年代と比べて 5 ポイント以上低くなっています。



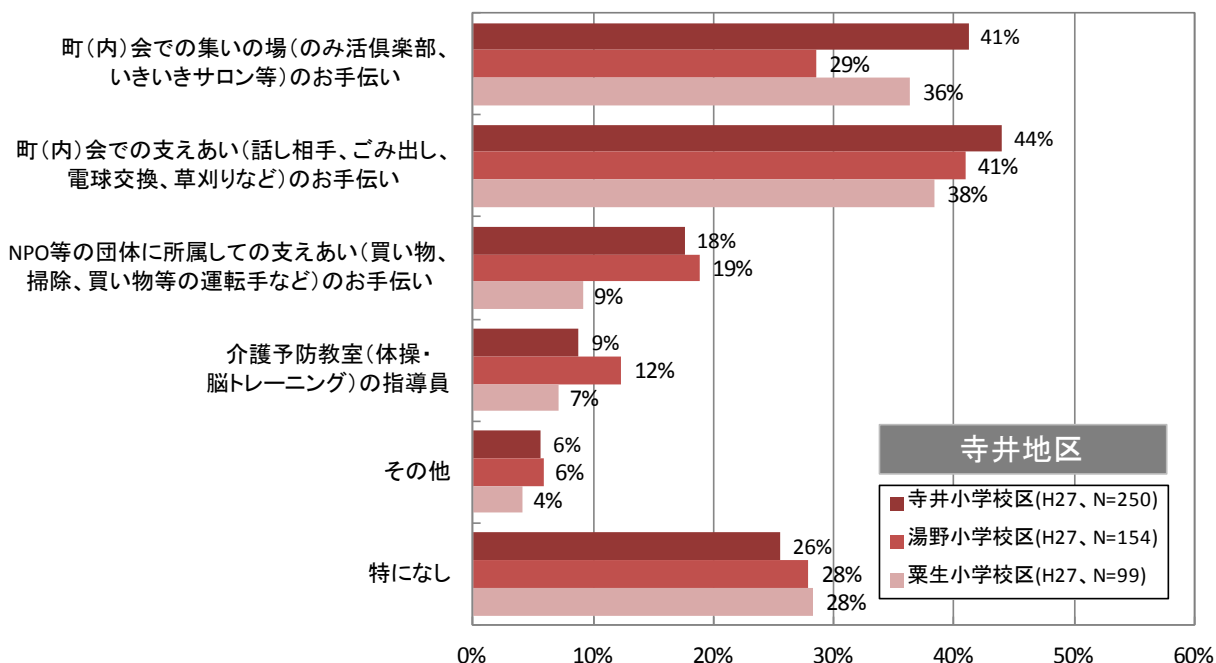
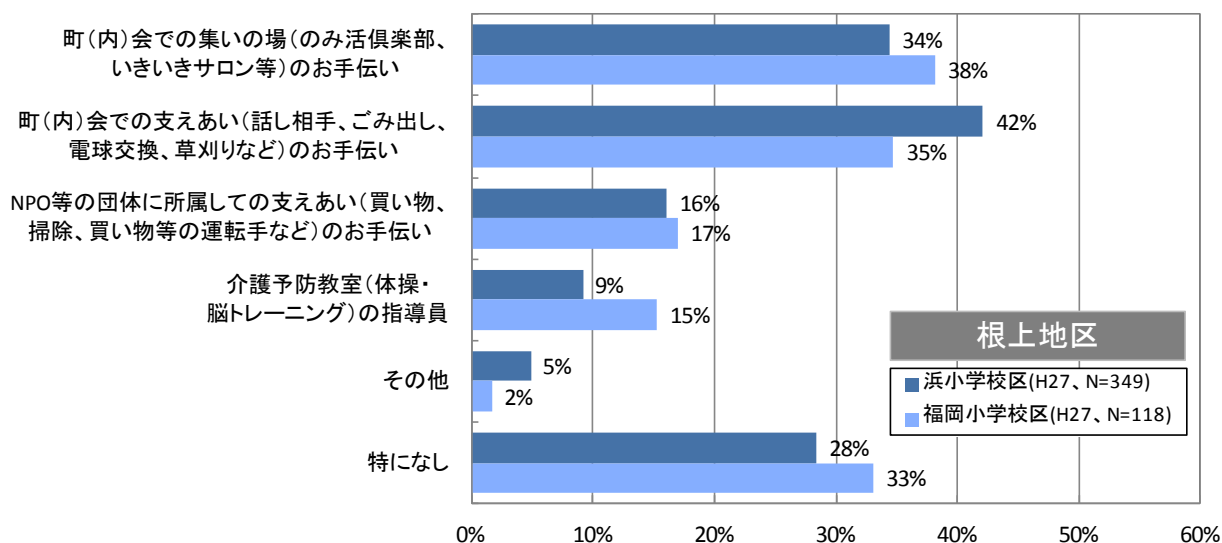
■高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動(地区別)

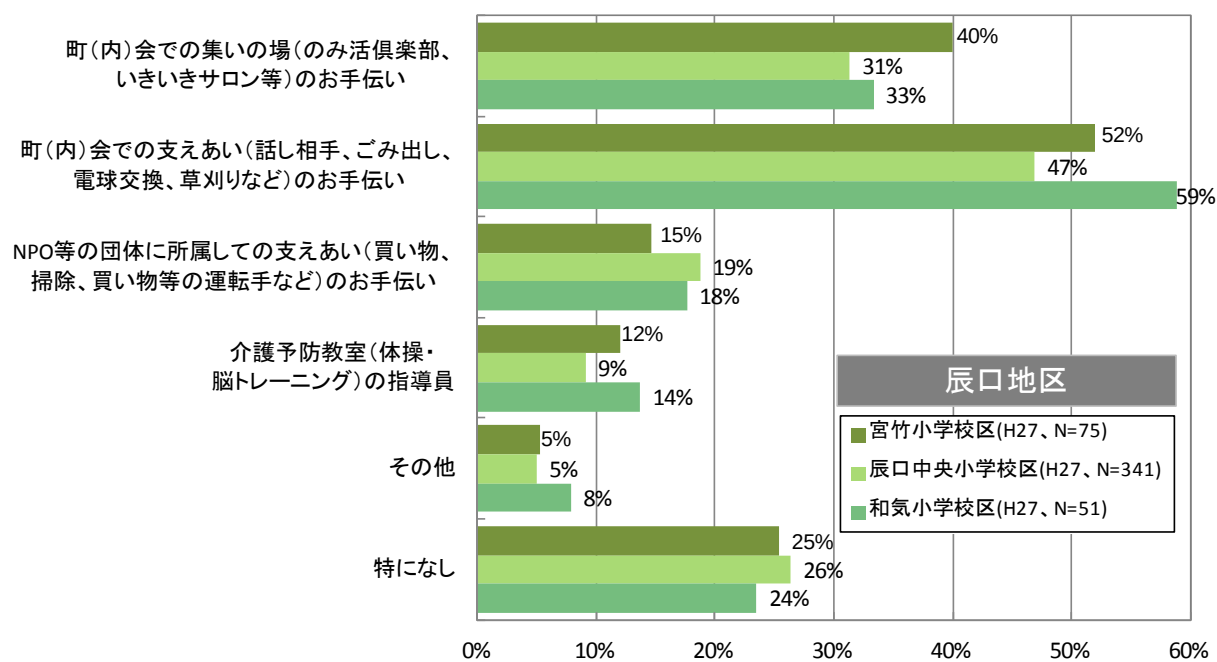
- ・辰口では「町（内）会での支えあい（話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど）のお手伝い」が 49%と他の地区と比べて 7 ポイント以上高くなっています。



■ 高齢社会を支えるために、地域で協力できそうな活動(小学校区別)

- ・ 和気小学校区で「町（内）会での支えあい（話し相手、ごみ出し、電球交換、草刈りなど）のお手伝い」が 59% と他の小学校区と比べて 7 ポイント以上高くなっています。



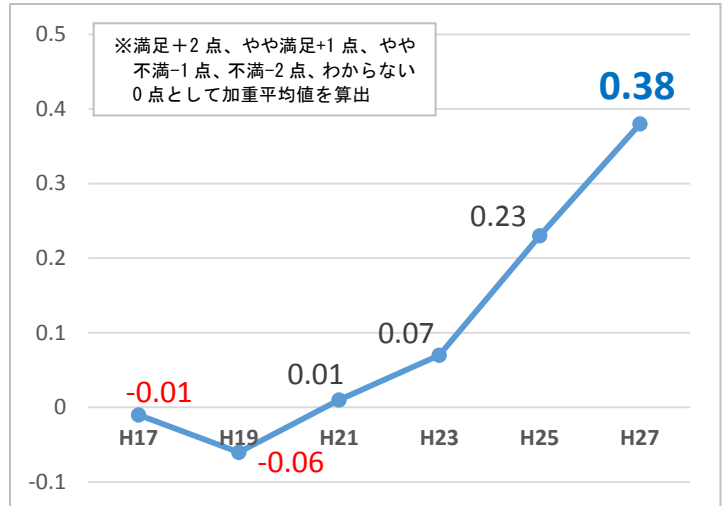


3. まとめ

● 全般的に市民の満足度は高く、総合評価の点数は経年的に上昇

- ・第一次総合計画に基づく総合的な施策展開の結果、市民の満足度は全般的に高く、回を追うごとに総合評価の点数が上昇しています。
- ・今後も評価を向上させていくため、子育て支援策や産業集積等の「強み」を伸ばし、生活道路や公共交通、商業環境等の「弱み」を強化していくための取り組みを推進する必要があります。

▼能美市の取り組みに対する総合評価



● 能美市は住みやすく、住み続けたいまち

- ・能美市の住みやすさに対する設問では、性別や年代を問わず約9割の市民が「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答しており、その要因としては「子育てにかかる費用の支援」をはじめとする福祉・教育環境の良さが挙げられています。
- ・また、定住意向に関する設問では、「このまま住み続けたい」との回答が約8割を占めており、20歳代でも「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」との回答が「他の市町村に移り住みたい」を上回っています。
- ・このことから、能美市は総じて「住みやすく、住み続けたいまち」であるということがいえます。「住みよさランキング2015」（東京経済新報社）では全国第3位となりましたが、市民の評価でも住み良さが実感されていることがうかがえます。

● 「小さな拠点」の形成が求められている

- ・地域社会の問題解決に向けて、市民同士あるいは市民と行政が協力（協働）関係をより深めるために重要なこととして、「地域の人々（市民や行政）が気軽に集まれる場所をつくる」ことが最も多くの回答を集めました（問24）。
- ・本市の人口推計を実施した島根県中山間地域研究センターの藤山浩教授は、今後の人口減少を見据えた持続可能なまちづくりに向けて「ハブ（Hub）とパブ（Pub）」が必要と指摘しています。「ハブ（Hub）」は人や交通が交わる拠点、「パブ（Pub）」は地域の人々が気軽に集まって交流できるパブリックプレイスのことを指します。
- ・今回のアンケート結果からも、このような「小さな拠点」の必要性が浮き彫りとなりました。この結果を「能美創生総合戦略」や将来的な都市構造にも反映し、人口が減っても市民が満足しながら幸せに暮らせるまちへと発展していく必要があります。

●「地域の支えあいのしくみづくり」が求められている

- ・地域やNPO等が主体となった支えあいのしくみづくりの必要性について、性別や年代、地区を問わず「必要だと思う」との回答が9割を占めています（問26）。また、地域でのまちづくり活動の妨げになっていることとしては、「参加者不足」や「時間不足」が指摘されており、地域づくりを担うしくみづくりの重要性が浮き彫りとなっています。
- ・一方で、地域活動やボランティア活動、市民活動に参加していない人が半数以上を占めており、地域づくりに対する市民の機運を高めていくことも重要な施策の一つとなります。

●「公共交通網の再編」が求められている

- ・「公共交通網の整備」に関しては、これまでコミュニティバス「のみバス」の運行や能美根上駅の整備などに取り組んできていますが、満足度が低く重要度が高い施策として区分されており、今後の改善が望まれています。
- ・「のみバス」に関しては、回答者の約9割がこの1年間にのみバスを「利用していない」と回答しており、サンプリング調査の結果ではありますが、利用状況の低迷がうかがえます。また、「あったらいいな」と思う交通手段としては、特に高齢者が「デマンドタクシー」を望む傾向にあり、市内の公共交通に関しては新交通システムを含めた抜本的な見直しが必要となっています。
- ・今後、上述した「小さな拠点」の形成や、「地域の支えあいのしくみづくり」の展開とあわせて、公共交通網の見直し・再編について一体的に検討していくことが求められます。